



完全操作ガイド

**EX11Z/XF11Z/EX10Z/EX9Z
X9Z/X9ZA/X8Z**

ワイドXGA LED液晶 メモリーナビ

7WZ

ワイドVGA LED液晶 メモリーナビ



目次

はじめに

クイックセットアップ(初期設定)

クイックセットアップをする.....	8
販売店設定をする.....	10

準備

各部の名称と操作	
本体スイッチの操作 (EX シリーズ).....	14
本体スイッチの操作 (X シリーズ).....	16
本体スイッチの操作 (XF シリーズ).....	17
ディスク / SD カード挿入口.....	17
タッチスイッチの操作.....	17
ディスクの出し入れ (EX/X シリーズ).....	18
ディスクの出し入れ (XF シリーズ).....	18
SD カードの出し入れ (EX/X シリーズ).....	18
SD カードの出し入れ (XF シリーズ).....	19

基本操作

電源の ON/OFF.....	19
リセットする.....	20
ディスプレイの角度を調整する (EX/X シリーズ).....	20
ディスプレイの角度を調整する (XF シリーズ).....	20
ナビ + オーディオ 2 画面を表示する.....	20
リスト画面を操作する.....	21
文字・数字の入力方法	
文字を入力する.....	21
検索履歴を使用する.....	22
数字を入力する.....	22
一時的に時計表示を消す.....	23
オプションキーの操作について	
オプションキーを操作する.....	23
オプションキーに機能を登録する.....	24
ボイスタッチについて.....	24
ステアリングリモコンに本機機能を割り当てて操作する.....	26
インジケータ表示について.....	26
画面表示を消す.....	27
ダブルゾーンコミュニケーション.....	27

ナビゲーション

ナビゲーション基本操作

現在地画面の見かた.....	29
ルート案内画面の見かた.....	29
自宅を登録する.....	30
ルートを引いてナビゲーションを使う.....	30
操作スイッチのモードを切りかえる.....	31
ナビメニュー画面について	
ナビメニュー画面を表示する.....	32
ナビメニュー画面のアイコン配置を変更する.....	33
地図の操作	
タッチ操作で地図をスクロールする.....	34
フリック操作 / ドラッグ操作で地図をスクロールする.....	34
スケールバーを操作して縮尺を切りかえる.....	34
ピンチイン / ピンチアウト操作で縮尺を切りかえる.....	35
市街地図について.....	35
方位を切りかえる.....	35
3D マップの角度を変更する.....	36

地図表示方法を変更する (地図切換).....	36
行程ガイド画面について.....	37
ランドマークの情報を見る.....	39
建物情報を見る.....	39

目的地を検索する

検索メニューから目的地を探す

自宅へ帰る.....	40
住所から探す.....	40
電話番号から探す.....	40
名称で施設を探す.....	41
名称で探す - ジャンルで絞り込む.....	42
名称で探す - 地域で絞り込む.....	42
名称で探す - キーワードで絞り込む.....	42
周辺の施設を探す - 現在地周辺.....	43
周辺の施設を探す - ルート周辺.....	43
周辺の施設を探す - 案内地周辺.....	44
周辺検索画面をカスタマイズする.....	45
緯度経度から探す.....	46
マップコードから探す.....	46
郵便番号から探す.....	46
住所を 50 音で探す.....	47
施設をジャンルで探す.....	47
営業時間を考慮して施設を探す.....	48
駐車場検索時に車両情報を考慮する.....	49
施設の詳細情報画面の操作.....	49
履歴から目的地を探す.....	49
登録地点から目的地を探す	
特別登録地点から目的地を探す.....	50
登録地点から地点を検索する.....	50
お気に入りから目的地を探す	
お気に入り周辺検索で施設を探す.....	51
お気に入り画面をカスタマイズする.....	52
地図から探す.....	52

ルート

ルートを決定する

目的地を設定してルート案内を開始する.....	53
ルートを選択する (6 ルート).....	53
インターチェンジ (IC) を指定する.....	54
冬期閉鎖区間を回避する.....	55
経由地を設定する.....	55

ルート案内中の画面や音声案内について

ルート案内方法.....	56
交差点拡大図の見かた.....	58
到着情報表示の見かた.....	59
レーン (車線) ガイドの見かた.....	59
高速渋滞モードと行程ガイドを切りかえる.....	60
高速渋滞情報画面を表示する.....	60
音声案内について.....	61

ルートを確認する

ルート情報を表示する.....	62
全ルートを表示する.....	62
ルートブラウザ機能.....	62
デモ走行を表示する.....	64

ルートを変更する

経由地編集 - 経由地を追加する.....	64
経由地編集 - 経由地を消去する.....	65

経由地編集 - 経由地・目的地の順番を入れかえる.....	65
経由地編集 - 自動並べかえ(周遊)	65
ルート探索条件を変更する	66
地点に属性(一般道路／有料道路)を設定する.....	66
リルート機能.....	66
迂回する	67
ルートを再探索する	67
経由地をスキップする	67
ルートを消去する	68
アクティブルートサーチ機能について.....	68

地点の登録

地点を登録する	
地点登録について	69
現在地を地点登録する	69
地点を探して登録する	69
特別地点を登録する.....	70
カメラ表示地点を登録する	70
カメラを表示する範囲を設定する	71
自車位置を修正して登録する.....	72
迂回地点を登録する.....	72
地点情報を確認・変更する	
地点情報を変更する - 基本情報.....	73
地点情報を変更する - マーク情報	73
地点情報を変更する - 位置情報.....	74
地点情報を変更する - 詳細情報.....	75
登録地点に電話をかける	75

VICS 情報を見る

VICS について	76
VICS 放送局を選ぶ.....	81
VICS 気象警報 / 災害エリア情報を見る	81
VICS 規制エリア情報を見る.....	82
VICS 割り込み情報について.....	83
VICS 割り込み情報を呼び出す	83
VICS 交通情報を見る	84
VICS 駐車場情報を見る	84
VICS 充電施設情報を見る	85
VICS 予告配信情報を見る	86

電話・通信機能

BLUETOOTH 通信と Wi-Fi 通信について87

ハンズフリー電話を使う

ハンズフリー電話について	88
携帯電話の接続	
携帯電話の接続を解除する／再接続する	88
接続する携帯電話を変更する.....	88
電話を受ける・切る	
電話を受ける.....	89
電話を切る	89
電話をかける	
かかってきた電話を保留する.....	89
着信履歴から電話をかける	90
発信履歴から電話をかける	90
番号を入力して電話をかける.....	91
電話帳から電話をかける	91

他の携帯電話の電話帳／発信履歴／短縮ダイヤルを利用 して電話をかける	92
短縮ダイヤルから電話をかける.....	92
直前にかけた電話番号に電話をかける(リダイヤル)	92

通話中の操作

通話全画面を表示する.....	93
通話音量を調整する	93
電話音声出力切りかえ.....	93
トーン発信機能.....	94

電話帳の操作

電話帳を読み込む	94
電話帳詳細情報を見る.....	95
短縮ダイヤルに登録する.....	95

スマートフォンナビ連携機能

スマートフォンナビ連携機能について	96
「NaviCon」を本機で使用する.....	96
「NaviCon」の地点情報を利用する	97

オーディオ・ビジュアル

オーディオ・ビジュアル基本操作

オーディオ・ビジュアルソースを切りかえる	98
オーディオ・ビジュアルソースメイン画面を表示する	98
オーディオ・ビジュアル情報アイコン表示について	98
オーディオ・ビジュアルソースを OFF にする.....	98
オーディオ音量を調整する	98
一時的に音量を下げる(ミュート).....	98

テレビ操作

B-CAS カードについて	
B-CAS カードを挿入する前に	99
B-CAS カードを挿入する.....	99

テレビを見る

テレビ初期設定を行う.....	99
テレビを見る	100
テレビ操作画面の見かた.....	101
チャンネルを選ぶ	101
地上デジタル放送とワンセグ放送を切りかえる.....	101
ホームモード／お出かけモードを切りかえる	102
お出かけスキャンをする.....	102
中継局／系列局をスキャンする.....	102
放送情報を最新に更新する	102
データ放送を見る	102
サービスリストから番組を選ぶ.....	103

番組表の操作

テレビ番組表を表示する.....	103
番組の詳細情報を表示する	103
次の日の番組表を表示する	104
地上デジタル放送とワンセグの番組表を切りかえる	104
番組表の放送局を切りかえる	105

テレビ設定

テレビのモードを切りかえる	105
テレビ画面の画質を調整する	105
地上デジタル放送／ワンセグ自動切換.....	106
裏番組の情報を取得する.....	106
バックグラウンドで中継局をサーチする.....	106
自動サーチを設定する.....	106

自動サーチのモードを設定する	107	言語コード一覧	122
放送局自動選局の設定	107	CD 操作	
文字スーパーを表示する	107	CD を再生する	124
ホームの地域を設定する	108	CD の曲の頭出しをする	125
ホームの県域を設定する	108	CD を早送り・早戻しする	125
ホームの郵便番号を設定する	108	CD を一時停止する	126
緊急警報放送 (EWS) を受信する	108	CD の曲を繰り返し聴く (リピート)	126
ホームスキャンを実行する	109	CD を曲順を変えて聴く (ミックス)	126
B-CAS カードの情報表示とテスト	109	CD の曲のイントロだけを聴く (スキャン)	127
設定内容を初期化する	109	SD カードに曲を録音する (CD のみ)	127
ラジオ操作		CD 再生リストサーチ	127
ラジオを聴く	110	フォルダーを選ぶ (MP3 / WMA / AAC のみ)	127
ラジオバンド (AM/FM) を切りかえる	110	ファイルサーチ (MP3 / WMA / AAC のみ)	127
ラジオの放送局を探す	110	SD AUDIO 操作	
シークモードを選ぶ	111	SD カードに音楽データを録音する	
自動で放送局を記憶する (オートメモリー)	111	SD カードへの録音方法について	128
プリセットスイッチに手動で放送局を記憶する	111	CD の曲を SD カードに録音する	128
プリセットした放送局を切りかえる	112	SD AUDIO 再生操作	
プリセットモードを切りかえる	112	SD AUDIO を再生する	129
交通情報を受信する	112	SD AUDIO の曲の頭出しをする	130
DVD 操作		SD AUDIO を早送り・早戻しする	130
DVD 再生操作		SD AUDIO を一時停止する	130
DVD を再生する	113	SD AUDIO の曲を繰り返し聴く (リピート)	130
視聴制限した DVD を再生する	114	SD AUDIO を曲順を変えて聴く (ミックス)	130
チャプターの頭出しをする	114	SD AUDIO の曲のイントロだけを聴く (スキャン)	131
DVD を早送り・早戻しする	114	聴きたい曲を探す (SD AUDIO)	
DVD を静止 (一時停止) する	114	SD AUDIO 再生リストサーチ	131
DVD をコマ送り再生する	115	サーチ方法を選んで曲を探す (SD AUDIO)	131
DVD をスロー再生する	115	ダイレクトアップ/ダウン機能 (SD AUDIO)	132
DVD を再生中止 (PRE STOP) する	115	ダイレクトサーチ機能	132
DVD を再生停止する	115	SD カードに録音した曲を編集する	
メニューを表示する (DVD-V のみ)	116	SD AUDIO の演奏順を変更する	132
トップメニューを表示する (DVD-V のみ)	116	録音曲編集 - アルバム名称を変更する	133
メニュー画面を操作する (DVD-V のみ)	116	録音曲編集 - アーティスト名称を変更する	133
DVD 映像を繰り返し見る (リピート)	116	録音曲編集 - 曲名を変更する	134
DVD 画面の画質を調整する	116	録音曲編集 - ジャンルを変更する	134
音声言語を切りかえる (DVD-V のみ)	117	タイトル情報を取得する	134
音声言語を切りかえる (DVD-VR のみ)	117	録音曲を消去する	134
サブタイトル (字幕言語) を切りかえる (DVD-V のみ)	117	SD カードのプレイリストを編集する	
サブタイトル (字幕言語) を切りかえる (DVD-VR のみ)	117	SD AUDIO の曲をプレイリストに登録する	135
アングルを切りかえる (DVD-V のみ)	118	プレイリスト名称を変更する	135
DVD の見たい映像を探す		プレイリストの曲の演奏順を変更する	135
チャプター番号から探す	118	プレイリストの曲を消去する	135
タイトル/プログラム番号から探す	118	HDMI 操作	
メニュー番号から探す (DVD-V のみ)	118	HDMI / MHL 対応機器 (iPhone やスマートフォンなど) をつ	
プレイリスト/プログラムサーチ (DVD-VR のみ)	118	ないで使う	136
プレイリスト/プログラムを選ぶ (DVD-VR のみ)	119	HDMI 画面の画質を調整する	136
DVD 初期設定		ウォークマン (R) 操作	
メニュー言語を設定する	119	ウォークマン (R) をつないで使う	136
優先する音声を設定する	119	ウォークマン (R) 画面の画質を調整する	137
字幕の言語を設定する	119	iPod / iPhone 操作	
カンントリーコードを変更する	120	iPod / iPhone を再生する	137
視聴制限を設定する	120	iPod / iPhone の曲の頭出しをする	138
ダウンミックスを設定する	121	iPod / iPhone を早送り・早戻しする	138
画面サイズを切りかえる	121	iPod / iPhone を一時停止する	139
DVD 初期設定を初期化する	121	iPod / iPhone の曲を繰り返し聴く (リピート)	139

目次

iPod / iPhone を曲順を変えて聴く (シャッフル).....	139
iPod / iPhone のすべての曲の曲順を変えて聴く (オール シャッフル)	139
iPod / iPhone 再生リストサーチ.....	140
サーチ方法を選んで曲を探す (iPod / iPhone)	140
ダイレクトアップ/ダウン機能 (iPod / iPhone)	141
BT AUDIO 操作	
BT AUDIO を再生する.....	141
BT AUDIO の曲の頭出しをする	142
BT AUDIO を早送り・早戻しする	142
BT AUDIO を一時停止する	142
BT AUDIO の曲を繰り返し聴く (リピート)	142
BT AUDIO を曲順を変えて聴く (ミックス)	143
BT AUDIO の曲のイントロだけを聴く (スキャン)	143
BT AUDIO 再生リストサーチ.....	143
サーチ方法を選んで曲を探す (BT AUDIO).....	144
BT AUDIO のグループを選ぶ.....	144
BLUETOOTH AUDIO 機器の接続を解除する	144
接続する BLUETOOTH AUDIO 機器を変更する	144
USB メモリー操作	
USB メモリーを再生する	144
USB メモリーの曲の頭出しをする	145
USB メモリーを早送り・早戻しする	145
USB メモリーを一時停止する.....	145
USB メモリーの曲を繰り返し聴く (リピート).....	145
USB メモリーを曲順を変えて聴く (ミックス).....	145
USB メモリーの曲のイントロだけを聴く (スキャン)	146
USB メモリー再生リストサーチ	146
フォルダーを選ぶ (USB メモリー)	146
ファイルサーチ (USB メモリー)	146
外部機器操作	
外部機器 (ドライブレコーダーやゲームなど)をつないで使う 147	
外部機器画面の画質を調整する.....	147

設定・調整

各種設定

地図表示設定

地図表示設定－1画面(左画面)と右画面をそれぞれ設定す る	148
ランドマークを表示する	148
ランドマーク表示ジャンルを設定する.....	148
ランドマークの表示サイズを設定する.....	149
走行軌跡表示を設定する	149
走行軌跡を消去する	149
渋滞・混雑表示を設定する	149
空き道表示を設定する	150
渋滞推測表示(渋滞・混雑)を設定する.....	150
渋滞推測表示(空き道)を設定する	150
気象警報・災害エリアを表示する	151
VICS 駐車場・充電施設を表示する.....	151
VICS 規制エリアを表示する	151
VICS 予告配信を表示する.....	151
VICS 規制マークを表示する	152
VICS 情報提供道路を設定する	152

路上駐車場マークを表示する	152
渋滞線を明滅表示する	152
地図色を切りかえる	153
昼画面/夜画面を切りかえる	153
行政区界分け表示を設定する	153
誘導方向を表示する	153
ビルを立体的に表示する.....	153
3D ランドマークを表示する	154
冬期規制アイコンを表示する	154
細街路オートスケールの設定.....	154
走行中の地図表示を切りかえる.....	154
高速・有料道路モード地図を表示する	155
ハイウェイモードを自動表示する	155
地図スクロール時に地名を表示する	155
地図の文字サイズを設定する	155
自車マーク表示を変更する	156
案内誘導設定	
音声案内を設定する	156
県境を案内する.....	156
合流案内を設定する	156
踏み切り案内を設定する.....	156
交通事故多発区間警告.....	157
案内地点までの残距離を音声案内する.....	157
到着予想時刻を音声案内する.....	157
車速を設定する.....	157
交差点案内図をビッグアローで表示する.....	157
詳細案内図表示を設定する	158
方面看板を表示する	158
レーン(車線)ガイドを表示する.....	158
オーディオ・ビジュアル画面に割り込み表示する.....	158
音声案内時にオーディオ音量をミュートする	158
料金所ゲート案内を設定する	158
車両情報を設定する	159
経路設定	
優先探索ルートを設定する	159
有料道路を優先して案内する	159
ルート探索条件をチューニングする	160
アクティブルートサーチを実行する	160
アクティブルートサーチの割り込み時間を設定する	160
アクティブルートサーチ短縮時間を設定する	160
アクティブルートサーチ音声案内割り込みを設定する	161
スマート IC を利用する	161
時間曜日規制を考慮する.....	161
フェリー航路を含むルートを探索する.....	161
迂回地点を回避する	161
迂回距離を設定する(一般道)	162
迂回距離を設定する(有料・高速道)	162
冬期閉鎖区間を考慮する.....	162
ルート学習を行う	162
ルート学習結果を消去する	163
VICS 設定	
渋滞情報を学習する	163
渋滞学習結果を消去する.....	163
VICS 情報保持時間を設定する	163
VICS 割り込み情報表示を行う	163
VICS 割り込み情報の表示時間を設定する	163

オーディオモードに VICS 情報を割込み表示する	164	英語で表示・案内を行う	178
特別警報アイコンを表示する	164	iPod アートワークをアニメーション表示する	178
ITS スポットヘプロープ情報を送信する	164	メニューをアニメーション表示する	178
VICS 音声情報を読み上げる	164	距離補正—学習結果を表示する	179
ブラウザの音声情報を読み上げる	165	距離補正—距離を自動で補正する	179
接続機器設定		距離補正—距離を手動で補正する	179
外部機器を接続する	165	距離補正—距離補正値を初期化する	180
後席個別 TV・DVD・HDMI をリアビジョンに連動する	165	モニターを自動で閉じる	180
本機でリアビジョンのプラズマクラスター設定を行う	165	本機の明るさを切りかえる	180
本機でリアビジョンのイルミネーション設定を行う	166	夜間のディスプレイの明るさを調整する	180
リアビジョンのイルミネーション色を設定する	166	夜間の照光スイッチの明るさを調整する	181
ダブルゾーンサウンドコントロールを設定する	166	車種イラストを設定する	181
ステアリングリモコンを使用する	166	燃費優先ルートの条件を設定する	181
ステアリングリモコンに本機機能を割り当てる	167	オプションキーに機能を設定する	181
カメラダイレクトキーを接続する	167	自転車位置を修正する	182
エネルギーモニターを接続する	168	画面のカラーを変更する	182
フロントカメラを接続する	168	セキュリティ設定を行う	183
フロントカメラのガイドを調整する	168	セキュリティインジケータの設定	183
フロントカメラ映像を自動的に表示する(速度連動)	169	クイックセットアップ状態を初期化する	183
フロントカメラ映像を自動的に表示する(地点連動)	169	全設定項目を初期化する	184
リアカメラを接続する	169	全情報を初期化する	184
インターフェースボックスを接続する	169	ログデータをアップロードする	184
インターフェースボックスにサイドカメラを接続する	169	車種専用チューニング	
サイドカメラのガイドを調整する(インターフェースボックス接続)	170	車種専用チューニングを行う	184
サイドカメラ映像を自動的に表示する(地点連動・インターフェースボックス接続)	170	オープニング画像を変更する	186
インターフェースボックスにコーナーカメラを接続する	171	メニューデザインを変更する	186
コーナーカメラのガイドを調整する(インターフェースボックス接続)	171	地点編集	186
コーナーカメラ映像を自動的に表示する(クリアランスソナー連動・インターフェースボックス接続)	172	メディア編集	
インターフェースボックスにルームカメラを接続する	172	登録地点をメディアに保存する	187
汎用カメラを接続する	172	登録地点をメディアからコピーする	187
リアカメラのガイドを調整する	172	メディア情報を見る	188
パノラミックビュー設定	174	SD カードを初期化する	188
サイドカメラのガイドを調整する(汎用カメラ)	174	画質調整	
サイドカメラ映像を自動的に表示する(地点連動・汎用カメラ)	175	画面表示モードを切りかえる	188
コーナーカメラのガイドを調整する(汎用カメラ)	175	画質を調整する	189
コーナーカメラ映像を自動的に表示する(クリアランスソナー連動・汎用カメラ)	175	画質調整値の記憶と呼び出し	190
AV 設定		音量調整	
録音ビットレートを設定する	176	本機の操作音音量を調整する	190
アートワークを自動で取得する	176	リモコン操作音音量を調整する	190
iPod ソース自動切換設定	176	案内音量を調整する	191
その他設定		音声読み上げ音量を調整する	191
ディスプレイの誤操作を防止する	176	電話着信音量を調整する	191
映像ソースに時計を表示する	176	受話音量・送話音量を調整する	192
地図画面の時計表示を ON/OFF する	177	オープニングサウンド音量を調整する	192
時計表示を設定する	177	電話設定	
ボイスタッチ機能を ON/OFF する	177	着信全画面割込み設定	192
ボイスタッチワードを設定する	177	着信・通話画面に情報を表示する	192
ボイスタッチワードの認識率を設定する	177	自動着信を設定する	193
メニューの文字サイズを変更する	178	自動着信までの時間を設定する	193
		外部ハンズフリーマイクを接続する	193
		Bluetooth/Wi-Fi 設定	
		Bluetooth 設定	
		BLUETOOTH 機器を登録する(BLUETOOTH 機器から探索)	193
		接続する BLUETOOTH 機器を変更する	194
		BLUETOOTH 機器を接続解除／再接続する	195

目次

BLUETOOTH オーディオ機器を自動接続する	195	ETC 案内を行う	216
自機情報を編集する (BLUETOOTH)	195	ETC 料金履歴を見る	216
BLUETOOTH 機器の詳細情報を見る	196	ETC ユーザー情報を見る	216
BLUETOOTH 機器に暗証番号を設定する	196	ETC2.0 を使う	
Wi-Fi 設定		ETC2.0 について	217
Wi-Fi 接続を設定する - 自動探索	196	ETC 料金履歴を見る (ETC2.0)	218
Wi-Fi 接続を設定する - 機器名を入力して登録	197	ETC2.0 ユーザー情報を見る	218
Wi-Fi 接続を設定する - WPS 登録	198	ETC2.0 のブラウザ機能を使う	218
Wi-Fi 接続を切断 / 接続する	199	カメラ	
Wi-Fi 接続優先順位を変更する	199	カメラについて	219
Wi-Fi 自動接続設定	199	リアカメラ操作	
更新可能なデータを自動で確認する	200	リアカメラの映像を表示する	220
利用周波数帯域を設定する	200	リアカメラガイド線の見かた	220
ダウンロードを自動で再開する	200	リアカメラガイド線と実際の路面の誤差について	221
Wi-Fi 機器の詳細情報を見る	200	リアカメラ映像パターンを切りかえる	222
自機情報を表示する (Wi-Fi)	201	フロントカメラ操作	
音質調整		フロントカメラの映像を表示する	223
フェーダー / バランスの設定	201	フロントカメラガイド線の見かた	224
DEFEAT (ディフィート) の ON / OFF	201	フロントカメラ映像パターンを切りかえる	224
車種専用サウンドを設定する	202	サイドカメラ操作	
MX モードの設定	203	サイドカメラの映像を表示する	224
メーカー設定のイコライザー特性を選ぶ (Bass Max EQ)	204	サイドカメラガイド線の見かた	225
イコライザーカーブの設定 (Parametric EQ)	204	コーナーカメラ操作	
タイムコレクションの設定 (T.CORR)	205	コーナーカメラの映像を表示する	225
X-OVER の設定	206	コーナーカメラガイド線の見かた	226
サブウーファーを設定する	207	カメラの映像を切りかえる	226
サブウーファー出力レベルの調整	207	カメラ画像調整	
ソース間の音量レベルを調整する	207	カメラ画質を調整する	227
		ガイド表示を ON / OFF する	227
		コーション表示位置を変更する	227
情報・更新		リアビジョン	
データ更新について	208	リアビジョンについて	228
地図データ更新について	208	リアビジョン設定	
Wi-Fi データ更新		プラズマクラスター設定を切りかえる	228
Wi-Fi 通信でデータ更新を行う	208	イルミネーション色を切りかえる	229
Wi-Fi 通信のデータ更新履歴を見る	210	スピーカー出力を設定する	229
認証情報を設定する	210	リスニングポジションを設定する	229
メディアデータ更新を行う	211	ダブルゾーン設定	
車両情報について		リアビジョンの AV ソースを前席と同じソースに設定する (後席表示設定)	230
GPS 情報を表示する	212	リアビジョンのソースのみ TV / DVD / HDMI にする (後 席個別)	230
車両情報を表示する	212	後席スピーカー音量を調整する	231
メンテナンス機能		リアビジョンに行程情報を表示する	231
メンテナンス機能について	212	ダブルゾーンサウンドコントロール	232
メンテナンス項目を設定する	212	リモコン (RUE-RST01) の操作	
お知らせ日 / 走行距離をリセットする	213	リモコン (RUE-RST01) の操作 (本機と同じ表示時)	232
本機情報の確認		リモコン (RUE-RST01) のナビゲーション操作 (本機と同じ 表示時)	234
本機バージョン情報を表示する	214	リモコン (RUE-RST01) のリアビジョン操作	235
録音用 SD カード情報を表示する	214	リモコン (RUE-RST01) の操作 (リア専用メニューを使う) ...	236
地図更新状況を表示する	214	リモコン (RUE-RST01) 操作 (リア専用メニューを使う) - AV ソースを選ぶ	237
お問い合わせ先を表示する	214	エネルギーモニターについて	238
		インターフェースボックスについて	238
オプション機器			
ETC・ETC2.0			
ETC を使う			
ETC について	216		

カーアロマを操作する	239
索引	240

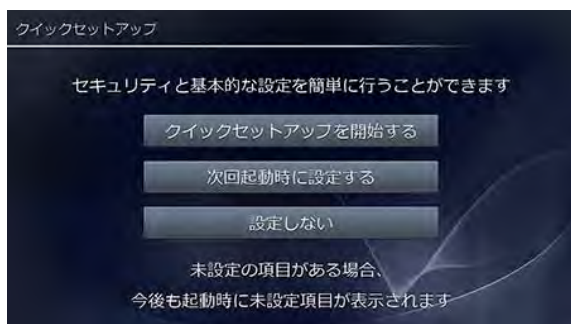
はじめに

クイックセットアップをする

本機の初回起動時に、クイックセットアップ画面が表示されます。クイックセットアップを行うと、本機を便利に使うことができます。

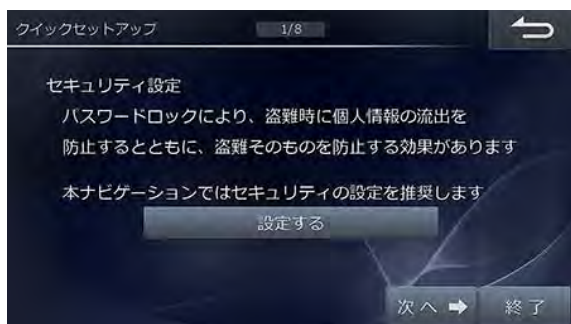
- 設定を行わない項目は「次へ→」にタッチします。
- 設定途中で「終了」にタッチすると、次回起動時にもクイックセットアップ画面が表示されます。

1 「クイックセットアップを開始する」にタッチします。

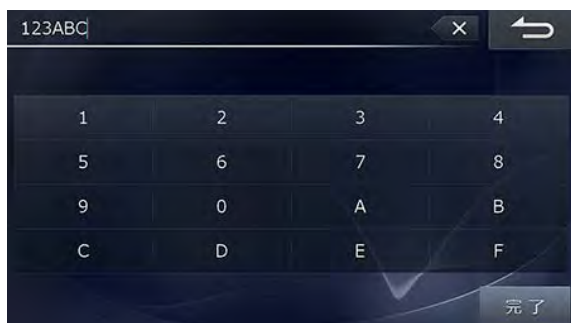


- すぐに設定しない場合は「次回起動時に設定する」にタッチします。
- 「設定しない」にタッチすると、次回からクイックセットアップの画面は表示されません。

2 セキュリティコードを設定する場合、「セキュリティ設定」の「設定する」にタッチします。

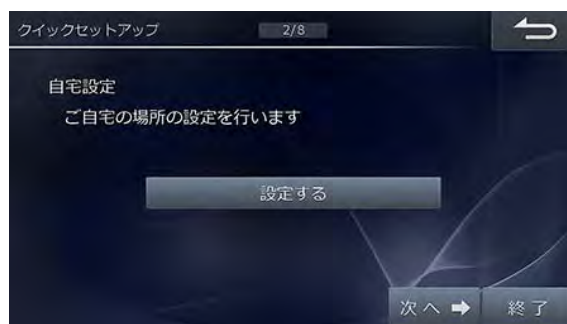


3 セキュリティコード入力画面でコードを設定し、「完了」にタッチします。設定後、「次へ→」にタッチします。



- 設定可能なセキュリティコードの桁数は3～12桁です。
- セキュリティコードの設定が完了すると、セキュリティインジケータも「する」に設定されます。
⇒「セキュリティインジケータの設定」(183 ページ)
- 登録したセキュリティコードは、セキュリティの解除やセキュリティコードの変更を行うときに必要になります。メモしておくことをおすすめします。

4 「自宅設定」の「設定する」にタッチします。



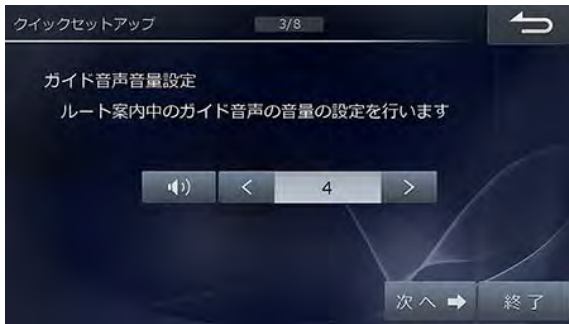
5 「地図から」「電話番号から」「住所から」のいずれかにタッチして自宅を検索し、「登録」にタッチします。設定が完了したら「次へ→」にタッチします。



- 「地図から」にタッチした場合は、現在地周辺の地図画面が表示されます。自宅駐車場に車を停めている場合の登録に便利です。電話番号または住所を入力して探す場合は下記項目を参照してください。
⇒「電話番号から探す」(40 ページ)
⇒「住所から探す」(40 ページ)

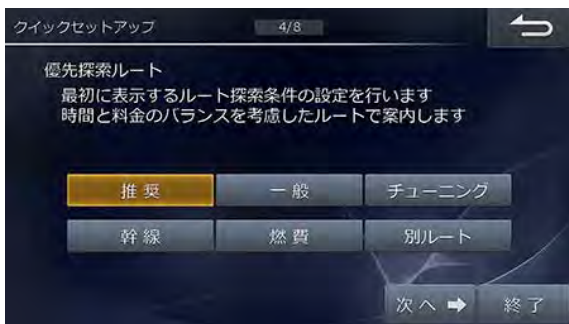
6 「ガイド音声音量設定」の「<」または「>」にタッチして音量を調整します。設定が完了したら「次へ→」にタッチします。

設定値：OFF、1～7



- [音量アイコン] にタッチすると、選択中の音量の音声が出力されます。

7 「優先探索ルート」を [推奨] [一般] [チューニング] [幹線] [燃費] [別ルート] のいずれかにタッチして選び、[次へ→] にタッチします。



- ◆ 推奨
VICS 情報、VICS 統計情報（渋滞予測）、ルート学習情報、渋滞学習情報を利用して、目的地まで時間と料金のバランスを考慮した代表的なルート
・「有料道路優先」を [する] に設定すると、[推奨 (有料優先)] と表示されます。
⇒「有料道路を優先して案内する」(159 ページ)

- ◆ 一般
できるだけ一般道路を通るルート

- ◆ チューニング
推奨ルートをベースとして、有料道路優先（全般）／有料道路優先（近距離）／広い道路優先／渋滞回避優先の各パラメーターをチューニングしたルート
⇒「ルート探索条件をチューニングする」(160 ページ)

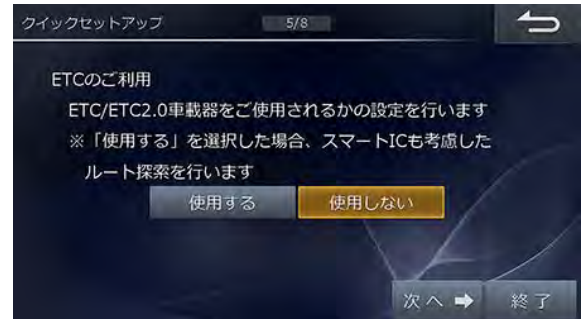
- ◆ 幹線
できるだけ幹線道路を通るルート

- ◆ 燃費
燃料消費量を節約するルート

- ◆ 別ルート
推奨・一般・チューニング・幹線・燃費以外のルートが探索されます。

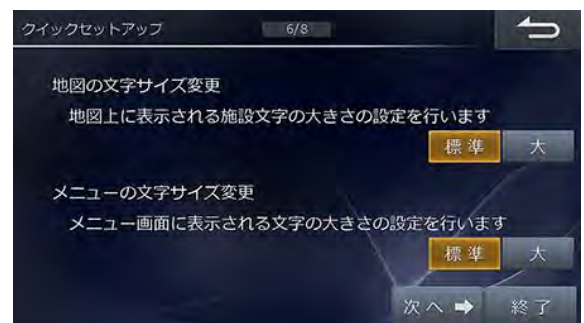
- ・他のルートと同じルートを探索する場合があります。

8 ETC/ETC2.0 車載器を使用する場合は、「使用する」にタッチします。



- 「使用する」に設定すると、「スマート IC 利用」設定も「する」に設定されます。
⇒「スマート IC 利用」(161 ページ)

9 地図上に表示される施設名称の文字の大きさと、メニューの文字サイズを選びます。「地図の文字サイズ変更」と「メニューの文字サイズ変更」の [標準] または [大] にタッチして選び、[次へ→] にタッチします。



<メニュー文字「標準」設定時>

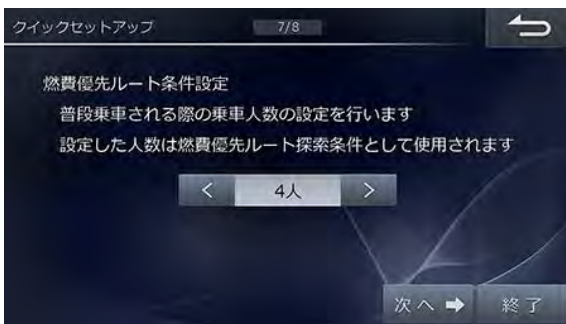


<メニュー文字「大」設定時>

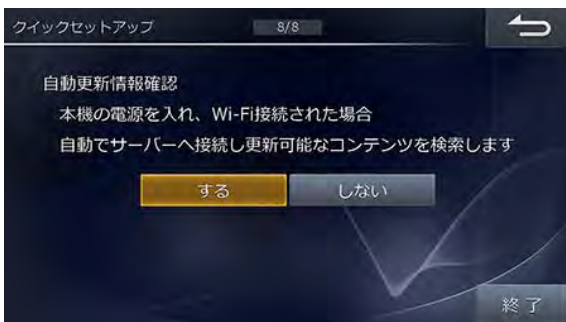


- 10 「燃費優先ルート条件設定」の < または > にタッチして、普段の乗車人数を設定し、[次へ→] にタッチします。

設定値：1 人～ 10 人



- 11 本機の電源を入れた時に Wi-Fi 接続された場合、自動でサーバーへ接続して本機の更新可能コンテンツの有無を確認するかどうかを設定します。「する」または「しない」にタッチし、[終了] にタッチします。



- 「する」に設定した場合、本機起動時にサーバーとのデータ通信が発生します。ただし更新データの自動ダウンロードは行いません。
- 本機データ更新にはお客様登録と認証情報設定が必要です。
⇒ 「認証情報を設定する」(210 ページ)
- Wi-Fi 通信機器の登録が必要です。また、Wi-Fi 通信の自動接続の初期値は「する」に設定されています。
⇒ 「Wi-Fi 接続を設定する - 自動探索」(196 ページ)

- ⇒ 「Wi-Fi 接続を設定する - 機器名を入力して登録」(197 ページ)
- ⇒ 「Wi-Fi 接続を設定する - WPS 登録」(198 ページ)
- ⇒ 「Wi-Fi 自動接続設定」(199 ページ)

12 確認画面が表示されたら [はい] にタッチします。

アドバイス

- 本機を他の車に取り付けるときに、クイックセットアップを初期化できます。
⇒ 「クイックセットアップ状態を初期化する」(183 ページ)
- 各項目の設定を変更できます。
⇒ 「セキュリティ設定を行う」(183 ページ)
⇒ 「セキュリティインジケータの設定」(183 ページ)
⇒ 「自宅を登録する」(30 ページ)
⇒ 「案内音量を調整する」(191 ページ)
⇒ 「優先探索ルートを設定する」(159 ページ)
⇒ 「地図の文字サイズを設定する」(155 ページ)
⇒ 「メニューの文字サイズを変更する」(178 ページ)
⇒ 「燃費優先ルートの条件を設定する」(181 ページ)

販売店設定をする

販売店設定は本機取り付け時に販売店で行いますので、通常は操作の必要はありません。クイックセットアップが初期化された場合や再設定が必要な場合は、本設定を行ってください。クイックセットアップ初期化後の初回起動時に設定画面が表示されます。

- 設定を行わない項目は [次へ→] にタッチします。
- 設定途中で [終了] にタッチすると、次回起動時にも販売店セットアップ画面が表示されます。
- リアビジョン接続時、リアビジョン側の設定に「コーディネートカラーコントロール」「プラスマクラスターコントロール」がある場合は、本設定を行う前にリアビジョン側を「ナビ」に設定してください。

- 1 ようこそ画面の「はじめる」にタッチします。



- 2 メーカー名を選択して「決定」にタッチし、続けて車種名とグレードを選択して「決定」にタッチします。

- 3 「リアカメラ接続」にタッチし、接続するカメラを選択して「決定」にタッチします。



- カメラの製品名、または「カメラあり」「カメラなし」を選択してください。汎用カメラを接続する場合は「カメラあり」に設定してください。「カメラあり」を選択した場合は、手順5へ進みます。

- 4 「インターフェースボックス接続」にタッチし、インターフェースボックスの有無を選択し「決定」にタッチします。



- 「なし」を選択した場合は、サイドカメラまたはコーナercameraのどちらか1台、「あり」を選択した場合は2台まで選択できます。

- 5 「サブウーファー」にタッチし、サブウーファーの有無を選んでタッチしたあと「決定」にタッチします。



- 6 「ステアリングリモコン」にタッチし、ステアリングリモコンの設定有無を選んでタッチしたあと「決定」にタッチします。



- 選択した車種にステアリングリモコン設定がない場合は、ステアリングリモコン設定画面は表示されません。

- 7 「リアビジョン」にタッチし、リアビジョンの有無を選んでタッチしたあと「決定」にタッチします。



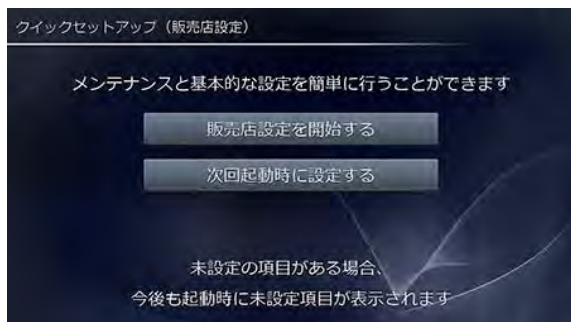
- 8 設定内容を確認し、「決定」にタッチします。



9 確認画面が表示されたら「はい」にタッチします。
本機情報をアップデートし、リセット後に再起動します。

- 車種によってはアップデートの前に確認画面で「閉じる」にタッチします。

10 「販売店設定を開始する」にタッチします。



- すぐに設定しない場合は「次回起動時に設定する」にタッチします。
- 「設定しない」にタッチすると、次回からクイックセットアップの画面は表示されません。

11 「販売店設定」の「設定する」にタッチします。



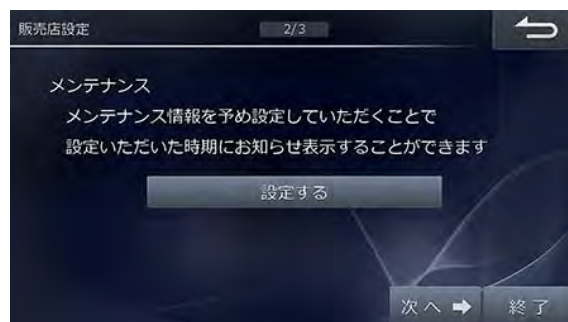
12 「地図から」「電話番号から」「住所から」のいずれかにタッチして販売店を検索し、「登録」にタッチします。設定が完了したら「次へ」にタッチします。



- 「地図から」にタッチした場合は、現在地周辺の地図画面が表示されます。販売店に車を停めている場合の登録に便利です。電話番号または住所を入力して探す場合は下記項目を参照してください。
⇒「電話番号から探す」(40 ページ)

⇒「住所から探す」(40 ページ)

13 「メンテナンス」の「設定する」にタッチします。

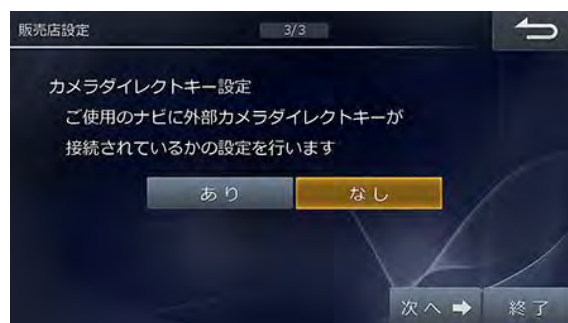


14 メンテナンス項目の設定を行い、「戻る」にタッチし、「次へ」にタッチします。

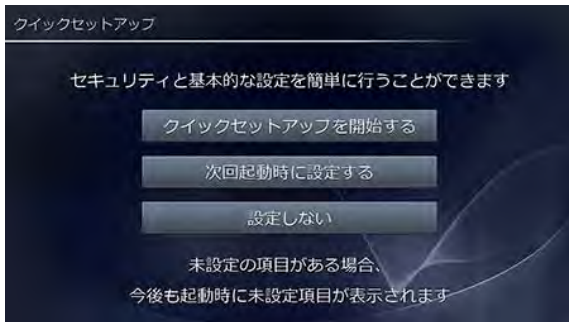


- メンテナンス項目の設定方法は、下記項目を参照してください。
⇒「メンテナンス項目を設定する」(212 ページ)

15 「カメラダイレクトキー設定」の「あり」または「なし」にタッチし、「終了」にタッチします。



- 16** 販売店設定が終了し、お客様向けクイックセットアップ画面が表示されます。いずれかのスイッチにタッチします。

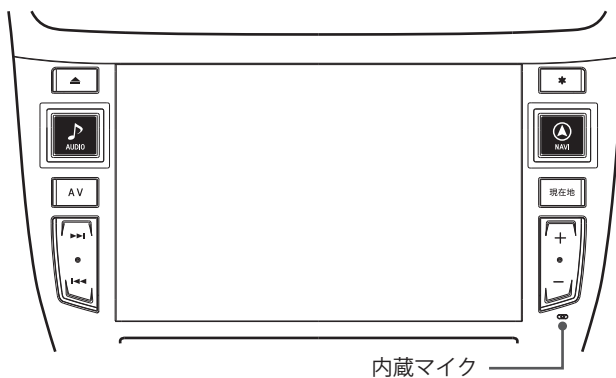
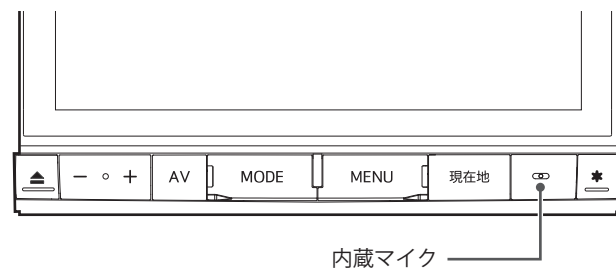
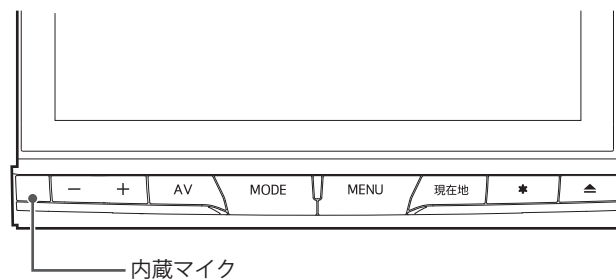
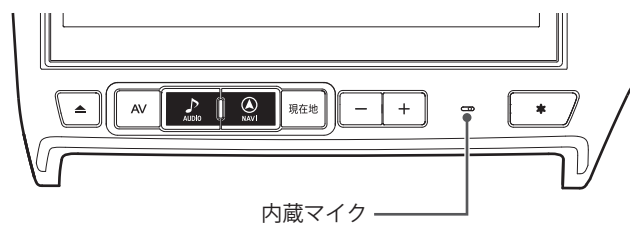
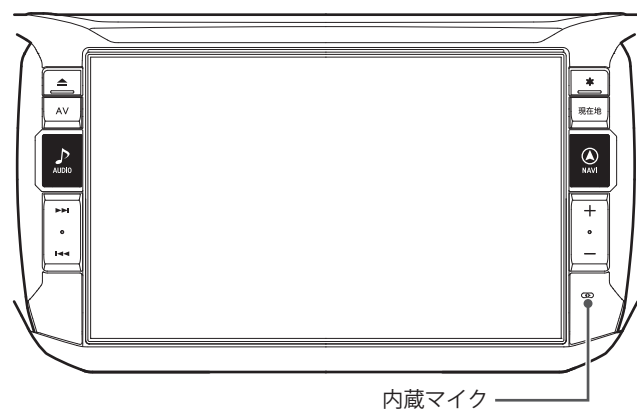
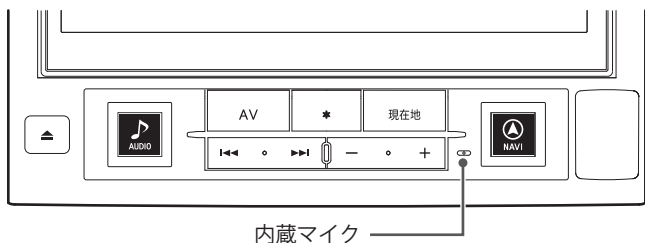


- 「クイックセットアップを開始する」にタッチした場合の操作方法は、下記項目を参照してください。
⇒「クイックセットアップをする」(8 ページ)

本体スイッチの操作 (EX シリーズ)

取り付け車種によりスイッチ形状・配列・名称が異なります。下記イラストは実際の製品と異なる場合があります。

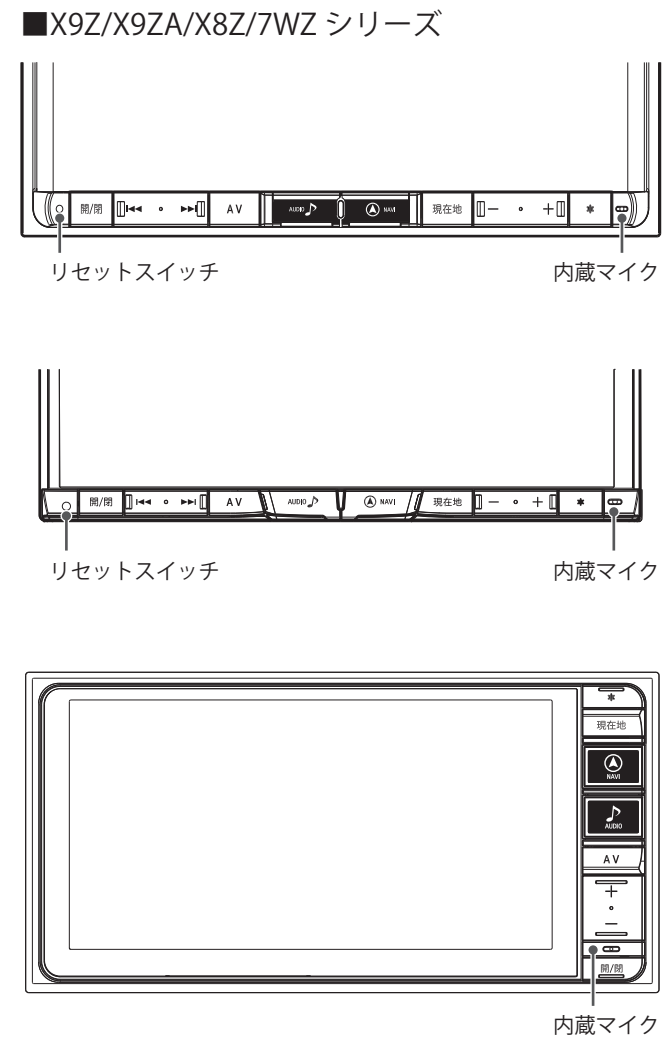
■EX11Z/EX10Z/EX9Z シリーズ



	ディスプレイを開閉します。 2 秒以上押すと角度調整画面を表示します。 角度調整画面で UP または DOWN をタッチして、見やすい角度（6 段階調整可能）にすることができます。
 MODE	AV ソースメニュー画面を表示します。
AV	現在再生・視聴中の画面に戻ります。 2 秒以上押すとオーディオ・ビジュアルソースの ON と OFF を切りかえます。
	選局・選曲を行います。 2 秒以上押すと早送り / 早戻しを行います。
*	オプションキー設定で設定された機能を呼び出します。 < 初期設定値 > 1 回押し： ボイスタッチワード設定 長押し： 1. ダブルゾーンコミュニケーション、 2. 画面 OFF、3. ミュート
— +	オーディオ・ビジュアルソースの音量を調整します。
現在地	現在地画面を表示します。ルート案内中に 自転車位置画面で押すと音声案内を行います。 また、地図画面下部の現在地名 / 道路名 表示を切りかえます。
 MENU	ナビメニュー画面を表示します。 目的地探索時に使用します。
 または *	セキュリティ設定を ON にすると、ACC 電源 OFF 時にセキュリティインジケータ ーとして点滅します。

本体スイッチの操作 (X シリーズ)

取り付け車種によりスイッチ形状・配列・名称が異なります。下記イラストは実際の製品と異なる場合があります。

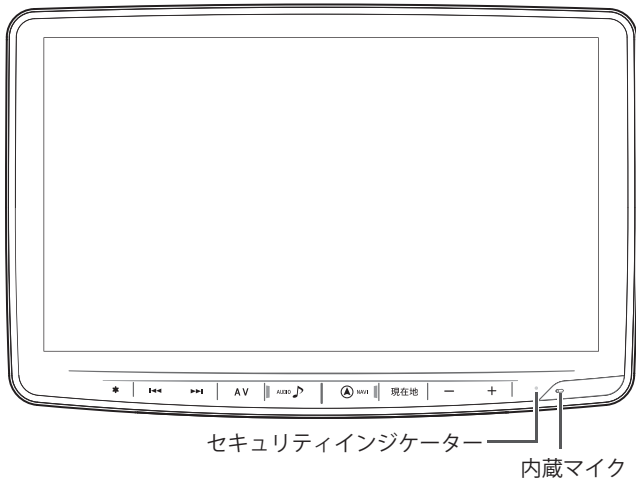


開/閉	ディスプレイを開閉します。 2 秒以上押すと角度調整画面を表示します。 角度調整画面で UP または DOWN をタッチして、見やすい角度（6 段階調整可能）にすることができます。
⏮ ⏭	選局・選曲を行います。 2 秒以上押すと早送り / 早戻しを行います。
AV	現在再生・視聴中の画面に戻ります。 2 秒以上押すとオーディオ・ビジュアルソースの ON と OFF を切りかえます。
AUDIO	AV ソースメニュー画面を表示します。
NAVI	ナビメニュー画面を表示します。 目的地探索時に使用します。
現在地	現在地画面を表示します。ルート案内中に 自転車位置画面で押すと音声案内を行います。 また、地図画面下部の現在地名 / 道路名 表示を切りかえます。
- +	オーディオ・ビジュアルソースの音量を 調整します。
*	オプションキー設定で設定された機能を 呼び出します。 < 初期設定値 > 1 回押し： ボイスタッチワード設定 長押し： 1. ダブルゾーンコミュニケーション、 2. 画面 OFF、 3. ミュート セキュリティ設定を ON にすると、ACC 電源 OFF 時にセキュリティインジケータ ーとして点滅します。

本体スイッチの操作 (XF シリーズ)

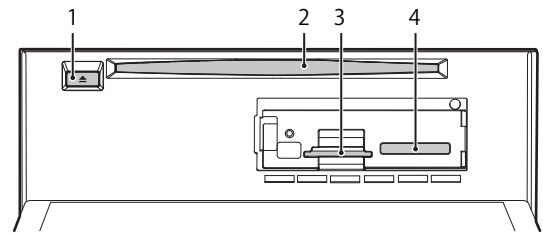
取り付け車種によりスイッチ形状・配列・名称が異なります。下記イラストは実際の製品と異なる場合があります。

■XF11Z シリーズ



*	オプションキー設定で設定された機能を呼び出します。 < 初期設定値 > 1 回押し： ボイスタッチワード設定 長押し： 1. ダブルゾーンコミュニケーション、 2. 画面 OFF、3. ミュート
⏮ ⏭	選局・選曲を行います。 2 秒以上押すと早送り / 早戻しを行います。
AV	現在再生・視聴中の画面に戻ります。 2 秒以上押すとオーディオ・ビジュアルソースの ON と OFF を切りかえます。
AUDIO 🎵	AV ソースメニュー画面を表示します。
📍 NAVI	ナビメニュー画面を表示します。 目的地探索時に使用します。
現在地	現在地画面を表示します。ルート案内中に自車位置画面で押すと音声案内を行います。また、地図画面下部の現在地名 / 道路名表示を切りかえます。
— +	オーディオ・ビジュアルソースの音量を調整します。
セキュリティインジケータ	セキュリティ設定を ON にすると、ACC 電源 OFF 時にセキュリティインジケータとして点滅します。

ディスク / SD カード挿入口



1. ディスクイジェクトスイッチ

ディスクを取り出します。ディスクが取り出せないときは、5 秒以上押すとディスクが押し出されます。

2. ディスク挿入口

3.B-CAS カード挿入口

4.SD カード挿入口

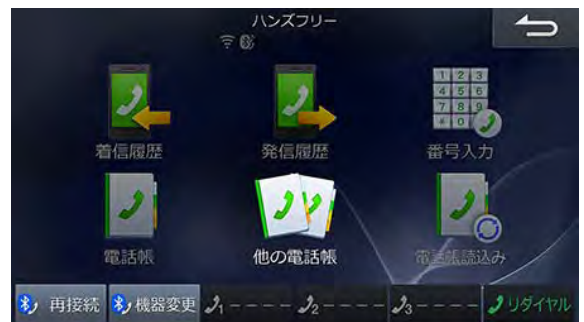
タッチスイッチの操作

本機は画面上のスイッチにタッチして操作を行います。

- ◆ タッチスイッチに軽くタッチしてください。



- ◆ 操作できないスイッチはグレイアウトしています。



- ◆ 選択されている機能のスイッチはオレンジ色になります。



- ◆ 各画面共通タッチスイッチ

⬅️: 前の画面に戻ります。機能によっては、タッチした画面で行った操作がキャンセルされる場合があります。

閉じる: 現在の画面を終了し、元のモード（ナビゲーション、オーディオなど）に戻ります。

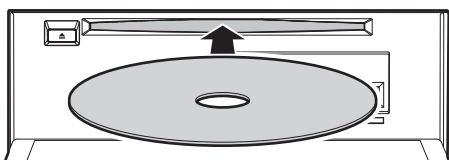
✖️: 設定画面や割り込み画面などに表示され、タッチすると表示された画面を閉じます。

アドバイス

- 画面保護のため、必ず指でタッチしてください。
- ボールペンの先など、先端が硬いものや、とがっているもので操作しないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなったり、故障の原因になります。
- 液晶ディスプレイ画面に保護フィルムを貼り付ける場合には、アルパイン製のフィルムを使用してください。

ディスクの出し入れ(EX/X シリーズ)

- 1 / [開 / 閉] スイッチを押してディスプレイを開きます。
- / [開 / 閉] スイッチを押すとメッセージが表示され、警告音が鳴ってから約 2 秒後にディスプレイが開きます。
- 2 レーベル面を上にして、ディスク挿入口にディスクを挿入します。ディスクが挿入されるとディスプレイが自動的に閉まり、再生が始まります。

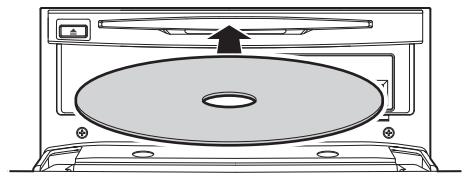


- 途中まで挿入すると、ディスクが自動的に引き込まれます。

- 3 ディスクを取り出すには、 / [開 / 閉] スイッチを押してディスプレイを開き、ディスク挿入口脇の を押します。
- 4 排出されたディスクを取り出します。
- ディスクは必ず取り出してください。
- 5 / [開 / 閉] スイッチを押してディスプレイを閉じます。
- 本体スイッチのどのスイッチを押しても、ディスプレイを閉じることができます。

ディスクの出し入れ(XF シリーズ)

- 1 ディスプレイ上部を持って手前に倒します。
- 2 レーベル面を上にして、ディスク挿入口にディスクを挿入します。

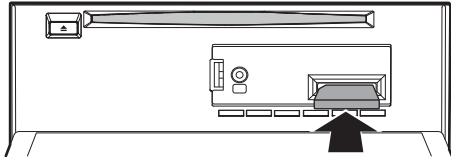


- 途中まで挿入すると、ディスクが自動的に引き込まれます。
- 3 ディスプレイ上部を持ってディスプレイを起こし、好みの角度に調整します。
- 4 ディスクを取り出すには、同様にディスプレイ上部を持って手前に倒し、ディスク挿入口脇の を押します。
- 5 排出されたディスクを取り出してから、ディスプレイ上部を持ってディスプレイを起こします。
- ディスクは必ず取り出してください。

SD カードの出し入れ(EX/X シリーズ)

- 1 / [開 / 閉] スイッチを押してディスプレイを開きます。

-  / [開 / 閉] スイッチを押すとメッセージが表示され、警告音が鳴ってから約 2 秒後にディスプレイが開きます。
- 2 レーベル面を上にして SD カード挿入口に SD カードを挿入し、 / [開 / 閉] スイッチを押してディスプレイを閉じます。



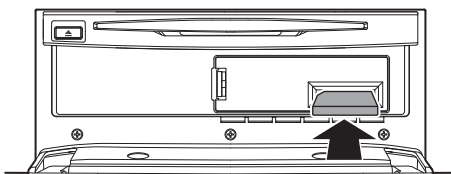
- “カチッ” と音がするまで差し込んでください。
- 3 SD カードを取り出すには、 / [開 / 閉] スイッチを押してディスプレイを開きます。
- 4 挿入されている SD カードを押すと、SD カードが押し出されます。SD カードを取り出します。
- 5  / [開 / 閉] スイッチを押してディスプレイを閉じます。
- 本体スイッチのどのスイッチを押しても、ディスプレイを閉じることができます。

アドバイス

- SD AUDIO 再生中に SD カードを取り出す場合は、「SD メモリーカードへのアクセスを中断しました」のメッセージが表示されてから SD カードを取り出してください。SD カードへのアクセス中に取り出すと、データが破損する場合があります。

SD カードの出し入れ(XF シリーズ)

- 1 ディスプレイ上部を持って手前に倒します。
- 2 レーベル面を上にして SD カード挿入口に SD カードを挿入します。



- “カチッ” と音がするまで差し込んでください。
- 3 ディスプレイ上部を持ってディスプレイを起こし、お好みの角度に調整します。

- 4 SD カードを取り出すには、同様にディスプレイ上部を持って手前に倒します。
- 5 挿入されている SD カードを押すと、SD カードが押し出されます。SD カードを取り出し、ディスプレイ上部を持ってディスプレイを起こします。

アドバイス

- データ保護のため、再生中に SD カードを取り出さないでください。ディスプレイを倒しても SD カードの再生は中断しないため、別の AV ソースに切りかえてから SD カードを取り出してください。

電源の ON/OFF

車のエンジンを ACC または ON にすると、本機の電源も連動して ON になります。電源が入るとオープニング画面と安全のためのご注意画面に続いて、モード画面（地図画面や CD 画面など）が表示され、スイッチ照明が明るく点灯します。

表示されるモード画面は、前回の電源 OFF 時のモード画面を表示します。例えばテレビ画面のときエンジンを OFF にすると、次回はテレビ画面で起動します。

車のエンジンを OFF にすると、本機の電源も OFF になります。

- 本機をアイドリングストップ機能付き車両で使用した場合、アイドリングストップ状態から復帰するとき瞬間的に本体スイッチが暗くなったり、音声途切れる場合があります。

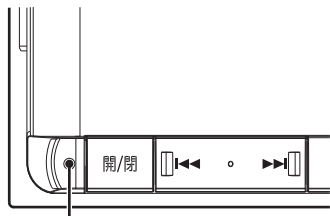
アドバイス

- オープニング画面について
車種専用チューニングで選択した一部の車種に限り、車種専用オープニング動画とオープニングサウンドが適用されます。オープニングサウンドは音量を調整することができます。
⇒「オープニングサウンド音量を調整する」(192 ページ)

リセットする

操作中に停止したままになったり画面が暗くなったままになるなど正常に動作しなくなった場合は、一度エンジンを OFF / ON してください。それでも正常動作しない場合は本機をリセットしてください。

■X9Z/X9ZA/X8Z のみ



リセットスイッチをペン先などで押す

ディスプレイの角度を調整する (EX/X シリーズ)

ディスプレイの角度を 6 段階で調整できます。見やすい角度でお使いください。

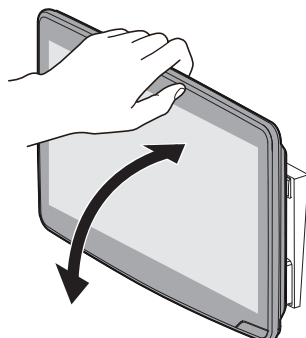
- 1 / [開 / 閉] スイッチを 2 秒以上押します。
- 2 角度調整画面で [UP] または [DOWN] にタッチし、お好みの角度に調整します。



ディスプレイの角度を調整する (XF シリーズ)

ディスプレイの角度調整を手動で行います。

- 1 ディスプレイ上部を持ち、手動で角度を調整します。



アドバイス

- ディスプレイを倒す、または起こす時や角度調整時に画面にタッチしてしまうことでの誤操作を防止することができます。
⇒「ディスプレイの誤操作を防止する」(176 ページ)
- 左右方向の調整はできません。

ナビ + オーディオ 2 画面を表示する

ルート案内画面を表示したまま音楽再生画面を表示するなど、ナビゲーションと AV ソースの 2 つの画面を同時に表示できます。



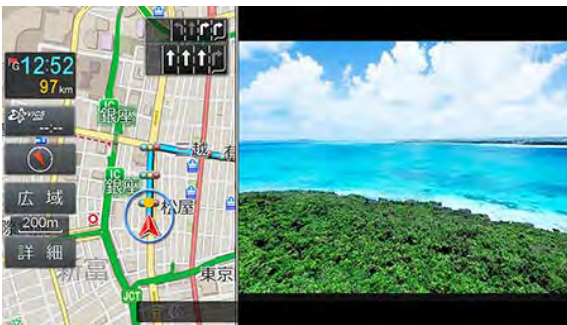
- 1 (または) にタッチすると 2 画面表示します。



- 2 ナビ画面と AV ソース画面を入れかえるには、左右どちらかの画面にタッチしたまま、もう片方の画面までドラッグしてから指を離します。画面が入れかわります。



- 3 1画面表示に切りかえるには、それぞれの表示画面にタッチします。
- ・地図画面：地図画面にタッチします。または「現在地」を押します。
 - ・オーディオ画面：オーディオ画面にタッチします。または「AV」を押します。
 - ・映像ソース画面：映像ソース画面にタッチすると操作スイッチが表示されます。続けてタッチすると映像ソース1画面を表示します。または「AV」を押します。
- 映像ソース画面にタッチし、「画面切換」にタッチすると、映像表示が2画面表示フルモードと2画面表示ワイドモードに切りかわります。
 - ・2画面表示フルモード：2画面表示の映像表示エリアいっぱい映像を表示



- ・2画面表示ワイドモード：2画面表示の映像表示エリアの左右幅を基準として、縦横比を保持したサイズで映像を表示



アドバイス

- 地図画面は、左右どちら側に表示された場合でも、ランドマークなどの地図表示設定の内容は1画面表示の地図と同じです。

リスト画面を操作する

リスト画面の操作は地点検索操作や設定操作などで行います。



1. タブ
タッチするとリスト画面が切りかわります。
2. 選択中の項目のリスト内の順番／リストの総数
3. リストスクロールスイッチ
タッチすると5項目ずつリストを送ります。

文字を入力する

文字の入力は登録操作や場所の検索などで必要になります。使用する機能によって表示される画面や手順が多少異なりますが基本的な入力方法は以下のとおりです。ここでは登録地点の名称を入力する操作を例に説明します。

＜登録地点の名称を入力するとき＞



< 50 音入力で施設などを検索するとき >



1 入力したい文字の種類にタッチします。



- 選択できる文字種は [かな] [カナ] [英数] [記号 1] [記号 2] です。英数字や記号の場合は [半角] を選択できます。
- 拗音 (ょ) や促音 (っ) などを入力するときは [小文字] にタッチします。

2 入力したい文字や記号にタッチします。

- 間違って入力した場合は、 にタッチするとカーソルの左側の文字が削除されます。 にタッチし続けると、入力したすべての文字が削除されます。カーソルを移動するには   にタッチすると移動します。

3 漢字に変換する場合は [変換] にタッチし、目的の漢字を表示させます。

- 別の漢字に変換するには、もう一度 [変換] にタッチします。
- 1 つ前の漢字に戻すには、[前変換] にタッチします。
- 変換前の状態に戻すには、 にタッチします。
- 文節区切りを変更するには、  にタッチします。

4 [確定] にタッチすると、変換した漢字が確定します。文字入力が完了したら [完了] にタッチします。

アドバイス

- グレーアウトしているスイッチは操作できません。

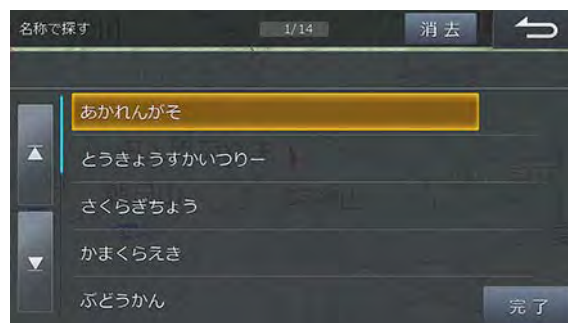
検索履歴を使用する

目的地検索時、「名称」「住所名称」の文字入力画面で、以前入力した文字列を利用できます。

1 文字入力画面で [検索履歴] にタッチします。



2 リストの希望の名称にタッチして [完了] にタッチすると、選んだ文字列が入力されている状態で文字入力画面に戻ります。



アドバイス

- 履歴は 20 件を超えた場合は古いものから順に削除されます。
- 選択した検索履歴を消去するには [消去] にタッチします。すべての検索履歴を消去するには [消去] にタッチし続けます。

数字を入力する

- 1 数字入力画面で入力したい数字にタッチします。



- 2 [完了] にタッチすると数字入力を完了します。

- 間違って入力した場合は、 にタッチするとカーソルの左側の数字が削除されます。 にタッチし続けると、入力したすべての数字が削除されます。

一時的に時計表示を消す

テレビや DVD などの映像ソース画面または地図画面で時計表示を一時的に ON / OFF できます。

- 1 時計表示部分にタッチします。時計表示が一時的に OFF になります。



- 2 再度タッチすると、時計表示が ON になります。

アドバイス

- 映像ソース画面に時計を表示しないように設定することもできます。
⇒「映像ソースに時計を表示する」(176 ページ)

- 地図画面の時計表示を ON/OFF させるかどうかを設定することもできます。
⇒「地図画面の時計表示を ON/OFF する」(177 ページ)
- 時計表示 ON 設定時は、一時的に時計表示を消していた場合でも、エンジンキーを OFF/ON すると時計表示は ON になります。

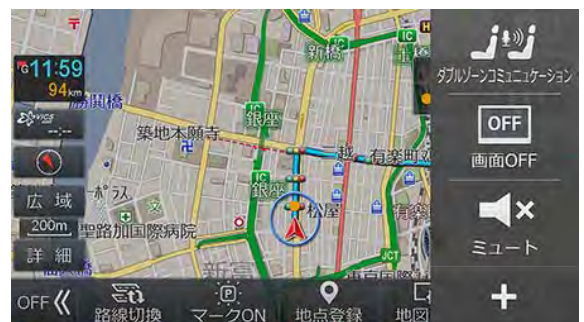
オプションキーを操作する

[*] (オプションキー) に機能を割り当てて、簡単に呼び出すことができます。

1 回押しに登録された機能はワンタッチ操作で呼び出すことができます。長押しすると、登録された3つの機能の中から選択して呼び出すことができます。

- 機能を割り当てる操作は、下記項目を参照してください。
⇒「オプションキーに機能を登録する」(24 ページ)

- 1 [*] (オプションキー) を押すと、1 回押しに割り当てた機能が呼び出されます。または [*] (オプションキー) を 1 秒以上押し、表示された3つの機能の中から希望の機能にタッチします。選んだ機能が呼び出されます。



- 1 回押しの初期値は「ボイスタッチワード設定」です。ボイスタッチで使用するワードをそれぞれ ON/OFF することができます。
⇒「ボイスタッチについて」(24 ページ)
- 長押しの初期設定値は「1. 画面 OFF」「2. ミュート」「3. VICS 割込み情報」です。ただし、フロントカメラ、サイドカメラ、インターフェースボックス、エネルギーモニターが接続設定されているときは、自動的にオプションキーの長押し機能に登録されます。

オプションキーに機能を登録する

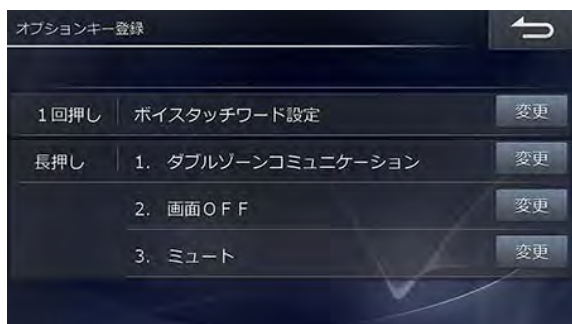
オプションキーに機能を割り当てます。1 回押しに 1 つ、長押しに 3 つの合計 4 つの機能を登録することができます（初期設定値は 1 回押し：「ボイスタッチワード設定」、長押し「1. ダブルゾーンコミュニケーション」「2. 画面 OFF」「3.. ミュート」）。

- 設定画面で機能を登録することもできます。
⇒「オプションキーに機能を設定する」（181 ページ）

1 [*]（オプションキー）を 1 秒以上押し、[+] にタッチします。



2 オプションキー登録画面で、変更したい機能の「変更」にタッチします。



3 リストから希望の機能にタッチし、[完了] にタッチします。選択した機能が登録されます。



設定値：ダブルゾーンコミュニケーション／VICS 割り込み情報／ミュート／画面 OFF／サイドカメラ／コーナーカメラ／フロントカメラ／インターフェースボックス AUX IN／エネルギーモニター／TV をみる／自宅に帰る（地図画面のみ操作可能）／後席個別 ON/OFF／ダブルゾーンメニュー／ボイスタッチワード設定

- カメラダイレクトキー設定を「あり」に設定した場合、フロントカメラ、コーナーカメラ、サイドカメラは選択リストに表示されません。
- サイドカメラ／コーナーカメラ／フロントカメラ／インターフェースボックス／エネルギーモニターが未接続または、接続なしに設定されている場合は、選択リストに表示されません。

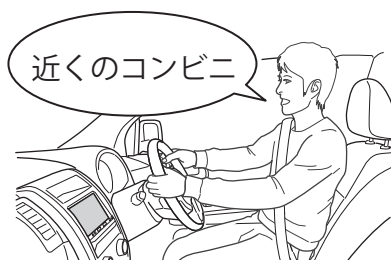
アドバイス

- フロントカメラ、サイドカメラ、インターフェースボックス、エネルギーモニターが接続設定されているときは、自動的にオプションキーの長押し機能に登録されます。

ボイスタッチについて

本機は限定音声認識機能であるボイスタッチを使用することができます。ボイスタッチワードを本機が認識すると、定められた操作が自動で実行されます。発声するだけで認識するため、スイッチ操作などを行う必要はありません。

＜操作例：近くのコンビニを探す＞
地図画面表示中に発声



▼ 本機が音声を認識



＜ボイスタッチワードと本機の動作＞

- ◆ 「フロントカメラ」
フロントカメラ映像画面表示（走行速度が 60km/h 未満のときのみ）
- ◆ 「サイドカメラ」
サイドカメラ映像画面表示（走行速度が 60km/h 未満のときのみ）
- ◆ 「コーナークメラ」
コーナークメラ映像画面表示（走行速度が 60km/h 未満のときのみ）
- ◆ 「地図表示」
地図画面表示
- ◆ 「オーディオ表示」
オーディオメイン画面表示
- ◆ 「ルート案内」
ルート案内中に音声案内を行う
- ◆ 「自宅に帰る」
地図画面表示時、自宅に帰るルートを検索する
- ◆ 「広域表示」
地図画面表示時、地図を縮小して広域地図を表示
- ◆ 「詳細表示」
地図画面表示時、地図を拡大して詳細地図を表示
- ◆ 「ダブルゾーン」
ダブルゾーンメニュー画面表示
- ◆ 「近くのコンビニ」
現在地画面表示時、現在地周辺（ルート案内中はルート周辺）のコンビニリスト画面表示
・走行中は表示されたリストを操作することはできません。
- ◆ 「近くのガソリンスタンド」
現在地画面表示時、現在地周辺（ルート案内中はルート周辺）のガソリンスタンドリスト画面表示
・走行中は表示されたリストを操作することはできません。

ボイスタッチで使用するワードをそれぞれ ON/OFF することができます。ここでは [*]（オプションキー）の 1 回押しにボイスタッチワード設定（初期設定値）が登録されている場合の操作を説明します。

- 1 [*]（オプションキー）を押します。

- 2 ボイスタッチワード設定画面のボイスタッチワードにタッチし、ON/OFF を切りかえます。



- ボイスタッチワードが OFF の場合は、グレイアウトします。
- ボイスタッチワード全てを OFF にする場合は [全てしない] にタッチし、[全てする] にタッチするとボイスタッチワード全てが ON になります。

アドバイス

- フロントカメラ／サイドカメラ／コーナークメラは未接続および接続なしに設定されているときは、カメラ映像画面を表示することはできません。
- リアカメラ接続時、シフトレバーがバックギア（R）に入っているときはフロントカメラ映像を表示することはできません。
- リアカメラ接続時、シフトレバーがバックギア（R）に入っているときは、「サイドカメラ」「コーナークメラ」と発話するたびにサイドカメラ／コーナークメラ映像画面とリアカメラ映像画面を切りかえます。
- ハンズフリー通話中、ダブルゾーンコミュニケーション中、本機データ更新中はボイスタッチ機能を使用することはできません。
- ボイスタッチ機能を OFF にすることができます。
⇒「ボイスタッチ機能を ON/OFF する」（177 ページ）
- ボイスタッチワードの ON/OFF はその他設定から行うことができます。
⇒「ボイスタッチワードを設定する」（177 ページ）
- ボイスタッチ機能の認識率が悪い、または誤検出が多い場合は、ボイスタッチチューニングで調整することができます。
⇒「ボイスタッチワードの認識率を設定する」（177 ページ）

ステアリングリモコンに本機機能を割り当てて操作する

お車がステアリングリモコン対象車種の場合、ステアリングリモコンに本機の機能を割り当てることができます。たとえば、あらかじめカメラ表示機能を割り当てておくことで、ステアリングリモコン操作でハンドルから手を離すことなくカメラ映像を表示させることができます。

- ステアリングリモコンで本機機能を使用する場合は、ステアリングリモコン設定を「設定する」にし、機能の割り当てを行ってください。
⇒「ステアリングリモコンを使用する」(166 ページ)
⇒「ステアリングリモコンに本機機能を割り当てる」(167 ページ)

- 1 ステアリングリモコンの MODE キーを 1 秒以上押す。
- ステアリングリモコンカスタムモードになり、カスタムインジケータが点灯します。
⇒「インジケータ表示について」(26 ページ)



- 2 機能を割り当てたステアリングリモコンのキーを押す。
- ステアリングカスタムモードでは、長押し操作を行うことはできません。
- 3 ステアリングリモコンカスタムモードを解除するには、ステアリングリモコンの MODE キーを押す。

アドバイス

- クイックセットアップで車種が設定されていない場合、設定された車種にステアリングリモコン設定がない場合、また「ステアリングリモコン」設定を「設定しない」に設定している場合は本機能を使用することはできません。

インジケータ表示について

画面に、インジケータでさまざまな情報が表示されます。



1.Wi-Fi 電界強度インジケータ

📶: 未接続時。接続試行時は点滅します
📶 (レベル 1) ~ 📶 (レベル 4): 接続時。電界強度をレベル 1 ~ 4 で表示します。通信試行時は点滅します。

2.BLUETOOTH インジケータ

灰色は未接続、灰色点滅は接続試行時、青色は接続時、青色点滅は通信試行時です。
📶: ハンズフリー通話用携帯電話登録時
📶: BLUETOOTH オーディオ機器登録時
📶: 携帯電話とオーディオ機器どちらも登録してある場合

3.BLUETOOTH 電界強度インジケータ

📶: 圏外
📶 (レベル 0) ~ 📶 (レベル 3): 電界強度をレベル 0 ~ 3 で表示します。

4.ETC / ETC2.0 インジケータ

ETC 車載器接続時は ETC インジケータ、ETC2.0 車載器接続時は ETC2.0 インジケータが表示されます。使用状態で色が異なります。

ETC (ライトグレー): ETC 車載器 / ETC カード使用可
ETC (ダークグレー): ETC 車載器 / ETC カード使用不可
ETC2.0 (紫): ETC2.0 車載器 / ETC カード使用可
ETC2.0 (ライトグレー): ETC2.0 車載器使用可・ETC カード使用不可
ETC2.0 (ダークグレー): ETC2.0 車載器使用不可

5.カスタムインジケータ

ステアリングリモコンカスタムモード時に点灯します。

6.プラズマクラスターインジケータ

🌬️切 🌬️弱 🌬️強 🌬️ターボ
プラズマクラスター対応リアビジョン接続時、設定した風量がインジケータに表示されます。

⇒「プラスマクラスター設定を切りかえる」(228 ページ)



7

7. 進捗バー

SD カードへの録音時 (REC)、データダウンロード中、データインストール中に進捗バーが表示されます。データダウンロード中は状態に応じて、ダウンロード休止／ダウンロード完了に表示が変化します。



8

8. BLUETOOTH 機器バッテリーレベル

■ (レベル 0) ~ ■ (レベル 3) : バッテリー残量をレベル 0 ~ 3 で表示します

🔋 : 充電中 (BT AUDIO 画面のみ表示)

画面表示を消す

画面表示を一時的に消すことができます。画面表示 OFF 機能はオプションキーを使って操作します。ここではオプションキーの初期設定値である、「長押しに画面表示 OFF 機能が登録されている状態」での操作を説明します。1 回押しに画面表示機能を登録することもできます。

- オプションキーに機能を登録する方法は、下記項目を参照してください。
⇒「オプションキーに機能を登録する」(24 ページ)

- 1 [*] (オプションキー) を 1 秒以上押し、[画面 OFF] にタッチすると、画面表示が一時的に OFF になります。



- 2 画面にタッチすると、再度画面が表示されます。

ダブルゾーンコミュニケーション

後部座席では聞こえにくい運転手の声を、本機内蔵マイクを利用してリアスピーカーから出力することができます。運転中でも、後ろを振り返ることなく会話がしやすくなります。会話をするときのみ、ダブルゾーンコミュニケーションモードに切りかえてください。ダブルゾーンコミュニケーションは、オプションキーを操作してモードを切りかえます。ここではオプションキーの一回押しに「ダブルゾーンコミュニケーション」を登録した場合の操作を説明します。

- ◆ オプションキーへの機能登録方法は下記項目を参照してください。
⇒「オプションキーに機能を登録する」(24 ページ)
- ◆ 別売のルームカメラを接続すれば、後部座席の映像を見ながら会話することができます。
⇒「インターフェースボックスにルームカメラを接続する」(172 ページ)
⇒「汎用カメラを接続する」(172 ページ)
- ◆ リアビジョン (別売) およびドライブレコーダー (別売) を本機と接続すれば、リアビジョン側に前席の映像を表示しながら会話することができます。
⇒「外部機器 (ドライブレコーダーやゲームなど) をつないで使う」(147 ページ)

- 1 [*] (オプションキー) を押します。ダブルゾーンコミュニケーションモードになります。



- ルームカメラ接続時は、後部座席の映像が画面に表示されます。



- 2** 会話中の音声音量を調整するには画面にタッチし、「送話音量」の◀または▶にタッチします。
設定値：1～7（初期設定値は「5」）
- 3** 会話中の AV ソース音量のミュートレベルを調整するには画面にタッチし、「AV 音量ミュート」の◀または▶にタッチします。
設定値：しない／弱／中／強（初期設定値は「弱」）
- ミュートレベルを「強」に設定すると AV ソース音量は小さく出力され、「弱」に設定すると大きく出力されます。「しない」に設定すると AV ソース音量をミュートしません。
 - ダブルゾーンコミュニケーション中は「+」または「-」スイッチを押してオーディオ音量を調整することはできません。またミュート操作を行うことはできません。
- 4** 会話が終了したら「*」（オプションキー）を押してダブルゾーンコミュニケーションを終了します。または「終了」にタッチします。
- ダブルゾーンコミュニケーション中に他の画面に切りかえた場合、👤にタッチするとダブルゾーンコミュニケーション画面に戻ります。

アドバイス

- 音量はお好みで設定してください。
- お車の状況によっては、ハウリングが発生する場合があります。ハウリングが発生しやすい場合は、「送話音量」を小さくしてください。
- 車種によっては、スピーカーの位置が後席に座っている人から遠いため、前席の発話音声聴き取りにくい場合があります。
- ダブルゾーンコミュニケーション中は、音質調整操作を行うことはできません。

ナビゲーション

現在地画面の見かた

現在地画面は、自車位置とその周辺を示した地図です。
[現在地] スイッチを押すと現在地画面が表示されます。



1.VICS タイムスタンプ

VICS レベル 3 情報が提供された時刻を表示します。大雨や大雪、大津波などの特別警報情報を受信した場合は特別警報アイコンを表示します。

2. 方位マーク

地図の向き（方位）を表示します。ヘディングアップ・3D マップ表示時は、先端が北の方向です。タッチするたびに地図の向きが切りかわります。

⇒「方位を切りかえる」(35 ページ)

3. スケール表示

表示している地図の縮尺が表示され、の長さがこの場合は 200m を示しています。

⇒「スケールバーを操作して縮尺を切りかえる」(34 ページ)

4. 情報表示

操作スイッチがナビモードのときは路線名または現在地名、AV ソースモードのときは現在のソースのソース名、タイトル名などの情報を表示します。

5. ナビ／AV ソース操作スイッチ

ナビゲーションまたは現在の AV ソースを操作することができます。

⇒「操作スイッチのモードを切りかえる」(31 ページ)

6. インジケーター

⇒「インジケーター表示について」(26 ページ)

7. 自車位置マーク

ルート案内画面の見かた



1. 到着情報表示

目的地案内中、目的地・経由地までの残距離や到着予想時刻を表示します。

⇒「到着情報表示の見かた」(59 ページ)

2. 案内ポイント

交差点案内が表示される交差点に表示されます。レーン情報がある直進の交差点では●を、右左折の交差点では○を表示します。

3. ルート表示

目的地までのルートを青色で表示します。

4. レーン（車線）表示

レーン情報のある交差点の手前では、走行する交差点までの距離とレーン図を表示します。

⇒「レーン（車線）ガイドの見かた」(59 ページ)

5.VICS タイムスタンプ

VICS 情報がある場合、タッチすると高速道路上の JCT（ジャンクション）や IC（インターチェンジ）の混雑状況がわかる高速渋滞情報画面を表示します。



⇒「高速渋滞情報画面を表示する」(60 ページ)

6. 警告アイコン

踏切、合流地点、事故多発地点ではアイコンを表示します。アイコンについては下記項目を参照してください。
⇒「音声案内について」(61 ページ)

7. 直線誘導線

現在地から見た目的地の方向を直線で示します。
⇒「誘導方向を表示する」(153 ページ)

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、帰宅ルートを探すときに便利です。通常はクイックセットアップで設定されますが、自宅を登録し直すときに本操作を行うと上書き登録されます。自宅駐車場に車を停めて、自車位置をタッチして登録すると簡単です。

- 帰宅ルートを探す操作は、下記項目を参照してください。
⇒「自宅へ帰る」(40 ページ)

1 地図の自宅地点にタッチします。



- 現在地を自宅として登録する場合は、[現在地] スイッチを押して現在地の地図を表示してからタッチします。

2 [登録] にタッチし、[特別地点] にタッチします。



- ### 3
- [自宅] にタッチすると自宅が登録され、自宅情報画面が表示されます。表示された地点情報を確認し、必要に応じて変更します。



- 「地点情報を確認・変更する」を参照してください。
- すでに自宅が登録されている場合は、変更を確認するメッセージが表示されます。[はい] にタッチしてください。

アドバイス

- 手順1で電話番号や住所から検索して自宅地点を登録することもできます。
⇒「住所から探す」(40 ページ)
⇒「電話番号から探す」(40 ページ)

ルートを引いてナビゲーションを使う

ナビ案内を利用するには、目的地地点を探す→今いる場所からのルートを引く→ルートを確認する、の手順を踏みます。

目的地はさまざまな方法で探すことができますが、施設名称を使った検索を例に説明します。

- ### 1
-  NAVI / [MENU] スイッチを押して、ナビメニュー画面を表示します。

- ### 2
- [名称] にタッチします。



3 名称の読みを入力し、[完了] にタッチします。

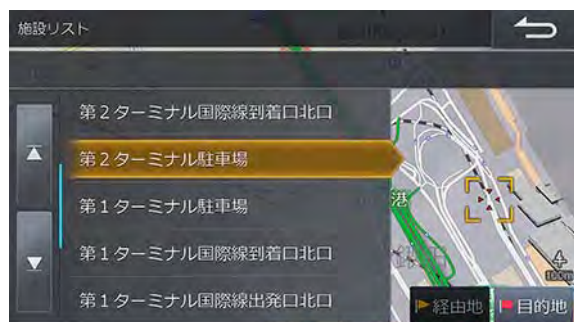


- 詳細は下記項目を参照してください。
⇒「名称で施設を探す」(41 ページ)

4 検索した目的地の地図が表示されたら [目的地] にタッチします。ナビゲーションが自動的にルート探索を行います。



- 候補地が複数ある場合は、リストから選択します。



- コンビニ、ファーストフードでは下記情報アイコン(「酒」「たばこ」「ATM」「24H」「ドライブスルー」)が画面右側の地図上に表示されます。

コンビニ	酒	たばこ	ATM	24H
ファーストフード	ドライブスルー			

5 ルート探索終了後、ルート探索結果画面が表示されます。ルートを確認後、[案内開始] にタッチするとルート案内が開始されます。または走行すると、選択されているルートで案内が開始されます。



アドバイス

- 検索方法は「目的地を検索する」を参照してください。
- 最初に表示された以外のルートを選択したり、推奨ルートと有料道路優先推奨ルートを切りかえることができます。
⇒「ルートを選択する (6 ルート)」(53 ページ)

操作スイッチのモードを切りかえる

切換スイッチにタッチするたびに操作スイッチ内容も変わります。操作スイッチ表示を OFF にすることもできます。

◆ ナビ操作モード 1



1. タッチすると AV 操作モードに切りかわります。

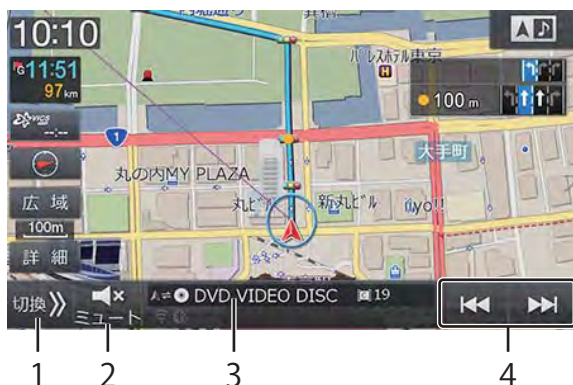
2. 自宅までのルートを引き、ルート検索結果画面を表示します。自宅が登録されていない場合は、自宅登録画面が表示されます。

3. 路線名／現在地名を表示します。タッチすると AV ソース操作モードに切りかわります。[現在地] スイッチを押すと路線名／地名表示を切りかえることができます。

4. 現在地周辺の、「お気に入り」に登録している施設を検索することができます。ルート案内中は「ルート周辺」「目的地周辺」の施設を検索することもできます。

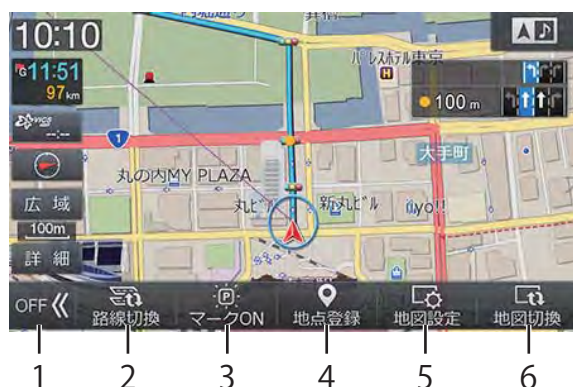
5. ルートの確認・編集を行うことができます。

◆ AV 操作モード



1. タッチするとナビ操作モード 2 に切りかわります。
2. タッチすると瞬時に音量が下がります。ミュート中は音量表示インジケータが点滅します。
3. タイトル／ソース名称、チャプター番号／曲番号／受信チャンネル／受信周波数が表示されます。タッチするとナビ操作モード 1 に切りかえます。
4. 選局／選曲操作を行います。音楽ソースによっては表示されません。

◆ ナビ操作モード 2



1. タッチすると操作スイッチ表示が OFF になります。
2. ルート案内中、自車位置を修正します。自車位置が高速道路にある時は並走する一般道路、一般道路にある時は並走する高速道路に自車位置を切りかえます。

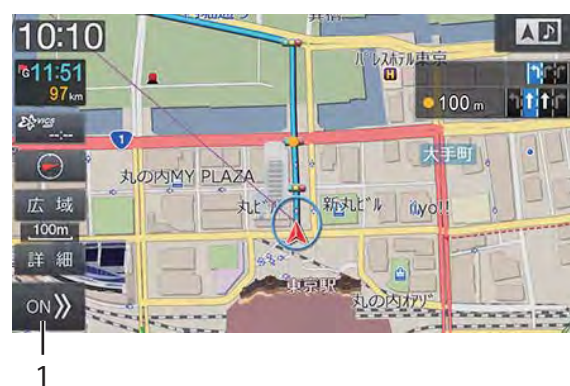
3. 地図上のランドマーク表示／非表示をワンタッチで切りかえることができます。ランドマークで地図が見つらいときはマーク表示を OFF にしてください。ランドマーク表示時は [マーク OFF]、ランドマーク非表示時は [マーク ON] と表示されます。

4. タッチすると現在の地点を地点登録します。

5. 地図設定画面が表示されます。

6. 地図の表示方法切換画面が表示されます。1 画面、2 画面、行程ガイドを選択できます。

◆ 操作スイッチ OFF モード



1. タッチするとナビ操作モード 1 に切りかわります。

ナビメニュー画面を表示する

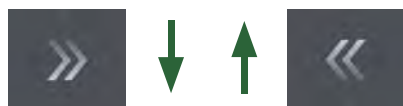
目的地の検索や設定など、ナビゲーションに関するさまざまな操作をナビメニュー画面から行うことができます。

1.  NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示します。



2. [検索] [履歴] [登録地点] にタッチすると、それぞれのメニュー画面が表示されます。

◆ 検索



◆ 履歴



◆ 登録地点



ナビメニュー画面のアイコン配置を変更する

ナビメニュー画面に表示するアイコンの並べ方を変更することができます。よく使うアイコンを1ページ目にまとめて配置するなど、より使いやすい操作画面へのカスタマイズが可能です。
ここでは例として、「住所」と「ジャンル」の表示位置を入れかえます。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[配置変更] にタッチします。



- 2 [住所] にタッチして選択します。



- 3 [>>] にタッチしてページを切りかえ、[ジャンル] にタッチすると、アイコンの位置が入れかわります。



- 続けてアイコンの配置を変えるには手順2～3を繰り返します。

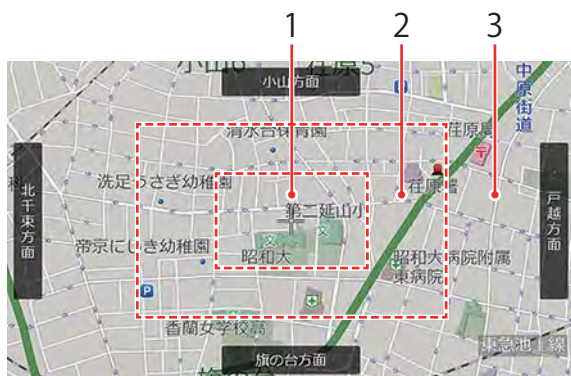
- 4 配置変更が完了したら [完了] にタッチします。

アドバイス

- ナビメニューカスタマイズ画面で「初期配置」にタッチすると、配置変更前の画面に戻ります。

タッチ操作で地図をスクロールする

地図画面のタッチスイッチ以外の位置にタッチすると、タッチした位置を中心として地図がスクロールします。画面にタッチし続けると、その方向に一気にスクロールします。手を離すとスクロールが止まります。また、タッチし続けるエリアによってスクロールする速さがかわります。



1. エリア 1

ゆっくりスクロールします。

2. エリア 2

スクロールの速度が 3 段階あり、タッチし続けると速くスクロールします。

3. エリア 3

速くスクロールします。

アドバイス

- 走行中は安全のため、連続スクロールはできません。
- 現在地の地図に戻すには「現在地」スイッチを押します。

フリック操作／ドラッグ操作で地図をスクロールする

フリック操作／ドラッグ操作で地図をスクロールします。

- ◆ フリック操作での地図の動かし方
画面を指で軽くはらう（フリックする）ように動かすと、地図画面がフリックした方向に移動します。



- ・ 指をはらう（フリックする）速度に応じて地図画面が移動します。

- ◆ ドラッグ操作での地図の動かし方
画面を指でタッチしたままなぞる（ドラッグする）ように動かすと、地図画面が指の動きに合わせて移動します。



スケールバーを操作して縮尺を切りかえる

地図を拡大したり、縮小することができます。広範囲の地図を見たいときは縮小し、詳しく見たいときは拡大します。画面にはスケールが表示され、例えば 500m スケール図では、スケールバーの長さが実際には 500m であることを示しています。縮尺によって地図に示される情報の種類が異なり、例えばランドマークは地図のスケールが 200m 以下の詳細な地図で表示されます。

- 1 「広域」または「詳細」にタッチすると、スケールバーが表示されます。



- 2 スケールバーの任意の場所にタッチするか、「広域」または「詳細」にタッチすると、地図のスケールが切りかわります。

アドバイス

- 「広域」または「詳細」にタッチし続けると無段階で縮尺を切りかえます。
- 何も操作しなければ、約 6 秒後にスケールバーが消えて通常表示に戻ります。すぐにスケールバーを消すには、 にタッチするか「現在地」スイッチを押します。

ピンチイン／ピンチアウト操作で縮尺を切りかえる

ピンチイン／ピンチアウト操作で地図のスケールを変更することができます。

- ◆ **ピンチイン**
広域地図を表示します。2本の指で画面にタッチしたまま、指を近づけます。



- ◆ **ピンチアウト**
詳細地図を表示します。2本の指で画面にタッチしたまま、指を広げます。



アドバイス

- 右画面に表示される細街路表示地図ではピンチイン／ピンチアウト操作を行うことはできません。

市街地図について

市街地図が収録されている都市では、「50m」「25m」「10m」スケール図にすると市街地図を表示し、さらに詳細な道路、建物形状、建物名称などを表示します。都市部の住宅密集地域などでも迷うことなく目的地まで正確に案内できます。



アドバイス

- 市街地図を表示しているときに時速 80Km/h 以上で走行すると、100m スケールの地図に切りかわります。そのまま縮尺を切りかえないで時速 60Km/h 以下の走行になると、再び市街地図表示に戻ります。3D 市街地図表示時も同様に走行速度で地図が切りかわりますが、この時、市街地図表示と一緒に 3D 表示も解除されます。

方位を切りかえる

常に北方向を上にして表示する地図（ノースアップ）と、進む方向を上にして固定した地図（ヘディングアップ）があります。また、立体的な地図（3D マップ）に切りかえることもできます。

- 1 方位マークにタッチするたびに、地図の向き（方位）が切りかわります。



◆ ノースアップ

北方向が画面の上になる地図です。



◆ ヘディングアップ

進行方向が画面の上になる地図です。



◆ 3D マップ

ヘディングアップの状態です立体的な地図（3D マップ）を表示します。



3D マップの角度を変更する

立体的な地図（3D マップ）を表示しているときの視点の角度をかえることができます。

- 1 現在地画面で「地図設定」にタッチします。



- 「地図設定」が表示されていないときは、**切替** または **ON** にタッチして表示させてください。

- 2 「3D 角度調整」にタッチします。



- 3 **傾斜** または **傾斜** にタッチして角度を調整し、調整が完了したら **戻る** にタッチします。



地図表示方法を変更する(地図切換)

地図表示の仕方を、1 画面、2 画面、行程ガイド表示から選択できます。

アドバイス

- 3D マップの角度をかえることができます。
⇒ 「3D マップの角度を変更する」(36 ページ)

- 1 現在地画面で「地図切換」にタッチします。



- 「地図切換」が表示されていないときは、「切換」または「ON」にタッチして表示させてください。

- 2 [1画面] [2画面] [行程ガイド] のいずれかにタッチすると、選んだ地図表示に切りかわります。



- 3 地図切換画面を消すには、再度「地図切換」にタッチします。または地図画面にタッチするか、「現在地」スイッチを押します。

◆ 1画面表示



◆ 2画面表示

画面を左右に分割します。左右の画面に別の縮尺や方位を指定できるため、縮尺を変更して詳細スケールと広域スケールの2画面を表示させたり、3D市街地図とノースアップ地図とを組み合わせたりできます。



◆ 行程ガイド表示

目的地案内中に、走行中のルート上の簡易行程図を表示します。行程ガイド画面では、交差点や高速道路のインターチェンジ・SA / PAなどが現在地に近いほうから表示されます。



アドバイス

- 2画面表示のときに左右の自車位置が若干ずれることがあります。これは左右別々に描画しているためで故障ではありません。
- 2画面表示のとき左右両画面で同時に3Dマップを表示することはできません。
- 高速・有料道路モード地図は2画面表示の左画面にのみ表示されます。
- 行程ガイドについて詳しくは下記項目を参照してください。
⇒「行程ガイド画面について」(37ページ)

行程ガイド画面について

ルート案内中、2画面表示の右側に簡易行程図を表示します。



1.VICS 情報

VICS 規制マークを表示します。また、渋滞・混雑情報を色別表示します。

⇒「VICS について」(76 ページ)

2. 地点マーク

交差点やインターチェンジ、SA / PA などを識別するためのマークが表示されます。

現在地	
目的地	
経由地	
高速道路入り口	
高速道路降り口	
料金所	
インターチェンジ (IC)	
サービスエリア (SA)	
パーキングエリア (PA)	
ジャンクション (JCT)	
案内交差点	
フェリー乗り場	

3. 地点名称

4. 所要予測時間と現在地からの距離

5. レーン（車線）ガイド表示

6. スクロールスイッチ

▲ にタッチすると先の行程を表示し、▼ にタッチすると手前の行程を表示できます。タッチし続けると連続でスクロールします。[現在地] スイッチを押すと行程ガイドが現在地の位置に戻ります。



7.SA / PA インフォメーションスイッチ

タッチすると詳細情報が表示されます。✕ にタッチすると詳細情報表示を終了します。

8.SA / PA 施設マーク

SA / PA 内の施設がマークで表示されます。

	ガソリンスタンド		宿泊施設
	温泉施設		ポスト
	FAX		レストラン
	お風呂		休憩所
	コインシャワー		身障者施設
	コインランドリー		ベビーベッド
	コイン洗車		宝くじ
	コーヒー・軽食		名産 (ショッピングセンター)
	ドラッグ		キャッシュコーナー
	ハイウェイ情報ターミナル・インフォメーション		トイレ
			公衆電話

- ガソリンスタンドはブランド別のアイコンになります。

アドバイス

- 行程ガイド画面で「高速渋滞」にタッチすると、高速渋滞モードに切りかわります。高速渋滞モードで「行程」にタッチすると、行程ガイド画面に戻ります。
- 案内ルートを外れたり、目的地へ到着すると、2 画面表示に切りかわります。ただし、地図切換モードは行程ガイドのままです。

- 「自動ハイウェイモード」が「する」設定時には、高速道路を走行すると自動的に行程ガイド表示に切りかわります。
⇒「ハイウェイモードを自動表示する」(155 ページ)

ランドマークの情報を見る

地図上のランドマークにタッチすると、施設の名称などの情報が表示されます。

- 1 地図上のランドマークにタッチすると、施設の名称が表示されます。



- 2 さらに詳しく知りたい場合は「情報」にタッチすると、詳細情報が表示されます。



- ランドマークが隣接している場合は「次へ」にタッチしてランドマークを切りかえます。

- 3 ✕ にタッチすると詳細情報画面を閉じます。

アドバイス

- ランドマークによっては、詳細情報がない場合があります。
- ランドマークの表示について設定することができません。
⇒「ランドマークを表示する」(148 ページ)
⇒「ランドマーク表示ジャンルを設定する」(148 ページ)

建物情報を見る

市街地図を表示しているときは、建物のフロア案内などを見ることができます。

⇒「市街地図について」(35 ページ)

- 1 市街地図画面で建物のランドマークにタッチします。
- 2 「建物情報」にタッチすると、建物のフロア案内が表示されます。



- 3 フロアの施設名称にタッチし、「情報」にタッチすると詳細情報が表示されます。



アドバイス

- 建物によってはフロア案内が表示されない場合があります。その場合は、建物（施設）名称のみが表示されます。
- 詳細情報画面の操作は、下記項目を参照してください。
⇒「施設の詳細情報画面の操作」(49 ページ)

自宅へ帰る

自宅が登録されていれば、簡単な操作で自宅を目的地に設定できます。

- 1 **NAVI** / **[MENU]** スイッチを押してナビメ
ニュー画面を表示します。
- 2 **[自宅]** にタッチすると、自動的に現在地から自宅ま
でのルートを探索して設定します。



- 3 **[案内開始]** にタッチします。または走行を開始しま
す。

アドバイス

- 自宅が登録されていない場合は、自宅設定画面にな
ります。自宅の位置にカーソルを合わせ**[登録]**に
タッチしてください。その他の方法で自宅を登録し
たい場合は、下記項目を参照してください。
⇒「自宅を登録する」(30 ページ)

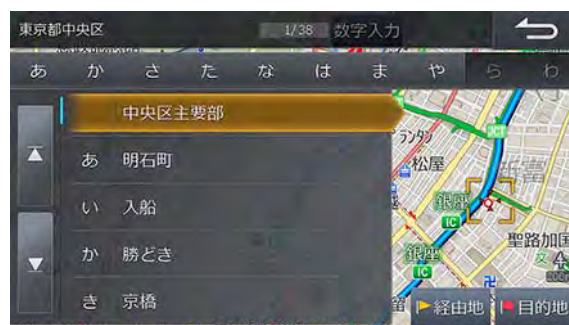
住所から探す

都道府県名から順に住所を絞り込んで地点を探すことが
できます。

- 1 **NAVI** / **[MENU]** スイッチを押してナビメ
ニュー画面を表示し、**[住所]** にタッチします。
- 2 地方名タブにタッチし、都道府県名にタッチします。



- 3 50 音タブにタッチし、市区町村名にタッチします。



- 4 町名、丁目、番地などを順に指定します。

- **[数字入力]** にタッチすると、番地を直接入力できま
す。丁目、番地の間には「-」(ハイフン)を入力し
ます。入力が終わったら**[完了]**にタッチします。
[リスト] にタッチすると、入力した番地のリスト画
面を表示します。



- 5 番地を選択してタッチします。
 - 6 選択中の番地にタッチするか、画面右側の地図に
タッチすると、検索した住所の地図が表示されます。
- 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあっ
たスイッチにタッチしてください。

アドバイス

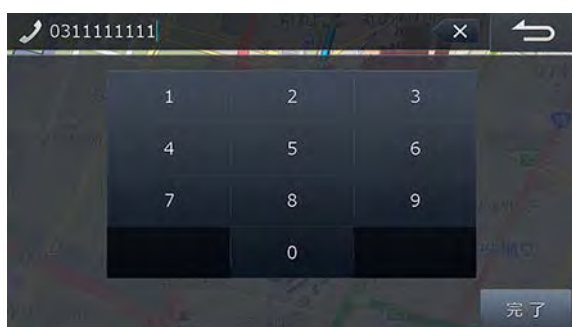
- 住所リスト表示時に、画面右側地図上の**[目的地]**
[経由地] にタッチすると、選択している住所を目的
地・経由地に設定できます。

電話番号から探す

電話番号を入力して目的地を探します。施設の電話番号
のほか、個人の電話番号からも検索できます。また、登
録地点に電話番号が設定してある場合は、登録されてい
る地点が呼び出されます。

- 1 **NAVI** / **[MENU]** スイッチを押してナビメ
ニュー画面を表示し、**[電話番号]** にタッチします。

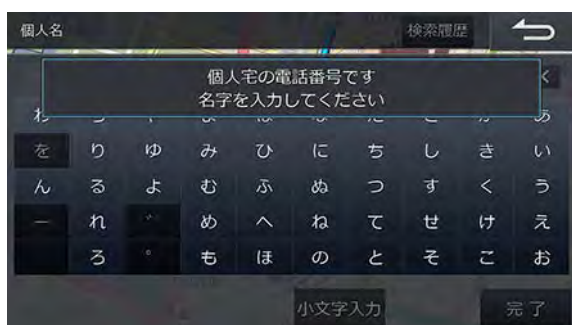
2 電話番号を入力します。



- 市外局番から入力してください。

3 [完了] にタッチすると、検索した電話番号の地点の地図が表示されます。

- 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください。
 - ◆ 施設の電話番号を入力した場合
検索結果が複数箇所の場合は、候補地がリスト表示されます。リストの希望の地点にタッチすると、地点の地図が表示されます。
 - ◆ 個人の電話番号を入力した場合
入力した電話番号が個人の電話番号と一致したときは、個人名入力画面が表示されます。名字をひらがなで入力してください。入力した電話番号が電話帳の名字と一致しない場合は検索できません。



アドバイス

- 電話番号が正確にはわからないときは、市外局番と市内局番のみを入力しておおよその地図を表示し、そこから地図を動かして目的の施設などを探すことができます。

名称で施設を探す

施設の名称の読みを入力して探します。

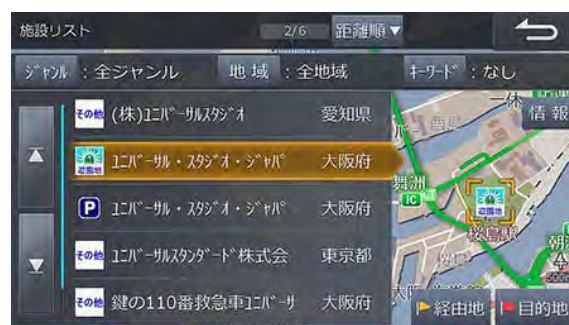
- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[名称] にタッチします。

2 施設名称の読みを入力し、[完了] にタッチします。



- 数字や英字もかなで入力します（例：「1」→「いち」、「Z」→「ぜっと」）。
- 濁点や半濁点などを省略しても検索できます。大文字を小文字で、小文字を大文字で入力しても検索できます。
- 検索履歴を利用して入力できます。
⇒「検索履歴を使用する」(22 ページ)

3 表示されたリストから、希望の施設にタッチします。



4 選択中の施設に再度タッチするか、画面右側の地図にタッチすると、施設の地図が表示されます。

- 地点の地図が表示されたら、地図上のタッチスイッチの中から利用目的にあったスイッチにタッチしてください。
- ジャンル、地域、キーワードで絞り込むことができます。
⇒「名称で探す - ジャンルで絞り込む」(42 ページ)
⇒「名称で探す - 地域で絞り込む」(42 ページ)
⇒「名称で探す - キーワードで絞り込む」(42 ページ)
- 選択した施設の詳細情報を表示することができます。
⇒「施設の詳細情報画面の操作」(49 ページ)

アドバイス

- 施設リスト表示時に、画面右側地図上の「目的地」[経由地] にタッチすると、選択している施設を目的地・経由地に設定できます。

- 検索結果のリスト画面を距離順、または 50 音順に並べかえることができます。画面上部の「距離順」または「50 音順」にタッチして切りかえます。
- 文字入力方法について詳しくは、下記項目を参照してください。
⇒「文字を入力する」(21 ページ)

名称で探す - ジャンルで絞り込む

名称で施設を探したときに多くの候補が表示された場合、ジャンルで絞り込むことができます。

⇒「名称で施設を探す」(41 ページ)

- 1 施設リストの「ジャンル」にタッチします。



- 2 タブにタッチして希望のジャンルリスト表示に切りかえ、リストからジャンルを選んでタッチします。



- 3 表示されたリストから施設を選び、施設名称にタッチします。

アドバイス

- 「ジャンル」で絞り込んでから、さらに「地域」「キーワード」で絞り込むことができます。

名称で探す - 地域で絞り込む

名称で施設を探したときに多くの候補が表示された場合、地域で絞り込むことができます。

⇒「名称で施設を探す」(41 ページ)

- 1 施設リストの「地域」にタッチします。



- 2 地方名タブにタッチし、都道府県名 - 市区町村名にタッチします。



- 3 表示されたリストから施設を選び、施設名称にタッチします。

アドバイス

- 「地域」で絞り込んでから、さらに「ジャンル」「キーワード」で絞り込むことができます。

名称で探す - キーワードで絞り込む

名称で施設を探したときに多くの候補が表示された場合、名称の一部をキーワードとして絞り込むことができます。
⇒「名称で施設を探す」(41 ページ)

- 1 施設リストの「キーワード」にタッチします。



2 キーワードを入力し、[完了] にタッチします。



3 表示されたリストから施設を選び、施設名称にタッチします。

アドバイス

- 「キーワード」で絞り込んでから、さらに「ジャンル」「地域」で絞り込むことができます。

周辺の施設を探す - 現在地周辺

現在地周辺にある施設を検索して、ジャンルで絞り込むことができます。

1 NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[周辺] にタッチします。

2 [現在地周辺] にタッチします。



3 希望のジャンルにタッチします。



- [その他ジャンル] にタッチすると、ジャンル一覧から選択できます。

4 希望の施設にタッチします。



1. 現在地からの方向
2. 現在地からの距離

5 選択中の施設に再度タッチするか、画面右側の地図にタッチすると、施設の地図が表示されます。

- 地点の地図が表示されたら、地図上のタッチスイッチの中から利用目的にあったスイッチにタッチしてください。
- [ルート周辺] または [目的地周辺] にタッチして、それぞれの周辺の施設リストに切りかえることができます。
- 画面右側の地図の [情報] にタッチすると、施設の詳細情報を表示することができます。
⇒「施設の詳細情報画面の操作」(49 ページ)

アドバイス

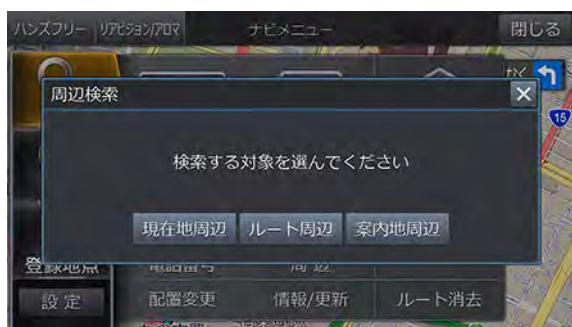
- 施設リスト表示時に、画面右側地図上の [目的地] [経由地] にタッチすると、選択している施設を目的地・経由地に設定できます。
- 検索結果は最大で 40 件まで、現在地から近い順に表示されます。
- コンビニ、デパート、ガソリンスタンドを検索した場合、店が営業しているかどうかを確認できます。
⇒「営業時間を考慮して施設を探す」(48 ページ)
- 駐車場を検索した場合は車体の大きさや車高を考慮して駐車場を探すことができます。
⇒「駐車場検索時に車両情報を考慮する」(49 ページ)

周辺の施設を探す - ルート周辺

目的地が設定されている場合は、ルートの周辺にある施設を検索して、ジャンルで絞り込むことができます。

1 NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[周辺] にタッチします。

2 [ルート周辺] にタッチします。



3 希望のジャンルにタッチします。



- [その他ジャンル] にタッチすると、ジャンル一覧から選択できます。

4 希望の施設にタッチします。



1. 進行方向に向かっての位置 (左右)
2. 現在地からの距離

5 選択中の施設に再度タッチすると、施設の地図が表示されます。

- 地点の地図が表示されたら、地図上のタッチスイッチの中から利用目的にあったスイッチにタッチしてください。
- [現在地周辺] または [目的地周辺] にタッチして、それぞれの周辺の施設リストに切りかえることができます。

- ⓘ にタッチすると、施設の詳細情報を表示できます。
⇒「施設の詳細情報画面の操作」(49 ページ)

アドバイス

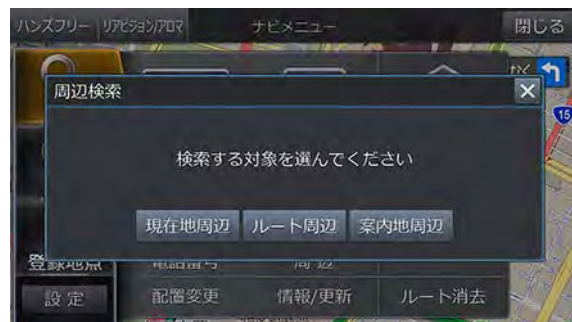
- コンビニ、デパート、ガソリンスタンドを検索した場合、店が営業しているかどうかを確認できます。
⇒「営業時間を考慮して施設を探す」(48 ページ)
- 駐車場を検索した場合は車体の大きさや車高を考慮して駐車場を探すことができます。
⇒「駐車場検索時に車両情報を考慮する」(49 ページ)

周辺の施設を探す - 案内地周辺

ルート設定時、目的地または経路地周辺にある施設を検索して、ジャンルで絞り込むことができます。

1 ⓘ NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[周辺] にタッチします。

2 [案内地周辺] にタッチします。



3 周辺施設を探す目的地または経路地を選んでタッチします。



4 希望のジャンルにタッチします。



- 「その他ジャンル」にタッチすると、ジャンル一覧から選択できます。

5 希望の施設にタッチします。



6 選択中の施設に再度タッチするか、画面右側の地図にタッチすると、施設の地図が表示されます。

- 地点の地図が表示されたら、地図上のタッチスイッチの中から利用目的にあったスイッチにタッチしてください。
- 「現在地周辺」または「ルート周辺」にタッチして、それぞれの周辺の施設リストに切りかえることができます。
- 画面右側の地図の「情報」にタッチすると、施設の詳細情報を表示できます。
⇒「施設の詳細情報画面の操作」(49 ページ)

アドバイス

- 施設リスト表示時に、画面右側地図上の「目的地」「経由地」にタッチすると、選択している施設を目的地・経由地に設定できます。
- コンビニ、デパート、ガソリンスタンドを検索した場合、店が営業しているかどうかを確認できます。
⇒「営業時間を考慮して施設を探す」(48 ページ)
- 駐車場を検索した場合は車体の大きさや車高を考慮して駐車場を探すことができます。
⇒「駐車場検索時に車両情報を考慮する」(49 ページ)

周辺検索画面をカスタマイズする

周辺検索画面に表示されるブランドのアイコン位置を入れかえることができます。また、表示させるアイコンをリストから選ぶことができます。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、「周辺」にタッチします。
- 2 「現在地周辺」「ルート周辺」「案内地周辺」のいずれかにタッチし、「配置変更」にタッチします。



- 3 位置を入れかえたいアイコン 2 つに続けてタッチすると、アイコンの位置が入れかわります。
- 4 表示するアイコンを変更するには、「表示項目変更」にタッチします。



- 5 表示されたリストから、周辺検索画面に表示したいブランドを選択します。すでに選択されているブランドにタッチすると、選択が解除されます。
- 最大 8 個まで選択できます。選択されたブランドは画面上部に表示されます。



- 6 選択が終わったら「完了」にタッチし、再度「完了」にタッチするとカスタマイズ画面を終了します。

緯度経度から探す

地点の「緯度（北緯）、経度（東経）」がわかっている場合は、その数値を入力して地点を検索します。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、「緯度経度」にタッチします。
- 2 北緯と東経を入力します。



- 1桁の数字を入力するときは頭に「0」を付けて、2桁の数字で入力してください。
- 3 「完了」にタッチすると、検索した緯度経度地点の地図が表示されます。
- 地図上のタッチスイッチの中から利用目的にあったスイッチにタッチしてください。

マップコードから探す

レジャーガイドなどに掲載されているマップコードを使って目的地を探します。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、「マップコード」にタッチします。
- 2 マップコードを入力します。



- 10桁までの標準マップコードに加え、「*」のあとに2桁まで追加することで高度な検索ができます。

- 3 「完了」にタッチすると、検索したマップコード地点の地図が表示されます。

- 地図上のタッチスイッチの中から利用目的にあったスイッチにタッチしてください。

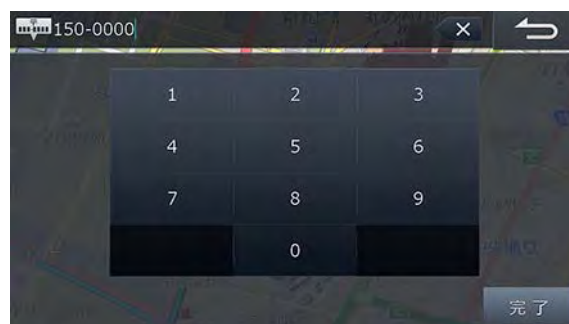
アドバイス

- マップコードとは日本全国の位置情報を6桁～10桁の数字で表したものです。住所や電話番号では特定できない河川や観光地もマップコードを指定すると目的地として設定できます。詳しくは下記ホームページを参照してください。
<http://www.e-mapcode.com>

郵便番号から探す

郵便番号で検索すると代表地点の地図が表示されます。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、「郵便番号」にタッチします。
- 2 郵便番号を入力します。



- 3 「完了」にタッチすると、検索した郵便番号地点の地図が検索されます。

- 地図上のタッチスイッチの中から利用目的にあったスイッチにタッチしてください。
- 続けて住所で検索する場合は、手順4にお進みください。

- 4 「住所検索」にタッチすると、該当する住所をリスト表示します。リストから住所を選んでタッチします。



- 5 町名、丁目、番地などを順に指定します。
 - 6 選択中の住所に再度タッチするか、画面右側の地図にタッチすると、検索した住所の地図が表示されます。
- 地図上のタッチスイッチの中から利用目的にあったスイッチにタッチしてください。

アドバイス

- 住所リスト表示時に、画面右側地図上の「目的地」「経由地」にタッチすると、選択している住所を目的地・経由地に設定できます。

住所を 50 音で探す

観光地などおおよその目的地はあってもそこでの施設名を特定していないようなときや、目的地の住所が正確にはわからないようなときは、地名の読みを入力して代表地点の地図を表示して目的地を探すことができます。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、「住所名称」にタッチします。
- 2 地名の読みを入力し、「完了」にタッチすると、住所がリスト表示されます。



- 数字や英字もかなで入力します（例：「1」→「いち」、「Z」→「ぜっと」）。
- 濁点や半濁点などを省略しても検索できます。大文字を小文字で、小文字を大文字で入力しても検索できます。
- 検索履歴を利用して入力できます。
⇒「検索履歴を使用する」（22 ページ）

- 3 住所を選択してタッチします。



- 4 選択中の住所に再度タッチするか、画面右側の地図にタッチすると、検索した住所の地図が表示されます。
- 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください。

アドバイス

- 文字入力方法について詳しくは、下記項目を参照してください。
⇒「文字を入力する」（21 ページ）

施設をジャンルで探す

ジャンルと都道府県を選んで目的地を探します。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、「ジャンル」にタッチします。
- 2 タブにタッチしてジャンルリスト表示を切り替え、リストからジャンルを選んでタッチします。



- 3 地域タブにタッチし、リストから都道府県名を選んでタッチします。



- 4 リストから市区町村を選んでタッチします。



- 5 表示されたリストから、希望の施設にタッチします。



- 6 選択中の施設に再度タッチするか、画面右側の地図にタッチすると、施設の地図が表示されます。

- 地点の地図が表示されたら、地図上のタッチスイッチの中から利用目的にあったスイッチにタッチしてください。
- 施設によっては、施設入口リストが表示されます。
- VICS 情報を使用した駐車場検索ができます。駐車場検索時に VICS 情報がある場合は「VICS 駐車場情報」か、本機内蔵データを利用する「駐車場データ」のどちらかを選んでタッチします。VICS 駐車場情報を選択した場合、検索結果のリスト画面を一般または臨時駐車場と、SA/PA に切りかえることができます。

- VICS 情報を使用した充電スタンド検索ができます。充電スタンド検索時に VICS 情報がある場合は「VICS 充電施設情報」か、本機内蔵データを利用する「充電スタンドデータ」のどちらかを選んでタッチします。
- 画面右側の地図の「情報」にタッチすると、施設の詳細情報を表示できます。
⇒「施設の詳細情報画面の操作」(49 ページ)

アドバイス

- 施設リスト表示時に、画面右側地図上の「目的地」「経由地」にタッチすると、選択している施設を目的地・経由地に設定できます。
- 検索結果のリスト画面を距離順、または 50 音順に並べかえることができます。画面上部の「距離順」または「50 音順」にタッチして切りかえます。

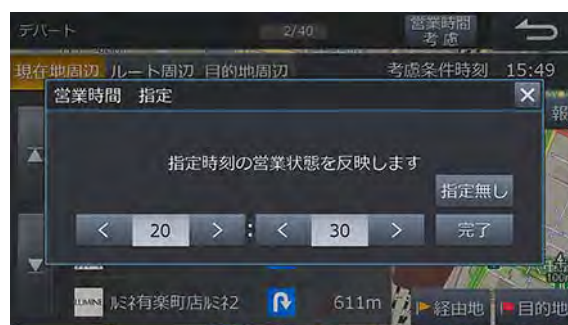
営業時間を考慮して施設を探す

現在地周辺／ルート周辺検索時に、コンビニ・デパート・ガソリンスタンドを探す場合、店が営業しているかどうかを表示できます。

- 1 施設のリスト画面で「営業時間考慮」にタッチします。



- 2 < または > にタッチして、営業しているかどうか知りたい時刻を入力します。



- 「指定無し」にタッチした場合は、営業時間を考慮しません。

- 3 [完了] にタッチすると、営業時間を考慮したリストが表示されます。



- 営業していない店舗のアイコンには「閉」と表示されます。

駐車場検索時に車両情報を考慮する

駐車場を検索したときは、車体の大きさや車高を考慮して駐車場を探すことができます。あらかじめ車両情報を登録してください。

⇒「車両情報を設定する」(159 ページ)

- 1 駐車場リスト画面で「車両情報考慮」にタッチすると、車両情報を考慮したリストが表示されます。

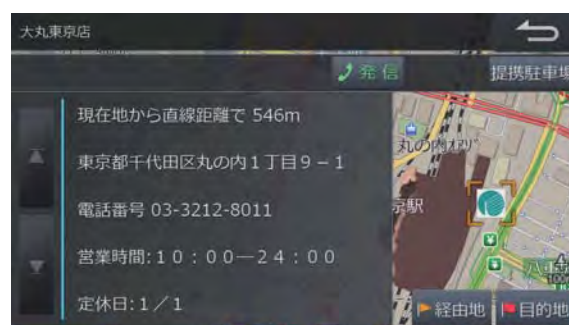


- 車両サイズなどで制限される駐車場は表示されなくなります。

施設の詳細情報画面の操作

検索時にリスト表示された施設の詳細情報を見ることができます。

- 1 [情報] にタッチすると詳細情報画面が表示され、下記の操作を行うことができます。



- ◆ [目的地] 選んだ施設を目的地に設定します。
- ◆ [経由地] 選んだ施設を経由地に設定します。目的地が設定されている場合のみ操作できます。
- ◆ [提携駐車場] 施設と提携している駐車場を表示します。
- ◆ [発信] 携帯電話を接続している場合は、施設に電話をかけることができます。

履歴から目的地を探す

以前目的地に設定した地点を、リストから選択することができます。目的地履歴は新しいものから順に最大 200 件まで記憶します。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[履歴] にタッチします。



- 2 表示された履歴リストから、希望の施設にタッチします。



- 3 選択中の施設に再度タッチするか、画面右側の地図にタッチすると、施設の地図が表示されます。
- 地点の地図が表示されたら、地図上のタッチスイッチの中から利用目的にあったスイッチにタッチしてください。
 -  または  にタッチして履歴リストをスクロールできます。

アドバイス

- 施設リスト表示時に、画面右側地図上の「目的地」「経由地」にタッチすると、選択している施設を目的地・経由地に設定できます。
- 履歴の地点を目的地にした場合、古い履歴は消去して新しい日付だけを記憶します。
- 目的地履歴を消去できます。消したい履歴を選んで「消去」にタッチします。すべての履歴を消去するには「消去」にタッチし続けます。確認画面が表示されたら「はい」にタッチします。

特別登録地点から目的地を探す

よく行く場所を特別地点に登録しておくと、簡単な操作で目的地に設定できます。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、「登録地点」にタッチします。



- 2 特別登録地点リストから地点を選んでタッチします。



- 3 選択中の地点に再度タッチするか、画面右側の地図にタッチすると、地点の地図が表示されます。
- 地点の地図が表示されたら、地図上のタッチスイッチの中から利用目的にあったスイッチにタッチしてください。
 - 画面右側の地図の「情報」にタッチすると、施設の詳細情報を表示できます。
⇒「施設の詳細情報画面の操作」(49 ページ)

アドバイス

- 施設リスト表示時に、画面右側地図上の「目的地」「経由地」にタッチすると、選択している施設を目的地・経由地に設定できます。
- 特別登録地点の設定方法は、下記項目を参照してください。
⇒「特別地点を登録する」(70 ページ)
- 登録地点を消去できます。消したい地点を選んで「消去」にタッチします。すべての地点を消去するには「消去」にタッチし続けます。確認画面が表示されたら「はい」にタッチします。

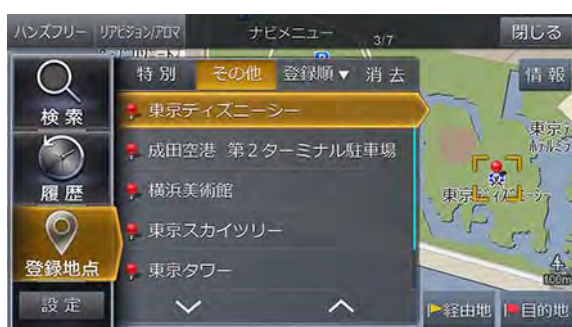
登録地点から地点を検索する

あらかじめ登録しておいた地点を目的地に設定します。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[登録地点] にタッチします。



- 2 [その他] にタッチし、登録地点リストを表示します。



- 3 地点を選んでタッチします。
- 4 選択中の地点に再度タッチするか、画面右側の地図にタッチすると、地点の地図が表示されます。
 - 地点の地図が表示されたら、地図上のタッチスイッチの中から利用目的にあったスイッチにタッチしてください。
 -  または  にタッチしてリストをスクロールできます。
 - 画面右側の地図の [情報] にタッチすると、施設の詳細情報を表示できます。
⇒「施設の詳細情報画面の操作」(49 ページ)

アドバイス

- 検索結果のリスト画面を登録順、マーク順、または距離順に並べかえることができます。[登録順] [マーク順] [距離順] にタッチして切りかえます。
- 施設リスト表示時に、画面右側地図上の [目的地] [経由地] にタッチすると、選択している施設を目的地・経由地に設定できます。
- 地点の登録方法は、「地点の登録」を参照してください。

- 登録地点を消去できます。消したい地点を選んで [消去] にタッチします。すべての地点を消去するには [消去] にタッチし続けます。確認画面が表示されたら [はい] にタッチします。

お気に入り周辺検索で施設を探す

現在地、ルート、目的地周辺のよく使う施設を簡単に検索できます。

- 1 [現在地] スイッチを押して現在地画面を表示し、[お気に入り] にタッチします。



- 2 行きたい施設のアイコンにタッチします。



- [コンビニ全て] [駐車場全て] にタッチすると、すべてのコンビニ・駐車場を検索できます。
- [その他] にタッチすると、すべてのジャンルから検索できます。
- 表示されるブランドを変更することができます。
⇒「お気に入り画面をカスタマイズする」(52 ページ)

- 3 周辺施設リスト画面が表示されます。

- ルート案内中でない場合は、現在地周辺のリスト画面が表示されます。

ナビゲーション

- ルート案内中はルート周辺の施設が表示され、「現在地」タブまたは「目的地」タブにタッチして、リストを切りかえることができます。



- 4 施設を選んでタッチします。
- 5 選択中の施設に再度タッチすると、施設の地図が表示されます。
- 地点の地図が表示されたら、地図上のタッチスイッチの中から利用目的にあったスイッチにタッチしてください。

アドバイス

- コンビニ、デパート、ガソリンスタンドを検索した場合、店が営業しているかどうかを確認できます。
⇒「営業時間を考慮して施設を探す」(48 ページ)
- 駐車場を検索した場合は車体の大きさや車高を考慮して駐車場を探すことができます。
⇒「駐車場検索時に車両情報を考慮する」(49 ページ)

お気に入り画面をカスタマイズする

お気に入り周辺検索画面に表示されるブランドのアイコン位置を入れかえることができます。また、表示するブランドをリストから選ぶことができます。

- 1 「現在地」スイッチを押して現在地画面を表示し、「お気に入り」にタッチします。
- 2 「配置変更」にタッチします。



- 3 位置を入れかえたいアイコン 2 つに続けてタッチすると、アイコンの位置が入れかわります。



- 4 表示するブランドを変更するには、「表示項目変更」にタッチします。
- 5 表示されたリストから、お気に入り周辺検索画面に表示したいブランドを選択します。すでに選択されているブランドにタッチすると、選択が解除されます。



- 最大 8 個まで選択できます。選択されたブランドは画面上部に表示されます。
- 6 選択が終わったら「完了」にタッチし、再度「完了」にタッチするとカスタマイズ画面を終了します。

地図から探す

地図をスクロールして、直接地図上で地点を指定します。

- 1 地図をスクロールして、目的地にしたい地点にカーソルを合わせます。
⇒「タッチ操作で地図をスクロールする」(34 ページ)
⇒「フリック操作／ドラッグ操作で地図をスクロールする」(34 ページ)

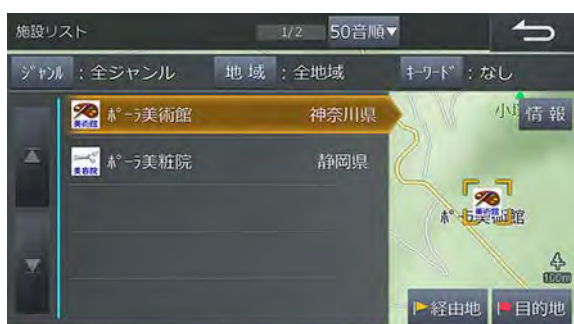
- 2 地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチします。



目的地を設定してルート案内を開始する

検索した地点を目的地として設定して、ルート案内を開始します。

- 1 検索・スクロール後の画面で「目的地」にタッチします。



- 優先探索ルートが「燃費」に設定されている場合、確認画面が表示されます。[はい] にタッチすると燃費ルート探索画面、[いいえ] にタッチすると推奨ルートを選択した状態で6ルート画面を表示します。

- 2 走行するか、表示されたルート探索画面の「案内開始」にタッチすると、自転車位置画面を表示しルート案内を開始します。



アドバイス

- 最初に表示するルートを設定できます。
⇒「優先探索ルートを設定する」(159 ページ)

ルートを選択する(6 ルート)

目的地を設定すると表示されるルート探索画面で、好みのルートを選択できます。

- 1 検索・スクロール後の画面で「目的地」にタッチすると、ルート探索結果画面が表示されます。



- 優先探索ルートが「燃費」に設定されている場合、確認画面が表示されます。[いいえ] にタッチすると推奨ルートで探索され、手順2の画面が表示されます。

- 2 「他ルート」にタッチすると6つのルートが表示され、それぞれの所要時間・距離・有料道路料金が表示されます。



3 [推奨] [一般] [チューニング] [幹線] [燃費] [別ルート] のいずれかにタッチすると、地図上に選択したルートが表示されます。

◆ 推奨

VICS 情報、VICS 統計情報（渋滞予測）、ルート学習情報、渋滞学習情報を利用して、目的地まで時間と料金のバランスを考慮した代表的なルート・有料道路を優先して案内するかどうかを [推奨 ⇄ 推奨（有料優先）切替] にタッチして切りかえることができます。また推奨ルートの初期設定を有料道路優先にあらかじめ設定することができます。

⇒「有料道路を優先して案内する」（159 ページ）

◆ 一般

できるだけ一般道路を通るルート

◆ チューニング

推奨ルートをベースとして、有料道路優先（全般）／有料道路優先（近距離）／広い道路優先／渋滞回避優先の各パラメーターに応じたルート
⇒「ルート探索条件をチューニングする」（160 ページ）

◆ 幹線

できるだけ幹線道路を通るルート

◆ 燃費

燃料消費量を節約するルート

◆ 別ルート

推奨・一般・チューニング・幹線・燃費以外のルートが探索されます。
・他のルートと同じルートを検索する場合があります。

4 希望のルートにタッチして選択し、[案内開始] にタッチします。

アドバイス

- 最初に表示するルートを設定できます。
⇒「優先探索ルートを設定する」（159 ページ）
- 経由地設定時には 6 ルートから選択することはできません。案内開始後は、ルート画面で経由地までの区間ごとにルート条件を変更することができます。
⇒「ルート探索条件を変更する」（66 ページ）
- 6 ルートは同じルートが検索される場合があります。
- 本機に収録された VICS 統計情報を使用するため、ビーコン情報を受信しなくても時間帯によって異なる渋滞回避ルート探索を行うことができます。

- 「一般」：自車位置が有料道路上にある場合など有料道路を通ったほうが良いと判断される場合は、有料道路を通るルートを表示することがあります。
- 料金は設定した車両情報から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
⇒「車両情報を設定する」（159 ページ）
- 所要時間は設定した車速や VICS 旅行時間を考慮して計算していますが、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
⇒「車速を設定する」（157 ページ）

インターチェンジ(IC)を指定する

目的地を設定すると表示されるルート探索画面で、利用するインターチェンジを変更できます。

- 1 検索・スクロール後の画面で [目的地] にタッチすると、ルート探索結果画面が表示されます。
- 2 [IC 変更] にタッチします。



- 3 変更したいインターチェンジの [変更] にタッチします。



- ルートに複数の高速道路がある場合、[高速道路 2 へ] [高速道路 3 へ]・・・にタッチして画面を切りかえます。

- 4 ▲ ▼ ◀ ▶ にタッチして利用したいインターチェンジを表示させ、[登録] またはインターチェンジ名称にタッチします。



- 5 インターチェンジ変更が終わったら[完了]にタッチします。ルートが再探索されます。

アドバイス

- IC 変更画面で[解除]にタッチすると、指定したインターチェンジを解除し元のインターチェンジに戻ります。
- インターチェンジを変更すると、入口／出口インターチェンジが経由地として設定されます。

冬期閉鎖区間を回避する

探索されたルート上に冬期に通行できなくなる区間が含まれる場合は、探索画面にメッセージが表示されます。冬期閉鎖区間を自動回避しない設定になっているときは、本操作で通行止め区間を通らないルートを探します。

- 1 検索・スクロール後の画面で[目的地]にタッチすると、表示されるルート探索結果画面にメッセージが表示されます。



- 2 [規制考慮]にタッチすると、冬期閉鎖区間を回避するルートを再探索します。



アドバイス

- [規制考慮]にタッチして目的地案内を開始すると、「冬期閉鎖区間考慮」設定が自動的に「する」に変更されます。
⇒「冬期閉鎖区間を考慮する」(162 ページ)

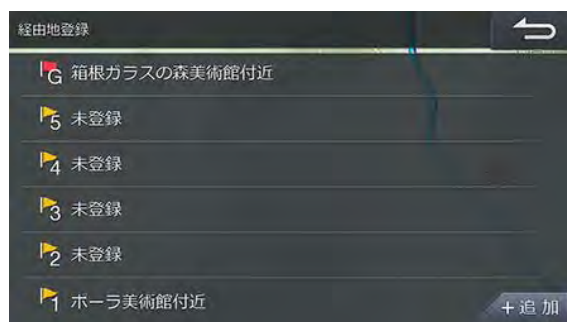
経由地を設定する

目的地に向かう途中で経由したい地点を設定します。経由地は最大で5箇所設定できます。

- 1 検索・スクロール後の画面で[経由地]にタッチします。



- 2 表示された経由地リストの[未登録]にタッチするか、経由地を追加したい区間の[+追加]にタッチすると、ルートが再探索されます。



- 経由地が設定されていない場合、または5箇所すべて設定されている場合は[+追加]は表示されません。

- すでにセットされている経由地にタッチすると、新たに指定した経由地が上書きされます。

アドバイス

- 設定した経由地の順番を入れかえたり、削除することもできます。
⇒「経由地編集 - 経由地・目的地の順番を入れかえる」(65 ページ)
⇒「経由地編集 - 経由地を消去する」(65 ページ)
- ルート編集画面からも経由地を追加できます。
⇒「経由地編集 - 経由地を追加する」(64 ページ)
- 経由地を追加すると、経由地追加前のルート探索条件が適用されます。
⇒「ルート探索条件を変更する」(66 ページ)

ルート案内方法

目的地までのルート走行中、さまざまな表示や音声によって案内します。

- ◆ 交差点拡大図（バーチャルジャンクション表示）
ルート案内中に案内ポイントが表示されている交差点が近づく、と、交差点拡大図が表示されます。



・交差点拡大図については下記項目を参照してください。

⇒「交差点拡大図の見かた」(58 ページ)

・バーチャルジャンクション表示は、ビッグアロー表示にすることができます。

⇒「交差点案内図をビッグアローで表示する」(157 ページ)

- ◆ 交差点拡大図（詳細案内図表示）
3D イラスト情報のある交差点の詳細案内図を表示します。

<デフォルメ 3D 交差点拡大図>



<リアル 3D 交差点拡大図>



<高速入口案内図>



・詳細案内図を表示するかどうか設定できます。

⇒「詳細案内図表示を設定する」(158 ページ)

- ◆ ビッグアロー表示
ルート案内中に案内ポイントが表示されている交差点が近づく、と、矢印で進行方向を表示します。案内は、信号・交差点の数か、交差点までの距離で行い、交差点までの距離に応じて、青・黄・橙色に切りかわります。

<信号・交差点案内>



<残距離案内>



- ・ビッグアロー案内で表示される交差点形状は、実際の道路形状と異なる場合があります。
- ・表示方法をビッグアローにするか、バーチャルジャンクション表示にするかを設定できます。
⇒「交差点案内図をビッグアローで表示する」(157 ページ)
- ・ビッグアロー表示時の交差点案内方法を、信号・交差点案内か残距離案内かに設定することができます。
⇒「音声案内を設定する」(156 ページ)

◆ 高速分岐案内

有料道路や高速道路を走行しているとき、情報がある分岐点（JCT）が近づくと、分岐点名称や方面名称が表示されます。



◆ ETC レーン表示

ETC レーン情報のある料金所が近づくと、ETC レーン案内図が表示されます。



- ・都市高速のレーン情報が格納されている料金所では、ETC レーンに矢印が表示されます。
- ・ETC レーンを表示するかどうか設定できます。
⇒「料金所ゲート案内を設定する」(158 ページ)

◆ ハイウェイモード表示

高速道路走行中に表示されるハイウェイモードでは、IC（インターチェンジ）や JCT（ジャンクション）の他に、SA（サービスエリア）や PA（パーキングエリア）の案内も行います。



- ・自動でハイウェイモードを表示するかどうか設定することができます。
⇒「ハイウェイモードを自動表示する」(155 ページ)
- ・ハイウェイモード表示中、「高速渋滞」にタッチすると高速渋滞モードに切りかわります。
⇒「高速渋滞モードと行程ガイドを切りかえる」(60 ページ)

◆ 方面看板の表示

情報のある交差点の約 700m 手前になると、方面看板が表示されます。



- ・方面看板を表示するかどうか設定できます。
⇒「方面看板を表示する」(158 ページ)
- ・方面看板表示を解除するには、 または方面看板表示部分をタッチします。

◆ 方向誘導線表示

自車位置からの目的地や経由地の方向を直線で表示します。



- ・方向誘導線を表示するかどうか設定できます。
⇒「誘導方向を表示する」(153 ページ)

◆ 細街路案内表示

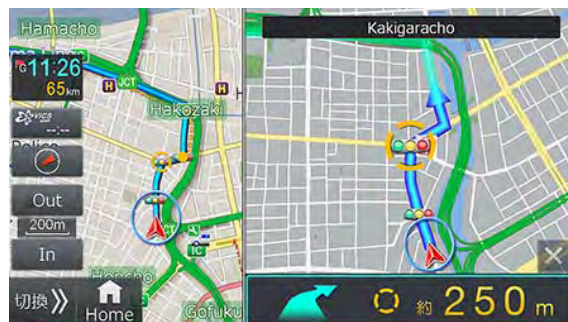
細街路を走行すると自動で 2 画面表示に切りかわり、右画面に 25m 市街地図を表示して細街路案内を行います。表示を解除するには [現在地] スイッチを押します。



- ・細街路案内を表示するかどうか設定できます。
⇒「細街路オートスケールの設定」(154 ページ)

◆ 英語案内表示

地図表示と音声案内を英語で行うことができます。



- ・英語案内を行うかどうか設定できます。
⇒「英語で表示・案内を行う」(178 ページ)

◆ フェリー航路案内

フェリーの航路は破線で表示され、フェリーターミナルまではルート案内されます。フェリーを降りるとルート案内が再開されます。

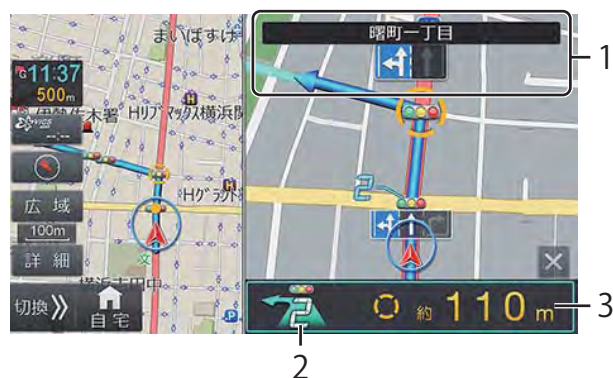


- ・ルート探索時、フェリーを使用するかどうか設定することができます。
⇒「フェリー航路を含むルートを探索する」(161 ページ)

交差点拡大図の見かた

◆ 交差点拡大図表示

<バーチャルジャンクション表示>



- ◆ ビッグアロー表示
 <信号・交差点案内>



<残距離案内>



1. 交差点名・交差点のレーン案内

2. 信号・交差点右左折の矢印表示

- ・ 距離に応じて、青色→黄色→橙色に変わります。
- ・ 音声案内設定が信号・交差点案内設定時には、地図データ収録の信号機データを元に残信号・交差点数を表示・案内します。ただし実際の道路状況と異なる場合や距離で表示・案内する場合があります。信号機データ収録地域については、アルパインホームページを参照してください。

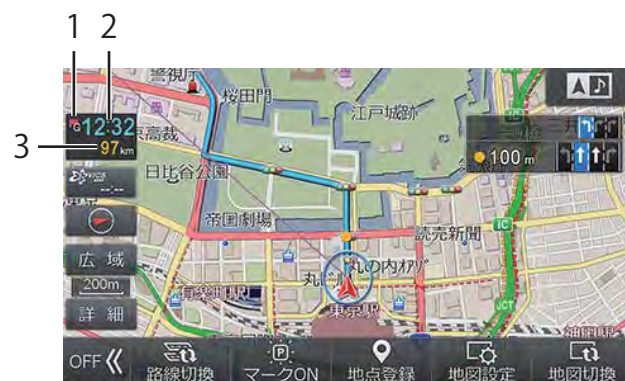
3. 交差点までの距離

アドバイス

- 地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示はされません。
- 交差点拡大図画面を解除するには、**×** または拡大図表示部分にタッチします。解除した交差点拡大図を再表示するには「現在地」スイッチを押します。

到着情報表示の見かた

経由地／フェリー航路が設定されている場合は、タッチするたびに目的地／経由地／フェリー乗り場までの情報に切りかわります。



1. 案内地点マーク

	目的地
	経由地
	フェリー乗り場

2. 到着予想時刻表示

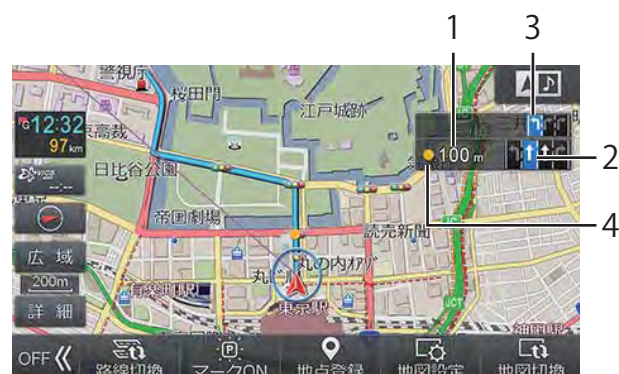
3. 目的地／経由地までの残距離

アドバイス

- 到着予想時刻は設定した車速や VICS 旅行時間を考慮して計算していますが、走行条件などにより多少の誤差が生じることがあります。
 ⇒「車速を設定する」(157 ページ)
- ルートから外れると、到着情報表示が消えます。

レーン(車線) ガイドの見かた

レーン情報のある分岐交差点の手前(約 10km 以内)では、交差点までの距離とレーン図が表示されます。



1. 次の交差点までの距離
2. 次の交差点のレーン案内
3. 次の交差点以降の右左折交差点のレーン案内
4. レーン情報がある交差点は ● が表示されます。右左折する場合は交差点拡大図が表示されるタイミングで ● が表示されます。

アドバイス

- レーン情報のない交差点では、交差点での進行方向（直進を除く）が矢印で表示されます。
- 一般道路上を走行中、次の交差点以降で右左折する場合、走行を推奨する1つのレーンを青く表示します。ただし、次に右左折する交差点までの距離が長い場合、推奨レーン表示を行いません。
- レーンガイドを表示するかどうかを設定できます。
⇒「レーン（車線）ガイドを表示する」（158ページ）

高速渋滞モードと行程ガイドを切りかえる

ルート案内中に、VICS の渋滞情報を受信して高速道路上の JCT（ジャンクション）や IC（インターチェンジ）の混雑状況を表示します。



1. 所要予測時間と現在地からの距離

- 数字の色は混雑の程度を表します。
順調：緑色、混雑：橙色、渋滞：赤色、不明：白色

1 行程ガイド画面で「高速渋滞」にタッチします。



- 行程ガイド画面の表示方法は下記を参照してください。
⇒「地図表示方法を変更する（地図切換）」（36ページ）

2 [行程] にタッチすると行程ガイド画面に戻ります。



- ▲ にタッチすると先の情報を表示し、▼ にタッチすると手前の情報を表示します。タッチし続けると連続でスクロールします。[現在地] スイッチを押すと高速渋滞情報が現在地の位置に戻ります。

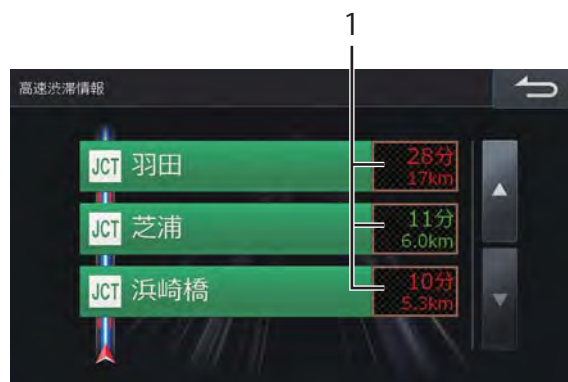
アドバイス

- VICS の渋滞情報を受信していないときは、高速渋滞モードを表示することはできません。渋滞情報を受信しているときは、自車位置が一般道路上にあっても高速渋滞情報を表示できます。
- ルートから外れると、走行中の路線にあるジャンクションのみを表示します。

高速渋滞情報画面を表示する

ルート案内中に、VICS の渋滞情報を受信して高速道路上の JCT（ジャンクション）や IC（インターチェンジ）の混雑状況を表示します。

行程ガイド画面で「高速渋滞」にタッチすると高速渋滞モードとして情報表示されますが、行程ガイド画面を表示していないときも、高速渋滞情報画面を表示できます。

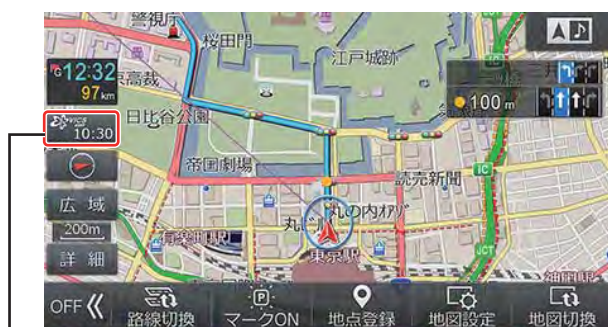


1. 所要予測時間と現在地からの距離

- 数字の色は混雑の程度を表します。

順調：緑色、混雑：橙色、渋滞：赤色、不明：白色

- 1 現在地画面で、VICS タイムスタンプにタッチします。



VICS タイムスタンプ

- 2  にタッチすると現在地画面に戻ります。



-  にタッチすると先の情報を表示し、 にタッチすると手前の情報を表示します。

アドバイス

- VICS の渋滞情報を受信していないときは、高速渋滞モードを表示することはできません。渋滞情報を受信しているときは、自車位置が一般道路上にあっても高速渋滞情報を表示できます。
- ルートから外れると、走行中の路線にあるジャンクションのみを表示します。

音声案内について

目的地案内中は、交差点、分岐点、通過点、インターチェンジ (IC) の入口／出口、ジャンクション、到着案内などが自動的に音声案内されます。
音声案内を聞きのがしてしまったときなどは、現在地画面で [現在地] スイッチを押すと、直近の情報を音声で確認することができます。

- ◆ 料金案内
有料道路や高速道路の出口料金所手前で料金が音声で案内されます。

・正しい料金が案内されるようにあらかじめ車種の情報を登録してください。

⇒「車両情報を設定する」(159 ページ)

・高速道路走行中にルートを変更した場合は料金案内されません。

- ◆ 合流・踏み切り・事故多発地点案内
合流地点・踏み切り・事故多発地点を、音声とアイコンでお知らせします。

		合流案内
		踏み切り
		事故多発地点

・合流地点・踏み切り・事故多発地点を案内するかどうか設定できます。

⇒「合流案内を設定する」(156 ページ)

⇒「踏み切り案内を設定する」(156 ページ)

⇒「交通事故多発区間警告」(157 ページ)

- ◆ 県境案内
都道府県の県境を越えるときに音声でお知らせします。
・県境を案内するかどうかを設定できます。
⇒「県境を案内する」(156 ページ)

- ◆ 目的地までの残距離案内
案内地点までの残距離が 10km 以内になったときに音声でお知らせします。
・案内地点までの残距離を案内するかどうかを設定できます。
⇒「案内地点までの残距離を音声案内する」(157 ページ)

- ◆ 到着予想時刻案内
目的地や経由地の到着予想時刻を音声でお知らせします。
・到着予想時刻を案内するかどうかを設定できます。
⇒「到着予想時刻を音声案内する」(157 ページ)

アドバイス

- 案内音声の音量を調整できます。
⇒「案内音量を調整する」(191 ページ)
- 音声案内が聞こえたときに音楽などの AV ソース音量が一時的に小さくなるようにしたいときは：

あらかじめ「ナビ音声案内時の AV 音量ミュート」を「する」に設定し、音声案内が聞こえたときに AV ソースの音量を下げると、次回以降、音声案内時は調整した音量で再生されます。

⇒「音声案内時にオーディオ音量をミュートする」(158 ページ)

ルート情報を表示する

目的地までの全ルートを高速道路のインターチェンジや経由地などで分割し、それぞれの区間距離や高速道路などの料金、インターチェンジの通過予想時刻などを一覧で表示します。

- 1 ルート案内中の現在地画面で「[ルート]」にタッチし、ルート画面を表示します。
- 2 「[ルート情報]」にタッチし、ルート情報画面を表示します。



- 3 上下矢印にタッチしてルート情報をスクロールし、内容を確認します。左右矢印にタッチするとルート画面に戻ります。



アドバイス

- 走行中は安全のため「[ルート情報]」にタッチすることはできません。
- 道路によっては料金が表示されない場合があります。
- 料金は設定した車両情報から計算していますが、通行料金の変更などにより実際の料金と異なる場合があります。

- 到着予想時刻は設定した車速や VICS 旅行時間を考慮して計算していますが、走行条件などにより誤差が生じることがあります。
⇒「車速を設定する」(157 ページ)

全ルートを表示する

画面にルート全体（全ルート）を表示します。現在地から目的地までのルートと、乗り降りするインターチェンジと料金が表示されます。

- 1 ルート案内中の現在地画面で「[ルート]」にタッチし、ルート画面を表示します。
- 2 「[全ルート表示]」にタッチし、全ルート画面を表示します。



- 3 左右矢印にタッチするとルート画面に戻ります。



- 全ルート表示ではスクロール・方位変更・縮尺変更を行うことができます。3D マップへの切りかえはできません。

アドバイス

- ルートの一部が画面に表示されない場合があります。

ルートブラウザ機能

ルートブラウザではルートに沿って地図を目的地までスクロールすることができます。



タッチすると目的地方向への案内地点にスキップし、その地点の地図を表示します。



1. 案内地点（目的地・経由地）マーク

2. 案内地点名称

3. 現在地方向スキップスイッチ

タッチすると現在地方向への案内地点にスキップし、その地点の地図を表示します。

4. ルート行程表示

ルート行程を高速／有料道路は緑色の、一般道路は青色のバーで表示します。バーの任意の場所にタッチすると、タッチした箇所に相当する地点の地図が表示されます。

5. 案内地点到着予想時刻

6. 現在地から案内地点までの距離

7.VICS 規制情報表示

VICS 規制情報を現在地から近い順に 3 つまでマークで表示します。

8. ルート情報表示

現在地・経由地・目的地・乗り降りインターチェンジ・フェリー乗り場をマークで表示します。経由地、目的地、フェリー乗り場のマークにタッチすると情報を表示します。

9. 目的地方向スキップスイッチ

10. ◀

現在地方向に自動的に地図がスクロールします。タッチするたびにスクロールの速度が変化します。

11. ▶

目的地方向に自動的に地図がスクロールします。タッチするたびにスクロールの速度が変化します。

12. スクロール停止スイッチ

タッチするとスクロールが停止します。

- 1 ルート案内中の現在地画面で「ルート」にタッチし、ルート画面を表示します。
- 2 「ルートブラウザ」にタッチし、ルートブラウザを表示します。



- 3 「Sw 切換」にタッチするとスクロール方法が変わります。案内地点スキップスイッチにタッチすると、その地点の地図にスキップします。◀ または ▶ にタッチすると、地図がスクロールします。スクロールを停止するには || にタッチします。

- 4 ⏮ にタッチするとルート画面に戻ります。

アドバイス

- 走行中は安全のため「ルートブラウザ」にタッチすることはできません。

デモ走行を表示する

- 1 ルート案内中の現在地画面で「ルート」にタッチし、ルート画面を表示します。
- 2 「デモ走行」にタッチし、デモ走行を開始します。



- デモ走行中は操作が制限されますが、縮尺変更、方位変更、地図表示方法変更（地図切換）、自車位置マーク表示地点の地点登録を行うことができます。
- 3 **NAVI** / **[MENU]** または **AUDIO** / **[MODE]** スイッチを押すとルート画面に戻ります。

アドバイス

- 走行を開始するとデモ走行を終了します。
- 走行中は安全のため「デモ走行」にタッチすることはできません。

経由地編集 - 経由地を追加する

経由地は最大 5 箇所まで設定できます。

- 1 ルート案内中の現在地画面で「ルート」にタッチし、ルート画面を表示します。
- 2 「経由地編集」にタッチします。



- 3 「未登録」にタッチし、「探して登録」にタッチします。



- 4 いずれかの方法で経由地を検索します。



- 「目的地を検索する」を参照してください。

- 5 「登録」にタッチします。



- 続けて経由地を設定するには手順 3～5 を繰り返します。

- 6 経由地編集画面で「完了」にタッチするとルートが再探索され、目的地案内を再開します。

アドバイス

- 経由地を追加すると、設定されているルート探索条件（推奨／一般道／チューニング／幹線／燃費）が新しい経由地にも適用されます。
⇒「ルート探索条件を変更する」（66 ページ）

経由地編集 - 経由地を消去する

- 1 ルート案内中の地図画面で「ルート」にタッチします。
- 2 「経由地編集」にタッチします。
- 3 消去したい経由地にタッチして選択し、「経由地消去」にタッチします。



- 続けて経由地を消去するには手順3を繰り返します。
- 4 「完了」にタッチするとルートが再探索され、目的地案内を再開します。

アドバイス

- 経由地を消去すると、消去した経由地までのルート探索条件が新しい区間に適用されます。

経由地編集 - 経由地・目的地の順番を入れかえる

- 1 ルート案内中の現在地画面で「ルート」にタッチし、ルート画面を表示します。
- 2 「経由地編集」にタッチします。
- 3 順番を入れかえる経由地または目的地にタッチし、「上へ移動」「下へ移動」にタッチします。

- 続けて経由地の順番を入れかえるには手順3を繰り返します。



- 4 「完了」にタッチするとルートが再探索され、目的地案内を再開します。

経由地編集 - 自動並べかえ(周遊)

経由地を近い順に自動で並べかえることができます。通過していない経由地が2箇所以上設定されていて、リストの経由地が目的地が選択されている場合、「探して登録」スイッチが「周遊」スイッチに変わります。

- 1 ルート案内中の現在地画面で「ルート」にタッチし、ルート画面を表示します。
- 2 「経由地編集」にタッチします。
- 3 「周遊」にタッチすると、周遊前と周遊後の経由地順序が表示されます。



- 4 「完了」にタッチするとルートが再探索され、目的地案内を再開します。

アドバイス

- 並べかえにより経由地が変更されても、設定されているルート探索条件（推奨／一般道／チューニング／幹線／燃費）でルート探索されます。
⇒「ルート探索条件を変更する」（66 ページ）

ルート探索条件を変更する

探索条件を変更します。経由地を設定している場合は、経由地までの区間ごとに探索条件を変更できます。

- 1 ルート案内中の現在地画面で「ルート」にタッチし、ルート画面を表示します。
- 2 「条件変更」にタッチします。



- 3 変更したい区間の「推奨」「一般道」「チューニング」「幹線」「燃費」のいずれかにタッチします。



- ルート探索条件については下記項目を参照してください。
⇒「ルートを選択する（6 ルート）」（53 ページ）

- すでに通過した区間は表示されません。

- 4 「完了」にタッチするとルートが再探索され、目的地案内を再開します。

アドバイス

- 走行中は安全のため、条件変更画面をスクロールできません。

地点に属性（一般道路／有料道路）を設定する

有料道路が近接している地点を目的地や経由地に設定したとき、誤って一般道路上または有料道路上に地点が設定されてしまった場合は地点属性（一般道路／有料道路）を変更できます。

- 1 ルート案内中の現在地画面で「ルート」にタッチし、ルート画面を表示します。
- 2 「条件変更」にタッチします。



- 3 変更したい地点の「一般」または「有料」にタッチします。



- 4 「完了」にタッチするとルートが再探索され、目的地案内を再開します。

リルート機能

目的地案内中にルートから外れると、その位置から目的地までのルートが自動的に再探索されます。自動で再探索されないときは、本操作を行ってください。

- 1 ルート案内中の現在地画面で「ルート」にタッチし、ルート画面を表示します。
- 2 「リルート」にタッチするとルートが再探索され、目的地案内を再開します。



迂回する

自車位置から一定の距離を迂回するルートを探します。前方の道路が工事などで通行できないときなどに利用できます。

- 1 ルート案内中の現在地画面で「ルート」にタッチし、ルート画面を表示します。
- 2 「周辺迂回」にタッチするとルートが再探索され、目的地案内を再開します。



アドバイス

- 迂回地点をあらかじめ登録しておくこともできます。
⇒「迂回地点を登録する」(72 ページ)
- 迂回する距離を設定できます。
⇒「迂回距離を設定する (一般道)」(162 ページ)
⇒「迂回距離を設定する (有料・高速道)」(162 ページ)
- 案内中のルートから外れている場合は、迂回ルートを探索できません。
- 周辺の道路によっては、迂回できない場合があります。

ルートを再探索する

ルート案内中、再度 6 ルート探索を行います。

- 経由地がセットされている場合は、ルートの再探索はできません。

- 1 ルート案内中の現在地画面で「ルート」にタッチし、ルート画面を表示します。

- 2 「ルート再探索」にタッチします。



- 3 探索結果画面で「他ルート」にタッチするとすべてのルートを確認できます。



- 4 希望のルートにタッチして選択し、「案内開始」にタッチするとルートが再探索され、目的地案内を再開します。

アドバイス

- 走行中は安全のため「ルート再探索」にタッチすることはできません。
- ルート探索条件については下記項目を参照してください。
⇒「ルートを選択する (6 ルート)」(53 ページ)

経由地をスキップする

案内中の経由地を通過済みにし、次の経由地または目的地へ案内します。

- 1 ルート案内中の現在地画面で「ルート」にタッチし、ルート画面を表示します。

- 2 「経由地スキップ」にタッチすると、ルートが再探索され、目的地案内を再開します。



アドバイス

- 経由地に「到着した」と判断できず、いつまでも経由地への案内を繰り返す場合があります。そのような場合に経由地をスキップしてください。

ルートを消去する

現在のルート・目的地・経由地を消去します。

- 1 ルート案内中の現在地画面で「ルート」にタッチし、ルート画面を表示します。
- 2 「ルート消去」にタッチすると、ルート・目的地・経由地が消去され、現在地画面に戻ります。



アドバイス

- 目的地に近づくるとルート案内を自動的に終了します。近づき加減が不足しているときなどは「到着した」と判断できず、いつまでも目的地への案内を繰り返す場合があります。そのようなときはルートを消去してください。
-  NAVI / [MENU] スイッチを押して表示されるナビメニュー画面で「ルート消去」にタッチして、ルートを消去することもできます。

アクティブルートサーチ機能について

本機には、目的地までのルートを走行中に最新情報に基づいて最適なルートを探し出す機能「アクティブルートサーチ」があります。最適ルートが見つかった場合は音声案内とメッセージを表示してお知らせし、自動的に最適ルートに切りかわります。

アクティブルートサーチは、以下の情報を基に行われます。

- ・ VICS 規制情報（通行止め、インターチェンジの閉鎖など）
- ・ 時間曜日規制情報
- ・ スマートインターチェンジの時間曜日規制
- ・ 迂回地点
- ・ VICS 渋滞情報
- ・ より短距離ルートが発見

- ◆ 規制情報を考慮したルートが見つかったと VICS 規制、時間曜日規制などがルート前方にある場合、メッセージを表示し、規制を考慮した新ルートに変更します。

メッセージ表示例：「〇〇 km 先、VICS 規制情報があります VICS 規制を考慮した新ルートに変更します」

- ◆ 時間短縮ルートが見つかったと 時間短縮ルートが見つかった場合は、新ルートと現ルートを同時に表示したアクティブルートサーチ画面が表示されます。



1. 分岐交差点
2. 合流交差点
3. 短縮時間
4. 増減距離

- 新ルートを走行した場合や何もしない状態で設定した割込み時間を経過すると、新ルートに決定されます。
⇒「アクティブルートサーチの割込み時間を設定する」(160 ページ)
- 現ルートを走行した場合、にタッチした場合、「[現在地]」スイッチを押した場合は現ルートに決定されます。

アドバイス

- 新ルートは現ルートに比べて距離が増加する場合があります。
- アクティブルート画面は、ノースアップ画面で表示されます。
- 現在地から次の分岐交差点までの距離が 50km を超える場合は、アクティブルートサーチ画面は表示せずにメッセージの表示と案内を行います。
- アクティブルートサーチ機能を有効にするかどうか、また、到着時刻が何分以上縮まる場合にルート変更するか（5 分～ 30 分）などを設定できます。
⇒「アクティブルートサーチを実行する」(160 ページ)
⇒「アクティブルートサーチの割込み時間を設定する」(160 ページ)
⇒「アクティブルートサーチ短縮時間を設定する」(160 ページ)
⇒「アクティブルートサーチ音声案内割込みを設定する」(161 ページ)
- 表示される区間通過の短縮時間はあくまで目安であり、走行速度、交通状況により短縮時間は異なる場合があります。
- 「アクティブルートサーチ」での「交通状況の考慮」および「回避ルート探索（渋滞考慮案内）」は通行止め等の交通規則が発生した場合等、距離、時間ともに増加するルートを表示する場合があります。また、常に渋滞からの回避が行えるわけではありません。

地点登録について

地点を最大で 700 箇所登録することができます。地点を登録しておくと、下記が可能になります。

- ・登録地点リストを使って、目的地や経由地を決めることができます。
- ・登録した地点の地図にマークが表示されます。
- ・登録地点に近づいたときに音声案内を流すことができます。

また、通常の登録地点の他に下記の種類の地点を登録することができます。

- ・特別地点（自宅、特別地点 1～3、販売店）：通常の登録地点よりも簡単に目的地に設定することができます。
- ・迂回する地点：登録した地点を迂回してルートを引くことができます。
- ・カメラ表示地点：登録した地点に接近すると、フロント／サイドカメラ映像を表示することができます。

現在地を地点登録する

自車位置の地点を登録します。

- 1 現在地画面で「[地点登録]」にタッチすると、自車位置の地点を登録します。



- 「[地点登録]」が表示されていないときは、または にタッチしてナビ操作メニューを表示させてください。

- 2 表示された地点情報を確認し、必要に応じて変更します。



- 地点情報の変更方法は、下記を参照してください。
⇒「地点情報を変更する - 基本情報」(73 ページ)
⇒「地点情報を変更する - マーク情報」(73 ページ)
⇒「地点情報を変更する - 位置情報」(74 ページ)
⇒「地点情報を変更する - 詳細情報」(75 ページ)

地点を探して登録する

地図上にタッチして指定した任意の地点、または検索した地点を登録できます。

1 地図上の登録したい地点にタッチします。または「目的地を検索する」を参照し、地点を検索します。

2 [登録] にタッチします。



3 [地点登録] にタッチすると、指定した地点が登録されます。



4 表示された地点情報を確認し、必要に応じて変更します。



- 地点情報の変更方法は、下記を参照してください。
⇒「地点情報を変更する - 基本情報」(73 ページ)
⇒「地点情報を変更する - マーク情報」(73 ページ)
⇒「地点情報を変更する - 位置情報」(74 ページ)
⇒「地点情報を変更する - 詳細情報」(75 ページ)

特別地点を登録する

地図上にタッチして指定した任意の地点、または検索した地点を特別地点に登録します。

販売店・地点1・地点2・地点3・自宅の5か所を登録できます。自宅の登録については下記項目を参照してください。

⇒「自宅を登録する」(30 ページ)

1 地図上の登録したい地点にタッチします。または「目的地を検索する」を参照し、地点を検索します。

2 [登録] にタッチしたあと、[特別地点] にタッチします。



3 [地点1] [地点2] [地点3] [販売店] のいずれかにタッチすると、指定した地点が登録されます。



4 表示された地点情報を確認し、必要に応じて変更します。

- 地点情報の変更方法は、下記を参照してください。
⇒「地点情報を変更する - 基本情報」(73 ページ)
⇒「地点情報を変更する - マーク情報」(73 ページ)
⇒「地点情報を変更する - 位置情報」(74 ページ)
⇒「地点情報を変更する - 詳細情報」(75 ページ)
- すでに特別地点が登録されている場合は、変更を確認するメッセージが表示されます。[はい] にタッチします。

カメラ表示地点を登録する

自宅駐車場や見通しの悪い交差点など、フロントカメラ／サイドカメラ映像を表示したい地点をあらかじめ登録することができます。登録した地点で、自動的にフロントカメラ／サイドカメラ映像を表示します。

カメラ表示地点は50箇所登録でき、地図上にアイコンが表示されます。

- カメラ表示地点の登録は、フロントカメラまたはサイドカメラの接続が設定されているときのみ可能です。

1 地図上の登録したい地点にタッチします。または「目的地を検索する」を参照し、地点を検索します。

2 「登録」にタッチします。



3 「カメラ表示地点」にタッチします。



4 表示された地点情報を確認し、必要に応じて変更します。フロントカメラ／サイドカメラ両方を接続している場合は、「カメラ属性」の「フロントカメラ」または「サイドカメラ」にタッチし、どちらのカメラの映像を表示するかを設定します。



- どの方向から近づくとカメラ映像を表示するかを設定できます。
⇒「カメラを表示する範囲を設定する」(71 ページ)
- 名称と位置を変更するには、下記を参照してください。
⇒「地点情報を変更する - 基本情報」(73 ページ)
⇒「地点情報を変更する - 位置情報」(74 ページ)

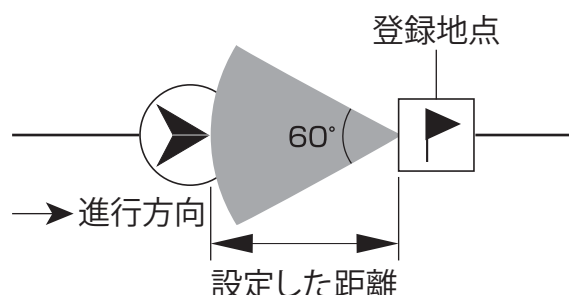
アドバイス

- 登録地点の半径 50m 以内の映像が表示されます。
- 登録地点に連動して映像を表示させるには、「フロントカメラ地点連動表示」または「サイドカメラ地点連動表示」を「する」に設定してください。
⇒「フロントカメラ映像を自動的に表示する（地点連動）」(169 ページ)
⇒「サイドカメラ映像を自動的に表示する（地点連動・インターフェースボックス接続）」(170 ページ)
⇒「サイドカメラ映像を自動的に表示する（地点連動・汎用カメラ）」(175 ページ)

カメラを表示する範囲を設定する

設定した地点に、どの方向から近づけばカメラ映像を表示するかを設定します。

方向を指定したときは、指定した方向に向かって 60° の範囲が対象となります。指定した方向に 60° の範囲から登録地点に接近したときはカメラ映像が表示されますが、それ以外の方向から接近したときはカメラ映像が表示されません。



1 カメラ表示地点登録時に表示された地点情報画面の、「接近方向設定」の「全方向 ON」[全方向 OFF] [方向設定] のいずれかにタッチします。
⇒「カメラ表示地点を登録する」(70 ページ)



- [全方向 ON] にタッチするとすべての方向に設定され、[全方向 OFF] にタッチするとすべての方向でカメラ映像は表示されません。また、以降の操作は必要ありません。

- 「[方向設定]」にタッチした場合は、方向を設定する地図画面がノースアップで表示されます。手順2にお進みください。

- 2 「 または  にタッチして方向を指定し、「完了」にタッチします。



自車位置を修正して登録する

GPS 受信状況の変化により、実際の車の向きと画面上の自車マークの位置・方向が異なったときに修正できます。ただし、修正しなくても走行を続ければ、情報が補正され正しい位置・方向になります。

- 1 地図にタッチしたあと、「登録」にタッチします。



- 2 「[現在地]」にタッチします。



- 3 地図をスクロールして自車位置を修正し、 または  にタッチして方向を指定します。



- 4 「登録」にタッチすると自車位置が修正されます。

アドバイス

- 設定画面で自車位置を修正することもできます。
⇒「自車位置を修正する」(182 ページ)

迂回地点を登録する

迂回地点を最大 10 箇所まで登録できます。迂回地点を登録しておくと、ルートを探求するときに登録したエリアを迂回させることができます。工事や事故による通行止め・渋滞地点があらかじめわかっているときなどに便利です。迂回地点を中心として、何 m 四方のエリアを迂回するのも設定できます。

- 1 地図にタッチしたあと、「登録」にタッチします。



- 2 「[迂回する地点]」にタッチします。



- 3 表示された迂回地点の登録画面で、「範囲」の[300m] または [500m] にタッチし、迂回する範囲を設定します。



アドバイス

- 設定した迂回範囲は地図画面上で赤色の四角で表示されます。

地点情報を変更する - 基本情報

地点登録時に表示される登録地点情報画面で、地点名称など、基本情報の編集を行います。

- 地点情報画面は登録地点リストで地点を選んで「情報」にタッチしても表示することができます。または設定画面から表示します。
⇒「地点編集」(186 ページ)

- 1 地点登録時に地点情報画面が表示されたら、「基本情報」タブにタッチします。



- 2 画面に表示される地点名称を変更するには、「[名称]」にタッチして名称入力画面を表示します。文字にタッチして名称を入力し、「完了」にタッチします。



- 3 地点名称の読み方を変更するには、「[読み]」にタッチして読み入力画面を表示します。文字にタッチして読み方を入力し、「完了」にタッチします。



- 4 電話番号を変更するには、「[TEL]」にタッチして電話番号入力画面を表示します。数字にタッチして電話番号を入力し、「完了」にタッチします。



- 最大 15 桁まで入力可能です。

- 5 施設に関するコメントなどを入力するには、「[メモ]」にタッチしてメモ入力画面を表示します。文字にタッチして入力し、「完了」にタッチします。



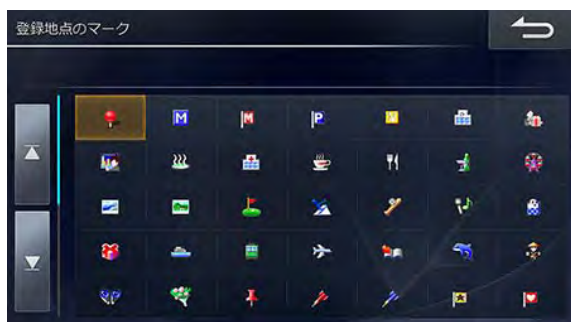
地点情報を変更する - マーク情報

地点登録時に表示される登録地点情報画面で、マーク情報の編集を行います。登録地点のマークを変更したり、地点に近づいたときに注意音や音声を鳴らす接近音の設定をすることができます。接近音を鳴らす距離と方向も設定できます。

- 地点情報画面は登録地点リストで地点を選んで「情報」にタッチしても表示することができます。または設定画面から表示します。

⇒「地点編集」(186 ページ)

- 1 地点登録時に地点情報画面が表示されたら、[マーク情報] タブにタッチします。
- 2 地図に表示されるマークを変更するには、[マーク] にタッチしてマーク選択画面を表示し、登録したいマークにタッチします。



- 自宅、特別地点、登録地点で、表示されるマークが異なります。
- 3 接近音を鳴らすには、[接近音] にタッチして接近音リスト画面を表示します。登録する音声にタッチし、[完了] にタッチします。



- [音声] にタッチすると、選択した音声を再生して確認できます。
- 4 「接近距離設定」の [100m] [300m] [500m] のいずれかにタッチして、接近音を鳴らす距離を設定します。



- 5 「接近方向設定」の [全方向 ON] [全方向 OFF] [方向設定] のいずれかにタッチします。

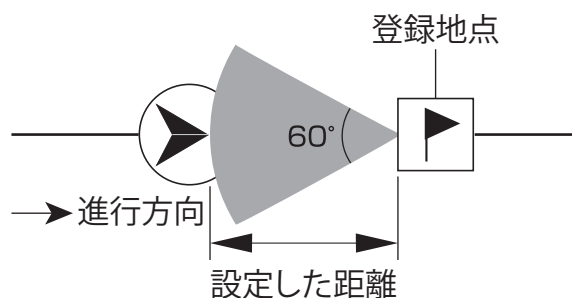
- [全方向 ON] にタッチするとすべての方向に設定され、[全方向 OFF] に設定するとすべての方向で接近音は鳴りません。また、以降の操作は必要ありません。
- [方向設定] にタッチした場合は、方向を設定する地図画面がノースアップで表示されます。手順 6 にお進みください。

- 6 [] または [] にタッチして方向を指定し、[完了] にタッチします。



アドバイス

- 方向を指定したときは、指定した方向に向かって 60° の範囲が対象となります。指定した方向に 60° の範囲から登録地点に接近したときは接近音が鳴りますが、それ以外の方向から接近したときは接近音が鳴りません。



- 接近音が鳴った登録地点から約 1km 以上離れないと、再度接近しても接近音は鳴りません。

地点情報を変更する - 位置情報

地点登録時に表示される登録地点情報画面で、地点の位置と地点属性（一般道路／有料道路）を変更できます。

- 地点情報画面は登録地点リストで地点を選んで [情報] にタッチしても表示できます。または設定画面から表示します。
⇒「地点編集」(186 ページ)

- 1 地点登録時に地点情報画面が表示されたら、[位置情報] タブにタッチします。

- 2 地点の位置を変更するには、[位置] にタッチし、地点周辺の地図を表示します。



- 3 変更したい地点にカーソルを合わせ、[地点を変更] にタッチします。



- 4 地点属性を変更するには、「地点属性」の[未設定][一般道路][有料道路]のいずれかにタッチします。

- 一般道路／有料道路が登録地点の近くにある場合、地点を目的地／経由地に設定する場合、本設定を利用します。目的地／経由地が一般道路上に設定されるか、有料道路上に設定されるかを決定します。
- 地点付近に一般道路／有料道路がない場合は、それぞれのタッチスイッチは選択することができません。
- [未設定]を選択すると、地点の属性（一般道路／有料道路）を設定しません。

地点情報を変更する - 詳細情報

地点登録時に表示される登録地点情報画面で、地点の詳細情報を確認できます。

- 地点情報画面は登録地点リストで地点を選んで「情報」にタッチしても表示できます。または設定画面から表示します。
⇒「地点編集」(186 ページ)

- 1 地点登録時に地点情報画面が表示されたら、「詳細情報」タブにタッチして地点の詳細情報を表示します。



登録地点に電話をかける

本機に携帯電話が接続されていれば、地点登録時に表示される登録地点情報画面の電話番号に電話をかけることができます。

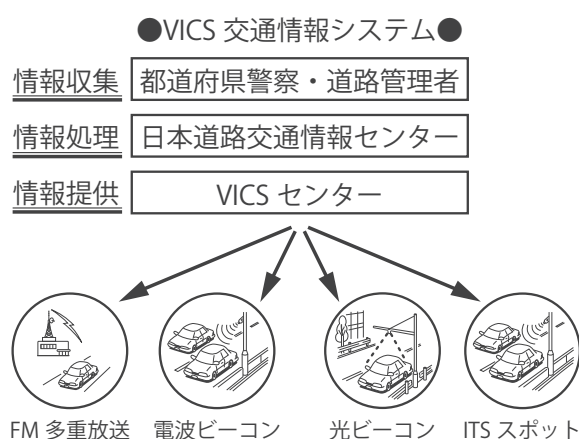
- 地点情報画面は登録地点リストで地点を選んで「情報」にタッチしても表示できます。または設定画面から表示します。
⇒「地点編集」(186 ページ)

- 1 地点登録時に地点情報画面が表示されたら、「発信」にタッチして電話をかけます。



VICS について

「楽しいドライブなのに突然渋滞。なんでこんなに混んでいるの？空から見下ろしてみたい！」この要求に答えたのが VICS（ビークル インフォメーション アンド コミュニケーションシステム）です。VICS は渋滞や障害・規制、駐車場などのさまざまな交通情報をリアルタイムに提供します。この情報を利用すれば渋滞を減らすことができ、交通の流れが分散されます。さらにイライラによる精神的なストレス・経済的なロス・排気ガスの削減なども期待できるのです。



VICS は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。VICS リンクデータの著作権は（一財）デジタル道路地図協会、（公財）日本交通管理技術協会にあります。

VICS による渋滞・混雑などの情報を地図上に表示するため、あらかじめ「地図」に情報提供用の道路単位（VICS リンク）を設定しています。道路形状や交通情報収集施設の変化にともない、より正確な情報提供表示を行うために毎年情報提供単位が追加・変更されます。このために VICS による地図情報表示は「本製品」発売後およそ 3 年程度で一部のエリアで VICS の地図情報が表示されなくなる場合があります。より正確な情報を表示するためには最新の「地図」をご使用ください（本製品の道路単位は 2016 年 11 月版です）。

◆ VICS WIDE について

本機は FM 多重放送による新サービス「VICS WIDE」に対応しています。

VICS WIDE は従来の VICS-FM 多重放送に加え、道路の交差点間などの一定区間の通過に要する時間（リンク旅行時間）やプローブ情報をもとに、より精度の高いルート案内が可能となります。

また気象・津波情報に火山噴火を加えたすべての特別警報（地震を除く）や大雨が発生しているエリアの情報提供を受けることができます。

・本機は進行方向別旅行時間表示には対応していません。

・VICS WIDE の情報提供は地域により異なります。

VICS WIDE について詳しくは、一般財団法人 道路交通情報通信システムセンターのホームページを参照してください。

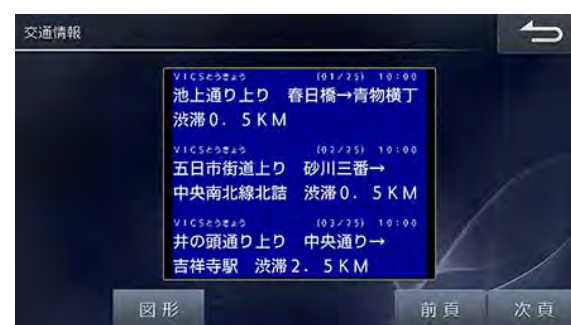
<http://www.vics.or.jp/>

◆ 提供される VICS 情報

●文字情報

文字情報を表示します。走行中は 1 ページ（2 行 30 文字程度）、停車中は最大 3 ページの文字情報を表示します。

<表示例>



●図形情報

簡易な道路図形などを表示します。

<表示例>



●地図表示情報

地図上に渋滞情報などを表示します。

<渋滞矢印線表示例>



●画像・音声情報（ETC2.0 のみ）

画像を表示したり、音声情報を読み上げます。

<表示例>



◆ 情報を提供する媒体

情報を提供する媒体には次のような種類があります。

● FM 多重放送

FM 放送局から音声のすき間を使って配信されます。FM 局を受信していれば利用でき、広域で情報を受けられます。

●電波ビーコン

主に高速道路に設置されています。ビーコンが設置された場所で周辺の情報を受けることができます。

●光ビーコン

一般道路に設置されています。ビーコンが設置された場所で周辺の情報を受けることができます。

● ITS スポット

主に高速道路に設置されています。ITS スポットが設置された場所で情報を受けることができます。

・ FM 多重放送による VICS 情報を利用するには、VICS 情報を放送している放送局を選局してください。

⇒「VICS 放送局を選ぶ」（81 ページ）

・ 本機は電波ビーコンには対応していません。

・ ITS スポットによる VICS 情報を受けるためには、別売の ETC2.0 車載器（HCE-B110V / HCE-B110）が必要です。HCE-B110V は、付属の光ビーコンアンテナで光ビーコンによる VICS 情報を受けることができます。

◆ 表示される VICS 情報

● VICS タイムスタンプ



1.VICS タイムスタンプ

VICS 情報提供時刻を表示します。

・ タイムスタンプは、VICS 情報が提供された時刻であり、現在時刻や VICS が受信された時刻ではありません。

・ ルート案内中にタッチすると、高速道路上の混雑状況がわかる高速渋滞情報画面を表示します。



・ 大雨や大雪、大津波などの特別警報情報を受信した場合は特別警報アイコンを表示します。タッチすると受信した気象警報・災害エリア一覧画面を表示し大雨警報などの範囲を確認することができます。



また特別警報情報受信時に、特別警報アイコンを表示しないように設定することができます。
⇒「特別警報アイコンを表示する」(164 ページ)

●交通情報

FM 多重放送、ビーコンで受信した文字または図形情報を呼び出して見ることができます。
⇒「VICS 交通情報を見る」(84 ページ)

● VICS 割り込み情報

光ビーコンまたは ITS スポットから情報を受信した時や指定された地点で図形・文字・画像情報を自動的に表示します。
⇒「VICS 割り込み情報について」(83 ページ)
・ナビ音声案内中に優先される音声情報が含まれる VICS 割り込み情報がある場合、ナビ音声案内は中断されます。
・ETC2.0 車載器が必要です。

●渋滞・混雑・空き道表示

渋滞地点や渋滞区間などを地図上に矢印で表示します。



渋滞・混雑・空き道表示は地図スケールが 1km 以下の詳細な地図で表示されます。

	赤	渋滞：交通の流れが非常に悪い状態
	橙	混雑：交通の流れがやや悪い状態
	緑	空き道：交通の流れが良い状態
	黄	規制：規制区間

・矢印表示をするかどうか設定できます。
⇒「渋滞・混雑表示を設定する」(149 ページ)
⇒「空き道表示を設定する」(150 ページ)

●駐車場情報

VICS で提供された一般駐車場・臨時駐車場のマークを地図上に表示します。



一般駐車場 臨時駐車場	青	空車：利用可能な状態
	赤	満車：ほぼ満車の状態
	橙	混雑：利用率が高い状態
	黒	不明：駐車場情報がない状態

また、周辺の VICS 提携駐車場を探すこともできます。
⇒「VICS 駐車場情報を見る」(84 ページ)
・駐車場マークは地図スケールが 1km 以下の詳細な地図で表示されます。
・駐車場マークを表示するかどうか設定できます。
⇒「VICS 駐車場・充電施設を表示する」(151 ページ)
・駐車場マークにタッチすると、情報が表示されます。[情報] にタッチすると駐車場の詳細情報が表示され、情報の重なりがある場合は [次へ] にタッチすると近くの駐車場マークを選択します。





●充電施設情報

電気自動車用の充電施設を充電方法（急速・中速・普通・プラグイン）に応じたマークで地図上に表示します。また、周辺の充電施設を探すこともできます。

＜充電施設マーク表示例＞

	青	利用可能な状態
	赤	混雑している状態
	橙	利用率が高い状態
	黒	充電施設情報がない状態

・充電施設マークは地図スケールが 1km 以下の詳細な地図で表示されます。

・充電施設を表示するかどうか設定できます。

⇒「VICS 駐車場・充電施設マークを表示する」（151 ページ）

・充電施設マークにタッチすると、情報が表示されます。[情報] にタッチすると施設の詳細情報が表示され、[次へ] にタッチすると近くの施設マークを選択します。



●気象警報情報

大雨や大雪、津波など気象に関する情報を受信すると緊急情報画面が表示されます。

＜緊急情報表示例＞



・[情報] にタッチすると緊急情報の詳細情報が表示されます。[一覧] にタッチすると、気象警報・災害などのリストが表示されます。

●規制マーク

速度・車線・チェーンなど、さまざまな規制情報を規制マークとして進行方向の左側に表示します。対象区間は黄色線で地図上（道路上）に表示します。規制マークは縮尺 1km 以下の地図で表示することができます。ただし、通行止め・入り口閉鎖・オフランプ（出口）閉鎖は関連する事象も含めて、縮尺 20km 以下の道路が表示されるスケールの地図まで表示します。



	進入禁止
	入口閉鎖
	事故
	工事

・規制マークにタッチすると、情報が表示されます。
[情報] にタッチすると規制の詳細情報が表示され、
[次へ] にタッチすると近くの規制マークを選択します。



・情報を表示しないように設定できます。
⇒「VICS 規制マークを表示する」(152 ページ)
・VICS 情報の更新中は情報を表示することができません。また正確に情報を表示しない場合があります。
・VICS 規制マークについては、VICS のホームページを参照してください。
<http://www.vics.or.jp/>

●規制や災害エリア、マークの表示

規制、事故、災害および異常気象などが発生している対象エリアまたは情報に応じたマークを地図上に表示します。



・情報によっては対象エリアとマークが表示されない場合があります。
・対象エリアは情報に応じて、赤紫色／赤色／橙色の境界線で表示されます。情報によっては正確に表示されない場合があります。
・今後規制やイベントなどが予定されているエリアも同様に表示することができます。
⇒「VICS 予告配信を表示する」(151 ページ)
・対象エリアを表示しないように設定できます。
⇒「VICS 規制エリアを表示する」(151 ページ)
⇒「気象警報・災害エリアを表示する」(151 ページ)
・マークにタッチすると情報が表示されます。



- ◆ 音声情報読み上げについて
VICS 割り込み情報に音声情報が含まれる場合は、表示と共に自動的に読み上げを行います。
・VICS 割り込み情報内容が音声情報のみの場合、「音声のみの情報です」と表示されます。
・音声情報読み上げ中に画面遷移した場合、読み上げは中断されます。
・音声情報読み上げ中に「停止」にタッチすると読み上げは中断されます。また「読み上げ」にタッチすると最初から情報読み上げを行います（途中からの再生にはなりません）。
・自動的に読み上げを行わないように設定できます。
⇒「VICS 音声情報を読み上げる」(164 ページ)

- ・別売の ETC2.0 車載器が必要です。

VICS 放送局を選ぶ

FM 多重放送局は地域によって異なります。ラジオの放送局同様に周波数を合わせなければ、VICS などの情報を得ることはできません。

「自動選択」に設定すると、受信可能な放送局を自動的に選局します。移動して受信中の電波が弱くなると、自動的に電波の強い周波数に切りかわるので、引き続き情報を受信することができます。

通常は「自動選択」のままご使用になれますが、地域を指定、または周波数を指定して放送局を選ぶこともできます。

- 本機出荷時は「自動選択」に設定されています。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[情報 / 更新] にタッチします。
- 2 [VICS 情報] タブにタッチし、[放送局選択] にタッチします。



- 3 [自動選択] にタッチすると、現在地付近の受信可能なエリアを自動的に選択します。
- 「自動選択」で使用する場合の操作は以上です。エリアを選択、または放送局の周波数を選択する場合は手順 4 に進みます。



- 4 エリアで選択する場合は [エリア選択] にタッチし、地域タブにタッチしたあと都道府県名タブにタッチします。周波数を設定する場合は [周波数選択] にタッチし、 または  にタッチして周波数を選び、[完了] にタッチします。



アドバイス

- 手順 4 で選択した地域／放送局は、エンジンを OFF にするとクリアされて自動選局に戻ります。

VICS 気象警報 / 災害エリア情報を見る

大雨や大雪、津波など気象に関する情報や、事故、火災など災害に関する情報リストを表示します。

- リストには警報アイコンが表示されます。

	特別警報
 	気象・災害速報
 	気象・災害注意報

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[情報 / 更新] にタッチします。

- 2 [VICS 情報] タブにタッチし、[気象警報 / 災害エリア] にタッチします。



- 3 [特別警報] または [全情報] にタッチして特別警報リストと全情報のリストを切りかえます。



- 4 詳細情報を見るには、警報を選んでタッチし、[情報] にタッチします。
＜詳細情報表示例＞



- ・リストから情報を選択して [完了] または画面右側の地図にタッチすると、対象となっている地点を地図上で確認できます。
 - ・対象エリアは情報に応じて赤紫色 / 赤色 / 橙色の境界線で表示されます。情報によっては正確に表示されない場合があります。
- 特別警報／警戒情報：赤紫、警報：赤、注意報：橙

アドバイス

- ・情報によっては対象エリアとマークが表示されない場合があります。
- ・リストは特別警報アイコンが表示された VICS タイムスタンプにタッチして表示することもできます。

- ・走行中は安全のため表示が制限されます。

VICS 規制エリア情報を見る

規制・事故・災害・異常気象などが発生しているエリアのリストを表示します。

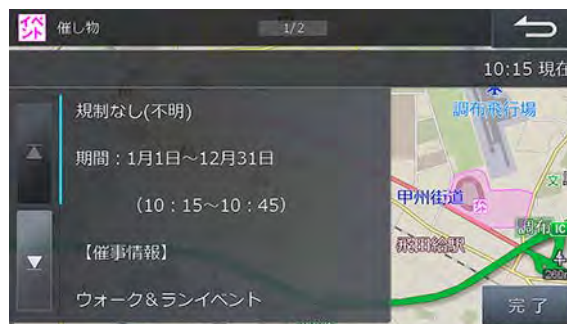
- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[情報 / 更新] にタッチします。
- 2 [VICS 情報] タブにタッチし、[規制エリア] にタッチします。



- 3 詳細情報を見るには、規制を選んでタッチし、[情報] にタッチします。



＜詳細情報表示例＞



- ・リストから情報を選択して [完了] または画面右側の地図にタッチすると、対象となっている地点を地図上で確認できます。
- ・リストには規制の種類に応じたアイコンが表示されます。
- ・対象エリアは情報に応じて境界線で表示されます。

アドバイス

- 情報によっては正確に表示されない場合があります。
- 走行中は安全のため表示が制限されます。

VICS 割り込み情報について

割り込み情報とは、ETC2.0 車載器（別売）によって、受信した直後に他の画面に割り込んで提供される情報のことです。

受信できる情報には、以下のような種類があります。

- ・緊急情報 / 緊急メッセージ：大雨特別警報や地震・災害時の停車・避難等の行動指示（優先して表示します）
- ・安全運転支援：走行路線の安全運転支援情報（優先して表示します）
- ・注意警戒情報：工事・規制などの情報
- ・ネットワーク障害／ことわり情報：VICS センターなどからのお知らせ
- ・長文読み上げ情報：交通状況や気象情報などの音声情報
- ・多目的情報：道路交通情報・施設関連情報など
- ・電子標識：標識などの案内情報
- ・ビーコン図形情報：走行中経路の交通情報
- ・ビーコン文字情報：広域の交通情報

- ITS スポットからの情報に音声情報が含まれる場合は、表示と共に自動的に読み上げを行います。
⇒「VICS 音声情報を読み上げる」（164 ページ）

- 1 割り込み情報に複数のページがある場合は、▲ ▼ にタッチすると前後のページに切りかわります。



- 音声情報がある場合、読み上げ中に「停止」にタッチすると読み上げは中断され、中断中に「読み上げ」にタッチすると最初から情報読み上げを行います（途中からの再生にはなりません）。

- 2 ✕ をタッチすると割り込み画面を解除します。または「割り込み時間」で設定した時間を経過するか、音声読み上げが終了すると解除されます。
⇒「VICS 割り込み情報の表示時間を設定する」（163 ページ）

アドバイス

- 情報を割り込み表示しないように設定することができます。ただし、緊急メッセージ／安全運転支援／注意警戒情報は、設定に関係なく割り込み表示されます。
⇒「VICS 割り込み情報表示を行う」（163 ページ）
- 交差点拡大図の表示中など VICS 割り込み情報が表示しない場合があります。
- 割り込み情報は設定した時間を経過すると自動的に消去されます。
⇒「VICS 情報保持時間を設定する」（163 ページ）

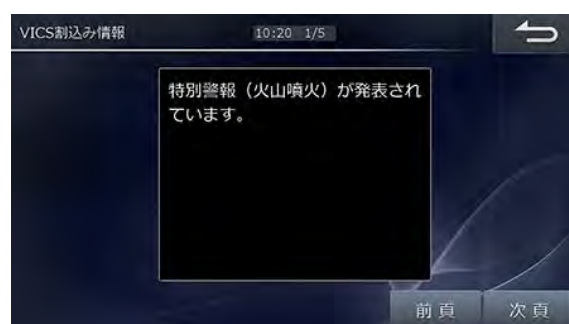
VICS 割り込み情報を呼び出す

受信された割り込み情報を呼び出して見ることができます。

- 1 ④ NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[情報 / 更新] にタッチします。
- 2 [VICS 情報] タブにタッチし、[割り込み情報] にタッチします。



- 3 割り込み画面が複数ページある場合は「前頁」「次頁」にタッチすると前後のページが表示されます。文字情報表示時は「図形」に、図形情報表示時は「文字」にタッチすると、文字情報と図形情報が切りかわります。読み上げ情報がある場合は「読み上げ」にタッチし、読み上げを中断するときは「停止」にタッチします。



アドバイス

- オプションキーに VICS 割り込み情報呼び出し操作を割り当てることができます。
⇒「オプションキーに機能を登録する」(24 ページ)

VICS 交通情報を見る

VICS 交通情報は、道路状況などが文字または簡易図形として表示されるので、道路の混雑状況を一目で確認できます。情報を受信すると情報番組の目次が表示され、番組を選ぶと情報画面が表示されます。

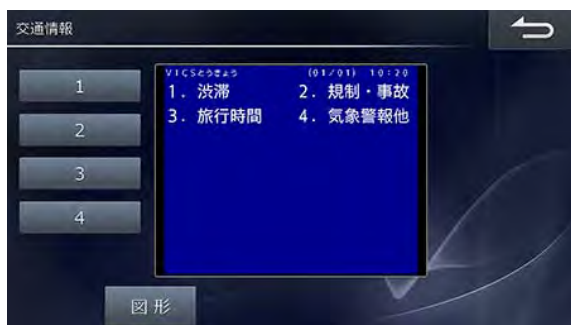
- 文字情報と図形情報のうち先に受信した情報を表示します。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[情報 / 更新] にタッチします。
- 2 [VICS 情報] タブにタッチし、[交通情報] にタッチすると交通情報画面が表示されます。

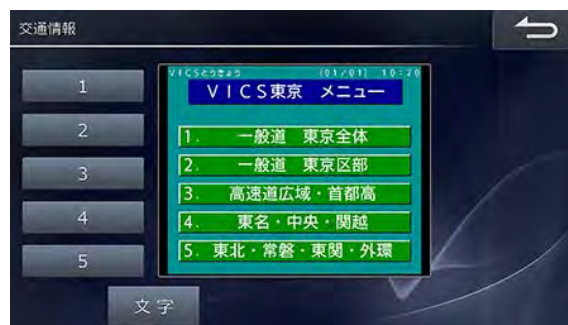


- 3 見たい情報の番号にタッチします。

◆ 文字情報

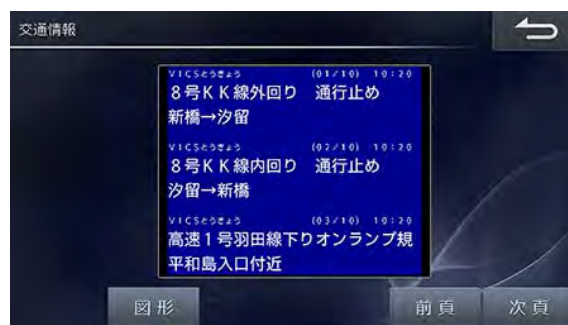


◆ 図形情報



- 4 複数ページある場合は [前頁] [次頁] にタッチすると前後のページが表示されます。文字情報表示時は [図形] に、図形情報表示時は [文字] にタッチすると、文字情報と図形情報が切りかわります。

◆ 文字情報



◆ 図形情報



アドバイス

- 走行中は安全のため表示が制限されます。

VICS 駐車場情報を見る

VICS と提携している駐車場をリスト表示し、現在の混み具合のほか、地図や詳細情報を確認できます。高速道路ではサービスエリア (SA) / パーキングエリア (PA) のリストを表示します。

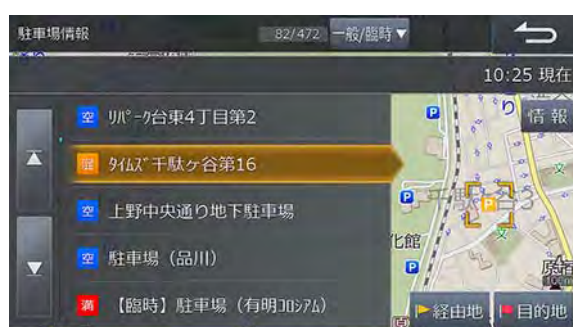
- リストには駐車場アイコンが表示されます。

空車		利用が可能な状態
満車		ほぼ満車の状態
混雑		利用率が高い状態
不明		駐車場情報がない状態

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[情報 / 更新] にタッチします。
- 2 [VICS 情報] タブにタッチし、[駐車場情報] にタッチすると駐車場リストが表示されます。



- 3 [一般 / 臨時] または [SA・PA] にタッチして一般駐車場／臨時駐車場と SA・PA のリストを切りかえます。



- 4 駐車場の詳細情報を見るには、駐車場を選んでタッチし、[情報] にタッチします。

<詳細情報表示例>



- 駐車場詳細情報画面、または駐車場リスト表示時の画面右側地図上の[目的地][経由地]にタッチすると、選択している駐車場を目的地・経由地に設定できます。
- 駐車場リスト画面表示時に、選択中の駐車場名にタッチするか、画面右側の地図にタッチすると、検索した住所の地図が表示されます。地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください。

アドバイス

- 走行中は安全のため表示が制限されます。

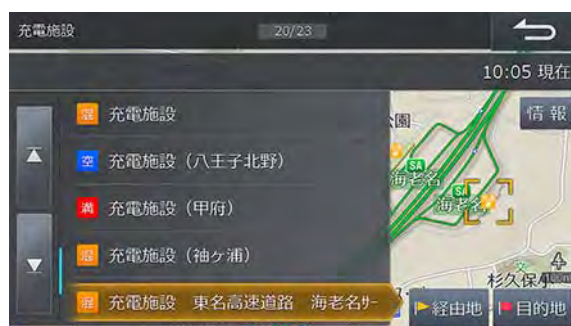
VICS 充電施設情報を見る

電気自動車用の充電施設のリストを表示します。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[情報 / 更新] にタッチします。
- 2 [VICS 情報] タブにタッチし、[充電施設] にタッチします。



- 3 充電施設の詳細情報を見るには、充電施設を選んでタッチし、[情報] にタッチします。



<詳細情報表示例>



- 充電施設詳細情報画面、または充電施設リスト表示時の画面右側地図上の[目的地][経由地]にタッチすると、選択している充電施設を目的地・経由地に設定できます。
- 充電施設リスト画面表示時に、選択中の駐車場名にタッチするか、画面右側の地図にタッチすると、検索した住所の地図が表示されます。地図上のタッチスイッチの中から、利用目的にあったスイッチにタッチしてください。

アドバイス

- 走行中は安全のため表示が制限されます。

VICS 予告配信情報を見る

規制やイベントなどが予定されているエリアのリストを表示します。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[情報 / 更新] にタッチします。

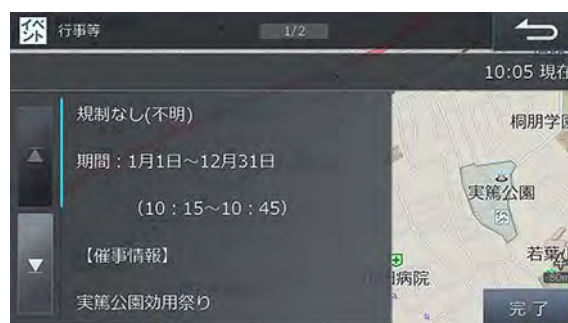
- 2 [VICS 情報] タブにタッチし、[予告配信] にタッチします。



- 3 詳細情報を見るには、予告配信を選んでタッチし、[情報] にタッチします。



<詳細情報表示例>



- ・リストから情報を選択して[完了]または画面右側の地図にタッチすると、対象となっている地点を地図上で確認できます。
- ・リストには規制の種類に応じたアイコンが表示されます。
- ・対象エリアは情報に応じて境界線で表示されます。

アドバイス

- 情報によっては正確に表示されない場合があります。
- 走行中は安全のため表示が制限されます。

電話・通信機能

BLUETOOTH 通信と Wi-Fi 通信について

本機は無線接続の BLUETOOTH と Wi-Fi 通信を使用することができます。

BLUETOOTH ではハンズフリー通話や BLUETOOTH オーディオ機能などを使用でき、Wi-Fi では本機データの更新をすることができます。

- ◆ 本機は BLUETOOTH 規格対応の携帯電話などの BLUETOOTH 機器と無線で接続できます。BLUETOOTH を使用して携帯電話と接続すると、本機のマイクやスピーカーを使ってドライブ中に手ぶらで通話ができるハンズフリー通話ができます。また、スマートフォンなどの音楽を本機で再生することができます (BLUETOOTH AUDIO)。スマートフォンアプリ・NaviCon との連携も可能です。

BLUETOOTH 通信
電話 (ハンズフリー通話)
BLUETOOTH オーディオ
スマートフォンナビ連携機能

- ハンズフリー電話については、下記項目を参照してください。
⇒「ハンズフリー電話について」(88 ページ)
- BLUETOOTH AUDIO については、下記項目を参照してください。
⇒「BT AUDIO を再生する」(141 ページ)
- スマートフォンナビ連携機能については、下記項目を参照してください。
⇒「スマートフォンナビ連携機能について」(96 ページ)
- ◆ テザリング対応スマートフォンなどを使用して Wi-Fi 接続すると、地図データなどの本機データや、SD カードに音楽を録音したときにアルバム名やアーティスト名などを表示する Gracenote データベースを更新することができます。

Wi-Fi 通信 (本機の各種データを更新)
全国地図データ年度更新
高速道配信データ更新
本機プログラム更新
車種専用チューニングデータ更新
Gracenote データベース更新
本機ログデータアップロード

- Wi-Fi 更新については、下記項目を参照してください。

⇒「Wi-Fi 通信でデータ更新を行う」(208 ページ)

- 地図データ更新については、下記項目を参照してください。

⇒「地図データ更新について」(208 ページ)

- ログデータアップロードについては、下記項目を参照してください。

⇒「ログデータをアップロードする」(184 ページ)

- ◆ 本機で使用できる BLUETOOTH プロファイルについて
プロファイルは、BLUETOOTH 通信の接続手順を機能ごとに標準化したもので、プロファイルが本機と携帯電話で一致していない機能は利用できません。お使いの携帯電話が本機の対応プロファイルと一致しているかどうか確認してください。

- ・HFP：ハンズフリー通話を行うためのプロファイル

- ・OPP/PBAP：電話帳のデータなどを送受信するためのプロファイル

- ・A2DP：音声データを送信するためのプロファイル

- ・AVRCP：ポータブルオーディオプレーヤーで音楽再生の操作を行うためのプロファイル

- ・SPP：仮想シリアルポートを用いて 2 台のデバイスを接続するプロファイル

- ◆ 本機で使用できる Wi-Fi 規格について

- 本機は下記規格のアクセスポイントと接続することができます。

- ・IEEE802.11b：周波数帯域：2.4GHz 帯、1～13ch

- ・IEEE802.11a：周波数帯域：5GHz 帯、W56 100～140ch

- ・IEEE802.11g：周波数帯域：2.4GHz 帯、1～13ch

- ・IEEE802.11n：周波数帯域：2.4GHz 帯、1～13ch / 5GHz 帯、W56 100～140ch

- 対応セキュリティ方式／暗号強度

- ・Open System / —

- ・WEP / 低

- ・WPA パーソナル / 中

- ・WPA2 パーソナル / 高

- NTT ドコモ・au・ソフトバンクが提供する携帯電話は本機と接続できますが、携帯電話の機種によっては接続できない場合があります。

- お使いの携帯電話と本機の適合については下記のホームページでご確認ください。

<https://www.alpine.co.jp/support/inquiry/>

アドバイス

- Wi-Fi 通信中にハンズフリー機能・電話帳転送機能・BLUETOOTH オーディオ機能を使用すると、一時的に Wi-Fi 通信機能が停止したり、音切れやダウンロードの速度低下などの影響が出る可能性があります。
- 通信中にレーダー波を検出した場合は、DFS (Dynamic Frequency Selection) 機能により自動的にチャンネルを変更しますので、通信が一時的に中断される場合があります。また、接続が切断される場合があります。必要に応じて、本機で再接続操作を行ってください。
⇒「Wi-Fi 接続を切断／接続する」(199 ページ)
- 屋外設置のアクセスポイントを使用される際は「最適マーク」付の屋外対応無線 LAN アクセスポイントをご使用ください。
- Wi-Fi 対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法や表示・動作が正常ではない場合があります。本機との連携時には、Wi-Fi テザリング契約が必要な場合があります。
- 本機は 5GHz 帯の W52、W53 に対応していないため、屋内のアクセスポイントに接続できない場合があります。
- ITS スポットで ETC2.0 のブラウザ機能を使用しているときは、Wi-Fi 接続はできません。
- 運転中は携帯電話を直接操作しないでください。事故の原因になります。

ハンズフリー電話について

BLUETOOTH 対応の携帯電話を本機と BLUETOOTH 接続することでハンズフリー通話ができます。ハンズフリー電話を使うと、本機から電話をかけたり受けたりすることができ、運転中でも携帯電話を持たないで通話することができます。また本機に携帯電話の電話帳を読み込んで電話をかけることもできます。

- まず携帯電話を本機に登録してください。
⇒「BLUETOOTH 機器を登録する (BLUETOOTH 機器から探索)」(193 ページ)
- ハンズフリーで通話するときは窓を閉め、大きめの声ではっきりお話しください。
- 通話中は、AV ソースの音が一時的に消えます。

アドバイス

- オプションキーにハンズフリー画面表示操作を割り当てることができます。
⇒「オプションキーに機能を登録する」(24 ページ)

携帯電話の接続を解除する／再接続する

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[ハンズフリー] にタッチします。
- 2 [接続解除] にタッチすると、携帯電話の接続が解除されます。



- [接続解除] が [再接続] に変わります。
- 3 [再接続] にタッチすると、接続を解除した携帯電話と再接続します。

接続する携帯電話を変更する

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[ハンズフリー] にタッチします。
- 2 [機器変更] にタッチすると、登録した携帯電話がリスト表示されます。
- 3 接続する携帯電話にタッチします。選んだ携帯電話が BLUETOOTH 接続されます。



電話を受ける

- 1 電話がかかってくると着信音が鳴り、着信画面が表示されます。



- 本機の電話帳に相手の名前と電話番号を登録しておくと、電話がかかってきたときにその名前と電話番号が画面に表示されます（相手が電話番号を通知して発信した場合）。
- 着信画面を全画面で表示するかどうか設定できます。
⇒「着信全画面割込み設定」（192 ページ）

- 2 「開始」にタッチすると通話が開始されます。

アドバイス

- 自動着信を「する」に設定していると、「開始」にタッチしなくても自動的に通話状態になります。
⇒「自動着信を設定する」（193 ページ）
- 自動着信時間を設定できます。携帯電話で応答時間を設定している場合は、本機で着信時間を設定しても携帯電話の設定が優先されます。
⇒「自動着信までの時間を設定する」（193 ページ）
- 着信中に「着信音量」の◀または▶にタッチして着信音量を調整できます。設定画面で調整することもできます。
⇒「電話着信音量を調整する」（191 ページ）

電話を切る

- 1 通話が終わったら「終了」にタッチします。



- ナビ画面などを表示している場合は、 にタッチして通話画面に切りかえてから「終了」にタッチします。

かかってきた電話を保留する

かかってきた電話にすぐに出られないときは、一時的に保留できます。

- 応答保留機能がない携帯電話を接続している場合は、本機能を使用することはできません。

- 1 電話着信中に「応答保留」にタッチすると、保留状態になります。



- 2 電話に出られる状態になったら「開始」にタッチします。

アドバイス

- 応答保留中に「終了」にタッチすると、電話が切れます。
- 応答保留中に相手が電話を切ると、電話が切れます。
- 応答保留中でも、電話をかけてきた相手には通話料金がかかります。

着信履歴から電話をかける

以前かかってきた電話は、着信履歴として記憶されます。これらの履歴の一覧から相手を選択して電話をかけます。

- 1 **NAVI** / **[MENU]** スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、**[ハンズフリー]** にタッチします。
- 2 **[着信履歴]** にタッチします。



- 3 着信履歴画面が表示され、履歴に記憶されている電話番号が新しいものから順にリスト表示されます。電話をかけたい相手をタッチして選び、**[発信]** にタッチします。



アドバイス

- 最大 30 件まで履歴として残ります。30 件を超えた場合は古いものから削除されます。
- 着信履歴を消去できます。消したい履歴を選んで**[消去]** にタッチします。すべての履歴を消去するには**[消去]** にタッチし続けます。確認画面が表示されたら**[はい]** にタッチします。
- 携帯電話に暗証番号が設定されている場合、暗証番号解除前は暗証番号入力画面が表示されます。
⇒「BLUETOOTH 機器に暗証番号を設定する」(196 ページ)
- 走行中は安全のため本操作を行うことはできません。

発信履歴から電話をかける

以前かけた電話は、発信履歴として記憶されます。これらの履歴の一覧から相手を選択して電話をかけます。

- 1 **NAVI** / **[MENU]** スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、**[ハンズフリー]** にタッチします。
- 2 **[発信履歴]** にタッチします。



- 3 発信履歴画面が表示され、履歴に記憶されている電話番号が新しいものから順にリスト表示されます。電話をかけたい相手をタッチして選び、**[発信]** にタッチします。



アドバイス

- 最大 30 件まで履歴として残ります。30 件を超えた場合は古いものから削除されます。
- 発信履歴を消去できます。消したい履歴を選んで**[消去]** にタッチすると選んだ履歴が消去されます。**[消去]** にタッチし続けると、すべての履歴が消去されます。確認画面が表示されたら**[はい]** にタッチします。
- 携帯電話に暗証番号が設定されている場合、暗証番号解除前は暗証番号入力画面が表示されます。
⇒「BLUETOOTH 機器に暗証番号を設定する」(196 ページ)
- 発信履歴に記憶されている相手に電話をかけた場合は、前回の履歴を消去して新しい履歴だけをを記憶します。
- 走行中は安全のため本操作を行うことはできません。

番号を入力して電話をかける

1  NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[ハンズフリー] にタッチします。

2 [番号入力] にタッチします。



3 市外局番から入力し、[発信] にタッチします。



アドバイス

- 本機で入力できる電話番号は最大 24 桁です。
- 走行中は安全のため本操作を行うことはできません。

電話帳から電話をかける

携帯電話の電話帳を本機に読み込んでおくと、電話帳から電話をかけることができます。

⇒「電話帳を読み込む」(94 ページ)

1  NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[ハンズフリー] にタッチします。

2 [電話帳] にタッチします。



3 電話帳画面で電話をかけたい相手をタッチして選び、[発信] にタッチします。



- 電話帳画面を 50 音順、メモリー番号順、またはグループ順に並べかえることができます。画面上部の [50 音順] [メモリー番号順] [グループ順] にタッチして切りかえます。
- 50 音順に表示した場合、50 音タブにタッチして番号を表示させることができます。
- グループ順に表示した場合、[グループ名称] にタッチしてグループを表示し、選ぶことができます。

アドバイス

- 電話帳を消去できます。1 件消去するには、消去したい相手をタッチして選び [消去] にタッチします。全件消去するには [消去] にタッチし続けます。確認画面が表示されたら [はい] にタッチします。
- 1 件に複数の電話番号を登録してある場合は「複数」アイコンが表示されます。電話帳詳細情報画面で番号を選ぶことができます。
⇒「電話帳詳細情報を見る」(95 ページ)
- 携帯電話に暗証番号が設定されている場合、暗証番号解除前は入力画面が表示されます。
⇒「BLUETOOTH 機器に暗証番号を設定する」(196 ページ)
- 走行中は安全のため本操作を行うことはできません。

他の携帯電話の電話帳／発信履歴／短縮ダイヤルを利用して電話をかける

複数の携帯電話を登録して電話帳が読み込まれている場合、接続中の携帯電話以外の電話帳を利用して電話をかけることができます。また、発信履歴と短縮番号も利用することができます。

- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[ハンズフリー] にタッチします。
- 2 [他の電話帳] にタッチすると、登録されている携帯電話のリスト画面が表示されます。



- 3 携帯電話を選んでタッチします。



- 暗証番号が設定されている携帯電話にはリストに **ロック** アイコンが表示され、タッチすると暗証番号入力画面が表示されます。数字にタッチして暗証番号入力後、[完了] にタッチします。

- 4 [着信履歴] [発信履歴] [電話帳] のいずれか、または短縮ダイヤルにタッチします。



- 短縮ダイヤルにタッチした場合は登録してある番号に発信されます。

- 5 表示された着信履歴／発信履歴リスト画面、電話帳画面から電話をかけたい相手をタッチして選び、[発信] にタッチします。

アドバイス

- 走行中は安全のため本操作を行うことはできません。

短縮ダイヤルから電話をかける

短縮ダイヤルに登録した電話番号に、簡単に電話をかけることができます。

⇒「短縮ダイヤルに登録する」(95 ページ)

- 1 **000** のいずれかにタッチすると、登録してある番号が発信されます。



アドバイス

- 短縮ダイヤルスイッチには、電話帳に登録されている名前が表示されます。
- 携帯電話に暗証番号が設定されている場合、暗証番号解除前は暗証番号入力画面が表示されます。
⇒「BLUETOOTH 機器に暗証番号を設定する」(196 ページ)

直前にかけた電話番号に電話をかける(リダイヤル)

直前にかけた電話番号に電話をかけます。

- 1 「リダイヤル」にタッチすると、電話番号が発信されます。



アドバイス

- 携帯電話に暗証番号が設定されている場合、暗証番号解除前は暗証番号入力画面が表示されます。
⇒「BLUETOOTH 機器に暗証番号を設定する」(196 ページ)

通話全画面を表示する

電話をかけた場合と「着信全画面割込み」を「する」に設定してある場合は、自動的に通話全画面が表示されます。「着信全画面割込み」を「しない」に設定してある場合は、下記の操作で通話全画面を表示できます。
⇒「着信全画面割込み設定」(192 ページ)

- 1  にタッチすると、通話全画面が表示されます。



通話音量を調整する

通話中、スピーカーから聞こえてくる相手の声の音量（受話音量）と、相手に聞こえる自分の声の音量（送話音量）を調整できます。

- 1 通話中、「送話音量」「受話音量」の  または  にタッチして音量を調整します。



- 音量は 11 段階で調整できます。

アドバイス

- 通話音量は音量調整メニューから設定することもできます。
⇒「受話音量・送話音量を調整する」(192 ページ)

電話音声出力切り換え

本機のハンズフリー機能で通話するか、携帯電話で通話するかを切りかえます。

- 1 通話中、[ナビ/携帯] にタッチして切りかえます。
＜ハンズフリー通話＞



＜携帯電話での通話＞



アドバイス

- 携帯電話で通話になっている場合でも、着信音は携帯電話とナビゲーションの両方で鳴ります。

トーン発信機能

トーン発信用の数字入力画面を表示します。音声ガイダンスに従って数字を入力する必要があるときなどに使用してください。

- 1 通話中、[トーン] にタッチします。
- 2 トーン発信用数字入力画面で番号にタッチします。



- 3 通話画面に戻るには にタッチします。

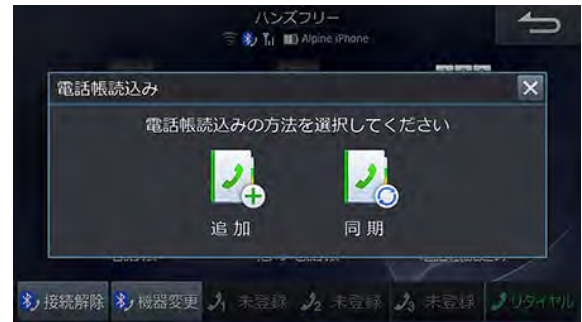
電話帳を読み込む

本機の電話帳は携帯電話の電話帳を読み込んで登録します。本機に電話帳を登録しておくと、電話帳から電話をかけたり短縮ダイヤルを登録したりすることができます。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[ハンズフリー] にタッチします。
- 2 [電話帳読み込み] にタッチします。

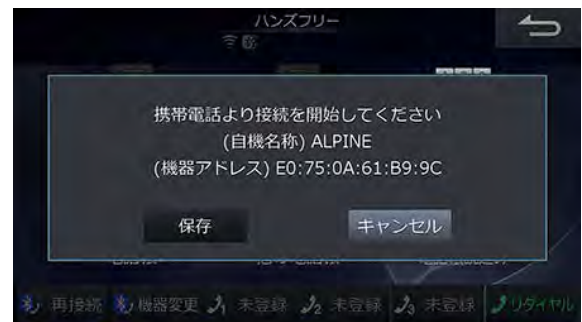


- 3 [同期] にタッチすると携帯電話の電話帳データを本機に読み込みます。[同期] にタッチして読み込みできない場合は [追加] にタッチします。



- [同期] にタッチして読み込み完了した場合は、以降の操作は不要です。
- 携帯電話が BLUETOOTH オーディオ機器として接続されていて [追加] にタッチした場合は、接続解除のメッセージが表示されます。[はい] にタッチしてください。
- 携帯電話が OPP に対応している場合は、[追加] にタッチします。電話帳を追加更新します。
- 携帯電話が PBAP に対応している場合は、[同期] にタッチします。電話帳をすべて更新します。

- 4 本機のデバイス名が表示され、携帯電話からの接続状態になります。携帯電話を操作して本機に接続し、電話帳を転送します。



- 5 読み込みが完了したら [保存] にタッチします。

アドバイス

- 本機の電話帳には携帯電話 1 台につき最大 1000 件まで登録できます。
- 電話帳 1 件あたり最大 5 つまで電話番号を読み込むことができます。
- 携帯電話から「全件送信」を行ったときは携帯電話の電話帳のグループを取り込むことができます（最大 100 件）。

- 携帯電話の電話帳でP（ポーズ）を付けて電話番号を登録している場合はP（ポーズ）の前まで読み込まれます。ハイフンを付けて登録されている電話番号はハイフンを削除して読み込まれます。
- 長い名称や電話番号は一部が表示されない場合があります。名称／読み／グループ名称／電話番号は、全角／半角 30 文字まで読み込むことができます。
- 携帯電話でシークレット登録されている電話番号は読み込まれません。
- 携帯電話の発信履歴と着信履歴は読み込みできません。
- 携帯電話に暗証番号が設定されている場合、暗証番号解除前は入力画面が表示されます。
⇒「BLUETOOTH 機器に暗証番号を設定する」(196 ページ)
- 走行中は安全のため本操作を行うことはできません。

電話帳詳細情報を見る

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[ハンズフリー] にタッチします。
- 2 [電話帳] にタッチします。
- 3 電話帳画面で詳細情報を見たい相手をタッチして選び、 にタッチします。



- 4 [基本情報] [電話番号] タブをタッチして切りかえます。

アドバイス

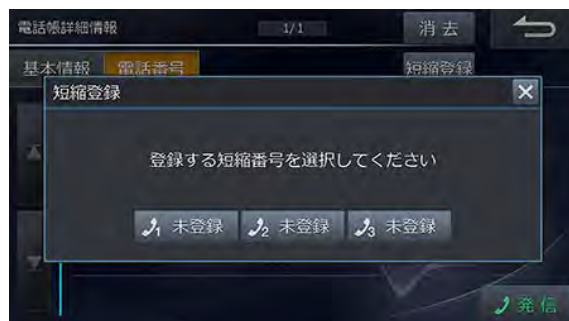
- 電話帳詳細情報画面で [電話番号] タブにタッチし、電話番号を選んでから [消去] にタッチすると、選んだ番号を消去できます。登録してある電話番号をすべて消去すると、電話帳から削除されます。

短縮ダイヤルに登録する

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、[ハンズフリー] にタッチします。
- 2 [電話帳] にタッチします。
- 3 短縮ダイヤルに登録したい相手をタッチして選び、 にタッチします。
- 4 [電話番号] タブにタッチし、[短縮登録] にタッチします。



- 複数の電話番号が登録されている場合は、番号にタッチして選択してから [短縮登録] にタッチします。
- 5 登録する短縮ダイヤルを 1～3 から選んでタッチします。



- すでに番号が登録されている短縮ダイヤルを選ぶと、上書きされます。

アドバイス

- 短縮ダイヤルに登録されている電話番号には電話帳詳細情報画面に    アイコンが表示されます。
- 短縮ダイヤルに登録されている電話番号を選んでから「短縮登録」にタッチすると、「登録解除」スイッチが表示され、登録を解除できます。

スマートフォンナビ連携機能について

スマートフォンのアプリ「NaviCon」および「NaviCon」と連携するアプリを本機と連動させることができます。アプリで検索した地点を BLUETOOTH 通信で本機側へ転送し、本機側で目的地設定・案内することができます。本機能を使用するためには、「NaviCon」およびアルパインオリジナルアプリ「おでかけコンシェル」を App Store または Google Play からスマートフォンにダウンロードしてください。

- NaviCon (iOS 版 / Android 版) は無料で利用することができます。インストール方法は下記 NaviCon サポートサイトを参照してください。
<https://navicon.com/>
- 本機能を使用する前に、BLUETOOTH 通信で本機とスマートフォンを接続し、「ハンズフリー」または「ハンズフリー+オーディオ」で登録してください。
⇒「BLUETOOTH 機器を登録する (BLUETOOTH 機器から探索)」(193 ページ)

アドバイス

- スマートフォンを本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、電波状態が悪化する場合があります。
- 別売の iPod/iPhone 接続ケーブルを使って iPhone を接続している状態では、「NaviCon」および「NaviCon」と連携するアプリとの接続ができません。
- 一部機能については走行中の操作はできません。
- スマートフォンアプリを利用すると通信費が発生します。通信費はお客様負担となります。
- 本機は NTT ドコモ・au・ソフトバンクのスマートフォンに対応しています。動作確認済みのスマートフォン機種についてはアルパインのホームページを参照してください。
<https://www.alpine.co.jp/support/inquiry/>
- 本機連携アプリについてはアルパインのホームページを参照してください。
<http://www.alpine.co.jp>

「NaviCon」を本機で使用する

NaviCon は多彩な連携アプリで探した行先を、ワンタッチでカーナビに転送し目的地に設定できるお出かけサポートアプリです。

- NaviCon は、他のスマートフォン検索アプリと連携することができます。他のアプリで検索した地点情報や店舗情報を NaviCon 上に取り込むこともできます。連携できるアプリの種類や詳細については下記ホームページを参照してください。
<https://navicon.com/>
- スマートフォンの連絡先などに登録されている住所情報を「NaviCon」に取り込み、取り込んだ地点情報を NaviCon で目的地に設定することができます。
- NaviCon ユーザー間で、地点情報をメール・SNS で共有することができます。

- 1 スマートフォンを操作して App Store または Google Play からアプリケーション「NaviCon」をダウンロードします。
- 2 本機にスマートフォンを BLUETOOTH 接続します。
⇒「BLUETOOTH 機器を登録する (BLUETOOTH 機器から探索)」(193 ページ)
- 「ハンズフリー」または「ハンズフリー+オーディオ」で登録・接続してください。
- 別売の iPod/iPhone 接続ケーブルを使って iPhone を接続している状態では、NaviCon との連携機能は使用できません。
- 3 スマートフォンを操作して「NaviCon」アプリを起動します。
- NaviCon が起動し、本機との接続が完了すると NaviCon の接続インジケータ表示が「ONLINE」になり、スマートフォンと本機の画面上に同じ位置の地図が表示されます。ナビ画面の状態・使用アプリによっては地図表示がされない場合があります。
- Android スマートフォンの場合、スマートフォン側での接続先設定が必要になります。NaviCon のメニュー→「接続先設定」→本機 (初期設定は ALPINE と表示) を選択して「完了」にタッチしてください。

アドバイス

- 「NaviCon」や「NaviCon」と連携するアプリを利用すると通信費が発生します。通信費はお客様負担となります。

- 安全のため、運転中はスマートフォンの操作をしないでください。

「NaviCon」の地点情報を利用する

- 1 スマートフォンを操作して NaviCon を起動します。
 - NaviCon が起動し、本機との接続が完了すると NaviCon の接続インジケータ表示が「ONLINE」になり、スマートフォンと本機の画面上に同じ位置の地図が表示されます。ナビ画面の状態・使用アプリによっては地図表示がされない場合があります。
 - 2 NaviCon から本機に地点情報を転送すると、本機に地点の地図画面が表示されます。
 - 地点情報の転送方法については NaviCon の操作方法をご覧ください。
 - 3 本機の地図画面上で目的地設定を行い、[案内開始] にタッチします。
- ◆ 複数の地点が送信された場合：
地点リストで目的地を選んでタッチすると、残りの地点は経由地に設定されます。



- ◆ すでに本機で目的地が設定されている場合：
[目的地に設定] または [経由地に追加] にタッチします。

アドバイス

- 有料道路付近の施設に目的地・経由地を設定しても、一般道路に設定される場合があります。目的地・経由地を有料道路に設定する場合は、ルートの条件変更で設定してください。
⇒「地点に属性（一般道路／有料道路）を設定する」（66 ページ）
- 経由地の編集方法は下記項目を参照してください。
⇒「経由地編集 - 経由地を消去する」（65 ページ）
⇒「経由地編集 - 経由地・目的地の順番を入れかえる」（65 ページ）
⇒「経由地編集 - 自動並べかえ（周遊）」（65 ページ）

オーディオ・ビジュアル

オーディオ・ビジュアルソースを切りかえる

- 1  AUDIO / [MODE] スイッチを押して AV ソースメニュー画面を表示します。
- 2 希望のオーディオ・ビジュアルソースにタッチすると、選んだソースのメイン画面が表示されます。



オーディオ・ビジュアルソースメイン画面を表示する

オーディオ・ビジュアル画面をワンタッチで表示します。

- 1 [AV] スイッチを押すと、現在視聴／再生している画面を表示します。

オーディオ・ビジュアル情報アイコン表示について

オーディオ・ビジュアル画面、ナビ地図画面インジケータに、下記のような情報アイコンが表示されます。

テレビ		チャンネル番号
ラジオ		周波数
DVD		チャプター番号
		タイトル番号
オーディオ		再生中の曲番号

オーディオ・ビジュアルソースを OFF にする

ルート案内の音声・映像はそのままオーディオ・ビジュアルソースを OFF にできます。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合にご使用ください。

- 1 [AV] スイッチを 2 秒以上押します。または  AUDIO / [MODE] スイッチを押したあと、AV ソースメニュー画面で [AV OFF] にタッチします。



アドバイス

- オーディオモードを ON にするには、[AV] スイッチを 2 秒以上押すか、AV ソースメニュー画面で希望のソースにタッチします。

オーディオ音量を調整する

オーディオ・ビジュアルソースの音量を調整します。

- 1 [+] または [-] スイッチを押します。
- 調整レベルは 0 ～ 35 です。

アドバイス

- 本操作では、ナビゲーションの案内音量は変わりません。下記項目を参照してください。
⇒「案内音量を調整する」(191 ページ)
- 本機はソースごとに基準となる音量レベルを記憶できます。
⇒「ソース間の音量レベルを調整する」(207 ページ)
- ナビゲーション音声案内割り込み中に、オーディオ音量を自動的に下げて案内を聞きやすくできます。
⇒「音声案内時にオーディオ音量をミュートする」(158 ページ)

一時的に音量を下げる(ミュート)

本機のミュート機能は現在地画面で操作します。

- 1 現在地画面上の操作スイッチを AV 操作モードに切りかえます。
⇒「操作スイッチのモードを切りかえる」(31 ページ)

- 2 [ミュート] にタッチします。瞬時に音量が下がります。



- ミュート中は音量表示が点滅します。

- 3 ミュートを解除するには、再度 [ミュート] にタッチします。

アドバイス

- オプションキーにミュート操作を割り当てることができます。
⇒「オプションキーに機能を登録する」(24 ページ)

B-CAS カードを挿入する前に

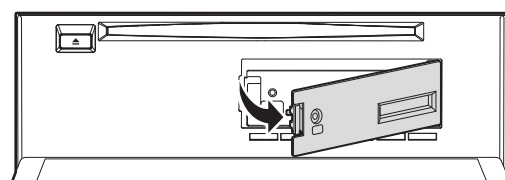
B-CAS カードはテレビ放送の視聴に必要な IC カードです。付属の B-CAS カードの表面を上にして“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

- B-CAS カードの「使用許諾契約約款」をよくお読みください。
- 付属の B-CAS カードは他の製品には使用しないでください。
- B-CAS カードには IC チップが組み込まれています。取り扱いには十分注意してください。
 - ・折り曲げたり、変形させない。
 - ・水をかけたり、濡れた手でさわらない。
 - ・炎天下の車内や厳冬期の車内には長時間放置しない。
 - ・分解加工は行わない。
- B-CAS カードについてのお問い合わせ先はカードの台紙に記載されています。台紙は大切に保管しておいてください。
- B-CAS カードお問い合わせ先：
(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター TEL 0570 - 000261

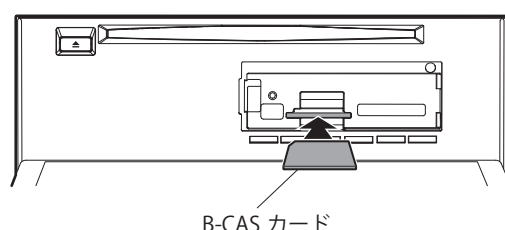
B-CAS カードを挿入する

B-CAS カード裏面の金色端子部に触れないよう、カードの側面を持ってください。カード端子部に手を触れた場合、手に付着している見えない異物が端子部に付着し、カードの読み取り不良が発生する恐れがあります。

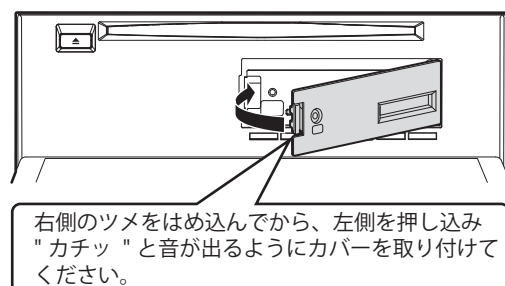
- 1 ディスプレイを開き、カバーのフックを右側に押して開き、カバーを外します。



- 2 B-CAS カードの表面を上にして挿入します。



- 3 右側のツメをはめ込んでから左側を押し込みカチッと音が出るようにカバーを取り付けます。



テレビ初期設定を行う

初めて本機をテレビモードにした時には、初期設定画面が表示されます。お住まいの地域を設定してホームモードスキャンを実行すると、受信できるチャンネルを自動的に記憶します。

- 1  AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [TV] にタッチします。

- 2 お住まいの地域の郵便番号を入力し、[完了] にタッチします。



- 3 お住まいの地域のタブにタッチして切りかえ、地域名にタッチし、[完了] にタッチします。



- 4 お住まいの地域のタブにタッチして切りかえ、県域にタッチします。



- 5 [ホームスキャン] にタッチすると、ホームモードスキャンが実行されます。スキャンしたチャンネルはホームモードのプリセット番号に記憶されます。

アドバイス

- ホームスキャンが終了するまではしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。
- 初期設定はご自宅周辺で実行してください。
- 引っ越しなどで居住地域が変わったときはホームスキャンをやり直してください。
⇒「ホームスキャンを実行する」(109 ページ)

テレビを見る

- 1 AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [TV] にタッチします。



- 2 テレビ視聴中に画面にタッチすると、操作画面が表示されます。

- 3 にタッチすると情報表示部が操作スイッチに切りかわります。



- 操作画面の見かたは下記項目を参照してください。
⇒「テレビ操作画面の見かた」(101 ページ)

アドバイス

- 【ご注意】走行中は安全のため、映像が映らずに音声だけが聴こえます。
- オプションキーにテレビ画面表示操作を割り当てることができます。
⇒「オプションキーに機能を登録する」(24 ページ)

テレビ操作画面の見かた



1. 受信状態表示

表示					
受信感度	圏外	微弱	弱	中	強

2. チャンネル番号

3. 状態表示

	ワンセグ放送受信時
	スキャン実施中
	サーチ実施中

4. モードインジケータ表示

⇒「テレビのモードを切りかえる」(105 ページ)

5. バックグラウンドサーチインジケータ

6. プリセットスイッチ

プリセット番号、放送局ロゴマーク、放送局名、番組名を表示します。

・ロゴマークは表示されない場合があります。

7. プリセット切りかえスイッチ

タッチするとプリセットされた放送局表示がスクロールします。

アドバイス

- しばらく（約 8 秒）操作しないと、操作画面表示が消えます。
- バックグラウンドサーチインジケータ表示中は、一時的に受信感度が低くなります。

チャンネルを選ぶ

プリセットしたチャンネルを選びます。

- 1 テレビ画面でプリセットスイッチの希望のチャンネルにタッチします。選んだチャンネルを受信します。
- プリセットチャンネルの表示を切りかえるには または にタッチします。



- スイッチがあるモデルは、 スイッチを押すとプリセット番号順にチャンネルを切りかえることができます。

地上デジタル放送とワンセグ放送を切りかえる

放送中のチャンネルの、地上デジタル放送とワンセグ放送を切りかえます。

- 1 テレビ画面で受信中の放送局のプリセットスイッチにタッチします。



アドバイス

- 地上デジタル放送の映りが悪いときはワンセグ放送に切りかえてください。

ホームモード／お出かけモードを切りかえる

- 1 テレビ画面で「ホーム」または「お出かけ」にタッチします。タッチするごとにモードが切りかわります。



【ホーム】：ホームモード。お住まいの地域のチャンネルが設定されているモードです。

【お出かけ】：お出かけモード。お出かけした際に、その地域のチャンネルを記憶するのに利用します。

アドバイス

- お出かけスキャンをすると、お出かけモードに受信できる放送局をプリセットします。
⇒「お出かけスキャンをする」（102 ページ）

お出かけスキャンをする

ホームモードでは受信できない地域で、受信できる放送局をお出かけモードにプリセットします（お出かけスキャン）。

- 1 テレビ画面で「スキャン」にタッチすると、お出かけスキャンを開始します。スキャンが終了するとプリセットされたチャンネルを受信します。

アドバイス

- お出かけスキャンしたチャンネルはお出かけモードのプリセットスイッチに記憶されます。
⇒「ホームモード／お出かけモードを切りかえる」（102 ページ）
- お出かけスキャンを実行するとお出かけモードにすでに登録されているチャンネルは上書きされます。

中継局／系列局をスキャンする

視聴中の放送局の中継局や系列局をスキャンすることができます。

- 1 テレビ画面で「スキャン」に2秒以上タッチします。中継局／系列局をスキャンして受信します。

アドバイス

- お出かけモードでスキャンした場合は、見つかった放送局を選択中のプリセットスイッチに記憶します。ホームモードでスキャンした場合は、プリセットスイッチに記憶しません。
⇒「ホームモード／お出かけモードを切りかえる」（102 ページ）

放送情報を最新に更新する

番組名や放送局名を最新の情報に更新します。

- 1 テレビ画面で「情報更新」にタッチします。

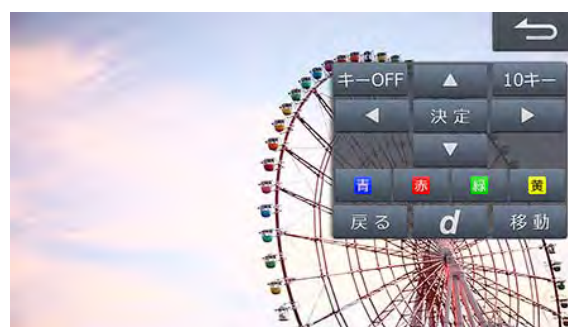
アドバイス

- 受信状態によってはプリセットスイッチに放送情報が表示されない場合があります。表示させるには受信状態の良い場所で情報更新操作を行ってください。受信できない放送局の番組情報は更新されません。

データ放送を見る

データ放送画面を表示し、操作することができます。

- 1 テレビ画面で「d」にタッチします。
- 2 データ放送受信画面を操作するには「d」にタッチすると、操作スイッチが表示されます。



キーOFF：操作スイッチを非表示にします。キー OFF 画面で画面にタッチすると操作スイッチが表示されます。

10キー：10 キーを表示します。数字にタッチして入力し、[決定] にタッチして決定します。[◀▶] にタッチすると操作スイッチ表示に戻ります。

◀ ▶ ▲ ▼：項目を選択します。

青 赤 緑 黄：画面に従ってタッチすると、スイッチに割り当てられた操作を行うことができます。

決定：項目を決定します。

戻る：前の画面に戻ります。

移動：操作スイッチの表示場所が変わります。

d：データ放送受信画面を終了し、テレビ受信画面に戻ります。

↩：データ放送操作スイッチ表示を終了します。

サービスリストから番組を選ぶ

現在視聴可能な放送局と番組名の一覧を表示します。

- 1 テレビ画面で「サービスリスト」にタッチします。
- 2 表示されたサービス一覧画面で見たい番組を選んでタッチすると、選んだ番組を受信します。



- 3 **↩** にタッチします。

テレビ番組表を表示する

現在視聴している放送局の番組表を表示します。



1. 番組の日付
2. 放送種類のアイコン表示

MV	マルチビュー放送
映像	複数の映像を持つ放送
音声	複数の音声を持つ放送
字	字幕放送
多	音声多重放送
S	ステレオ放送
HV	ハイビジョン放送
SD	標準画質放送

3. 放送開始時間／番組名
4. 放送中の番組の映像
5. 放送局プリセット番号

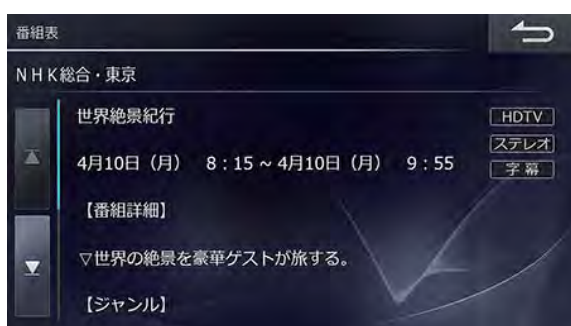
- 1 番組表を表示するにはテレビ画面で「番組表」にタッチします。

番組の詳細情報を表示する

選択している番組の番組名やあらすじなどの番組情報を表示します。音声多重放送かどうかやマルチビュー放送かどうかなども確認できます。

- 1 テレビ画面で「番組表」にタッチします。

- 2 番組表画面で「情報」にタッチすると、番組の詳細情報を表示します。



- 操作画面の番組情報表示エリアをタッチしても、番組情報画面を表示します。



次の日の番組表を表示する

次の日の番組表を表示します。

- 1 テレビ画面で「番組表」にタッチします。

- 2 番組表画面で「次の日」にタッチすると、次の日の番組表を表示します。



- 続けてタッチしていくと本日の番組表に戻ります。

アドバイス

- 地上デジタルテレビ放送では最大で8日分の番組表、ワンセグでは当日分のみ・最大10番組分の番組表が表示されます。

地上デジタル放送とワンセグの番組表を切りかえる

- 1 テレビ画面で「番組表」にタッチします。

- 2 番組表画面で「ワンセグ」にタッチすると、ワンセグの番組表を表示します。



- 「ワンセグ」が「地上D」に変わります。

- 3 「地上D」にタッチすると、地上デジタル放送の番組表に戻ります。



番組表の放送局を切りかえる

プリセットされている他の放送局の番組表表示に切りかえます。

- 1 テレビ画面で「番組表」にタッチします。
- 2 番組表画面で ◀◀ または ▶▶ にタッチすると、前後のプリセット番号の放送局の番組表を表示します。



テレビのモードを切りかえる

視聴中の番組に音声多重放送がある場合の音声の切りかえや、字幕・映像・音声複数ある場合の切りかえを行うことができます。

- 1 テレビ画面で「設定▲」にタッチしたあと「モード切替」にタッチします。



- 2 「主/副」「映像」「音声」「字幕」の切りかえたい項目にタッチします。タッチするたびに映像・音声・字幕が切りかわります。



- ◆ 「主/副」：音声多重放送の主音声／副音声を切りかえます。
主：主音声が増え聞こえます
副：副音声が増え聞こえます
主+副：主音声と副音声を聴くことができます

- ◆ 「映像」：マルチビュー放送を受信している場合、3種類のアングルから好きな映像を選ぶことができます。
MultiMain → MultiSub1 → MultiSub2 → MultiMain

マルチビュー放送ではなく映像が複数ある場合、切りかえることができます。

映像1 → 映像2 → …

- ◆ 「音声」：音声複数ある場合、切りかえることができます。
音声1 → 音声2 → …

- ◆ 「字幕」：字幕複数ある場合、切りかえることができます。OFFにも設定できます。
字幕1 → 字幕2 → (OFF) → 字幕1

- 3 設定が完了したら「戻る」にタッチします。

アドバイス

- 「音声」と「映像」は信号が1つの場合は、信号を切りかえることはできません。
- 「音声」と「映像」は、チャンネルを切りかえると設定内容が無効になり記憶されません。
- 「映像」はワンセグでは切りかえることはできません。

テレビ画面の画質を調整する

テレビ画面の画質調整を行います。

- 1 テレビ画面で「設定▲」にタッチしたあと「画面設定」にタッチします。



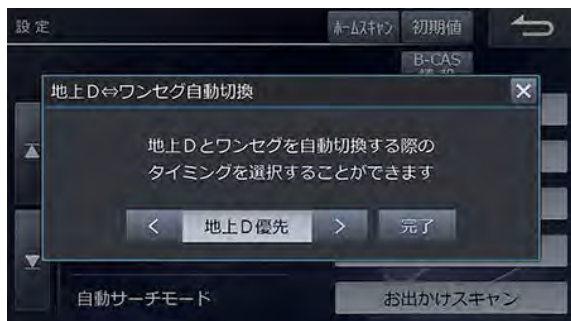
- 画質調整操作については下記項目を参照してください。
⇒ 「画質を調整する」(189ページ)

- 2 設定が完了したらに  タッチします。

地上デジタル放送／ワンセグ自動切換

受信レベルが低下したときに、地上デジタル放送とワンセグを自動で切りかえるかどうかを設定できます（初期設定値は「地上 D 優先」）。

- 1 テレビ画面で「設定▲」にタッチしたあと「設定」にタッチします。
- 2 「地上 D ⇄ ワンセグ自動切換」にタッチします。
- 3  または  にタッチして「しない」「地上 D 優先」「標準」「ワンセグ優先」のいずれかを選び、「完了」にタッチします。



しない：自動切りかえを行いません

地上 D 優先：地上デジタル放送を優先して切りかえます

標準：受信状態に応じて自動切りかえを行います

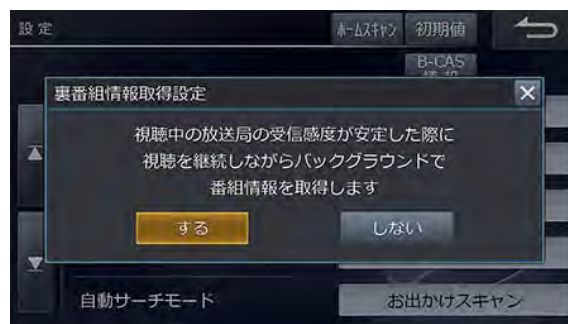
ワンセグ優先：ワンセグ放送を優先して切りかえます

裏番組の情報を取得する

「する」に設定すると、視聴中の放送局の受信感度が良いときに、視聴を継続しながらプリセットスイッチに表示する番組情報を取得します（初期設定値は「する」）。

- 1 テレビ画面で「設定▲」にタッチしたあと「設定」にタッチします。

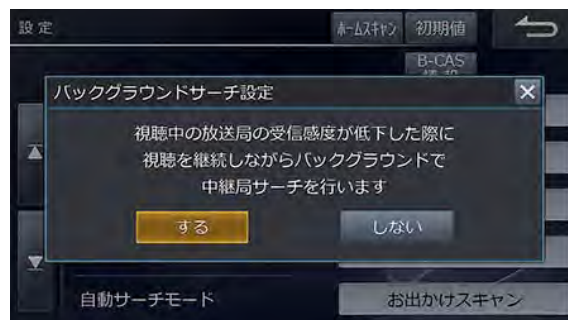
- 2 「裏番組情報取得設定」にタッチし、「する」または「しない」にタッチします。



バックグラウンドで中継局をサーチする

「する」に設定すると、視聴中の放送局の受信感度が低下したときに、視聴を継続しながら受信状態の良い中継局のサーチを行います（初期設定値は「する」）。

- 1 テレビ画面で「設定▲」にタッチしたあと「設定」にタッチします。
- 2 「バックグラウンドサーチ設定」にタッチし、「する」または「しない」にタッチします。

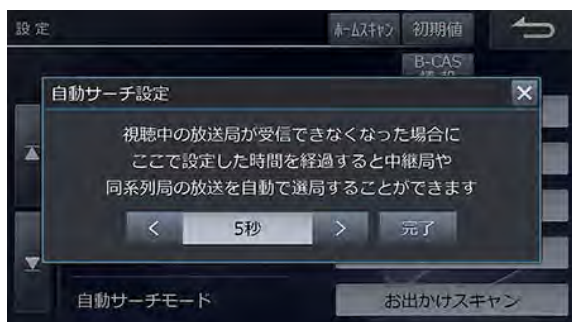


自動サーチを設定する

一定時間放送局を受信できないときに、中継局や同系列局の放送局を自動で選局するまでのおおよその時間を 5 秒刻みで設定できます（初期設定値は「5 秒」）。

- 1 テレビ画面で「設定▲」にタッチしたあと「設定」にタッチします。
- 2 「自動サーチ設定」にタッチします。

- 3 < または > にタッチして「しない」または「5秒」～「30秒」のいずれかを選び、[完了] にタッチします。



5秒～30秒：自動サーチを行うまでの時間を設定します
 しない：自動サーチを行いません

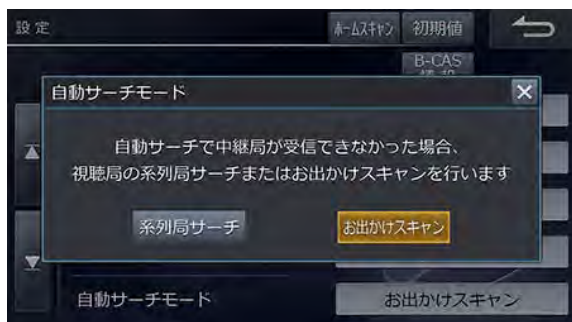
アドバイス

- お出かけモードの場合のみ、自動サーチしたチャンネルはお出かけモードで選択中のプリセット番号に記憶されます。

自動サーチのモードを設定する

自動サーチで中継局が受信できなかった場合、視聴局の系列局サーチを行うか、またはお出かけスキャンを実行してその地域で受信できる放送局をお出かけモードに登録するかどうかを設定します（初期設定値は「お出かけスキャン」）。

- 1 テレビ画面で「設定▲」にタッチしたあと「設定」にタッチします。
- 2 「自動サーチモード」にタッチし、「系列局サーチ」または「お出かけスキャン」にタッチします。



系列局サーチ：視聴局の系列局をサーチします
 お出かけスキャン：お出かけスキャンを実行します

アドバイス

- 「自動サーチ設定」が「しない」設定の場合、本機能を設定することはできません。

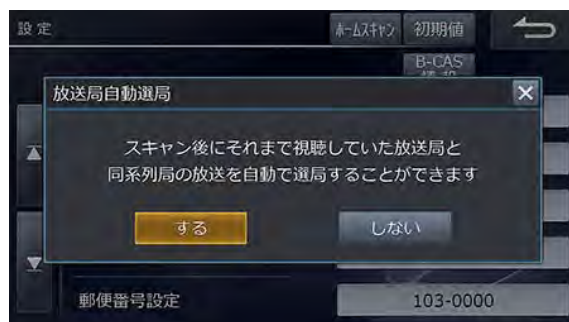
⇒「自動サーチを設定する」（106 ページ）

- 「お出かけスキャン」に設定すると、隣県へ移動したときなどに、視聴中の放送局以外にその地域で受信可能な放送局を登録します。
- お出かけスキャンを実行すると、すでに登録されているチャンネルがある場合は新しく登録した内容に書きかえられます。受信状況により放送局を受信できない場合は、スキャン開始前の状態に戻ります。

放送局自動選局の設定

チャンネルのスキャンを行うときに、それまで視聴していた放送局と同じ系列の放送局を自動で受信するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

- 1 テレビ画面で「設定▲」にタッチしたあと「設定」にタッチします。
- 2 「放送局自動選局」にタッチし、「する」または「しない」にタッチします。



する：スキャン後にそれまで視聴していた放送局と同系列の放送局を受信します
 しない：スキャン後に一番小さなプリセット番号に登録されたチャンネルを受信します

アドバイス

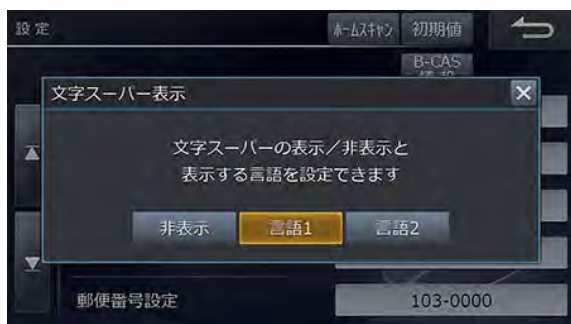
- お出かけモードのときスキャンが行われると、お出かけモードのプリセットスイッチに上書きされます。ホームモードのときはプリセットスイッチには上書きされません。

文字スーパーを表示する

文字スーパーを表示するかどうかを設定します。表示する場合は言語を選択できます（初期設定値は「言語 1」）。

- 1 テレビ画面で「設定▲」にタッチしたあと「設定」にタッチします。

- 2 [文字スーパー表示] にタッチし、[非表示] [言語 1] [言語 2] のいずれかにタッチします。



- 3 地域のタブにタッチして切りかえ、県域名にタッチし、[完了] にタッチします。



ホームの地域を設定する

ホームモードで受信する放送局の地域を設定します。

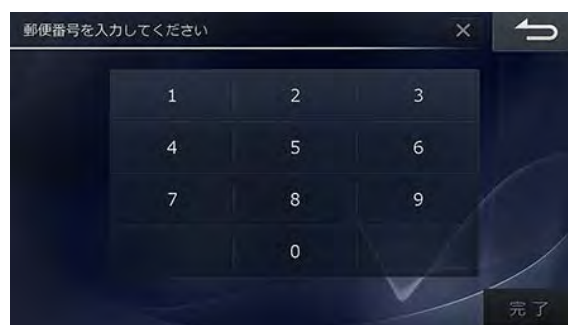
- 1 テレビ画面で [設定▲] にタッチしたあと [設定] にタッチします。
- 2 [地域設定] にタッチします。
- 3 地域のタブにタッチして切りかえ、地域名にタッチし、[完了] にタッチします。



ホームの郵便番号を設定する

ホームモードで受信するデータ放送視聴のための郵便番号を設定します。

- 1 テレビ画面で [設定▲] にタッチしたあと [設定] にタッチします。
- 2 [郵便番号設定] にタッチします。
- 3 数字にタッチして郵便番号を入力し、[完了] にタッチします。



ホームの県域を設定する

ホームモードで受信するデータ放送視聴のための県域を設定します。

- 1 テレビ画面で [設定▲] にタッチしたあと [設定] にタッチします。
- 2 [県域設定] にタッチします。

緊急警報放送(EWS)を受信する

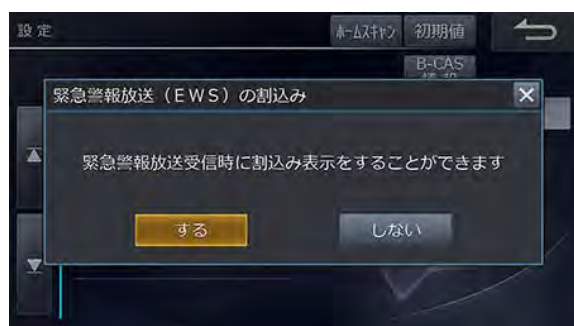
緊急警報放送 (EWS-Emergency Warning System) とは、地震や津波などの災害が発生したときに災害情報を伝える放送です。

本設定を「する」に設定していると、緊急警報放送受信時に確認メッセージが画面に表示されます (初期設定値は「する」)。

- 緊急警報放送を受信するにはメッセージ画面で [する] にタッチします。緊急警報放送が終了すると、元のチャンネルに戻ります。

- 1 テレビ画面で [設定▲] にタッチしたあと [設定] にタッチします。

- 2 [緊急警報放送（EWS）の割り込み] にタッチし、[する] または [しない] にタッチします。



- 「しない」に設定すると、緊急警報放送（EWS）を受信しても割り込み表示を行いません。

アドバイス

- AV ソースがテレビであれば、テレビ以外の画面を表示していても緊急警報放送の割り込み表示が行われます。緊急警報放送が終了すると、元のチャンネルに戻ります。
- AV ソースがテレビ以外のときは緊急警報放送のメッセージは表示されません。

ホームスキャンを実行する

お住まいの地域が変わったときなどに、受信できる放送局をスキャンしてホームモードに記憶します。ご自宅周辺で実行してください。

- 1 テレビ画面で [設定▲] にタッチしたあと [設定] にタッチします。
- 2 [ホームスキャン] にタッチします。



アドバイス

- 本設定とあわせて下記設定も行ってください。
⇒ 「ホームの地域を設定する」 (108 ページ)
⇒ 「ホームの県域を設定する」 (108 ページ)
⇒ 「ホームの郵便番号を設定する」 (108 ページ)

B-CAS カードの情報表示とテスト

B-CAS ID 情報画面が表示されます。B-CAS カードの情報を確認したり、B-CAS カードが正常に機能しているかテストできます。

- 1 テレビ画面で [設定▲] にタッチしたあと [設定] にタッチします。
- 2 [B-CAS 情報] にタッチします。



- 3 B-CAS ID 情報画面が表示されます。B-CAS カードをテストするには [テスト] にタッチします。



- 4 確認画面が表示されたら [開始] にタッチします。
- テストが終了するとテスト完了のメッセージを約 4 秒間表示し、B-CAS ID 情報画面に戻ります。

アドバイス

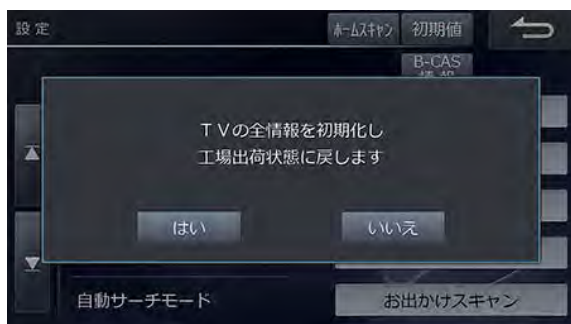
- B-CAS カードのテスト中は、カードを抜いたり本機の電源を OFF にしたりしないでください。カードの破損や故障の原因になります。

設定内容を初期化する

テレビに関して設定した内容を初期化し、お買い上げ時の状態に戻します。

- 1 テレビ画面で [設定▲] にタッチしたあと [設定] にタッチします。

- 2 [初期値] にタッチし、確認画面が表示されたら [はい] にタッチします。



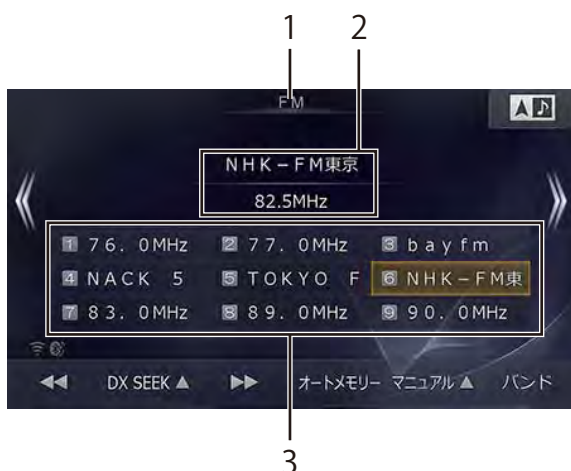
- 初期化が終了すると初期化完了のメッセージが表示され、自動的に AV ソースメニュー画面が表示されます。

アドバイス

- 設定の初期化中は電源を OFF にしないでください。破損や故障の原因となります。
- 初期化には 3 ～ 5 分程度かかります。

ラジオを聴く

AM 放送または FM 放送を受信します。



1. バンド表示
2. 放送局名／周波数表示
3. プリセットスイッチ

- 本機はワイド FM (90.1MHz ～ 95.0MHz) に対応しています。AM ラジオが入りにくいところでも、FM 放送で AM ラジオの番組が受信できます。

- 1 AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [ラジオ] にタッチします。



- 2 ラジオ画面でプリセットスイッチにタッチして、希望の放送局を受信します。



- プリセットスイッチに放送局を登録する方法は、下記項目を参照してください。
⇒「自動で放送局を記憶する（オートメモリー）」(111 ページ)
⇒「プリセットスイッチに手動で放送局を記憶する」(111 ページ)

ラジオバンド(AM/FM)を切りかえる

- 1 ラジオ画面で [バンド] にタッチします。タッチするたびに AM 放送と FM 放送が切りかわります。

ラジオの放送局を探す

自動または手動で聴きたい放送局（周波数）を探します。

- 1 ラジオ画面で ◀◀ または ▶▶ にタッチして、聴きたい放送局（周波数）を探します。



- シークモードの設定によって、選局の仕方が下記のように変わります。初期設定はディスタンスモードに設定されています。
⇒「シークモードを選ぶ」(111 ページ)
- DX SEEK（ディスタンスモード）：
受信可能な放送局を自動的に受信します（自動選局）。
- SEEK（ローカルモード）：
電波の強い放送局だけを自動的に受信します（自動選局）。
- MANUAL（マニュアルモード）：
1 段階ずつ周波数がかわります（手動選局）。タッチし続けると、連続で変化します。

アドバイス

- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

シークモードを選ぶ

放送局を選局するときのモードを選びます。タッチスイッチには選んだシークモードが表示されていて、初期設定は「DX SEEK」です。

- 1 ラジオ画面で「DX SEEK ▲」にタッチしたあと、「DX SEEK」[SEEK] [MANUAL] のいずれかにタッチします。



- タッチスイッチには選んだシークモードが表示されます。

アドバイス

- シークモードについては下記項目を参照してください。
⇒「ラジオの放送局を探す」(110 ページ)

自動で放送局を記憶する(オートメモリー)

受信できる放送局をプリセットスイッチに自動で記憶します。

- 1 ラジオ画面で「オートメモリー」にタッチすると、自動的に選局を始めます。自動選局が終了すると、プリセットスイッチに記憶されます。



- オートメモリーの起動中にもう一度「オートメモリー」にタッチすると、オートメモリーは解除されます。

アドバイス

- 受信電波の弱い地域ではオートメモリーでの自動受信ができないことがあります。受信できなかった場合は、オートメモリー前の状態に戻ります。
- オートメモリーを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信感度のよい放送局を周波数の低い順に AM9 局、FM9 局まで自動的に記憶されます。
- オートメモリー中、プリセットモードは自動的に「オート」に切りかわります。プリセットモードがどのモードのときでも、オートメモリーを行うことができます。
⇒「プリセットモードを切りかえる」(112 ページ)

プリセットスイッチに手動で放送局を記憶する

- 1 記憶させたい放送局に周波数を合わせます。

- 2 記憶させたいプリセットスイッチに操作音がするまでタッチし続けると、タッチしたプリセットスイッチに放送局が記憶されます。



- プリセットモードを「マニュアル」に切りかえてください。
⇒「プリセットモードを切りかえる」(112 ページ)

アドバイス

- すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。
- AM9 局、FM9 局まで記憶させることができます。

プリセットした放送局を切りかえる

プリセットスイッチにタッチすると選んだ放送局を受信できますが、前後のプリセットスイッチに切りかえて選局することもできます。

- 1 ❶または❷にタッチすると、プリセットした放送局が切りかわります。

アドバイス

- ❶❷スイッチがあるモデルは、❶❷スイッチで同様に操作できます。

プリセットモードを切りかえる

放送局を本機に記憶（プリセット）するモードを切りかえます。

タッチスイッチには前回選んだプリセットモードが表示されていて、初期設定は「マニュアル」です。

- 1 ラジオ画面で「マニュアル▲」にタッチしたあと、「オート」「エリア」「マニュアル」のいずれかにタッチします。



- タッチスイッチに選んだプリセットモードがスイッチ名として表示されます。
・マニュアル：手動で選局した放送局を記憶する場合に設定します。
・オート：オートメモリーを行うと、プリセットモードは自動でオートに切りかわります。
・エリア：あらかじめ本機に記憶されている各エリアの放送局を、現在位置で判断してプリセットします。

交通情報を受信する

- 1 ❶ AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で「交通情報」にタッチします。



- 2 [1620kHz] または [1629kHz] にタッチします。



- 交通情報を終了するときは AV ソースメニュー画面で他のソースを選択してください。

アドバイス

- オプションキーに交通情報受信操作を割り当てることができます。
⇒「オプションキーに機能を登録する」(24 ページ)

DVD を再生する

DVD の高画質な映像とデジタルサウンドを再生できます。

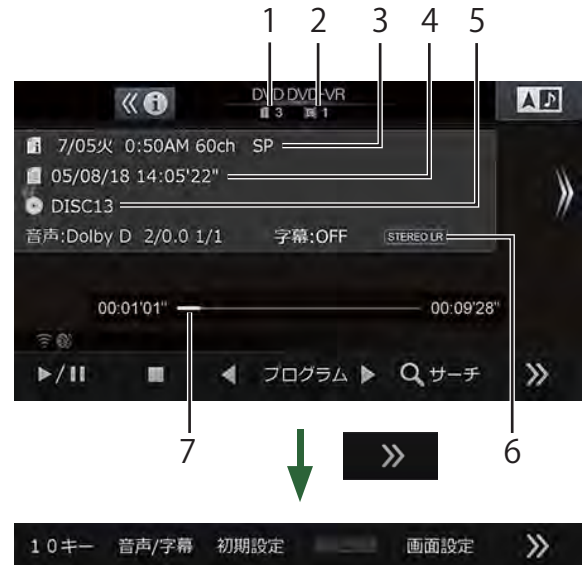
- ◆ 本機で利用できるディスクは下記のとおりです。
 - ・ DVD ビデオ (DVD-V)：市販の DVD ビデオディスク、またはビデオモードで記録された DVD-R / DVD-RW / DVD+R / DVD+RW のディスクが使用できます。
 - ・ DVD-VR：DVD-VR モードで記録された DVD-R / DVD-RW のディスクが使用できます。
- ◆ DVD ビデオと DVD-VR では操作できる内容が異なるため、操作スイッチも異なります。

< DVD ビデオ (DVD-V) >



1. タイトル番号
2. チャプター番号
3. DVD 情報表示 (音声、字幕、アングル)
4. チャプター再生時間表示
再生中のチャプターの再生経過時間と総再生時間が表示されます。

< DVD-VR >



1. プログラム番号またはプレイリスト番号
2. チャプター番号
3. プログラム名またはプレイリスト名など
4. レコーディング情報
5. ディスク名
6. DVD 情報表示 (音声、字幕、STEREO)
7. チャプター再生時間表示
再生中のチャプターの再生経過時間と総再生時間が表示されます。

- 1 **🎵 AUDIO / [MODE] スイッチ**を押し、AV ソースメニュー画面で **[DVD/CD]** にタッチします。



- または、DVD ディスクを挿入すると自動的に再生が始まります。
⇒「ディスクの出し入れ」(18 ページ)
- 2 画面にタッチすると操作スイッチが表示されます。
⏮️ i にタッチすると DVD 情報が表示されます。
 - しばらく (約 8 秒) 操作しないと、情報・操作部分の表示が消えます。
 - 情報表示を消すには **⏮️ i** にタッチします。

アドバイス

- 【ご注意】走行中は安全のため、映像が映らずに音声だけが聴こえます。
- DVD やソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。
- ディスクまたは再生状態によっては、操作を受け付けない場合があります。画面には⓪マークが表示されます。
- 再生中にエンジンを OFF にする、AV ソースを切りかえるなどの操作をしても、次に電源を ON にして DVD モードにすると続きから再生します（プレイポジションメモリ）。ディスクを取り出すとプレイポジションメモリは解除されます。
- DVD を再生するとメニュー画面が自動的に表示される場合があります。
⇒「メニュー画面を操作する（DVD-V のみ）」（116 ページ）

視聴制限した DVD を再生する

ディスクによっては、再生中に DVD 初期設定で設定した視聴制限レベル（パレンタルレベル）の変更を要求する場合があります。この場合は正しい暗証番号を入力すると、視聴制限した映像が再生されます。

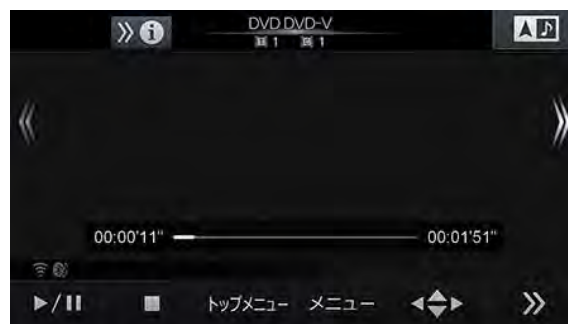
- 1 DVD 再生中にパレンタルレベル変更を要求するメッセージが表示された場合は、[はい] にタッチすると暗証番号入力画面が表示されます。
- 2 パレンタル設定で入力した 4 桁の暗証番号を入力し、[完了] にタッチします。暗証番号が正しいと視聴制限した映像が再生されます。

アドバイス

- 視聴制限をするためには、あらかじめ設定を行ってください。
⇒「視聴制限を設定する」（120 ページ）

チャプターの頭出しをする

- 1 DVD 画面で⏮または⏭にタッチすると、前後のチャプターの頭出しをします。



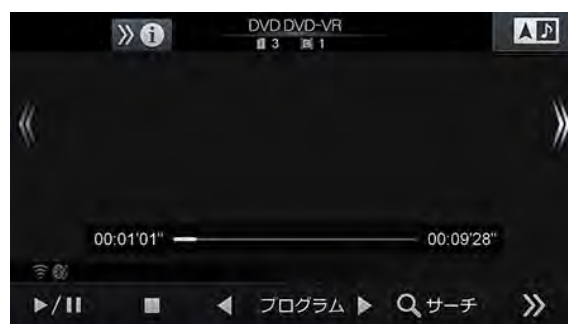
アドバイス

- ⏮ ⏭ スイッチがあるモデルは、⏮ ⏭ スイッチで同様に操作できます。

DVD を早送り・早戻しする

再生している映像を早送り、または早戻しできます。

- 1 DVD 画面で⏮または⏭に 2 秒以上タッチします。



2 倍速で早送り／早戻しします。早送り／早戻し中に⏮または⏭にタッチすると、タッチするたびに速度が 2 倍速→8 倍速→32 倍速に変わります。

- 2 早送り／早戻しを解除するには ▶/⏸ にタッチします。
- 32 倍速中に⏮または⏭にタッチしても通常再生に戻ります。また早送り／早戻し中に⏮、⏭に 2 秒以上タッチしても通常再生に戻ります。

アドバイス

- ⏮ ⏭ スイッチがあるモデルは、⏮ ⏭ スイッチで同様に操作できます。

DVD を静止（一時停止）する

- 1 DVD 画面で **▶/||** にタッチすると再生を一時停止します。



- 2 通常再生に戻すには、再度 **▶/||** にタッチします。

DVD をコマ送り再生する

- 1 DVD 画面で **▶/||** にタッチします。
- 2 一時停止中に **||** にタッチするたびに 1 コマずつコマ送り再生します。



- 3 通常再生に戻すには **▶/||** にタッチします。

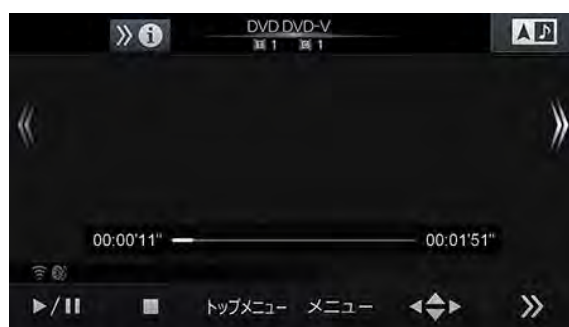
アドバイス

- コマ送り再生中は、音声は出力されません。
- **▶▶** スイッチがあるモデルは、**▶▶** スイッチで **||** と同様に操作できます。

DVD をスロー再生する

- 1 DVD 画面で **▶/||** にタッチします。

- 2 一時停止中に **||** に 2 秒以上タッチします。



1/8 倍速でスロー再生します。スロー再生中に **||** にタッチすると 1/2 倍速に変わります。

- 3 通常再生に戻すには **▶/||** にタッチします。

- 1/2 倍速中に **||** にタッチしても通常再生に戻ります。またスロー再生中に **||** に 2 秒以上タッチしても通常再生に戻ります。

アドバイス

- スローモーション再生中は、音声は出力されません。
- 1/2 倍速、1/8 倍速はおおよその速さです。ディスクによっても異なります。
- **▶▶** スイッチがあるモデルは、**▶▶** スイッチで **||** と同様に操作できます。

DVD を再生中止 (PRE STOP) する

再生中に停止スイッチをタッチすると再生が停止し、その位置を記憶 (プレイポジションメモリ) します。

- 1 DVD 画面で **[■]** にタッチすると「**[■] PRE**」と表示され、プレイポジションメモリが記録されます。
- 2 **▶/||** にタッチすると、再生中止した位置から再生します。

アドバイス

- ディスクによっては PRE-STOP したとき、再生中止位置を正しく記憶できない場合があります。

DVD を再生停止する

- 1 DVD 画面で **[■]** に 2 回タッチすると「**[■] STOP**」と表示され、再生が停止します。
- 2 **▶/||** にタッチすると、始めから再生します。

メニューを表示する(DVD-Vのみ)

複数のメニューを持つ DVD では、本編以外にチャプターリストや特典映像が選択できるメニュー画面を表示します。

- 1 DVD 画面で [メニュー] にタッチすると、メニュー画面が表示されます。メニュー画面に表示される項目を、直接画面にタッチして操作できます。
- メニュー操作スイッチを表示して操作することもできます。
⇒「メニュー画面を操作する (DVD-V のみ)」(116 ページ)

トップメニューを表示する(DVD-V のみ)

複数のタイトルを持つ DVD ビデオでは、トップメニュー画面を表示します。

- 1 DVD 画面で [トップメニュー] にタッチすると、メニュー画面が表示されます。メニュー画面に表示される項目を、直接画面にタッチして操作できます。
- メニュー操作スイッチを表示して操作することもできます。
⇒「メニュー画面を操作する (DVD-V のみ)」(116 ページ)

メニュー画面を操作する(DVD-V のみ)

- 1 DVD 画面で [移動] にタッチします。メニュー画面に表示される項目を、直接画面にタッチして操作できます。



- [↓移動] [↑移動] にタッチすると、スイッチ位置を画面の上下に移動します。

- 2 [キー ON] にタッチすると、メニュー操作スイッチを表示します。



◀ ▶ ▲ ▼ : カーソルを移動します。

[決定] : 項目を決定します。

[10 キー] : 10 キーを表示します。数字をタッチして入力し、[完了] にタッチして決定します。

[RETURN] : 前の画面に戻ります。

[キー OFF] : 操作スイッチを非表示にします。

↩ : メニュー操作スイッチ画面を終了します。

DVD 映像を繰り返し見る(リピート)

気に入った場面を繰り返し再生させることができます。

- 1 DVD 画面で [リピート] にタッチします。タッチするたびにリピートの種類が変わります。
 - タッチスイッチには前回選んだモードが表示されています。OFF 時は [リピート] 表示です。
 - ・ DVD-V : リピート → リピート TITLE → OFF → . . .
 - ・ DVD-VR : リピート → リピート PROGRAM / リピート PLAYLIST → OFF → . . .
- リピート : チャプターリピート
 リピート TITLE : タイトルリピート
 リピート PROGRAM : プログラムリピート
 リピート PLAYLIST : プレイスリストリピート

アドバイス

- DVD ビデオ再生時は、[リピート] を 2 秒以上タッチするとリピート OFF になります。

DVD 画面の画質を調整する

DVD 画面の画質調整を行います。

- 1 DVD 画面で [画面設定] にタッチします。
- 画質調整操作については下記項目を参照してください。
⇒「画質を調整する」(189 ページ)

音声言語を切りかえる(DVD-Vのみ)

ディスクに複数の音声言語が記録されている場合は、再生中に音声言語を一時的に切りかえることができます。

- 1 DVD画面で「モード切換」にタッチします。
- 2 「音声」にタッチします。タッチするたびに、収録されている音声言語が順番に切りかわります。画面に音声言語の番号が表示されます。



アドバイス

- DVD初期設定の「音声言語」で、音声言語をあらかじめ設定しておくことができます。
⇒「優先する音声を設定する」(119ページ)
- ディスクによっては再生中の切りかえができない場合があります。そのときはディスクメニューから言語を選択してください。

音声言語を切りかえる(DVD-VRのみ)

ディスクに複数の音声言語が記録されている場合は、再生中に音声言語を切りかえることができます。

- 1 DVD画面で「音声 / 字幕」にタッチします。
- 2 「音声」にタッチします。タッチするたびに、収録されている音声言語が順番に切りかわります。画面に音声言語の番号が表示されます。



- 3 多重音声言語が記録されているディスクの場合は、「音声」に2秒以上タッチするたびに、Lチャンネル、Rチャンネル音声の組み合わせが変わります。

LR → LL → RR → LR

アドバイス

- ディスクによっては再生中の切りかえができない場合があります。

サブタイトル(字幕言語)を切りかえる(DVD-Vのみ)

複数の字幕言語が記録されているディスクでは、再生中に字幕言語を切りかえたり非表示にできます。

- 1 DVD画面で「モード切換」にタッチします。
- 2 「字幕」にタッチします。タッチするたびに、収録されている字幕言語が順番に切りかわります。画面に字幕言語の番号が表示されます。



アドバイス

- DVD初期設定の「字幕言語」で、表示される字幕言語をあらかじめ設定しておくことができます。
⇒「字幕の言語を設定する」(119ページ)
- ディスクによっては再生中の切りかえができない場合があります。そのときはディスクメニューから選んでください。
- ディスクによってはOFFに設定しても、サブタイトルが表示される場合があります。

サブタイトル(字幕言語)を切りかえる(DVD-VRのみ)

字幕表示のON / OFFを設定します。

- 1 DVD画面で「音声 / 字幕」にタッチします。

- 2 [字幕] にタッチします。タッチするたびに、字幕表示の ON / OFF が切りかわります。



アドバイス

- ディスクによっては再生中の切りかえができない場合があります。

アングルを切りかえる (DVD-V のみ)

ディスクに複数のアングルが記録されている場合は、アングルを切りかえて表示できます。

- 1 DVD 画面で [モード切換] にタッチします。
- 2 [アングル] にタッチします。タッチするたびに、収録されているアングルが順番に切りかわり、映像のアングルが切りかわります。画面にアングル番号が表示されます。



アドバイス

- ディスクによって異なりますがアングル切りかえには 2 種類あります。
 - ・シームレス：継ぎ目なくスムーズにアングルが切りかわる。
 - ・ノンシームレス：アングル切りかえ時、一瞬静止画となりその後アングルが切りかわる。

チャプター番号から探す

再生中、PRE-STOP 中または一時停止中に操作を行ってください。

- 1 DVD 画面で [10 キー] にタッチします。
- 2 表示された入力画面で数字にタッチしてチャプター番号を入力し、[完了] にタッチします。入力したチャプター番号の映像が再生されます。

アドバイス

- ディスクによってはチャプター番号が記録されていないものがあります。

タイトル／プログラム番号から探す

STOP 中に操作を行ってください。

- 1 DVD 画面で [10 キー] にタッチします。
- 2 表示された入力画面で数字にタッチしてタイトル／プログラム番号を入力し、[完了] にタッチします。入力した番号の映像が再生されます。

アドバイス

- ディスクによってはタイトル／プログラム番号が記録されていないものがあります。

メニュー番号から探す (DVD-V のみ)

メニュー画面表示中に操作を行ってください。

- 1 DVD 画面で [10 キー] にタッチします。
- 2 表示された入力画面で数字にタッチしてメニュー番号を入力し、[完了] にタッチします。

アドバイス

- ディスクによってはメニュー番号が記録されていないものがあります。

プレイリスト／プログラムサーチ (DVD-VR のみ)

- 1 DVD 画面で [サーチ] にタッチします。

- 2 [プレイリスト] または [プログラム] にタッチして
サーチ画面を切りかえます。



- 3 表示されたリスト画面で、プレイリストまたはプログラムを選んでタッチします。選択した映像が再生されます。

プレイリスト／プログラムを選ぶ(DVD-VRのみ)

プログラム再生モード時は前後のプログラムを、プレイリスト再生時は前後のプレイリストを選択できます。

- 1 DVD 画面で [◀プレイ] [リスト▶] または [◀プロ] [グラム▶] にタッチし、前後のプレイリストまたはプログラムを選びます。前後のプログラムまたはプレイリストの最初のチャプターから再生します。

メニュー言語を設定する

タイトルメニューやメインメニューで表示される言語を設定します（初期設定値は「オート」）。

- DVD 初期設定は DVD 再生が停止中にのみ操作できます。DVD 再生中の場合は、DVD 初期設定画面で [停止] にタッチして再生を停止させてください。

- 1 DVD 画面で [初期設定] にタッチします。

- 2 [メニュー言語] にタッチして、お好みの言語にタッチします。[オート] に設定すると、DVD ソフトに記録されている最優先の言語で再生されます。



アドバイス

- 選択したい言語が表示されていない場合は [その他] にタッチし、4桁の言語コードを入力したあと [完了] にタッチします。
⇒「言語コード一覧」(122 ページ)

優先する音声を設定する

再生する映像の音声言語を設定します（初期設定値は「オート」）。

- DVD 初期設定は DVD 再生が停止中にのみ操作できます。DVD 再生中の場合は、DVD 初期設定画面で [停止] にタッチして再生を停止させてください。

- 1 DVD 画面で [初期設定] にタッチします。

- 2 [音声言語] にタッチして、お好みの言語にタッチします。[オート] に設定すると、DVD ソフトに記録されている最優先の音声言語で再生されます。



アドバイス

- 選択したい言語が表示されていない場合は [その他] にタッチし、4桁の言語コードを入力したあと [完了] にタッチします。
⇒「言語コード一覧」(122 ページ)

字幕の言語を設定する

再生する映像の字幕言語を設定します（初期設定値は「オート」）。

- DVD 初期設定は DVD 再生が停止中にのみ操作できます。DVD 再生中の場合は、DVD 初期設定画面で [停止] にタッチして再生を停止させてください。

- 1 DVD 画面で [初期設定] にタッチします。

- 2 [字幕言語] にタッチして、お好みの言語にタッチします。[オート] に設定すると、DVD ソフトに記録されている最優先の音声言語で再生されます。



アドバイス

- 選択したい言語が表示されていない場合は [その他] にタッチし、4桁の言語コードを入力したあと [完了] にタッチします。
⇒ 「言語コード一覧」 (122 ページ)

カントリーコードを変更する

視聴規制 (パレンタルロック) を設定する時の、設定したい規制レベルの国番号を設定します (初期設定値は「7480 (日本)」)。

- DVD 初期設定は DVD 再生が停止中にのみ操作できます。DVD 再生中の場合は、DVD 初期設定画面で [停止] にタッチして再生を停止させてください。

- 1 DVD 画面で [初期設定] にタッチします。
- 2 [カントリーコード] にタッチして、4桁のカントリーコードを入力し、[完了] にタッチします。



視聴制限を設定する

DVD ソフトの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない映像の視聴を制限できるものがあります。視聴制限は、8段階のレベルから設定します (初期設定値は「OFF」)。

- DVD 初期設定は DVD 再生が停止中にのみ操作できます。DVD 再生中の場合は、DVD 初期設定画面で [停止] にタッチして再生を停止させてください。

- 1 DVD 画面で [初期設定] にタッチします。
- 2 [パレンタル] にタッチして、4桁の暗証番号を入力し、[完了] にタッチします。



- 初回は暗証番号が設定されていません。お好きな4桁の数字を入力してください。2回目以降は同じ暗証番号を入力してください。
 - 入力した暗証番号は、*で表示されます。
- 3 お好みの視聴制限レベル [OFF]、[1] ~ [8] にタッチします。

アドバイス

- 視聴制限レベルが記録されていない DVD ソフトではレベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 暗証番号は忘れないように注意してください。暗証番号を忘れてしまった場合は DVD の設定内容を初期化してから再度登録してください。
⇒ 「DVD 初期設定を初期化する」 (121 ページ)
- 暗証番号を変更することもできます。DVD 初期設定画面で [暗証番号変更] にタッチして元の暗証番号を入力後、新しい暗証番号を入力して [完了] にタッチします。
- 視聴制限レベルは、以下の3種類に分類されます。
 - ・レベル1：子供向けの DVD ソフトのみを再生します (一般向けと成人向けの DVD ソフトの再生を禁止します)。
 - ・レベル2～7：子供向けと一般向けの DVD ソフトのみを再生します (成人向けの DVD ソフトの再生を禁止します)。
 - ・レベル8：すべての DVD ソフトを再生します。
 - ・OFF：視聴制限を OFF にします。すべての DVD ソフトを再生します (初期設定)。

ダウンミックスを設定する

ドルビーデジタル音声の DVD ソフトを再生するときに有効です（初期設定値は「ステレオ」）。

- DVD 初期設定は DVD 再生が停止中にのみ操作できます。DVD 再生中の場合は、DVD 初期設定画面で [停止] にタッチして再生を停止させてください。

- 1 DVD 画面で [初期設定] にタッチします。
- 2 [ダウンミックス] にタッチするたびに設定が切りかわります。



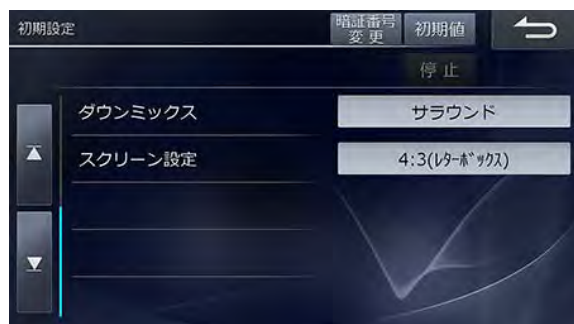
- ・サラウンド：サラウンド互換ダウンミックス
- ・ステレオ：ステレオダウンミックス

画面サイズを切りかえる

画面のサイズを設定します（初期設定値は「16：9」）。

- DVD 初期設定は DVD 再生が停止中にのみ操作できます。DVD 再生中の場合は、DVD 初期設定画面で [停止] にタッチして再生を停止させてください。

- 1 DVD 画面で [初期設定] にタッチします。
- 2 [スクリーン設定] にタッチするたびに設定が切りかわります。



- ・16：9
通常のワイドサイズで表示されます。4：3 のサイズで収録された DVD ソフトの場合は左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。
- ・4：3（レターボックス）

上下両端が黒く表示された映像になります。4：3 のサイズで収録された DVD ソフトの場合は画面サイズちょうど（4：3）で表示されます。

・4：3（パンスキャン）

左右両端がカットされた映像になります。4：3 のサイズで収録された DVD ソフトの場合は画面サイズちょうど（4：3）で表示されます。

アドバイス

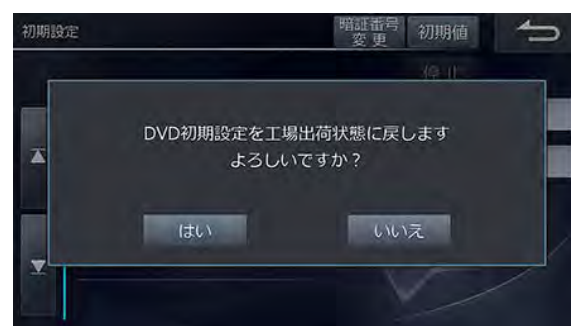
- DVD ソフトによっては、画面サイズが変更されない場合があります。通常は 16：9（初期設定値）に設定してください。
- 【ご注意】お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮／引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

DVD 初期設定を初期化する

DVD 初期設定の内容を工場出荷時の状態に戻します。

- DVD 初期設定は DVD 再生が停止中にのみ操作できます。DVD 再生中の場合は、DVD 初期設定画面で [停止] にタッチして再生を停止させてください。

- 1 DVD 画面で [初期設定] にタッチします。
- 2 [初期値] にタッチして、確認画面が表示されたら [はい] にタッチします。



言語コード一覧

「メニュー言語」「音声言語」「字幕言語」は、以下のコード表から数字を入力して選択できます。

あ行	
コード	言語
7977	(アフアン) オロモ語
7375	Inupiak語
7383	アイスランド語
6589	アイマラ語
7165	アイルランド語
6590	アゼルバイジャン語
6583	アッサム語
6565	アフアル語
6566	アプバジア語
6570	アフリカーンス語
6577	アムハラ語
6582	アラビア語
8381	アルバニア語
7289	アルメニア語
7384	イタリア語
7473	イディッシュ語
7378	インドネシア語
6789	ウェールズ語
8779	ウォロフ語
8575	ウクライナ語
8590	ウズベク語
8582	ウルドゥー語
6978	英語
6984	エストニア語
6979	エスペラント語
7876	オランダ語
7982	オリヤー語

か行	
コード	言語
7575	カザフ語
7583	カシミール語
6765	カタロニア語
7176	ガルシア語
7579	韓国語
7578	カンナダ語
7577	カンボジア語
8287	キニヤルワンダ語
6976	ギリシャ語
7589	キルギス語
8278	キルンディ語
7178	グアラニ語
7185	グジャラート語
7576	グリーンランド語
7565	グルジア語
7585	クルド語
7282	クロアチア語
8185	ケチュア語
7365	国際語
7369	国際語
8872	コーサ語
6779	コルシカ語

さ行	
コード	言語
8377	サモア語
8371	サンゴ語
8365	サンスクリット語
8383	シスワティ語
7487	ジャワ語
8378	ショナ語
8368	シンド語
8373	シンハラ語
8386	スウェーデン語
9085	ズール語
7168	スコットランドゲール語
6983	スペイン語
8375	スロバキア語
8376	スロベニア語
8387	スワヒリ語
8385	スンダ語
8384	セストゥ語
8478	セツワナ語
8372	セルビアクロアチア語
8382	セルビア語
8379	ソマリ語

た行、な行	
コード	言語
8472	タイ語
8476	タガログ語
8471	タジク語
8484	タタール語
8465	タミール語
6783	チェコ語
6679	チベット語
9072	中国語
8483	ツォンガ語
8473	ティグリニャ語
8469	テルグ語
6865	デンマーク語
6869	ドイツ語
8487	トウィ語
8475	トゥルクメン語
8482	トルコ語
8479	トンガ語
7865	ナウル語
7465	日本語
7869	ネパール語
7879	ノルウェー語

は行	
コード	言語
7265	ハウサ語
6665	バシキール語
8083	パシュトー語
6985	バスク語
7285	ハンガリー語
8065	パンジャブ語
6673	ビスラマ語
6672	ビハーリー語
7273	ヒンディー語
7074	フィジー語
7073	フィンランド語
6890	ブータン語
7079	フェロー語
7082	フランス語
7089	フリジア語
6671	ブルガリア語
6682	ブルトン語
7967	プロバンス語
8673	ベトナム語
7387	ヘブライ語
6669	ベラルーシ語
7065	ペルシャ語
6678	ベンガル語、バングラ語
8076	ポーランド語
8679	ボラピュク語
8084	ポルトガル語

ま行、や行、ら行	
コード	言語
7773	マオリ語
7775	マケドニア語
7771	マダガスカル語
7782	マラータ語
7776	マラヤーラム語
7784	マルタ語
7783	マレー語
7789	ミャンマー語
7779	モルダビア語
7778	モンゴル語
8979	ヨルバ語
8277	ラエティ＝ロマン語
7679	ラオス語
7665	ラテン語
7686	ラトビア語、レット語
7684	リトアニア語
7678	リンガラ語
8279	ルーマニア語
8285	ロシア語

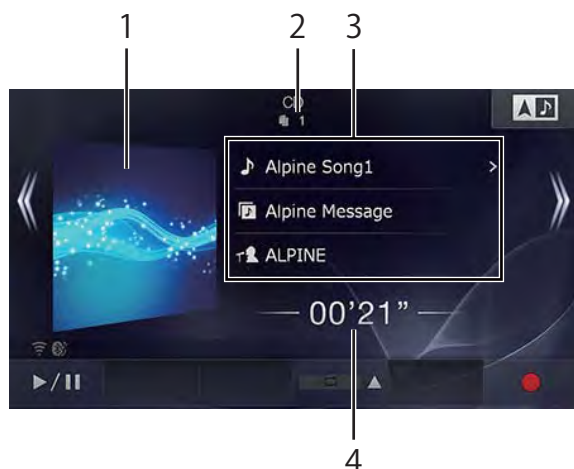
CD を再生する

CD や MP3 / WMA / AAC データが記録されたディスクを再生できます。

- ◆ 本機で利用できるディスクは下記のとおりです。
 - ・音楽 CD (CD) : 市販の音楽 CD、または CD フォーマットで記録された CD-R / CD-RW ディスクが使用できます。
 - ・圧縮オーディオ (CD AUDIO または DVD AUDIO) : MP3 / WMA / AAC フォーマットで記録された CD-R / CD-RW / DVD-R / DVD-RW / DVD+R / DVD+RW のディスクが使用できます。

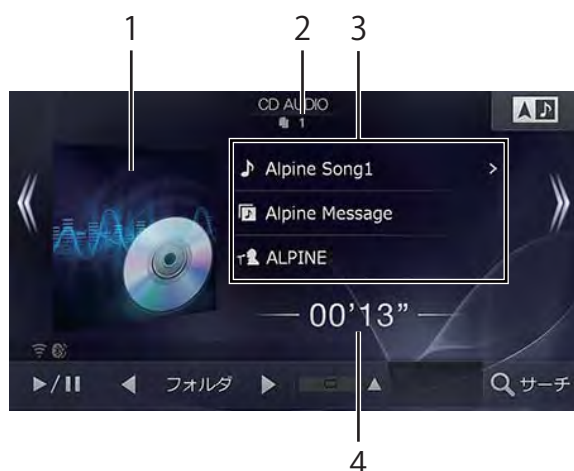
- ◆ CD と MP3 / WMA / AAC では操作できる内容が異なるため、操作スイッチも異なります。

< CD >



1. イメージ表示
2. トラック番号
3. 曲名／アルバム名／アーティスト名表示
4. 再生経過時間表示

< MP3 / WMA / AAC (CD AUDIO または DVD AUDIO) >



1. イメージ表示
2. トラック番号
3. 曲名／アルバム名／アーティスト名表示
4. 再生経過時間表示

- 1 AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [DVD/CD] にタッチします。



- または、ディスクを挿入すると自動的に再生が始まります。
⇒「ディスクの出し入れ」(18 ページ)

アドバイス

- 本機で CD ディスクを再生した場合、本機に収録されている Gracenote データベースから検索したアルバム名やアーティスト名、曲名などのタイトル情報を表示できます。
- CD 再生時、本機の Gracenote データベースからタイトル情報が検索できなかった場合は NO TITLE / NO NAME と表示されます。また、複数のタイトル情報がある場合、最初のタイトルの表示になります。
- CD-TEXT 付きの CD は、Gracenote データベースにタイトル情報がない場合のみ、テキストが表示されます。
- SD カードへの録音中は CD 操作を行うことはできません。

CD の曲の頭出しをする

聴きたい曲 (ファイル) の頭出しをします。

- 1 CD 画面で / にタッチします。

アドバイス

- スイッチがあるモデルは、 スイッチで同様に操作できます。

CD を早送り・早戻しする

再生中の曲を早送り、または早戻しできます。

- 1 CD 画面で / にタッチし続けます。スイッチから指を離すまで早送り／早戻しします。

アドバイス

- ◀▶ スイッチがあるモデルは、◀▶ スイッチで同様に操作できます。
- 先頭曲の頭まで早戻しすると、早戻しが解除され、通常再生に戻ります。

CD を一時停止する

- 1 CD 画面で ▶/|| にタッチすると再生を一時停止します。

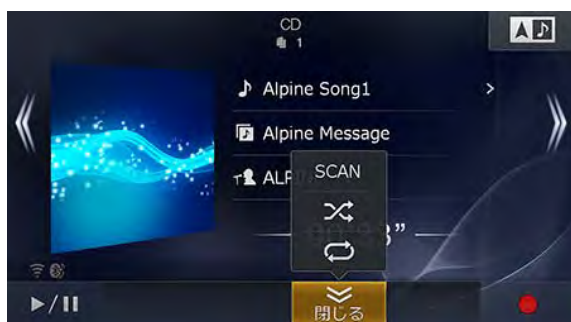


- 2 通常再生に戻すには、再度 ▶/|| にタッチします。

CD の曲を繰り返し聴く(リピート)

再生中の曲またはフォルダー内の曲を繰り返し再生します。

- 1 CD 画面で [◀▶] にタッチしたあと、[↺] にタッチします。タッチするたびにリピートモードが切りかわります。
- タッチスイッチには前回選んだモードが表示されています。OFF 時は [◀▶] 表示です。



CD : ◀▶ → OFF → . . .

MP3 / WMA / AAC : ◀▶ → ◀▶ FOLDER → OFF → . . .

◀▶ : 1 曲のみを繰り返し再生します。

◀▶ FOLDER : フォルダー内の曲のみを繰り返し再生します。

- 2 リピートモードを解除するには、OFF になるまで手順 1 の操作を繰り返します。

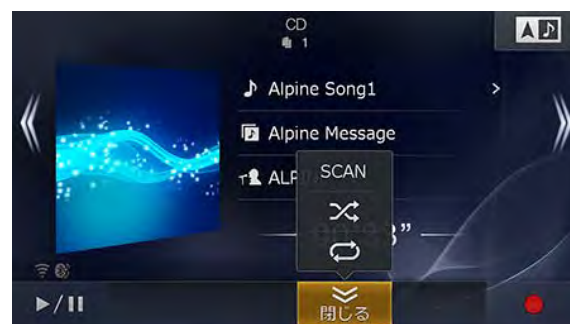
アドバイス

- スキャンまたはミックス演奏中にリピートモードにすると、スキャン/ミックスモードは解除されます。

CD を曲順を変えて聴く(ミックス)

ディスク内の曲またはフォルダー内の曲を順不同で再生します。

- 1 CD 画面で [◀▶] にタッチしたあと、[↻] にタッチします。タッチするたびにミックスモードが切りかわります。
- タッチスイッチには前回選んだモードが表示されています。OFF 時は [◀▶] 表示です。



● CD : ↻ → OFF → . . .

● MP3 / WMA / AAC : ↻ FOLDER → ↻ → OFF → . . .

↻ FOLDER : フォルダー内の曲のみを順不同に再生します。

↻ : ディスク内の曲を順不同に再生します。

- 2 ミックスモードを解除するには、OFF になるまで手順 1 の操作を繰り返します。

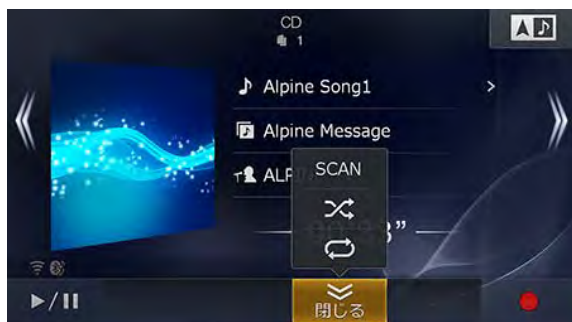
アドバイス

- すべての曲の再生が終了しても、ミックス再生が解除されるまでミックス再生を継続します。
- ミックス再生中は [◀▶] にタッチして前の曲を選ぶことはできません。
- ミックス再生中は、現在再生している曲の頭まで早戻しすると再生に戻ります。
- スキャンまたはリピート演奏中にミックスモードにすると、スキャン/リピートモードは解除されます。

CD の曲のイントロだけを聴く (スキャン)

曲のイントロ部分を約 10 秒間ずつ順に再生して、聴きたい曲を探することができます。

- 1 CD 画面で [◀▶] にタッチしたあと、[SCAN] にタッチします。タッチするたびにスキャンモードが切りかわります。
- タッチスイッチには前回選んだモードが表示されています。



CD : SCAN → OFF → . . .

MP3 / WMA / AAC : SCAN → SCAN FOLDER → OFF → . . .

SCAN : ディスク内の曲のイントロ部分が約 10 秒間ずつ再生されます。MP3 / WMA / AAC の場合は、再生しているフォルダー内の曲のイントロ部分が再生されます。

SCAN FOLDER : 全フォルダーの最初の曲のイントロ部分が約 10 秒間ずつ再生されます。

- 2 聴きたい曲が見つかったら、[▶] にタッチします。その曲の頭から再生します。

アドバイス

- ミックスまたはリピート演奏中にスキャンモードにすると、ミックス／リピートモードは解除されます。

SD カードに曲を録音する (CD のみ)

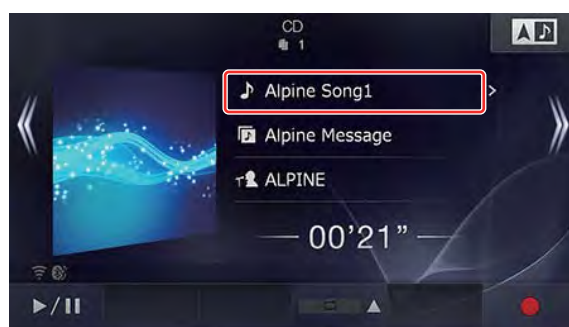
再生している CD の曲を SD カードに録音できます。

- 1 CD 画面で [●] にタッチすると再生中の曲から録音が始まります。
- 詳細は「SD AUDIO 操作」を参照してください。
⇒「CD の曲を SD カードに録音する」(128 ページ)

CD 再生リストサーチ

再生対象となっている曲名をリスト表示します。リストから聴きたい曲を選ぶことができます。

- 1 CD 画面で曲名表示部分にタッチします。



- 2 表示されたリスト画面で、聴きたい曲を選んでタッチします。選択した曲が再生されます。



アドバイス

- ミックス再生中は、再生リストサーチを行うことはできません。

フォルダーを選ぶ (MP3 / WMA / AAC のみ)

MP3 / WMA / AAC で記録されたディスクは、フォルダー単位で選ぶことができます。

- 1 CD 画面で [◀フォ] [ルダ▶] にタッチし、前後のフォルダーを選びます。前後のフォルダーの最初のファイルから再生します。

ファイルサーチ (MP3 / WMA / AAC のみ)

フォルダー名／ファイル名をリスト表示して選択できます。

- 1 CD 画面で [サーチ] にタッチします。

- 2 表示されたフォルダーリスト画面で、希望のフォルダーを選んでタッチします。



- 3 表示されたファイルリスト画面で、希望のファイルを選んでタッチします。選択したファイルが再生されます。

SD カードへの録音方法について

SD カードへの楽曲データ録音（記録）方法によって、SD カードの操作方法が異なります。下記 2 種類の録音方法があります。

- ◆ <本機で CD 再生しながら SD カードに楽曲データを録音する>
あらかじめ CD から SD カードに曲を録音してください。
⇒「CD の曲を SD カードに録音する」（128 ページ）
操作方法については「SD AUDIO 操作」を参照してください。
 - データ形式
 - ・録音形式：AAC
 - ・サンプリングレート：44.1MHz
 - ・ビットレート：96 / 128 / 192kbps（初期設定は 128kbps）
 - ⇒「録音ビットレートを設定する」（176 ページ）
 - ・録音可能曲数：最大 9,999 曲（アルバム数 / アーティスト数はそれぞれ最大 999）
- ◆ <パソコン等を使用して SD カードに MP3 / WMA / AAC データを保存する>
操作方は CD ディスクに記録された MP3 / WMA / AAC 同様の操作となります。「CD 操作」を参照してください。

CD の曲を SD カードに録音する

SD AUDIO 操作を行う前に、CD の曲を SD カードに録音します。SD カードの容量や録音モードによって録音曲数は異なりますが、最大 9,999 曲録音できます。

- ◆ SD カードに曲を録音する流れは以下のようになります。
録音用の SD カードを準備する（本機添付の SD カードまたはお客様で自身で準備した SD カード）→ SD カードを録音用に初期化する→ SD カードに録音する
- クイックセットアップ（販売店設定）でお客様の車を設定するまでは、本機添付の SD カードは初期化しないでください（通常は販売店で設定済です）。
⇒「販売店設定をする」（10 ページ）
- 録音用の SD カードは、地点登録用とは別のフォーマットになります。
- 録音用の SD カードは 4GB ～ 32GB の SDHC カードが使用可能です。

- 1 SD カードを本機に挿入し、録音したい CD を再生します。
⇒「SD カードの出し入れ」（18 ページ）
⇒「ディスクの出し入れ」（18 ページ）
- 2 CD 画面で [●]（録音）にタッチすると再生中の曲から録音が始まります。



1. 録音進捗バー

- SD カードが初期化済みでない場合はメッセージが表示されます。手順 3 に進み、SD カードを初期化すると録音が始まります。
- 録音中は [●]（録音）は [■]（停止）に変わります。[■] にタッチし、確認メッセージが表示されたら [はい] にタッチすると録音を停止します。

- 録音中に曲名表示部にタッチしてリストを表示すると、曲名にアイコンが表示されます。



- ▶：再生中の曲
- ：録音中の曲
- ✕：録音に失敗した曲

録音に失敗した曲は、SD AUDIO 画面でも曲名に✕印が表示されます。

- 3 SD カード初期化を確認するメッセージが表示されたら「はい」にタッチします。再度メッセージ（「本当に初期化しますか？」）が表示されるので、もう一度「はい」にタッチします。
- あらかじめ設定操作で SD カードを録音用に初期化することもできます。
⇒「SD カードを初期化する」（188 ページ）
- 録音開始後は SD カード内の録音済の曲が再生されます。録音が終了すると CD モードになります。
- 録音中に CD モードからほかのオーディオモード（SD AUDIO を除く）に切りかえても録音は継続しています。
- CD の途中で録音を中断した場合、アルバムの曲順どおりに録音できない場合があります。その際は該当するアルバムを消去して、もう一度録音を行ってください。
⇒「録音曲を消去する」（134 ページ）
- 録音中は CD 操作を行うことはできません。
- 録音用初期化や録音開始までに時間がかかる場合があります。
- 残容量 100MB 以下の SD カードには録音できません。

アドバイス

- 本機の故障・誤動作・不具合により録音できなかったデータおよび消失したデータについては補償できません。
- 著作権法上、お客様が録音したものは個人として楽しむほかは権利者に無断で使用できません。

- 録り直しのきかない録音の場合は、正しく録音されていることを確認してください。
- エンジンが ACC の状態で録音しているときにエンジンをかけると、録音したデータが消失する場合があります。
- ノンストップ CD（曲と曲の間に無音部分がない CD）を録音すると、曲間に無音部分が録音され不自然な音切れが発生することがあります。録音するディスクに依存します。
- MP3 / WMA / AAC は録音できません。
- 録音用に初期化した SD カードは本機以外に挿入しないでください。データが破損する可能性があります。なお、PC 等に録音用 SD カードを挿入するとフォーマットを促す場合がありますが、録音データが失われますのでキャンセルしてください。
- 録音中や初期化中は絶対に SD カードを取り出さないでください。取り出すときは録音を停止するか、または初期化終了を確認してください。SD カード内のデータが破損する可能性があります。
- 録音中に以下の操作をすると録音を停止します。
 - ・[■] にタッチする（再生されている曲の頭から CD モードで再生します）
 - ・ディスプレイを開く（再生されている曲の頭から CD モードで再生します）
 - ・エンジンを ACC ON から OFF にする（エンジンをかけると再生されている曲の続きを CD モードで再生します）

SD AUDIO を再生する

SD カードに録音された音楽データ（AAC）を再生します。



1. イメージ表示
2. トラック番号
3. 曲名／アルバム名／アーティスト名表示
4. 再生経過時間表示

- 1 SD カードを本機に挿入します。
⇒「SD カードの出し入れ」(18 ページ)
- 2  AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [SD] にタッチします。



アドバイス

- 録音用 SD カードはライトプロテクトされていると再生することができません。

SD AUDIO の曲を繰り返し聴く(リピート)

再生中の曲を繰り返し再生します。

- 1 SD 画面で  にタッチしたあと、 にタッチします。タッチするたびにリピートモードが切りかわります。
- タッチスイッチには前回選んだモードが表示されています。OFF 時は  表示です。



 →  LIST → OFF → . . .

 : 1 曲のみを繰り返し再生します。

 LIST : 再生リスト内の曲のみを繰り返し再生します。

- 2 リピートモードを解除するには、再度  にタッチしたあと、 にタッチします。

アドバイス

- スキャンまたはミックス演奏中にリピートモードにすると、スキャン／ミックスモードは解除されます。

SD AUDIO を曲順を変えて聴く(ミックス)

再生対象となっている曲リストの曲を順不同で再生します。

- 例えばサーチでアルバムを選択してからミックスモードにすると、アルバム内のミックス再生を行います。SD 内全曲ミックス再生を行うには、サーチ画面の「曲」選択で何か曲を選んでから、ミックス再生を行ってください。
⇒「サーチ方法を選んで曲を探す (SD AUDIO)」(131 ページ)

- 1 SD 画面で  にタッチしたあと、 にタッチします。タッチするとミックスモードに切りかわります。

SD AUDIO の曲の頭出しをする

聴きたい曲 (ファイル) の頭出しをします。

- 1 SD 画面で  または  にタッチします。

アドバイス

-   スイッチがあるモデルは、  スイッチで同様に操作できます。

SD AUDIO を早送り・早戻しする

再生中の曲を早送り、または早戻しできます。

- 1 SD 画面で  または  にタッチし続けます。スイッチから指を離すまで早送り／早戻しします。

アドバイス

-   スイッチがあるモデルは、  スイッチで同様に操作できます。
- 先頭曲の頭まで早戻しすると、早戻しが解除され、通常再生に戻ります。

SD AUDIO を一時停止する

- 1 SD 画面で  にタッチすると再生を一時停止します。
- 2 通常再生に戻すには、再度  にタッチします。

- タッチスイッチには前回選んだモードが表示されています。OFF 時は [↺▲] 表示です。



- 2 ミックスモードを解除するには、再度 [↺] にタッチしたあと、[↺] にタッチします。

アドバイス

- すべての曲の再生が終了しても、ミックス再生が解除されるまでミックス再生を継続します。
- ミックス再生中は [↺] にタッチして前の曲を選ぶことはできません。
- ミックス再生中は、現在再生している曲の頭まで早戻しすると再生に戻ります。
- スキャンまたはリピート演奏中にミックスモードにすると、スキャン／リピートモードは解除されます。

SD AUDIO の曲のイントロだけを聴く (スキャン)

再生対象となっている曲リストの曲のイントロ部分を約 10 秒間ずつ順に再生します。

- 1 SD 画面で [↺▲] にタッチしたあと、[SCAN] にタッチします。タッチするとスキャンモードに切りかわります。
- タッチスイッチには前回選んだモードが表示されています。OFF 時は [↺▲] 表示です。



- 2 聴きたい曲が見つかったら、[↺] にタッチします。その曲の頭から再生します。

アドバイス

- ミックスまたはリピート演奏中にスキャンモードにすると、ミックス／リピートモードは解除されます。

SD AUDIO 再生リストサーチ

再生対象となっている曲名をリスト表示します。リストから聴きたい曲を選ぶことができます。

- 1 SD 画面で曲名表示部分にタッチします。



- 2 表示されたリスト画面で、聴きたい曲を選んでタッチします。選択した曲が再生されます。



アドバイス

- ミックス再生中は、再生リストサーチを行うことはできません。

サーチ方法を選んで曲を探す (SD AUDIO)

ジャンルやアーティストなど、5つのサーチモードからそれぞれのリスト表示を行い、選択できます。

- アーティストやアルバム名称の変更や、ジャンルの変更を行うことができます。「SD カードに録音した曲を編集する」を参照してください。
- プレイリストサーチは本機にあらかじめ登録されている 20 のプレイリストから選択します。プレイリストへの曲の登録などは、「SD カードのプレイリストを編集する」を参照してください。

- 1 SD 画面で「[サーチ]」にタッチし、「曲を探す」画面で希望のサーチモードにタッチします。



- アーティストリスト画面とアルバムリスト画面は、SD 画面のアーティスト名／アルバム名表示部分にタッチしても表示できます。



- 2 表示されたリスト画面で、聴きたいジャンル／アーティスト／アルバム／曲／プレイリストを選んでタッチします。選択したジャンルなどが再生されます。

アドバイス

- ダイレクトサーチ機能を使用してより効率良く検索することができます。
⇒「ダイレクトサーチ機能」(132 ページ)

ダイレクトアップ／ダウン機能(SD AUDIO)

例えばサーチモードでアルバムを選択して決定すると、そのアルバムを繰り返し再生します。その場合ダイレクトアップ／ダウン機能を使用すると、簡単に別のアルバムを選ぶことができます。

画面に表示されるタッチスイッチは、サーチモードで最後に決定したモードになります。

⇒「サーチ方法を選んで曲を探す (SD AUDIO)」(131 ページ)

- 1 SD 画面でダイレクトアップ / ダウンスイッチにタッチします。

- ダイレクトアップ／ダウンスイッチ種類

[◀アルバム▶]、[◀アーティスト▶]、[◀ジャンル▶]、[◀プレイリスト▶]

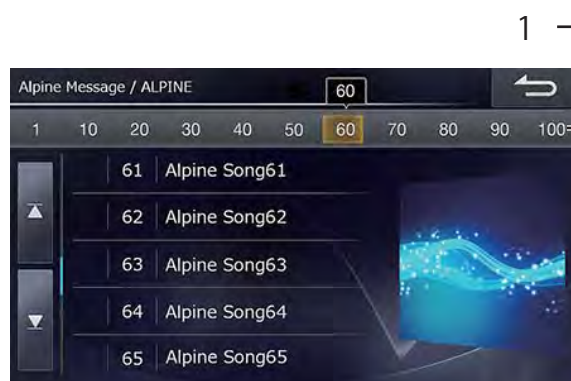
アドバイス

- サーチを行っていない、または曲名サーチを行った場合は、ダイレクトアップ／ダウン操作はできません。

ダイレクトサーチ機能

本機には、より効率良く検索するために、ダイレクトサーチ機能が用意されています。各サーチモード時に利用することで、探したい曲などを素早く探し出すことができます。

- 1 リスト画面に表示されたスライダバーの [1] ～ [100] いずれかの位置にタッチします。指定された場所のリストを表示します。



1. スライダーバー

- リストされている曲が 100 曲あるとき、[60] にタッチすると 60 曲目前後のリストが表示されます。

アドバイス

- スライダーバーにタッチし、左右にスライドさせることで操作することもできます。スライド操作に従い、リストもスクロールします。

SD AUDIO の演奏順を変更する

SD に収録されているアルバムの中の曲順を変更します。まず曲順を変更したいアルバムを再生してください。

- 1 SD 画面で「[編集]」にタッチし、「録音曲編集」にタッチします。

- 2 演奏順を変更したい曲名にタッチしたあと、[演奏順 UP] または [演奏順 DN] にタッチします。タッチするたびに曲順が上または下に移動します。



アドバイス

- 走行中は安全のため、編集を行うことはできません。

録音曲編集 - アルバム名称を変更する

SD に収録されている曲の、アルバムの名称を編集します。まず名称を変更したいアルバムを再生してください。

- 1 SD 画面で [編集] にタッチし、[録音曲編集] にタッチします。
- 2 [名称変更] にタッチし、[アルバム] にタッチします。



- 3 文字にタッチしてアルバム名を入力し、[完了] にタッチします。

アドバイス

- 入力できる文字数は最大で全角／半角 64 文字です。
- 走行中は安全のため、編集を行うことはできません。

録音曲編集 - アーティスト名称を変更する

SD に収録されている曲の、アーティスト名称を編集します。まず名称を変更したいアーティストを再生してください。

- 1 SD 画面で [編集] にタッチし、[録音曲編集] にタッチします。

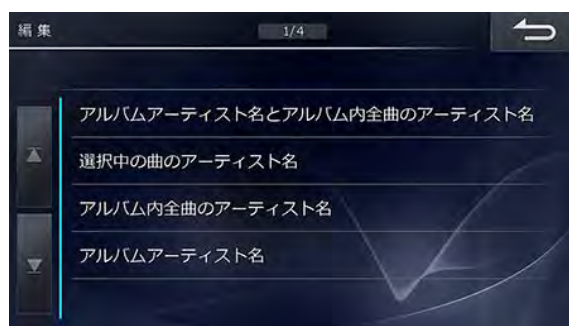
- 2 [名称変更] にタッチし、[アーティスト] にタッチします。



- 3 表示されたリストから設定したいアーティスト名称を選んでタッチする場合は手順 5 に進みます。アーティスト名称を新規登録する場合は [入力] にタッチし、手順 4 に進みます。



- 4 文字にタッチしてアーティスト名を入力し、[完了] にタッチします。
- 5 変更したいアーティストの対象を選んでタッチします。



- アルバムのアーティスト名と、アルバム内の曲のアーティスト名が異なる場合、それぞれ変更するかどうかを選択できます。現在選択している曲のアーティスト名のみを変更することもできます。

アドバイス

- 入力できる文字数は最大で全角／半角 64 文字です。
- 走行中は安全のため、編集を行うことはできません。

録音曲編集 - 曲名を変更する

SD に収録されている曲の、曲名を編集します。まず名称を変更したい曲を再生してください。

- 1 SD 画面で「編集」にタッチし、「録音曲編集」にタッチします。
- 2 「名称変更」にタッチし、「曲名」にタッチします。



- 3 文字にタッチして曲名を入力し、「完了」にタッチします。

アドバイス

- 入力できる文字数は最大で全角／半角 64 文字です。
- 走行中は安全のため、編集を行うことはできません。

録音曲編集 - ジャンルを変更する

SD に収録されている曲の、ジャンルを編集します。まずジャンルを変更したいアルバムを再生してください。

- 1 SD 画面で「編集」にタッチし、「録音曲編集」にタッチします。
- 2 「名称変更」にタッチし、「ジャンル」にタッチします。



- 3 リストからジャンルを選んでタッチします。



アドバイス

- 走行中は安全のため、編集を行うことはできません。

タイトル情報を取得する

録音終了時に自動的に付与されなかったアルバムのタイトルデータを手動で取得できます。まずタイトルを取得したいアルバムを再生してください。

- 1 SD 画面で「編集」にタッチし、「録音曲編集」にタッチします。
 - 2 「再取得」にタッチします。本機に収録されている Gracenote データベースから取得された曲名／アーティスト名一覧が表示されます。
 - 3 表示されたリストから設定したい名称を選んでタッチします。インターネット上の Gracenote データベースにアクセスしてタイトルデータをダウンロードする場合は手順 4 に進みます。
 - 4 「通信」にタッチすると Gracenote データベースからデータを取得します。表示されたリストから設定したい名称を選んでタッチします。
- Wi-Fi 通信が必要です。
 - ⇒ 「Wi-Fi 接続を設定する - 自動探索」(196 ページ)
 - ⇒ 「Wi-Fi 接続を設定する - 機器名を入力して登録」(197 ページ)
 - ⇒ 「Wi-Fi 接続を設定する - WPS 登録」(198 ページ)

アドバイス

- 走行中は安全のため、編集を行うことはできません。

録音曲を消去する

SD に収録されている曲やアルバムを消去します。まず消去したい曲やアルバムを再生してください。

- 1 SD画面で[編集]にタッチし、[録音曲編集]にタッチします。
- 2 消去したい曲にタッチしたあと、[消去]にタッチします。アルバムとアルバム内全曲を消去するには[消去]にタッチし続けます。
- 3 確認画面が表示されたら[はい]にタッチします。

アドバイス

- 走行中は安全のため、編集を行うことはできません。

SD AUDIOの曲をプレイリストに登録する

再生中の曲をプレイリストへ登録します。まず登録したい曲を再生してください。

- 1つのプレイリストに登録できる曲数は最大999曲です。
- 同じ曲を違うプレイリストに登録することもできます。また、1つのプレイリストに何度も同じ曲を登録することもできます。

- 1 SD画面で[編集]にタッチし、[プレイリスト編集]にタッチします。
- 2 曲に登録したいプレイリスト名にタッチし、[曲を追加]にタッチします。



アドバイス

- 走行中は安全のため、編集を行うことはできません。

プレイリスト名称を変更する

登録されているプレイリスト名を変更します。

- 1 SD画面で[編集]にタッチし、[プレイリスト編集]にタッチします。

- 2 名称を変更したいプレイリスト名にタッチし、[名称変更]にタッチします。



- 3 文字にタッチしてプレイリスト名を入力し、[完了]にタッチします。

アドバイス

- 走行中は安全のため、編集を行うことはできません。

プレイリストの曲の演奏順を変更する

プレイリストの中の曲順を変更します。

- 1 SD画面で[編集]にタッチし、[プレイリスト編集]にタッチします。
- 2 プレイリストを選んでタッチし、[編集]にタッチします。
- 3 演奏順を変更したい曲名にタッチしたあと、[演奏順UP]または[演奏順DN]にタッチします。タッチするたびに曲順が上または下に移動します。



アドバイス

- 走行中は安全のため、編集を行うことはできません。

プレイリストの曲を消去する

プレイリスト内の曲を消去します。

- 1 SD画面で[編集]にタッチし、[プレイリスト編集]にタッチします。

- 2 プレイリストを選んでタッチし、[編集] にタッチします。
- 3 消去したい曲にタッチしたあと、[消去] にタッチします。プレイリスト内全曲を消去するには [消去] にタッチし続けます。
- 4 確認画面が表示されたら [はい] にタッチします。

アドバイス

- 走行中は安全のため、編集を行うことはできません。

HDMI / MHL 対応機器 (iPhone やスマートフォンなど) をつないで使う

iPhone やスマートフォンまたはビデオカメラなどを本機と HDMI 接続し、ビデオ・音楽・写真などを再生できます。お使いになる iPhone やスマートフォン・ビデオカメラにより HDMI / MHL 接続ケーブルが異なります。お使いになる機種に合う別売 HDMI / MHL 接続ケーブルセットをご用意ください。

- 接続について詳しくは取付説明書を参照してください。

- 1 HDMI / MHL 接続ケーブルで本機と HDMI / MHL 機器を接続します。
- 2  AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [HDMI] にタッチします。



- 3 HDMI / MHL 機器でビデオ映像や写真の再生操作をします。

アドバイス

- 【ご注意】 走行中は安全のため、映像が映らずに音声だけが聴こえます。
- 【ご注意】 運転中は HDMI / MHL 機器の接続や操作をしないでください。事故やケガの原因になります。

- HDMI / MHL 機器を接続しても映像・音楽・写真などが再生できないときや HDMI / MHL 機器を認識しない場合は、一度 HDMI / MHL 機器を外して再接続してください。
- HDMI / MHL 機器に映像・音声出力設定がある場合は、本機に接続する際に「オン」にしてください。オンにしないと、映像・音声を本機に出力することができません。
- 本機の HDMI 入力および出力は HDCP に対応しています。HDCP コンテンツをリアビジョンで視聴するには HDCP に対応している機器と接続してください。
- 本機と BLUETOOTH 接続している機器を HDMI / MHL 接続すると、音声出力されない場合があります。
- HDMI / MHL 機器を使用しているときにエンジンを OFF にしても HDMI / MHL 機器の電源は切れません。HDMI / MHL 機器本体の電源を OFF にしてください。
- お使いになる機器やコンテンツにより画像の表示品位が変わる場合があります。その場合には画面サイズの設定をしてください。
⇒「画面表示モードを切りかえる」(188 ページ)

HDMI 画面の画質を調整する

HDMI 画面の画質調整を行います。

- 1 HDMI 画面で [画面設定] にタッチします。



- 画質調整操作については下記項目を参照してください。
⇒「画質を調整する」(189 ページ)

ウォークマン (R) をつないで使う

ウォークマン (R) を本機に接続して音楽やビデオを再生できます。別売のウォークマン (R) 接続ケーブルをご用意ください。

- 接続について詳しくは取付説明書を参照してください。

- 1 ウォークマン (R) 接続ケーブルで本機とウォークマン (R) を接続します。
 - 本機へウォークマン (R) を接続する際は、ウォークマン (R) 本体のホームメニュー「各種設定」から下記の設定を行ってください。設定を行わないと、歌詞やジャケット写真またはビデオ映像を本機へ映し出すことができません。
 - ・「ビデオ設定」→「画面オフ設定」→「常時画面オン」
 - ・「ビデオ設定」→「テレビ出力（ビデオ）」→「オン」
 - ・「ビデオ設定」→「テレビ出力サイズ」→「16:9」
 - ・「音楽設定」→「テレビ出力（ミュージック）」→「オン」
 - 本機の「ソース別音量調整」設定のウォークマン (R) を +14 ステップに設定してください。
⇒「ソース間の音量レベルを調整する」(207 ページ)
- 2 外部機器接続選択設定で、接続機器に「ウォークマン (R)」を選びます。
 - 設定方法は下記項目を参照してください。
⇒「外部機器を接続する」(165 ページ)
- 3  AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で「ウォークマン (R)」にタッチします。



- 4 ウォークマン (R) で音楽や映像の再生操作をします。

アドバイス

- 【ご注意】 走行中は安全のため、映像が映らずに音声だけが聴こえます。
- 【ご注意】 運転中はウォークマン (R) の接続や操作をしないでください。事故やケガの原因になります。
- 【ご注意】 運転中はウォークマン (R) のイヤホンを使用しないでください。事故やケガの原因になります。

- 本機にウォークマン (R) を接続する前に、ウォークマン (R) のイコライザー機能を「オフ」に設定することをおすすめします。
- ウォークマン (R) 接続用ケーブルでウォークマン (R) のバッテリーを充電できます。
- USB メモリー・iPod / iPhone・ウォークマン (R) を同時に接続することはできません。
- 接続するウォークマン (R) がビデオ出力非対応の場合には、音声のみでご使用ください。
- ウォークマン (R) を聴いているときにエンジンを OFF にしてもウォークマン (R) の電源は切れません。ウォークマン (R) 本体の電源を OFF にしてください。
- 音楽再生画面・音楽サーチ画面・ビデオ再生画面以外は本機で表示できません。

ウォークマン (R) 画面の画質を調整する

ウォークマン (R) 画面の画質調整を行います。

- 1 ウォークマン (R) 画面で「画面設定」にタッチします。



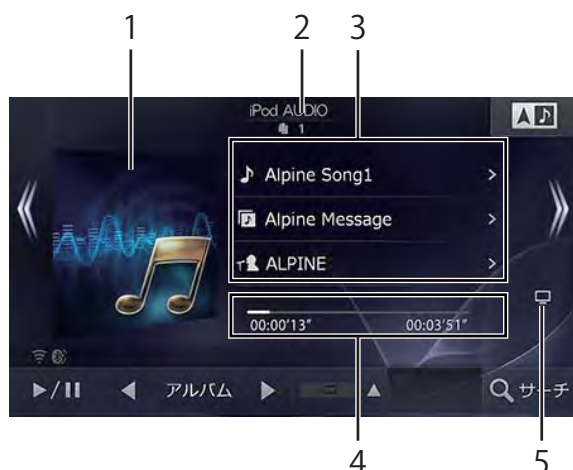
- 画質調整操作については下記項目を参照してください。
⇒「画質を調整する」(189 ページ)

iPod / iPhone を再生する

iPod / iPhone を本機に接続して音楽を再生できます。iPod / iPhone の種類に応じて別売の Lightning-USB 変換ケーブルまたは 30 ピン接続ケーブルが必要です。

- 接続について詳しくは取付説明書を参照してください。
- 動画を再生する場合は、HDMI 機器として接続、操作する必要があります。
⇒「HDMI / MHL 対応機器 (iPhone やスマートフォンなど) をつないで使う」(136 ページ)
- 機種によっては BLUETOOTH 接続し、BLUETOOTH AUDIO として再生することができます。

⇒「BT AUDIO を再生する」(141 ページ)



1. アートワーク／イメージ表示
2. 曲番号
3. 曲名／アルバム名／アーティスト名表示
(Podcast 再生時：エピソード名／Podcast 名／配信者名)
4. 再生時間表示
再生中の曲の再生経過時間と総再生時間が表示されます。
5. ビデオアイコン
本機はビデオ再生に対応していません。ビデオファイルを再生する場合、音声のみ出力し、ビデオアイコンを表示します。

- アートワークデータを取得する間（最大 3 秒間）は操作を行うことができません。
- アートワークの自動取得を設定してある場合、曲が変わるたびにアートワークデータの取得が行われ、その間は操作を行うことはできません。
⇒「アートワークを自動で取得する」(176 ページ)

1 iPod / iPhone 接続ケーブルで本機と iPod / iPhone を接続します。

2 **■** AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [iPod] にタッチします。



- iPod 接続時に自動的にソースを iPod へ切りかえることもできます。
⇒「iPod ソース自動切換設定」(176 ページ)

アドバイス

- 【ご注意】運転中は iPod / iPhone の接続や操作をしないでください。事故やケガの原因になります。
- 【ご注意】運転中は iPod / iPhone のイヤホンを使用しないでください。事故やケガの原因になります。
- iPod / iPhone を接続しても音が出ないときや、iPod / iPhone を認識できない場合は、一度 iPod / iPhone を外して再接続するか、iPod / iPhone のリセットを行ってください。
- 本機に iPod / iPhone を接続する前に、iPod / iPhone の EQ 機能を「オフ」に設定することをおすすめします。
- USB メモリー・iPod / iPhone・ウォークマン (R) を同時に接続することはできません。
- iPod / iPhone などは、車の中に放置したままにしないでください。車室内の熱による故障の原因になります。
- iPod / iPhone によっては、本機と接続中は iPhone の iPod 機能と iPod は操作ができなくなります。

iPod / iPhone の曲の頭出しをする

聴きたい曲（ファイル）の頭出しをします。

1 iPod AUDIO 画面で **■** または **■** にタッチします。

アドバイス

- **⏮** **⏭** スイッチがあるモデルは、**⏮** **⏭** スイッチで同様に操作できます。

iPod / iPhone を早送り・早戻しする

再生中の曲を早送り、または早戻しできます。

1 iPod AUDIO 画面で **■** または **■** にタッチし続けます。スイッチから指を離すまで早送り（早戻し）します。

アドバイス

- **⏮** **⏭** スイッチがあるモデルは、**⏮** **⏭** スイッチで同様に操作できます。
- 曲の頭まで早戻しすると、早戻しが解除され、通常再生に戻ります。

iPod / iPhone を一時停止する

- 1 iPod AUDIO 画面で **▶/||** にタッチすると再生を一時停止します。
- 2 通常再生に戻すには、再度 **▶/||** にタッチします。

iPod / iPhone の曲を繰り返し聴く (リピート)

再生中の曲を繰り返し再生します。

- 1 iPod AUDIO 画面で **[↺▲]** にタッチしたあと、**[↺]** にタッチします。タッチするとリピートモードに切りかわります。
- タッチスイッチには前回選んだモードが表示されています。OFF 時は **[↺▲]** 表示です。



- 2 リピートモードを解除するには、再度 **[↺▲]** にタッチしたあと、**[↺]** にタッチします。

iPod / iPhone を曲順を変えて聴く (シャッフル)

曲・アルバムを順不同に再生できます。

- 1 iPod AUDIO 画面で **[↺▲]** にタッチしたあと、**[↻]** にタッチします。タッチするたびにシャッフルモードが切りかわります。

- タッチスイッチには前回選んだモードが表示されています。OFF 時は **[↺▲]** 表示です。



↻ SONGS → **↻ ALBUMS** → OFF → . . .

↻ SONGS：サーチモードで曲を選択した場合、選択したモード内のすべての曲を順不同に再生します。
↻ ALBUMS：サーチモードで曲を選択した場合に、選択したモード内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番どおりに再生します。

- 2 シャッフルモードを解除するには、OFF になるまで手順 1 の操作を行います。

アドバイス

- すべての曲の再生が終了しても、シャッフル再生が解除されるまでシャッフル再生を継続します。

iPod / iPhone のすべての曲の曲順を変えて聴く (オールシャッフル)

iPod / iPhone 内のすべてのファイルを順不同に再生します。

- 1 iPod AUDIO 画面で **[↺▲]** にタッチしたあと、**[↻ALL]** にタッチします。
- タッチスイッチには前回選んだモードが表示されています。OFF 時は **[↺▲]** 表示です。



- 2 ミックスオールモードを解除するには、**[↻ SONGS ▲]** にタッチしたあと、**[↻ALL]** にタッチします。

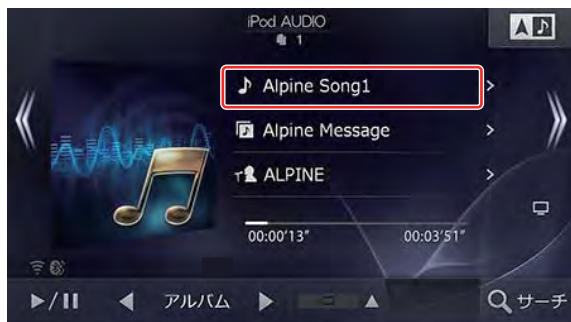
アドバイス

- すべての曲の再生が終了しても、シャッフル再生が解除されるまでシャッフル再生を継続します。

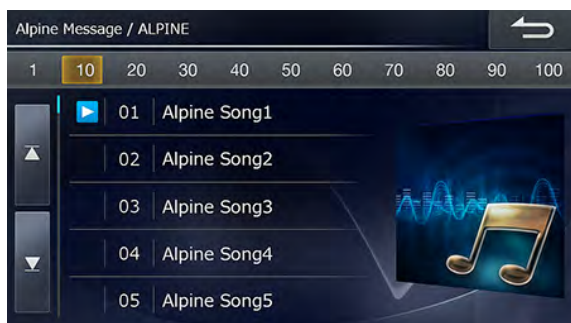
iPod / iPhone 再生リストサーチ

再生対象となっている曲名をリスト表示します。リストから聴きたい曲を選ぶことができます。

- 1 iPod AUDIO 画面で曲名表示部分にタッチします。



- 2 表示されたリスト画面で、聴きたい曲を選んでタッチします。選択した曲が再生されます。



アドバイス

- ダイレクトサーチ機能を使用してより効率良く検索することができます。
⇒「ダイレクトサーチ機能」(132 ページ)

サーチ方法を選んで曲を探す (iPod / iPhone)

アーティストやアルバムなどをリスト表示から選択できます。

8つのサーチモードがあり、それぞれのサーチモードには階層があってより絞り込んだ検索を行うことができます。



- ◆ サーチモード種類
 - ・プレイリスト→曲
 - ・アーティスト→アルバム→曲
 - ・アルバム→曲
 - ・曲
 - ・ジャンル→アーティスト→アルバム→曲
 - ・Podcast →エピソード
 - ・オーディオブック
 - ・作曲者→アルバム→曲

- 1 iPod AUDIO 画面で「サーチ」にタッチし、「曲を探す」画面で希望のサーチモードにタッチします。



- アーティストリスト画面とアルバムリスト画面は、iPod AUDIO 画面のアーティスト名／アルバム名表示部分にタッチしても表示できます。



- 2 表示されたリスト画面でモードを絞り込み、聴きたい曲などを選んでタッチします。

<表示例・アルバムサーチモード>



1. タッチすると全アルバムの曲名を表示します
2. タッチすると全アルバムの曲を再生します
3. タッチすると選択したアルバムの曲名を表示します
4. タッチすると選択したアルバムの全曲を再生します

アドバイス

- ダイレクトサーチ機能を使用してより効率良く検索することができます。
⇒「ダイレクトサーチ機能」(132 ページ)

ダイレクトアップ／ダウン機能(iPod / iPhone)

例えばサーチモードでアルバムを選択して決定すると、そのアルバムを繰り返し再生します。その場合ダイレクトアップ／ダウン機能を使用すると、簡単に別のアルバムを選ぶことができます。

画面に表示されるタッチスイッチは、サーチモードで最後に決定したモードになります。

⇒「サーチ方法を選んで曲を探す (iPod / iPhone)」(140 ページ)

- 1 iPod AUDIO 画面でダイレクトアップ／ダウンスイッチにタッチします。
- ダイレクトアップ／ダウンスイッチ種類
[◀プレイリスト▶]、[◀アーティスト▶]、[◀アルバム▶]、[◀ジャンル▶]、[◀Podcast▶]、[◀作曲者▶]

アドバイス

- サーチを行っていない、または曲名サーチを行った場合は、ダイレクトアップ／ダウン操作はできません。

BT AUDIO を再生する

BLUETOOTH AUDIO 機器を本機に接続して、音楽を再生できます。

まず BLUETOOTH AUDIO 機器を本機に登録します。下記項目を参照し、「オーディオ」または「ハンズフリー+オーディオ」で本機に BLUETOOTH 接続してください。
⇒「BLUETOOTH 機器に登録する (BLUETOOTH 機器から探索)」(193 ページ)

- [機器設定] にタッチすることでも、Bluetooth 設定画面を表示して BLUETOOTH 機器を接続することができます。
- お使いの携帯電話の AVRCP (BLUETOOTH 接続して音楽再生するためのプロファイル) のバージョンによって、再生画面に表示される内容や操作が異なります。下記画面は、AVRCP バージョン 1.4 に対応した BLUETOOTH AUDIO 機器を接続したときの表示例です。



1. イメージ表示
2. トラック番号
3. 曲名／アルバム名／アーティスト名表示
4. 再生経過時間表示

- 接続する BLUETOOTH 機器によっては対応していない表示があります。

- 1 **AUDIO** / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [BT AUDIO] にタッチします。



- 2 [再接続] にタッチします。BLUETOOTH AUDIO 機器との接続が完了すると、自動的に再生を開始します。



- BT AUDIO を AV ソースに選択した時に、BLUETOOTH AUDIO 機器を自動で接続するように設定できます。
⇒「BLUETOOTH オーディオ機器を自動接続する」(195 ページ)
- AVRCP バージョンによっては、自動的に再生されない場合があります。▶/|| にタッチしてください。

アドバイス

- BLUETOOTH AUDIO 使用中にハンズフリー機能・通信機能・電話帳転送機能を使用すると、一時的に BT AUDIO 機能が停止したり、音切れや AV プロファイルが切断されたりする場合があります。

BT AUDIO を早送り・早戻しする

再生中の曲を早送り、または早戻しできます。

- 1 BT AUDIO 画面で ⏮/⏭ にタッチし続けます。スイッチから指を離すまで早送り／早戻しします。

アドバイス

- ⏮ ⏭ スイッチがあるモデルは、⏮ ⏭ スイッチで同様に操作できます。

BT AUDIO を一時停止する

- 1 BT AUDIO 画面で ▶/|| にタッチすると再生を一時停止します。
- 2 通常再生に戻すには、再度 ▶/|| にタッチします。

BT AUDIO の曲を繰り返し聴く(リピート)

再生中の曲、グループを繰り返し再生します。

- 1 BT AUDIO 画面で [↺▲] にタッチしたあと、[↺] にタッチします。タッチするたびにリピートモードが切りかわります。
- タッチスイッチには前回選んだモードが表示されています。OFF 時は [↺▲] 表示です。



↺→↺ GROUP → ↺ ALL → OFF → . . .

↺: 1 曲のみを繰り返し再生します。

↺ GROUP: グループ内の曲のみを繰り返し再生します。

↺ ALL: 全曲を繰り返し再生します。

- 2 リピートモードを解除するには、OFF になるまで手順 1 の操作を繰り返します。

アドバイス

- 接続する BLUETOOTH 機器によっては対応していない場合があります。

BT AUDIO の曲の頭出しをする

聴きたい曲 (ファイル) の頭出しをします。

- 1 BT AUDIO 画面で ⏮ または ⏭ にタッチします。

アドバイス

- ⏮ ⏭ スイッチがあるモデルは、⏮ ⏭ スイッチで同様に操作できます。

- 接続する BLUETOOTH 機器によって RPT GROUP 再生の範囲が異なります。

BT AUDIO を曲順を変えて聴く(ミックス)

曲を順不同に再生できます。

- 1 BT AUDIO 画面で [↺▲] にタッチしたあと [↻] にタッチします。タッチするたびにミックスモードが切りかわります。
- タッチスイッチには前回選んだモードが表示されています。OFF 時は [↺▲] 表示です。



↻ GROUP → ↻ ALL → OFF → . . .
 ↻ GROUP：グループ内の曲を順不同に再生します。
 ↻ ALL：全曲を順不同に再生します。

- 2 ミックスモードを解除するには、OFF になるまで手順 1 の操作を繰り返します。

アドバイス

- 接続する BLUETOOTH 機器によっては対応していない場合があります。
- 接続する BLUETOOTH 機器によって M.I.X. GROUP 再生の範囲が異なります。

BT AUDIO の曲のイントロだけを聴く(スキャン)

曲のイントロ部分を約 10 秒間ずつ順に再生します。

- 1 BT AUDIO 画面で [↺▲] にタッチしたあと [SCAN] にタッチします。タッチするとスキャンモードに切りかわります。

- タッチスイッチには前回選んだモードが表示されています。OFF 時は [↺▲] 表示です。



SCAN GROUP → SCAN ALL → OFF → . . .
 SCAN GROUP：グループ内の曲のイントロ部分が再生されます。
 SCAN ALL：全曲のイントロ部分が再生されます。

- 2 スキャンモードを解除するには、OFF になるまで手順 1 の操作を繰り返します。

アドバイス

- 接続する BLUETOOTH 機器によっては対応していない場合があります。

BT AUDIO 再生リストサーチ

再生対象となっている曲名をリスト表示します。リストから聴きたい曲を選ぶことができます。

- 1 BT AUDIO 画面で曲名表示部分にタッチします。



- 2 表示されたリスト画面で、聴きたい曲を選んでタッチします。選択した曲が再生されます。

アドバイス

- 接続する BLUETOOTH 機器によっては対応していない場合があります。

サーチ方法を選んで曲を探す(BT AUDIO)

グループ、ファイルをリスト表示して、リストから聴きたい曲を選ぶことができます。リストの種類は接続する BLUETOOTH 機器によって異なります。

- 1 BT AUDIO 画面で「サーチ」にタッチします。
- 2 表示されたリスト画面で聴きたい曲などを選んでタッチします。

アドバイス

- 接続する BLUETOOTH 機器によっては対応していない場合があります。

BT AUDIO のグループを選ぶ

前後のグループを選ぶことができます。

- 1 BT AUDIO 画面で「◀グル」[「ープ▶」]にタッチします。

アドバイス

- 接続する BLUETOOTH 機器によっては対応していない場合があります。

BLUETOOTH AUDIO 機器の接続を解除する

- 1 BT AUDIO 画面で「接続解除」にタッチすると、BLUETOOTH 機器の接続が解除されます。



- 「接続解除」が「再接続」に変わります。
- 2 「再接続」にタッチすると、接続を解除した BLUETOOTH 機器と再接続します。

接続する BLUETOOTH AUDIO 機器を変更する

- 1 BT AUDIO 画面で「機器変更」にタッチすると、登録した BLUETOOTH 機器がリスト表示されます。
- 2 接続する BLUETOOTH 機器にタッチします。選んだ BLUETOOTH 機器が BLUETOOTH 接続されます。

USB メモリーを再生する

MP3 / WMA / AAC データが記録された USB メモリーを再生できます。

別売の USB 接続ケーブルを使用して、本機と USB メモリーを接続してください。

- 接続について詳しくは取付説明書を参照してください。



1. イメージ表示
2. トラック番号
3. 曲名／アルバム名／アーティスト名表示
4. 再生経過時間表示

- 1 USB 接続ケーブルで本機と USB メモリーを接続します。
- 2 **▶ AUDIO** / 「MODE」スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で「USB」にタッチします。



アドバイス

- 【ご注意】運転中は USB メモリーの接続や操作をしないでください。事故やケガの原因になります。
- 接続について詳しくは取付説明書を参照してください。
- USB メモリーを接続しても音が出ないときや USB メモリーを認識しない場合は、一度 USB メモリーを外して再接続してください。
- USB メモリー・iPod/iPhone・ウォークマン (R) を同時に接続することはできません。

USB メモリーの曲の頭出しをする

聴きたい曲（ファイル）の頭出しをします。

- 1 USB 画面で または にタッチします。

アドバイス

- スイッチがあるモデルは、 スイッチで同様に操作できます。

USB メモリーを早送り・早戻しする

再生中の曲を早送り、または早戻しできます。

- 1 USB 画面で または にタッチし続けます。スイッチから指を離すまで早送り／早戻しします。

アドバイス

- スイッチがあるモデルは、 スイッチで同様に操作できます。
- 先頭曲の頭まで早戻しすると、早戻しが解除され、通常再生に戻ります。

USB メモリーを一時停止する

- 1 USB 画面で にタッチすると再生を一時停止します。
- 2 通常再生に戻すには、再度 にタッチします。

USB メモリーの曲を繰り返し聴く（リピート）

再生中の曲またはフォルダー内の曲を繰り返し再生します。

- 1 USB 画面で にタッチしたあと、 にタッチします。タッチするたびにリピートモードが切りかわります。
- タッチスイッチには前回選んだモードが表示されています。OFF 時は 表示です。



→ FOLDER → OFF → . . .

: 1 曲のみを繰り返し再生します。

FOLDER: フォルダー内の曲のみを繰り返し再生します。

- 2 リピートモードを解除するには、OFF になるまで手順 1 の操作を繰り返します。

アドバイス

- スキャンまたはミックス演奏中にリピートモードにすると、スキャン／ミックスモードは解除されます。

USB メモリーを曲順を変えて聴く（ミックス）

USB メモリー内の曲またはフォルダー内の曲を順不同で再生します。

- 1 USB 画面で にタッチしたあと、 にタッチします。タッチするたびにミックスモードが切りかわります。
- タッチスイッチには前回選んだモードが表示されています。OFF 時は 表示です。



FOLDER → → OFF → . . .

🔄 FOLDER：フォルダー内の曲のみを順不同に再生します。

🔄：USB メモリー内の曲を順不同に再生します。

- 2 ミックスモードを解除するには、OFF になるまで手順 1 の操作を繰り返します。

アドバイス

- すべての曲の再生が終了しても、ミックス再生が解除されるまでミックス再生を継続します。
- ミックス再生中は🎵にタッチして前の曲を選ぶことはできません。
- ミックス再生中は、現在再生している曲の頭まで早戻しすると再生に戻ります。
- スキャンまたはリピート演奏中にミックスモードにすると、スキャン／リピートモードは解除されます。

USB メモリーの曲のイントロだけを聴く (スキャン)

曲のイントロ部分を約 10 秒間ずつ順に再生して、聴きたい曲を探すことができます。

- 1 USB 画面で [🔄▶] にタッチしたあと、[SCAN] にタッチします。タッチするたびにスキャンモードが切りかわります。
- タッチスイッチには前回選んだモードが表示されています。OFF 時は [🔄▶] 表示です。



SCAN → SCAN FOLDER → OFF → . . .

SCAN：再生しているフォルダー内の曲のイントロ部分が再生されます。

SCAN FOLDER：全フォルダーの最初の曲のイントロ部分が約 10 秒間ずつ再生されます。

- 2 聴きたい曲が見つかったら、🎵にタッチします。その曲の頭から再生します。

アドバイス

- ミックスまたはリピート演奏中にスキャンモードにすると、ミックス／リピートモードは解除されます。

USB メモリー再生リストサーチ

再生対象となっている曲名をリスト表示します。リストから聴きたい曲を選ぶことができます。

- 1 USB 画面で曲名表示部分にタッチします。



- 2 表示されたリスト画面で、聴きたい曲を選んでタッチします。選択した曲が再生されます。

フォルダーを選ぶ (USB メモリー)

フォルダー単位で選ぶことができます。

- 1 USB 画面で [◀フォ] [ルダ▶] にタッチし、前後のフォルダーを選びます。前後のフォルダーの最初のファイルから再生します。

ファイルサーチ (USB メモリー)

フォルダー名／ファイル名をリスト表示して選択できます。

- 1 USB 画面で [サーチ] にタッチします。
- 2 表示されたフォルダーリスト画面で、希望のフォルダーを選んでタッチします。



- 3 表示されたファイルリスト画面で、希望のファイルを選んでタッチします。選択したファイルが再生されます。

外部機器(ドライブレコーダーやゲームなど)をつないで使う

ドライブレコーダーやゲームなどを本機と接続し、映像を見ることができます。

別売の AUX 変換ケーブルを使用して、本機と外部機器を接続してください。

- 接続について詳しくは取付説明書を参照してください。

- 1 AUX 変換ケーブルで本機と外部機器を接続します。
- 2 外部機器接続選択設定で、接続機器名称を選びます。設定した表示名がソース名称として表示されます。
 - 「外部入力」「ドライブレコーダー」「ゲーム」「ウォークマン (R)」「なし」から選択できます。設定方法は下記項目を参照してください。
⇒「外部機器を接続する」(165 ページ)
- 3  AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で「外部入力」(または設定した外部機器名称) にタッチします。



- 4 外部機器で映像の再生操作をします。

アドバイス

- 【ご注意】走行中は安全のため、映像が映らずに音声だけが聴こえます。
- 【ご注意】運転中は外部機器の接続や操作をしないでください。事故やケガの原因になります。
- 接続する外部機器によっては、音声がハウリングする場合があります。
- 著作権保護 (コピーガード) の信号が記録されている映像はリアビジョンに表示できません。
- 別売のドライブレコーダー DVR-C01W 接続時には、前の車が発進したのに自車が発進していない場合、「前方車両の発進を検知しました」と本機画面に表示されます。

外部機器画面の画質を調整する

外部機器画面の画質調整を行います。

- 1 外部機器画面で「画面設定」にタッチします。



- 画質調整操作については下記項目を参照してください。
⇒「画質を調整する」(189 ページ)

設定・調整

地図表示設定－1画面(左画面)と右画面をそれぞれ設定する

地図に表示する内容などを1画面(左画面)と右画面で個別に設定できます。

- 地図表示設定は「設定」－「各種設定」－「地図表示」タブにタッチして操作することもできます。その場合、設定した内容は1画面(左画面)と右画面の両方に適用されます。1画面(左画面)と右画面を別に設定したい場合は、本操作を行ってください。

1 現在地画面で「地図設定」にタッチします。

- 「地図設定」が表示されていないときは、**切換**または**ON**にタッチして表示させてください。

2 [1画面/左画面] タブまたは[右画面] タブにタッチします。



3 項目にタッチして設定を行います。設定内容については「地図表示設定」を参照してください。
設定項目：ランドマーク表示／ランドマーク表示ジャンル／軌跡表示／軌跡情報を消去／渋滞・混雑表示／空き道表示／渋滞推測(渋滞・混雑)表示／渋滞推測(空き道)表示／VICS 駐車場・充電施設表示／規制マーク表示／VICS 提供道路／路上駐車場マーク表示

4 地図設定画面を閉じるには、再度「地図設定」にタッチします。

ランドマークを表示する

コンビニ・ガソリンスタンドなど、お好みの施設のランドマークを地図上に表示します(初期設定値は「する」)。

1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。

2 「地図表示」タブにタッチし、「ランドマーク表示」にタッチします。

3 「する」または「しない」にタッチします。
＜ランドマーク表示例＞



アドバイス

- ランドマークは200mスケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。
- 本設定に関わらず、細街路オートスケールで右画面に表示される市街地図では、ランドマークが表示されます。

ランドマーク表示ジャンルを設定する

「ランドマーク表示」を「する」設定時に、表示するブランド名をジャンルごとに選択できます。
⇒「ランドマークを表示する」(148ページ)

1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。

2 「地図表示」タブにタッチし、「ランドマーク表示ジャンル」にタッチします。

3 ジャンルを選び、ランドマークの「選択」にタッチします。



- 4 各ブランド名の [する] または [しない] にタッチします。



- すべてのブランドを表示するには手順3で「全てする」にタッチします。

アドバイス

- 最大 20 種類のジャンルを選択できます。
- 1つのジャンルに設定できるブランド名は最大5つです。6つ以上設定するときは、「全てする」に設定してください。

ランドマークの表示サイズを設定する

表示するランドマークの大きさを選ぶことができます（初期設定値は「標準」）。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [地図表示] タブにタッチし、[ランドマーク表示サイズ変更] にタッチします。
- 3 [標準] または [大] にタッチします。
＜ランドマーク「大」設定時表示例＞



走行軌跡表示を設定する

走行した軌跡を地図上に点として表示し、どの道路を走行したか見ることができます（初期設定値は「しない」）。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [地図表示] タブにタッチし、[軌跡表示] にタッチします。
- 3 [する] または [しない] にタッチします。
＜走行軌跡表示例＞



アドバイス

- 表示可能な距離（100km）を超えると古い軌跡から消えていきます。

走行軌跡を消去する

地図上の走行軌跡を消去します。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [地図表示] タブにタッチし、[軌跡情報を消去] にタッチします。
- 3 確認画面が表示されたら [はい] にタッチします。

渋滞・混雑表示を設定する

VICS 渋滞情報を地図上に表示します。渋滞している箇所がわかるように、渋滞線を矢印で表示できます（渋滞：赤実線矢印、混雑：橙実線矢印）（初期設定値は「する」）。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [地図表示] タブにタッチし、[渋滞・混雑表示] にタッチします。

- 3 [する] または [しない] にタッチします。
 <渋滞・混雑表示例>



アドバイス

- 渋滞線は縮尺 1km 以下の地図で表示できます。
- 高速・有料道路では緑取りのある矢印、一般道路では緑取りなしの矢印になります。

空き道表示を設定する

VICS 渋滞情報を地図上に表示します。「する」に設定すると、渋滞が発生していない道路に緑実線矢印を表示します（初期設定値は「しない」）。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [地図表示] タブにタッチし、[空き道表示] にタッチします。
- 3 [する] または [しない] にタッチします。

アドバイス

- 空き道表示は縮尺 1km 以下の地図で表示させることができます。
- 高速・有料道路では緑取りのある矢印、一般道路では緑取りなしの矢印になります。

渋滞推測表示(渋滞・混雑)を設定する

渋滞統計、渋滞学習情報を基に、渋滞が予想される箇所を地図に破線で表示できます（渋滞：赤破線矢印、混雑：橙破線矢印）（初期設定値は「する」）。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [地図表示] タブにタッチし、[渋滞推測（渋滞・混雑）表示] にタッチします。

- 3 [する] または [しない] にタッチします。
 <渋滞推測（渋滞・混雑）表示例>



アドバイス

- 実線矢印で表示される VICS 情報と破線表示の渋滞予測が両方ある場合は、VICS 情報が優先して表示されます。
- 渋滞推測線（渋滞・混雑）は縮尺 1km 以下の地図で表示させることができます。
- 渋滞推測機能について
 - ・本機能は JARTIC / VICS センターから提供された、現状情報を元に、NTT データが独自に作成した渋滞予測データを利用しています。
 - ・渋滞予測は現況の渋滞情報を考慮したものではありません。

渋滞推測表示(空き道)を設定する

渋滞統計、渋滞学習情報を基に、渋滞が発生しないと予想される箇所を緑破線矢印で表示できます（初期設定値は「しない」）。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [地図表示] タブにタッチし、[渋滞推測（空き道）表示] にタッチします。
- 3 [する] または [しない] にタッチします。
 <渋滞推測（空き道）表示例>



アドバイス

- 実線矢印で表示される VICS 情報と破線表示の渋滞予測が両方ある場合は、VICS 情報が優先して表示されます。
- 渋滞予測線（空き道）は縮尺 1km 以下の地図で表示させることができます。

気象警報・災害エリアを表示する

VICS 情報で受信した大雨や大雪、津波など気象情報や、災害に関する情報の範囲を地図上に表示するかどうかを設定します（初期設定値は「する」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「地図表示」タブにタッチし、「気象警報・災害エリア表示」にタッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。
＜気象警報・災害エリア表示例＞



VICS 駐車場・充電施設を表示する

VICS 提携駐車場、充電施設のマークを地図上に表示できます（初期設定値は「しない」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「地図表示」タブにタッチし、「VICS 駐車場・充電施設表示」にタッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

＜駐車場・充電施設マーク表示例＞



- 混雑の程度を色別表示します。
空車：青色、満車：赤色、混雑：橙色、不明：黒色

VICS 規制エリアを表示する

規制、事故、災害および異常気象などが発生しているエリアを地図上に表示するかどうかを設定します（初期設定値は「する」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「地図表示」タブにタッチし、「規制エリア表示」にタッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。
＜規制エリア表示例＞



VICS 予告配信を表示する

規制やイベントなどが予定されているエリアを地図上に表示するかどうかを設定します（初期設定値は「しない」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「地図表示」タブにタッチし、「予告配信表示」にタッチします。

- 3 [する] または [しない] にタッチします。
＜予告配信表示例＞



VICS 規制マークを表示する

VICS 規制マークを案内画面に表示できます（初期設定値は「する」）。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [地図表示] タブにタッチし、[規制マーク表示] にタッチします。
- 3 [する] または [しない] にタッチします。
＜規制マーク表示例＞



アドバイス

- 規制マークは縮尺 1km 以下の地図で表示させることができます。ただし、通行止め、入り口閉鎖、オフランプ（出口）閉鎖は、関連する事象も含めて 20km スケール以下の道路が表示されるスケールの地図まで表示します。

VICS 情報提供道路を設定する

VICS 情報を提供する道路を全道路、高速道、一般道から選択できます（初期設定値は「全道路」）。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。

- 2 [地図表示] タブにタッチし、[VICS 提供道路] にタッチします。

- 3 [全道路] [高速] [一般] のいずれかにタッチします。
・全道路：高速・有料道路、一般道路どちらにも VICS 道路交通情報マークや渋滞線などを表示します。
・高速：高速・有料道路のみ VICS 情報が表示されます。
・一般：一般道路のみ、VICS 情報が表示されます。

路上駐車場マークを表示する

路上駐車場のマークを案内画面に表示できます（初期設定値は「する」）。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [地図表示] タブにタッチし、[路上駐車場マーク表示] にタッチします。
- 3 [する] または [しない] にタッチします。
＜路上駐車場マーク 表示例＞



アドバイス

- 路上駐車場マークは市街地図で表示させることができます。

渋滞線を明滅表示する

地図上に表示される渋滞線を、明滅させて表示できます（初期設定値は「する」）。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [地図表示] タブにタッチし、[渋滞線明滅表示] にタッチします。

- 3 [する] または [しない] にタッチします。

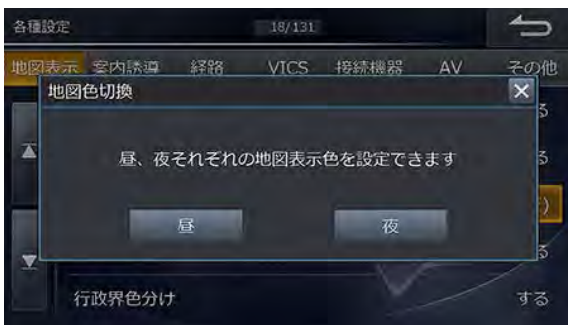
アドバイス

- 明滅するのは赤／橙実線矢印のみになります。

地図色を切りかえる

本機は画面を見やすくするため、昼画面と夜画面を切りかえることができます。昼、夜それぞれの地図表示色を4種類から選択できます（初期設定値は、昼「標準（昼）」、夜「標準（夜）」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 [地図表示] タブにタッチし、[地図色切換] にタッチします。
- 3 [昼] または [夜] にタッチします。



- 4 [標準（昼）] [標準（夜）] [道路強調（昼）] [道路強調（夜）] のいずれかにタッチします。



昼画面／夜画面を切りかえる

お車のスモールランプの点灯・消灯に連動して、昼画面／夜画面を切りかえるかどうかを設定します（初期設定値は「する」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。

- 2 [地図表示] タブにタッチし、[地図色昼／夜切換] にタッチします。

- 3 [する] または [しない] にタッチします。

行政界色分け表示を設定する

市街地図で行政界（大字）の色を分けて表示するかどうか設定できます（初期設定値は「する」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 [地図表示] タブにタッチし、[行政界色分け] にタッチします。
- 3 [する] または [しない] にタッチします。

誘導方向を表示する

ルート案内中、目的地の方向を直線の誘導線に表示するかどうかを設定できます（初期設定値は「しない」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 [地図表示] タブにタッチし、[誘導方向表示] にタッチします。
- 3 [する] または [しない] にタッチします。
＜誘導線表示例＞



ビルを立体的に表示する

3D マップで、ビルを立体的に表示するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。

2 [地図表示] タブにタッチし、[ビル立体表示] にタッチします。

3 [する] または [しない] にタッチします。
 <ビル立体表示例>



3D ランドマークを表示する

主要施設のリアルな立体的アイコンを地図上に表示できます（初期設定値は「する」）。

1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。

2 [地図表示] タブにタッチし、[3D ランドマーク表示] にタッチします。

3 [する] または [しない] にタッチします。
 <3D ランドマーク表示例・スカイツリー>



アドバイス

- 3D ランドマークは縮尺 200m 以下の地図で表示できません。

冬期規制アイコンを表示する

冬に通行止めとなる箇所にアイコン表示をするかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。

2 [地図表示] タブにタッチし、[冬期規制アイコン表示] にタッチします。

3 [する] または [しない] にタッチします。

アドバイス

- 冬期規制アイコンは縮尺 1km 以下の地図で表示させることができます。
- 「する」に設定すると、冬期（11月～3月）の間、冬期規制アイコンが表示されます。道路によっては、4月～10月の期間内でも冬期閉鎖になっている場合があります。

細街路オートスケールを設定

「する」設定時は目的地案内中に細街路を走行すると、自動的に2画面表示に切りかわります。右画面には25mスケール市街地図が表示され、細街路の案内を行います（初期設定値は「する」）。

1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。

2 [地図表示] タブにタッチし、[細街路オートスケール] にタッチします。

3 [する] または [しない] にタッチします。
 <細街路表示例>



アドバイス

- 音声案内は行われません。

走行中の地図表示を切りかえる

走行中、市街地図表示を簡略化し、見やすくできます（初期設定値は「する」）。

1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。

2 [地図表示] タブにタッチし、[走行連動地図切換] にタッチします。

3 [する] または [しない] にタッチします。
 <「する」設定時・走行中>



<「する」設定時・停車中>



高速・有料道路モード地図を表示する

高速・有料道路走行中は、高速・有料道路を見やすく強調した地図表示を行います（初期設定値は「する」）。

1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で[設定]にタッチしたあと[各種設定]にタッチします。

2 [地図表示] タブにタッチし、[高速・有料モード地図] にタッチします。

3 [する] または [しない] にタッチします。
 <高速・有料モード地図表示例>



ハイウェイモードを自動表示する

「する」設定時は高速道路を走行すると自動的に行程ガイドが表示される自動ハイウェイモードに切りかわります（初期設定値は「する」）。

1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で[設定]にタッチしたあと[各種設定]にタッチします。

2 [地図表示] タブにタッチし、[自動ハイウェイモード] にタッチします。

3 [する] または [しない] にタッチします。
 <自動ハイウェイモード表示例>



地図スクロール時に地名を表示する

地図画面をスクロールした時に、スクロールする方面の地名を画面上下左右に表示するかどうか設定できます（初期設定値は「する」）。

1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で[設定]にタッチしたあと[各種設定]にタッチします。

2 [地図表示] タブにタッチし、[スクロール方面表示] にタッチします。

3 [する] または [しない] にタッチします。

アドバイス

- スクロール方面表示は 1km スケール以下の地図で表示されます。
- 英語表示に設定している場合は、スクロール方面表示は行われません。
 ⇒「英語で表示・案内を行う」（178 ページ）

地図の文字サイズを設定する

地図上に表示される施設名称の文字サイズを、お好みに合わせて設定できます（初期設定値は「標準」）。

- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「地図表示」タブにタッチし、「地図の文字サイズ変
更」にタッチします。
- 3 「標準」または「大」にタッチします。
＜「大」設定時表示例＞



自転車マーク表示を変更する

自転車マークの表示をお好みに合わせて変更できます（初期設定値は「マーク1」）。

- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「地図表示」タブにタッチし、「自転車マーク」にタッ
チします。
- 3 「マーク1」「マーク2」「マーク3」のいずれかに
タッチします。

音声案内を設定する

交差点案内を、信号・交差点で行うか、交差点までの距離で行うかを設定します（初期設定値は「信号・交差点」）。

- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「案内誘導」タブにタッチし、「音声案内設定」に
タッチします。
- 3 「距離」または「信号・交差点」にタッチします。

アドバイス

- 「信号・交差点」設定時も、距離で案内する場合があります。

県境を案内する

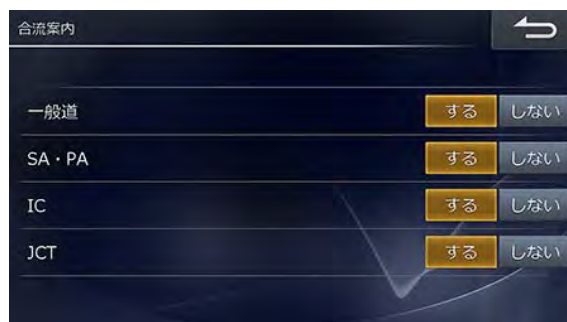
都道府県境を越えるときに、音声で案内します（初期設定値は「する」）。

- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「案内誘導」タブにタッチし、「県境案内」にタッチ
します。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

合流案内を設定する

一般道路の合流、高速道路のSA・PA出口、インターチェンジ（IC）、ジャンクション（JCT）など、合流が近づいた時に警告するかどうかを設定できます（初期設定値はすべて「する」）。

- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「案内誘導」タブにタッチし、「合流案内」にタッチ
します。
- 3 設定したい項目の「する」または「しない」にタッ
チします。



踏み切り案内を設定する

踏み切りに近づいたときに警告するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「案内誘導」タブにタッチし、「踏み切り案内」に
タッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

交通事故多発区間警告

交通事故が多発している区間に近づいたときに、警告するかどうかを設定できます（初期設定値は「しない」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「案内誘導」タブにタッチし、「事故多発警告案内」
にタッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

案内地点までの残距離を音声案内する

案内地点までの距離が残り 10km になった時に、音声で案内します（初期設定値は「する」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「案内誘導」タブにタッチし、「残距離音声案内」に
タッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

到着予想時刻を音声案内する

目的地・経由地への到着予想時刻を音声案内するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「案内誘導」タブにタッチし、「到着予想時刻音声案内」
にタッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

車速を設定する

目的地・経由地到着時間予想のための条件（速度）を設定します（初期設定値は「一般道・30km/h」「有料道・60km/h」「高速道・80km/h」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「案内誘導」タブにタッチし、「到着予想時刻速度設定」
にタッチします。
- 3 「一般道」「有料道」「高速道」それぞれの  または  にタッチして速度を設定します。



交差点案内図をビッグアローで表示する

ルート案内中に表示される交差点拡大図を、ビッグアロー表示にすることができます（初期設定値は「交差点拡大図」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「案内誘導」タブにタッチし、「案内図表示」にタッ
チします。
- 3 「交差点拡大図」または「ビッグアロー」にタッチし
ます。
<ビッグアロー表示例>



アドバイス

- 「クイックセットアップ」「車種専用チューニング」で選択した車種によっては「ビッグアロー」が初期値として設定されています。

詳細案内図表示を設定する

3Dイラスト情報のある交差点の詳細案内図を表示するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「案内誘導」タブにタッチし、「詳細案内図表示」にタッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

アドバイス

- 詳細案内図の種類については、下記項目を参照してください。
⇒「ルート案内方法」（56 ページ）

方面看板を表示する

交差点の手前で方面看板を表示するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「案内誘導」タブにタッチし、「方面看板表示」にタッチします。
- 3 設定したい項目の「する」または「しない」にタッチします。
<方面看板表示例>



レーン(車線)ガイドを表示する

ルート走行中、右左折専用などのレーン情報を表示できます。「する」に設定すると、交差点手前でレーン情報を表示します（初期設定値は「する」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「案内誘導」タブにタッチし、「レーンガイド表示」にタッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

オーディオ・ビジュアル画面に割り込み表示する

オーディオ・ビジュアルモードにナビの案内映像を割り込み表示させるかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「案内誘導」タブにタッチし、「ナビ案内画面割込み」にタッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

音声案内時にオーディオ音量をミュートする

ナビ音声案内時、自動的にオーディオ音量を下げても音声案内を聞こえやすくできます（初期設定値は「しない」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「案内誘導」タブにタッチし、「ナビ音声案内時のAV音量ミュート」にタッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

料金所ゲート案内を設定する

「する」に設定すると、インターチェンジでETCレーンや料金を案内できます（初期設定値は「しない」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「案内誘導」タブにタッチし、「料金所ゲート案内」
にタッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

車両情報を設定する

軽自動車や普通車などの車種を設定しておく、高速道路の通行料金を車種に合わせて表示できます（初期設定値は「普通」）。

さらに車のサイズもあわせて登録しておく、駐車場を探す際に立体駐車場などで条件に合わないところを避けることができます（初期設定値は「長さ・450cm」「幅・160cm」「高さ・150cm」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「案内誘導」タブにタッチし、「車両情報」にタッチ
します。
- 3 「車両情報」の「軽」「普通」「中型」「大型」「特大」
のいずれかにタッチします。



- 4 「駐車場条件」の「長さ」「幅」「高さ」それぞれの
 または  にタッチして車両寸法を設定します。

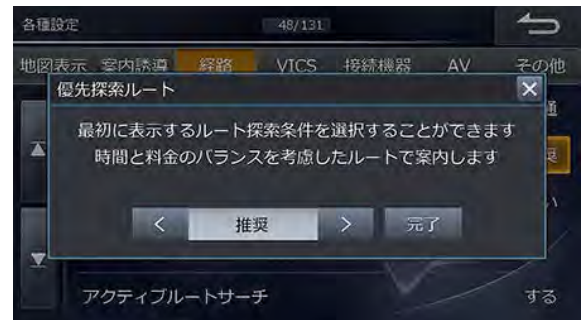
アドバイス

- 料金案内は車両種別から計算しています。
- 車両寸法については、車検証を参照してください。

優先探索ルートを設定する

優先的に探索・表示するルート条件を選択できます（初期設定値は「推奨」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「経路」タブにタッチし、「優先探索ルート」にタッ
チします。
- 3  または  にタッチして「推奨」「一般」
「チューニング」「幹線」「燃費」「別ルート」のいづ
れかから探索条件を選択し、「完了」にタッチしま
す。



アドバイス

- 初期設定の「推奨」は「有料道路優先」を「する」に
設定すると、「推奨（有料優先）」と表示されます。
⇒「有料道路を優先して案内する」（159 ページ）
- それぞれのルートについては下記項目を参照してく
ださい。
⇒「ルートを選択する（6 ルート）」（53 ページ）

有料道路を優先して案内する

「優先探索ルート」で「推奨」に設定したときに、有料道路を優先するかどうかを設定します（初期設定値は「しない」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「経路」タブにタッチし、「有料道路優先」にタッチ
します。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

アドバイス

- 「しない」に設定すると、目的地までの距離が短い
ときは、一般道路を優先したルートで案内します。

ルート探索条件をチューニングする

推奨ルートをベースとして、有料道路優先（全般）／有料道路優先（近距離）／広い道路優先／渋滞回避優先の各パラメーターを調整することにより、より好みの条件のルートを検索することができます（初期設定は「5」）。

- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「経路」タブにタッチし、「ルートチューニング」にタッチします。
- 3 「有料道路優先（全般）」／「有料道路優先（近距離）」／「広い道路優先」／「渋滞回避優先」を選択し「<」または「>」にタッチしてパラメータを調整してください。



- ◆ 有料道路優先（全般）
数値が高いほど、移動距離に関わらず有料道路を優先した案内をします。
- ◆ 有料道路優先（近距離）
数値が高いほど、近距離の移動でも有料道路を優先した案内をします。
- ◆ 広い道路優先
数値が高いほど、道幅の広い道路を優先した案内をします。
- ◆ 渋滞回避優先
数値が高いほど、渋滞を回避した案内をします。

アドバイス

- 「初期化」にタッチすると全ての調整値が初期設定値に初期化されます。

アクティブルートサーチを実行する

ルートを走行中に、距離や時間、VICS の渋滞情報、スマート IC 規制などあらゆる道路情報を常時演算し最短時間で行けるルートを発見した場合、リアルタイムに表示します。

ここではアクティブルートサーチ機能を利用するかどうか設定します（初期設定値は「する」）。

- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「経路」タブにタッチし、「アクティブルートサーチ」にタッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

アクティブルートサーチの割込み時間を設定する

アクティブルートサーチ割込み画面の表示時間を 5 ～ 20 秒の範囲で、5 秒刻みで設定できます（初期設定値は「10 秒」）。

- アクティブルートサーチ設定が「する」の場合のみ設定できます。
⇒ 「アクティブルートサーチを実行する」（160 ページ）

- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「経路」タブにタッチし、「割込み時間」にタッチします。
- 3 「<」または「>」にタッチして時間を設定し、「完了」にタッチします。



アクティブルートサーチ短縮時間を設定する

アクティブルートサーチの到着予想時刻が何分以上短縮された場合に変更するのかを、5 分～ 30 分の範囲で、5 分刻みで設定できます（初期設定値は「15 分以上」）。

- アクティブルートサーチ設定が「する」の場合のみ設定できます。

⇒「アクティブルートサーチを実行する」(160 ページ)

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「経路」タブにタッチし、「短縮時間」にタッチします。
- 3  または  にタッチして時間を設定し、「完了」にタッチします。



アクティブルートサーチ音声案内割込みを設定する

アクティブルートサーチが行われる際に音声案内を割り込みするかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

- アクティブルートサーチ設定が「する」の場合のみ設定できます。
⇒「アクティブルートサーチを実行する」(160 ページ)

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「経路」タブにタッチし、「アクティブルートサーチ案内音声割込み」にタッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

スマート IC を利用する

ルート探索時にスマートインターチェンジを利用するかどうかを設定できます（初期設定値は「しない」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。

- 2 「経路」タブにタッチし、「スマート IC 利用」にタッチします。

- 3 「する」または「しない」にタッチします。

アドバイス

- スマート IC を利用するには ETC 車載器または ETC2.0 車載器が必要です。
- スマート IC には、営業時間・営業期間・対象車種・出入り方向などに制約があります。また社会実験として期間限定で開設されているスマート IC もあります。ご利用の際はご注意ください。

時間曜日規制を考慮する

時間や曜日によって規制される区間を避けて、ルートを探索できます（初期設定値は「する」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「経路」タブにタッチし、「時間曜日規制考慮」にタッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

フェリー航路を含むルートを探索する

フェリー航路を利用したルートを探索するかどうか設定できます（初期設定値は「しない」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「経路」タブにタッチし、「フェリー使用」にタッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

迂回地点を回避する

「する」に設定すると、ルート探索時に、登録した迂回地点を回避できます（初期設定値は「する」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。

2 [経路] タブにタッチし、[迂回エリア考慮] にタッチします。

3 [する] または [しない] にタッチします。

アドバイス

- 迂回地点の登録方法は下記項目を参照してください。
⇒「迂回地点を登録する」(72 ページ)

迂回距離を設定する(一般道)

ルート走行中に迂回する場合、自車位置から何 km 先まで迂回するかを選択します。一般道路の設定を行います(初期設定値は「5km」)。

- 迂回エリア考慮設定が「する」の場合のみ設定できます。
⇒「迂回地点を回避する」(161 ページ)

1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定]
にタッチします。

2 [経路] タブにタッチし、[迂回距離 一般道] に
タッチします。

3 [2km] [5km] [10km] のいずれかにタッチします。

迂回距離を設定する(有料・高速道)

ルート走行中に迂回する場合、自車位置から何 km 先まで迂回するかを選択します。有料・高速道路の設定を行います(初期設定値は「20km」)。

- 迂回エリア考慮設定が「する」の場合のみ設定できます。
⇒「迂回地点を回避する」(161 ページ)

1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定]
にタッチします。

2 [経路] タブにタッチし、[迂回距離 有料・高速]
にタッチします。

3 [10km] [20km] [30km] のいずれかにタッチしま
す。

冬期閉鎖区間を考慮する

冬に通行止めとなる区間を避けてルートを探るかど
うかを設定できます(初期設定値は「する」)。

1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定]
にタッチします。

2 [経路] タブにタッチし、[冬期閉鎖区間考慮] に
タッチします。

3 [する] または [しない] にタッチします。

アドバイス

- 「する」設定時は、冬期(11月～3月)の期間に考慮
されます。4月～10月は通常ルートとなります。道
路によっては4月～10月の期間内でも冬期閉鎖に
なっている場合があります。
- 「しない」設定時は、ルート探索時に冬期閉鎖区間が
発見されるとメッセージが表示され、閉鎖区間を回
避するかどうか選択します。
⇒「冬期閉鎖区間を回避する」(55 ページ)

ルート学習を行う

「する」に設定すると、お好みのルートをナビが記憶し探
索結果に反映させることができます。ルート走行中、
ルートから外れた(離脱)地点とルートに復帰した地点、
その間の走行ルートをナビが記憶します。ナビの推奨
ルートまたは一般道優先ルートから2回以上同じ地点で
離脱・復帰を行い、またその間は同じルートを走行する
と、次のルート探索でそのルートが推奨ルートまたは
一般道優先ルートとして探索されます(初期設定は「す
る」)。

1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定]
にタッチします。

2 [経路] タブにタッチし、[ルート学習] にタッチし
ます。

3 [する] または [しない] にタッチします。

アドバイス

- 案内対象外道路は、ルート学習に反映されません。
離脱・復帰地点が同じでも、途中のルートが案内対
象外道路になると、学習結果は無効になります。
- ルート学習中に目的地や経由地を変更したり、別の
ルートの選択や周辺迂回を行った場合は、ルート学
習は中止されます。
- 最大 200 ルートまで学習できます。200 件を超え
ると古いルートから削除されます。

ルート学習結果を消去する

ナビが記憶した学習ルートをすべて消去します。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「経路」タブにタッチし、「ルート学習結果を消去」
にタッチします。
- 3 確認画面が表示されたら「はい」にタッチします。

渋滞情報を学習する

「する」に設定すると、ルート探索対象道路を季節別・曜
日別・時間帯別にナビが走行速度を記憶し、渋滞・混雑
情報を学習します。学習後はルート探索に反映するよう
になります（初期設定値は「する」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 [VICS] タブにタッチし、「渋滞学習」にタッチしま
す。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

渋滞学習結果を消去する

ナビが記憶した渋滞学習をすべて消去します。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 [VICS] タブにタッチし、「渋滞学習結果を消去」に
タッチします。
- 3 確認画面が表示されたら「はい」にタッチします。

VICS 情報保持時間を設定する

受信した VICS 情報の保存時間を設定できます（初期設定
値は「60 分」）。ここで設定した時間が経過すると、情報
が自動的に消去されます。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。

- 2 [VICS] タブにタッチし、「情報保持時間」にタッチ
します。
- 3 [30 分] [60 分] [120 分] のいずれかにタッチし
ます。

VICS 割り込み情報表示を行う

ビーコンによる図形・文字情報を、画面に割り込ませて
表示するかどうかを設定できます（初期設定値は「す
る」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 [VICS] タブにタッチし、「情報割り込み」にタッチし
ます。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。
＜割り込み画面表示例＞



VICS 割り込み情報の表示時間を設定する

割り込み画面の表示時間を、5 ～ 20 秒の範囲で、5 秒刻
みで設定できます。（初期設定値は「10 秒」）。

- 画面への割り込み設定が「する」の場合のみ設定でき
ます。
⇒ 「VICS 割り込み情報表示を行う」（163 ページ）
- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
 - 2 [VICS] タブにタッチし、「割り込み時間」にタッチし
ます。

- 3 < または > にタッチして時間を設定し、[完了] にタッチします。



オーディオモードに VICs 情報を割り込み表示する

ビーコンによる図形・文字情報を、オーディオ・ビジュアルモード画面に割り込ませて表示するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

- 画面への割り込み設定が「する」の場合のみ設定できます。
⇒「VICs 割り込み情報表示を行う」（163 ページ）
- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
 - 2 [VICs] タブにタッチし、[オーディオモード画面への割り込み] にタッチします。
 - 3 [する] または [しない] にタッチします。

特別警報アイコンを表示する

大雨、大雪、大津波などの VICs 特別警報受信時に、VICs タイムスタンプに特別警報アイコンを表示するかどうかを設定します（初期設定値は「する」）。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [VICs] タブにタッチし、[特別警報アイコン表示] にタッチします。
- 3 [する] または [しない] にタッチします。

<特別警報アイコン表示例>



ITS スポットヘプロープ情報を送信する

本機から ITS スポットヘプロープ情報（走行履歴情報や車両挙動情報など）を送信するかどうか設定できます（初期設定値は「する」）。

- ETC2.0 車載器接続時のみ設定できます。
- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
 - 2 [VICs] タブにタッチし、[プロープ] にタッチします。
 - 3 [する] または [しない] にタッチします。

アドバイス

- プロープ情報については ETC2.0 車載器の取扱説明書を参照してください。

VICs 音声情報を読み上げる

ビーコンによる音声情報を読み上げるかどうか設定できます。「しない」に設定すると、[読み上げ] にタッチしても音声情報案内を行いません（初期設定値は「する」）。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [VICs] タブにタッチし、[VICs での音声読み上げ] にタッチします。
- 3 [する] または [しない] にタッチします。

アドバイス

- 音声読み上げは ETC2.0 車載器の接続が必要です。
- 英語設定を「する」に設定していても、読み上げは日本語で行います。
⇒「英語で表示・案内を行う」（178 ページ）

- 読み上げ音量を調整できます。
⇒「音声読み上げ音量を調整する」(191 ページ)

ブラウザの音声情報を読み上げる

ITS スポットから受信した信号を Web サイトに画面表示した場合、Web サイトの音声情報を自動で読み上げるかどうか設定できます（初期設定値は「する」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 [VICS] タブにタッチし、「ブラウザでの音声読み上げ」にタッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

アドバイス

- 音声読み上げは ETC2.0 車載器の接続が必要です。
- 英語設定を「する」に設定していても、読み上げは日本語で行います。
⇒「英語で表示・案内を行う」(178 ページ)
- 読み上げ音量を調整できます。
⇒「音声読み上げ音量を調整する」(191 ページ)

外部機器を接続する

ビデオやゲームなど、外部機器を接続する場合に設定します。設定した表示名がソース名称として表示されます（初期設定値は「外部入力」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「接続機器」タブにタッチし、「外部接続機器選択」にタッチします。
- 3  または  にタッチして名称を設定し、「完了」にタッチします。

設定値：なし／外部入力／ドライブレコーダー／ゲーム／ウォークマン (R)



後席個別 TV・DVD・HDMI をリアビジョンに連動する

リアビジョンのモニター開閉・電源 OFF / ON・休憩モードに連動して後席個別 TV・DVD・HDMI の OFF / ON を切りかえることができます（初期設定値は「する」）。

- リアビジョンがリアビジョン連動設定に対応していない場合は本設定を行うことはできません。
- 休憩モードについては、リアビジョン側の取扱説明書を参照してください。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
 - 2 「接続機器」タブにタッチし、「後席個別 TV・DVD・HDMI リアビジョン連動設定」にタッチします。
 - 3 「する」または「しない」にタッチします。
- 「する」に設定すると、リアビジョンの電源 OFF、またはモニターを閉じると、DVD・HDMI 機器の再生を中断します。電源を ON、またはモニターを開くと再生を再開します。

本機でリアビジョンのプラズマクラスター設定を行う

接続するリアビジョンにプラズマクラスター機能がある場合は「あり」に設定してください（初期設定値は「あり」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「接続機器」タブにタッチし、「リアビジョン プラズマクラスター設定」にタッチします。

3 [あり] または [なし] にタッチします。

アドバイス

- リアビジョン製品側の NAVI リンク設定を「ナビ」に設定してください。「リアビジョン」に設定すると本機からの操作を行うことができません。

本機でリアビジョンのイルミネーション設定を行う

接続するリアビジョンにイルミネーション切り換え機能がある場合は「あり」に設定してください。イルミネーション色設定で色を設定できます。

⇒「リアビジョンのイルミネーション色を設定する」(166 ページ)

1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。

2 [接続機器] タブにタッチし、[リアビジョン イルミネーション設定] にタッチします。

3 [あり] または [なし] にタッチします。

アドバイス

- リアビジョン製品側の NAVI リンク設定を「ナビ」に設定してください。「リアビジョン」に設定すると本機からの操作を行うことができません。

リアビジョンのイルミネーション色を設定する

リアビジョンのイルミネーション色を設定できます。OFF にすることもできます。

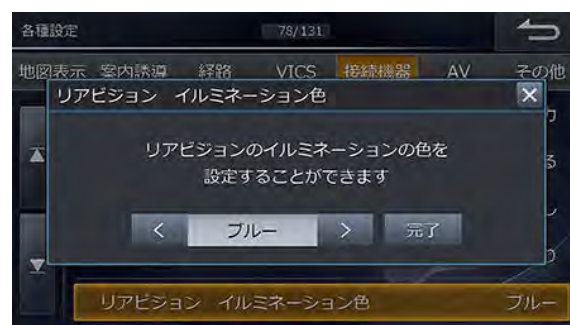
- イルミネーション設定が「あり」の場合のみ設定できます。
⇒「本機でリアビジョンのイルミネーション設定を行う」(166 ページ)

1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。

2 [接続機器] タブにタッチし、[リアビジョン イルミネーション色] にタッチします。

3  または  にタッチして色を設定し、[完了] にタッチします。

設定値：OFF / ホワイト / ブルー / グリーン / アンバー / レッド / パープル / スカイブルー



ダブルゾーンサウンドコントロールを設定する

前席の音量が大きすぎて後席の妨げとなる場合やその逆の場合、それぞれの音量が最適値を超えていることをボリューム表示でお知らせするかどうか設定できます（初期設定値は「ON」）。

- 車種が設定されていない場合は本機能を使用することはできません。

1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。

2 [接続機器] タブにタッチし、[ダブルゾーンサウンドコントロール] にタッチします。

3 [ON] または [OFF] にタッチします。

- 最適値を超えている場合、ボリューム表示が赤色で表示されます。
<画面表示例>



ステアリングリモコンを使用する

ステアリングリモコンを使用するかどうか設定できます。車種専用チューニング後、ステアリングリモコン設定のみ変更したい場合は本設定を行ってください（初期設定値は「設定しない」）。

- 選択した車種にステアリングリモコン設定がない場合は本設定を行うことはできません。

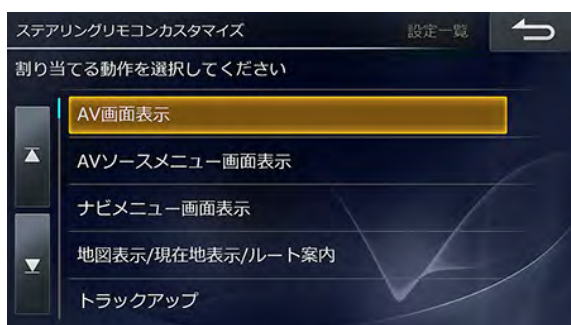
- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「接続機器」タブにタッチし、「ステアリングリモコン」にタッチします。
- 3 「設定する」または「設定しない」にタッチします。

ステアリングリモコンに本機機能を割り当てる

ステアリングリモコンを使用するを「設定する」にすると、ステアリングリモコンキーに本機の機能を割り当てることができます（初期設定値は「しない」）。

- 機能を割り当てることができるステアリングリモコンのキーは、ボリュームアップ／ダウンキー／MODE キー以外のキーです（MODE キー名称は車種により異なります）。

- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「接続機器」タブにタッチし、「ステアリングリモコンキー割り当て」にタッチします。
- 3 「する」にタッチし、リストから割り当てたい機能にタッチします。



設定項目：AV 画面表示 / AV ソースメニュー画面表示 / ナビメニュー画面表示 / 地図表示 / 現在地表示 / ルート案内 / トラックアップ / トラックダウン / AV ソース切替 / 電話に出る / 電話を切る / ダブルゾーンコミュニケーション / VICS 割込み情報 / ミュート / 画面 OFF / サイドカメラ / コーナーカメラ / フロントカメラ / インターフェースボックス AUX IN / TV をみる / 自宅に帰る（地図画面のみ操作可能） / 後席個別 ON/OFF / ダブルゾーンメニュー / ボイスタッチワード設定

- 「カメラダイレクトキー設定」を「あり」に設定している場合は、フロントカメラ、サイドカメラ、コーナーカメラ、は選択リストに表示されません。
 - 未接続および接続なしに設定されているときは、選択リストに表示されません。
- 4 割り当てるステアリングリモコンキーを押し、「はい」にタッチします。

アドバイス

- 割り当てを変更する場合も同じ手順で行ってください。
- 割り当てた機能を解除するには「設定一覧」にタッチし、リストから解除する機能にタッチします。確認画面が表示されたら「はい」にタッチします。

カメラダイレクトキーを接続する

別売のカメラダイレクトキー（HCE-CS100G）を接続した場合は「あり」に設定してください（初期設定値は「なし」）。

- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「接続機器」タブにタッチし、「カメラダイレクトキー設定」にタッチします。
- 3 「あり」または「なし」にタッチします。

アドバイス

- カメラダイレクトキー設定を「あり」にすると、オプションキーおよびステアリングリモコンへの「フロントカメラ」「サイドカメラ」「コーナーカメラ」割り当ては無効となります。

エネルギーモニターを接続する

別売のエネルギーモニター（EDP-Z50）を接続した場合は「あり」に設定してください（初期設定値は「なし」）。
⇒「エネルギーモニターについて」（238 ページ）

- エネルギーモニターとフロントカメラを同時に接続することはできません。「フロントカメラ接続」か「エネルギーモニター接続」のどちらかのみ「あり」に設定できます。
⇒「フロントカメラを接続する」（168 ページ）

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「接続機器」タブにタッチし、「エネルギーモニター接続」にタッチします。
- 3 「あり」または「なし」にタッチします。

フロントカメラを接続する

フロントカメラを接続した場合は「あり」に設定してください（初期設定値は「なし」）。

- フロントカメラとエネルギーモニターを同時に接続することはできません。「フロントカメラ接続」か「エネルギーモニター接続」のどちらかのみ「あり」に設定できます。
⇒「エネルギーモニターを接続する」（168 ページ）

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「接続機器」タブにタッチし、「フロントカメラ接続」にタッチします。
- 3 「あり」または「なし」にタッチします。

アドバイス

- 接続するカメラによっては、自動的に「あり」に設定されます。

フロントカメラのガイドを調整する

フロントカメラのガイドを調整できます。

- フロントカメラ接続設定が「あり」の場合のみ設定できます。
⇒「フロントカメラを接続する」（168 ページ）

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「接続機器」タブにタッチし、「フロントカメラガイド調整」にタッチします。
 - ビュー切りかえ機能のあるカメラ接続時は手順 3 にお進みください。その他のビュー切りかえがないカメラを接続した場合は手順 5 にお進みください。
- 3 「パノラマ」または「トップ」にタッチします。
 - コーナービューはガイド調整できません。
- 4 「固定ガイド調整」にタッチします。
- 5 または にタッチして調整したいガイドを選択すると調整画面が切りかわります。



- 6 にタッチしてガイドの位置を調整します。[OFF] または [ON] にタッチすると、選択したガイドを非表示・表示します。調整が済んだら「セット」にタッチします。



アドバイス

- ガイド線に直接タッチして、なぞり操作で調整できます。
- 調整中、「クリア」にタッチすると、調整前の設定に戻ります。
- 調整中、「初期値」にタッチすると調整値が初期化されます。初期化するには、確認メッセージが表示されたら「はい」にタッチしてください。

- 走行中は調整を行うことはできません。お車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作を行ってください。

フロントカメラ映像を自動的に表示する (速度連動)

お車の速度が一定速度（通常は約 8km/h）以下になった時に、自動的にフロントカメラの映像を本機に表示できます（初期設定値は「しない」）。

- フロントカメラ接続設定が「あり」の場合のみ設定できます。
⇒「フロントカメラを接続する」（168 ページ）

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「接続機器」タブにタッチし、「フロントカメラ速度連動表示」にタッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

フロントカメラ映像を自動的に表示する (地点連動)

あらかじめ登録した地点に近づくと、自動的にフロントカメラの映像を本機に表示できます（初期設定値は「しない」）。

- フロントカメラ接続設定が「あり」の場合のみ設定できます。
⇒「フロントカメラを接続する」（168 ページ）

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「接続機器」タブにタッチし、「フロントカメラ地点連動表示」にタッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

アドバイス

- カメラ地点の登録方法は下記項目を参照してください。
⇒「カメラ表示地点を登録する」（70 ページ）

リアカメラを接続する

リアカメラをリアカメラ接続端子に接続した場合は「あり」に設定してください（初期設定値は「なし」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「接続機器」タブにタッチし、「リアカメラ接続」にタッチします。
- 3 「あり」または「なし」にタッチします。

アドバイス

- 接続するカメラによっては、自動的に「あり」に設定されます。
- リアカメラのガイドを調整できます。
⇒「リアカメラのガイドを調整する」（172 ページ）

インターフェースボックスを接続する

インターフェースボックス（IFB-N100）を接続した場合は「あり」に設定してください（初期設定値は「なし」）。
⇒「インターフェースボックスについて」（238 ページ）

- 汎用カメラ接続設定を「なし」以外に設定している場合は、設定を行うことができません。
⇒「汎用カメラを接続する」（172 ページ）

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「接続機器」タブにタッチし、「インターフェースボックス接続」にタッチします。
- 3 「あり」または「なし」にタッチします。

インターフェースボックスにサイドカメラを接続する

インターフェースボックスにサイドカメラを接続した場合は「あり」に設定してください（初期設定値は「なし」）。

- インターフェースボックス接続設定が「あり」の場合のみ設定できます。
⇒「インターフェースボックスを接続する」（169 ページ）

- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定]
にタッチします。
- 2 [接続機器] タブにタッチし、[サイドカメラ接続]
にタッチします。
- 3 [あり] または [なし] にタッチします。

サイドカメラのガイドを調整する(イン ターフェースボックス接続)

サイドカメラのガイドを調整できます。

- インターフェースボックス接続設定とサイドカメラ
接続設定が「あり」の場合のみ設定できます。
⇒「インターフェースボックスを接続する」(169
ページ)
⇒「インターフェースボックスにサイドカメラを接
続する」(169 ページ)

- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定]
にタッチします。
- 2 [接続機器] タブにタッチし、[サイドカメラガイド
調整] にタッチします。
- 3 [▲] または [▼] にタッチして調整したいガイドを
選択すると調整画面が切りかわります。



- [確認] にタッチすると確認モードになります。下側
／左側のガイド調整に連動して上側／右側のガイド
も調整され、[セット] にタッチすると調整した値を
記憶します。調整値を記憶させない場合は **←** に
タッチして確認モードを解除します。

- 4 [↑] [↓] [←] [→] にタッチしてガイドの位置を
調整します。調整が済んだら [セット] にタッチし
ます。



アドバイス

- ガイド線に直接タッチして、なぞり操作で調整でき
ます。
- 調整中、[クリア] にタッチすると、調整前の設定に
戻ります。
- 調整中、[初期値] にタッチすると調整値が初期化さ
れ、車種専用チューニング設定前の状態に戻ります
のでご注意ください。初期化するには、確認メッ
セージが表示されたら [はい] にタッチしてくださ
い。
- 走行中は調整を行うことはできません。お車を安全
な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引い
てから操作を行ってください。
- 車種専用チューニング設定した後はサイドカメラガ
イド調整は行わないでください。車の状態によりガ
イド線の微調整が必要な場合のみ調整を行ってくだ
さい。

サイドカメラ映像を自動的に表示する(地 点連動・インターフェースボックス接続)

あらかじめ登録した地点に近づくと、自動的にサイドカ
メラの映像を本機に表示できます (初期設定値は「しな
い」)。

- インターフェースボックス接続設定とサイドカメラ
接続設定が「あり」の場合のみ設定できます。
⇒「インターフェースボックスを接続する」(169
ページ)
⇒「インターフェースボックスにサイドカメラを接
続する」(169 ページ)

- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定]
にタッチします。

2 [接続機器] タブにタッチし、[サイドカメラ地点連動表示] にタッチします。

3 [する] または [しない] にタッチします。

アドバイス

- カメラ地点の登録方法は下記項目を参照してください。
⇒「カメラ表示地点を登録する」(70 ページ)

インターフェースボックスにコーナーカメラを接続する

インターフェースボックスにコーナーカメラを接続した場合は「あり」に設定してください（初期設定値は「なし」）。

- インターフェースボックス接続設定が「あり」の場合のみ設定できます。
⇒「インターフェースボックスを接続する」(169 ページ)

1  (NAVI) / [MENU] / [メニュー] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。

2 [接続機器] タブにタッチし、[コーナーカメラ接続] にタッチします。

3 [あり] または [なし] にタッチします。

コーナーカメラのガイドを調整する(インターフェースボックス接続)

コーナーカメラのガイドを調整できます。

- インターフェースボックス接続設定とコーナーカメラ接続設定が「あり」の場合のみ設定できます。
⇒「インターフェースボックスを接続する」(169 ページ)
⇒「インターフェースボックスにコーナーカメラを接続する」(171 ページ)

1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。

2 [接続機器] タブにタッチし、[コーナーカメラガイド調整] にタッチします。

3 [▲] または [▼] にタッチして調整したいガイドを選択すると調整画面が切りかわります。



- [確認] にタッチすると確認モードになります。下側／左側のガイド調整に連動して上側／右側のガイドも調整され、[セット] にタッチすると調整した値を記憶します。調整値を記憶させない場合は  にタッチして確認モードを解除します。

4 [↑] [↓] [←] [→] にタッチしてガイドの位置を調整します。調整が済んだら [セット] にタッチします。



アドバイス

- ガイド線に直接タッチして、なぞり操作で調整できます。
- 調整中、[クリア] にタッチすると、調整前の設定に戻ります。
- 調整中、[初期値] にタッチすると調整値が初期化され、車種専用チューニング設定前の状態に戻りますのでご注意ください。初期化するには、確認メッセージが表示されたら [はい] にタッチしてください。
- 走行中は調整を行うことはできません。お車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作を行ってください。
- 車種専用チューニング設定した後はコーナーカメラガイド調整は行わないでください。車の状態によりガイド線の微調整が必要な場合のみ調整を行ってください。

コーナーカメラ映像を自動的に表示する (クリアランスソナー連動・インターフェースボックス接続)

左前方のクリアランスソナーが反応したとき、自動でコーナーカメラ映像を表示することができます。レベル1→レベル2→レベル3の順で、ソナーが反応する障害物までの距離が遠くなります。(初期設定値は「OFF」)。

- クリアランスソナー対応車種との CAN 接続が必要です。また、「車種専用チューニング」で対応車種と対応コーナーカメラを選択した場合のみ使用することができます。
- インターフェースボックス接続設定とコーナーカメラ接続設定が「あり」の場合のみ設定できます。
⇒「インターフェースボックスを接続する」(169 ページ)
⇒「インターフェースボックスにコーナーカメラを接続する」(171 ページ)

- 1  (NAVI) / [MENU] / [メニュー] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [接続機器] タブにタッチし、[コーナーカメラソナー連動設定] にタッチします。
- 3  または  にタッチしてレベルを設定し、[完了] にタッチします。

インターフェースボックスにルームカメラを接続する

インターフェースボックスにルームカメラを接続した場合は「あり」に設定してください (初期設定値は「なし」)。

- インターフェースボックス接続設定が「あり」の場合のみ設定できます。
⇒「インターフェースボックスを接続する」(169 ページ)
- ルームカメラはダブルゾーンコミュニケーションで使用します。
⇒「ダブルゾーンコミュニケーション」(27 ページ)

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。

- 2 [接続機器] タブにタッチし、[ルームカメラ接続] にタッチします。
- 3 [あり] または [なし] にタッチします。

汎用カメラを接続する

RCA 接続でリアカメラ・サイドカメラ・ルームカメラ・コーナーカメラを接続する場合、接続するカメラの種類を設定します (初期設定値は「なし」)。

- インターフェースボックス接続設定を「あり」に設定している場合は、設定を行うことができません。
⇒「インターフェースボックスを接続する」(169 ページ)
- ルームカメラはダブルゾーンコミュニケーションで使用します。
⇒「ダブルゾーンコミュニケーション」(27 ページ)

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [接続機器] タブにタッチし、[汎用カメラ接続] にタッチします。
- 3  または  にタッチして設定し、[完了] にタッチします。
設定値：なし / リアカメラ / ルームカメラ / サイドカメラ / コーナーカメラ



アドバイス

- リアカメラ接続設定が「あり」の場合、「リアカメラ」に設定することはできません。
⇒「リアカメラを接続する」(169 ページ)

リアカメラのガイドを調整する

リアカメラのガイドを調整できます。固定ガイド線、ステアリング連動ガイド線それぞれを調整することができます。

- リアカメラ接続設定を「あり」に設定した場合、汎用カメラ接続設定を「リアカメラ」に設定した場合のみ、本項目を設定できます。
⇒「リアカメラを接続する」(169 ページ)
⇒「汎用カメラを接続する」(172 ページ)

- ステアリング連動ガイドはステアリング連動リアカメラの接続およびステアリング連動対応車種とのCAN 接続が必要となり、「車種専用チューニング」で対象車種およびステアリング連動リアカメラを選択した場合のみ表示されます。

1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。

2 「接続機器」タブにタッチし、「リアカメラガイド調整」にタッチします。

- ビュー切りかえ機能のあるカメラ接続時は手順3にお進みください。その他のビュー切りかえがないカメラを接続した場合は手順5にお進みください。

3 「パノラマ」「トップ」「バック」のいずれかにタッチします。

- コーナービューはガイド調整できません。
- ステアリングガイド調整はバックビューでのみ行うことができます。

4 「固定ガイド調整」または「ステアリングガイド調整」にタッチします。

- 「ステアリングガイド調整」にタッチすると確認メッセージが表示されます。「確認」にタッチします。

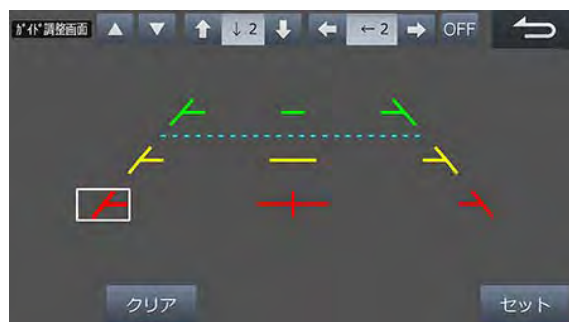
5 固定ガイドを調整する場合は、[▲] または [▼] にタッチして調整したいガイドを選択すると調整画面が切りかわります。



- 黄色・中央のガイドを選択することはできません。

- 「確認」にタッチすると確認モードになります。赤色のガイド調整に連動して黄色と緑色のガイドも調整され、「セット」にタッチすると調整した値を記憶します。調整値を記憶させない場合は  にタッチして確認モードを解除します。

6 [↑] [↓] [←] [→] にタッチしてガイドの位置を調整します。固定ガイドは [OFF] または [ON] にタッチするとガイドを非表示・表示します。調整が済んだら「セット」にタッチします。



- ステアリングガイド調整時は、「固定ガイド OFF」にタッチすると固定ガイド表示を消すことができます。再度表示する場合は「固定ガイド ON」にタッチします。

アドバイス

- 調整中、「クリア」にタッチすると、調整前の設定に戻ります。
- 固定ガイド調整中、「初期値」にタッチすると調整値が初期化され、車種専用チューニング設定前の状態に戻りますのでご注意ください。初期化するには、確認メッセージが表示されたら「はい」にタッチしてください。
- ステアリングガイド調整中、「初期値」にタッチすると調整値が初期化され、車種専用チューニング設定時の状態に戻ります。初期化するには、確認メッセージが表示されたら「はい」にタッチしてください。
- 固定ガイドは、ガイド線に直接タッチしてなぞり操作で調整できます。
- ステアリングガイドを調整すると、固定ガイドに調整値が反映されます。
- 走行中は調整を行うことはできません。お車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作を行ってください。
- 車種専用チューニング設定した後はリアカメラガイド調整は行わないでください。車の状態によりガイド線の微調整が必要な場合のみ調整を行ってください。

パノラミックビュー設定

一部純正カメラを接続した場合、「する」に設定するとカメラガイド表示を最適化します。(初期設定値は「しない」)

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「接続機器」タブにタッチし、「パノラミックビュー設定」にタッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

アドバイス

- 設定が必要な純正カメラが接続されている場合は工場出荷時に「する」に設定されているため、通常は操作の必要はありません。
- 設定が不要な車種の場合は、「しない」に設定されています。「する」に設定すると、クイックセットアップなどで設定したカメラガイド線がずれて表示されますのでご注意ください。
- 「全設定項目初期化」「全情報初期化」を行うと、本項目は「しない」に変更されます。
- 「リアカメラ接続」を「なし」に設定している場合は、設定できません。
- 「する」に設定すると、リアカメラガイド線表示が自動で OFF になります。再度リアカメラガイド線を表示するには、下記項目を参照してください。
⇒「ガイド表示を ON / OFF する」(227 ページ)

サイドカメラのガイドを調整する(汎用カメラ)

サイドカメラのガイドを調整できます。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「接続機器」タブにタッチし、「サイドカメラガイド調整」にタッチします。

- 3  または  にタッチして調整したいガイドを選択すると調整画面が切りかわります。



- 「確認」にタッチすると確認モードになります。下側／左側のガイド調整に連動して上側／右側のガイドも調整され、「セット」にタッチすると調整した値を記憶します。調整値を記憶させない場合は  にタッチして確認モードを解除します。

- 4     にタッチしてガイドの位置を調整します。調整が済んだら「セット」にタッチします。



アドバイス

- ガイド線に直接タッチして、なぞり操作で調整できます。
- 調整中、「クリア」にタッチすると、調整前の設定に戻ります。
- 調整中、「初期値」にタッチすると調整値が初期化され、車種専用チューニング設定前の状態に戻りますのでご注意ください。初期化するには、確認メッセージが表示されたら「はい」にタッチしてください。
- 走行中は調整を行うことはできません。お車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作を行ってください。
- 車種専用チューニング設定した後はサイドカメラガイド調整は行わないでください。車の状態によりガイド線の微調整が必要な場合のみ調整を行ってください。

サイドカメラ映像を自動的に表示する(地点連動・汎用カメラ)

あらかじめ登録した地点に近づくと、自動的にサイドカメラの映像を本機に表示できます(初期設定値は「しない」)。

- 汎用カメラ接続設定を「サイドカメラ」に設定した場合のみ、本項目を設定できます。
⇒「汎用カメラを接続する」(172 ページ)

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「接続機器」タブにタッチし、「サイドカメラ地点連動表示」にタッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

アドバイス

- カメラ地点の登録方法は下記項目を参照してください。
⇒「カメラ表示地点を登録する」(70 ページ)

コーナーカメラのガイドを調整する(汎用カメラ)

コーナーカメラのガイドを調整できます。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「接続機器」タブにタッチし、「コーナーカメラガイド調整」にタッチします。
- 3 「▲」または「▼」にタッチして調整したいガイドを選択すると調整画面が切りかわります。



- 「確認」にタッチすると確認モードになります。下側／左側のガイド調整に連動して上側／右側のガイドも調整され、「セット」にタッチすると調整した値を記憶します。調整値を記憶させない場合は  にタッチして確認モードを解除します。

- 4 「↑」 「↓」 「←」 「→」 にタッチしてガイドの位置を調整します。調整が済んだら「セット」にタッチします。



アドバイス

- ガイド線に直接タッチして、なぞり操作で調整できます。
- 調整中、「クリア」にタッチすると、調整前の設定に戻ります。
- 調整中、「初期値」にタッチすると調整値が初期化され、車種専用チューニング設定前の状態に戻りますのでご注意ください。初期化するには、確認メッセージが表示されたら「はい」にタッチしてください。
- 走行中は調整を行うことはできません。お車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作を行ってください。
- 車種専用チューニング設定した後はコーナーカメラガイド調整は行わないでください。車の状態によりガイド線の微調整が必要な場合のみ調整を行ってください。

コーナーカメラ映像を自動的に表示する(クリアランスソナー連動・汎用カメラ)

左前方のクリアランスソナーが反応したとき、自動でコーナーカメラ映像を表示することができます。レベル1→レベル2→レベル3の順で、ソナーが反応する障害物までの距離が遠くなります。(初期設定値は「OFF」)。

- クリアランスソナー対応車種とのCAN接続が必要です。また、「車種専用チューニング」で対応車種と対応コーナーカメラを選択した場合のみ使用することができます。

- 1  (NAVI) / [MENU] / [メニュー] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [接続機器] タブにタッチし、[コーナーカメラセンサー連動設定] にタッチします。
- 3  または  にタッチしてレベルを設定し、[完了] にタッチします。

録音ビットレートを設定する

SD カードへ録音する時の音質を設定します（初期設定値は「128k」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [AV] タブにタッチし、[録音ビットレート] にタッチします。
- 3 [96k] [128k] [192k] のいずれかにタッチします。

アドバイス

- 録音ビットレートの数字が大きくなるほど音質は良くなりますが、データの容量も大きくなります。

アートワークを自動で取得する

iPod のファイルにアートワークデータがある場合、再生時に自動的に取得するかどうか設定できます（初期設定値は「する」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [AV] タブにタッチし、[アートワーク自動取得] にタッチします。
- 3 [する] または [しない] にタッチします。

アドバイス

- 1 つの曲に複数のアートワークが設定されていても、取得できるアートワークは 1 つになります。カラーとモノクロのアートワークがある場合はカラーが、サイズの大きさに違いがある場合は大きなサイズのアートワークを優先して取得します。

- iPod classic と iPod nano 3rd generation 接続時は、アートワーク取得時に正常に動作しませんので、「しない」に設定してください。

iPod ソース自動切換設定

iPod 接続時に自動的にソースを iPod へ切りかえるかどうか設定できます（初期設定値は「しない」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [AV] タブにタッチし、[iPod 自動ソース切換] にタッチします。
- 3 [する] または [しない] にタッチします。

ディスプレイの誤操作を防止する

ディスプレイが傾いているときは操作規制を行い、ディスプレイ開閉時の意図しないタッチ操作を防止します。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [その他] タブにタッチし、[ディスプレイ誤操作防止] にタッチします。
- 3 [する] または [しない] にタッチします。

アドバイス

- 本設定は XF11Z のみ設定できます。
- 「する」設定時は、リモコン（RUE-RST01）のジョイスティック操作にも操作規制を行います。

映像ソースに時計を表示する

テレビや DVD などの本機の映像ソース画面に時計を表示するかどうか設定できます（初期設定値は「する」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [その他] タブにタッチし、[時計表示設定（映像ソース）] にタッチします。
- 3 [する] または [しない] にタッチします。

地図画面の時計表示を ON/OFF する

ナビの地図画面に時計を表示するかどうか設定できます (初期設定値は「する」)。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「その他」タブにタッチし、「時計表示設定 (ナビ画
面)」にタッチします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

時計表示を設定する

時計、到着予想時刻、VICS タイムスタンプなど、時刻の
表示を 12 時間表示、または 24 時間表示に設定します
(初期設定値は「24H」)。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「その他」タブにタッチし、「時計表示」にタッチし
ます。
- 3 「12H」または「24H」にタッチします。

ボイスタッチ機能を ON/OFF する

「する」に設定すると、音声で本機を操作するボイスタッ
チの使用が可能になります (初期設定値は「する」)。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「その他」タブにタッチし、「ボイスタッチ」にタッ
チします。
- 3 「する」または「しない」にタッチします。

アドバイス

- 使用するボイスタッチワードをそれぞれ設定するこ
とができます。
⇒「ボイスタッチワードを設定する」(177 ページ)
- ボイスタッチワードの認識率が悪い、または誤検出
が多い場合は、ボイスタッチチューニングで調整す
ることができます。

⇒「ボイスタッチワードの認識率を設定する」(177
ページ)

ボイスタッチワードを設定する

ボイスタッチで使用するワードをそれぞれ ON/OFF する
ことができます (初期設定値は「する」)。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「その他」タブにタッチし、「ボイスタッチワード設
定」にタッチします。
- 3 リストから希望のワードにタッチし、「する」または
「しない」にタッチします。



設定値：フロントカメラ／サイドカメラ／コーナー
カメラ／地図表示地図画面表示／ルート案内／自宅
に帰る／広域表示／詳細表示地／ダブルゾーン表示
／近くのコンビニ／近くのガソリンスタンド

- 「テスト」にタッチすると、選んだワードを発話して
認識するかどうか確認することができます。

アドバイス

- ボイスタッチワードの認識率が悪い、または誤検出
が多い場合は、ボイスタッチチューニングで調整す
ることができます。
⇒「ボイスタッチワードの認識率を設定する」(177
ページ)

ボイスタッチワードの認識率を設定する

ボイスタッチワードの認識率を設定することができます。
ワード全体の認識率を設定する方法と、それぞれのワー
ドを個別に調整する方法があります (初期設定値は「標
準」)。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。

- 2 [その他] タブにタッチし、[ボイスタッチチューニング] にタッチします。
- 3 ワード全体を設定する場合は、「認識率：低／誤検出：少」「標準」「認識率：高／誤検出：多」のいずれかにタッチします。
 - ボイスタッチワード全体を設定すると、すべてのワードの個別調整の設定値に反映されます。「認識率：低 誤検出：少」に設定すると各ワード個別調整値は「MIN (0)」に、「標準」に設定すると「5」に、「認識率：高 誤検出：多」に設定すると「MAX (10)」に変更されます。
 - 個別に設定する場合は「各ワード個別調整」をタッチし、< または > にタッチして「MIN」から「MAX」の範囲で設定してください（初期設定値は「5」）。
 - [テスト] にタッチすると、ワードを発話して認識するかどうか確認することができます。

メニューの文字サイズを変更する

メニュー画面の文字表示サイズを変更できます。「大」に設定すると、AV ソースメニュー画面・ナビメニュー画面で文字を大きく表示します（初期設定値は「標準」）。

- 本設定を変更すると、地図上の施設名称の文字サイズも連動して変更されます。
⇒「地図の文字サイズを設定する」（155 ページ）
- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
 - 2 [その他] タブにタッチし、[メニューの文字サイズ変更] にタッチします。
 - 3 [標準] または [大] にタッチします。
<「大」設定時画面表示例>



英語で表示・案内を行う

「する」に設定すると、メニューの一部と地図上の表示言語と案内音声を英語に設定できます（初期設定値は「しない」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [その他] タブにタッチし、[英語設定] にタッチします。
- 3 [する] または [しない] にタッチします。

アドバイス

- 英語案内の場合、「音声案内設定」を「信号・交差点」に設定しても、距離で案内を行います。
⇒「音声案内を設定する」（156 ページ）

iPod アートワークをアニメーション表示する

iPod のアートワークをアニメーションで表示するかどうか設定できます（初期設定値は「する」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [その他] タブにタッチし、[アートワークアニメーション表示] にタッチします。
- 3 [する] または [しない] にタッチします。

メニューをアニメーション表示する

ナビメニュー画面・AV ソースメニュー画面を表示する時に、アニメーション表示にするかどうか設定できます（初期設定値は「する」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [その他] タブにタッチし、[メニューアニメーション表示] にタッチします。
- 3 [する] または [しない] にタッチします。

距離補正－学習結果を表示する

精度の高い案内を行うために、本機は GPS 信号と車速パルス信号を比較しその情報を蓄積し学習します。その進捗状況を画面で確認できます。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「その他」タブにタッチし、「距離補正」にタッチします。「学習結果」に学習の進捗状況が表示されます。



距離補正－距離を自動で補正する

通常（初期設定）は自動補正されていますので、本設定を行う必要はありません。手動補正を行って自動補正に戻したい時に設定してください。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「その他」タブにタッチし、「距離補正」にタッチします。
- 3 「自動距離補正設定」の「ON」にタッチします。走行すると自動的に距離補正を行います。
 - 自動距離補正開始値の設定を行うこともできます。手順 4 にお進みください。
- 4 「自動距離補正值」の「+」または「-」にタッチして、自動補正の開始値を調整します。

設定値：-99.9% ～ +600.0%



- 「+」または「-」にタッチすると、0.1%ずつ変化します。タッチし続けると、1.0%ずつ変化します。

アドバイス

- 自動補正：GPS 信号や車速パルス信号のデータを使い、自車位置を自動的に補正し続けます。
- バッテリーを外すと距離補正值がクリアされるため、次にバッテリーをつないで使用し始めると一時的に自車位置がずれる場合があります。

距離補正－距離を手動で補正する

お車の条件によって、またタイヤ・ホイールの交換をされた場合、地図上の自車位置の進み方と実際の車の進み方がずれる場合があります。本機能によって、自車位置の進み方を微調整できます（初期設定値は「-1.2%」）。通常は自動補正のままご使用いただけますが、地図の自車位置マークの進み方が実際の車の進み方と合わない時は、手動補正を行ってください。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「その他」タブにタッチし、「距離補正」にタッチします。
- 3 「自動距離補正設定」の「OFF」にタッチします。手動距離補正值の設定が可能になります。
- 4 「手動距離補正值」の「+」または「-」にタッチして調整を行います。地図上の自車位置の進み方が実際よりも遅れる場合には「+」、進む場合には「-」にタッチして調整を行ってください。

設定値：-99.9%～+600.0%



- [＋] または [－] にタッチすると、0.1%ずつ変化します。タッチし続けると、1.0%ずつ変化します。

アドバイス

- 最初に 0.5 ～ 1.0% 程度の調整で様子を見ることをおすすめします。
- 極端な補正は誤動作の原因になる場合がありますので、ご注意ください。

距離補正－距離補正值を初期化する

通常はそのまま使用いただけますが、自車位置が大きくずれる場合やタイヤを交換した時は、距離補正值の初期化を行ってください。その後見通しの良い道路を数十 km 走行すると、自動補正が完了します。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [その他] タブにタッチし、[距離補正] にタッチします。
- 3 [初期化] にタッチし、確認のメッセージが表示されたら [はい] にタッチします。



アドバイス

- お車の条件などにより、手動補正後に再びずれが生じる場合があります。その場合は初期化後、自動補正に戻してください。

モニターを自動で閉じる

「する」設定時はモニターが開いている、または角度がついている場合、エンジンを OFF にすると自動でモニターが閉じます。「しない」設定時は手動でモニターを閉じる操作を行います（初期設定値は「する」）。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [その他] タブにタッチし、[モニター自動 CLOSE] にタッチします。
- 3 [する] または [しない] にタッチします。

アドバイス

- XF11Z に本設定はありません。

本機の明るさを切りかえる

お車のスモールランプの点灯・消灯に連動して、本機のディスプレイと照光スイッチの明るさを切りかえ、画面を見やすくできます（初期設定値は「する」）。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定] にタッチします。
- 2 [その他] タブにタッチし、[イルミネーション連動設定] にタッチします。
- 3 [する] または [しない] にタッチします。

アドバイス

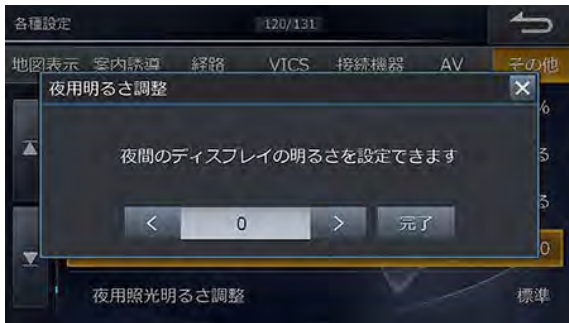
- 夜間のディスプレイと照光スイッチの明るさをそれぞれ調整できます。
⇒「夜間のディスプレイの明るさを調整する」（180 ページ）
⇒「夜間の照光スイッチの明るさを調整する」（181 ページ）

夜間のディスプレイの明るさを調整する

夜間のディスプレイの明るさを調整できます（初期設定値は「0」）。

- イルミネーション連動設定が「する」の場合のみ設定できます。
⇒「本機の明るさを切りかえる」（180 ページ）

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「その他」タブにタッチし、「夜用明るさ調整」に
タッチします。
- 3  または  にタッチして明るさを設定し「完了」
にタッチします。
設定値：-15 ～ +15



夜間の照光スイッチの明るさを調整する

夜間の照光スイッチの明るさを調整できます（初期設定
値は「標準」）。

- イルミネーション連動設定が「する」の場合のみ設
定できます。
⇒「本機の明るさを切りかえる」（180 ページ）
- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
 - 2 「その他」タブにタッチし、「夜用照光明さ調整」
にタッチします。
 - 3 「暗」「標準」「明」のいずれかにタッチします。

車種イラストを設定する

「自車マーク」をマーク3に設定したとき画面に表示す
る車のイラストの車種タイプを選択します。
⇒「自車マーク表示を変更する」（156 ページ）

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「その他」タブにタッチし、「燃費優先ルート」に
タッチします。

- 3 「車種タイプ選択」にタッチし、車種を選択したあと
「完了」にタッチします。
設定値：セダン／ステーションワゴン／RV／クー
ペ／軽自動車／コンバーチブル／ハッチバック／ミ
ニバン



アドバイス

- 車種が設定されている場合は、設定されている車種
がリストに表示されます。

燃費優先ルートの条件を設定する

普段乗車する人数の設定を行います。設定された人数は
燃費優先ルート探索条件として使用されます（初期設定
値は「4人」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」
にタッチします。
- 2 「その他」タブにタッチし、「燃費優先ルート」に
タッチします。
- 3 「乗車人数選択」にタッチし、 または  にタッ
チして人数を設定し「完了」にタッチします。
設定値：1 ～ 10 人

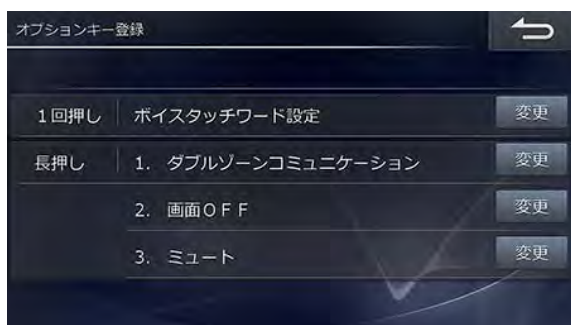


オプションキーに機能を設定する

オプションキーに機能を割り当てます（初期設定値は 1
回押し：「ボイスタッチワード設定」、長押し「1. ダブル
ゾーンコミュニケーション」「2. 画面 OFF」「3. ミュー
ト」）。

- フロントカメラ、サイドカメラ、インターフェースボックス、エネルギーモニターが接続設定されているときは、自動的にオプションキーの長押し機能に登録されます。
- オプションキーを長押しして、機能登録画面を表示することもできます。
⇒「オプションキーに機能を登録する」(24 ページ)

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「[その他]」タブにタッチし、「オプションキー」にタッチするとオプションキー登録画面が表示されます。
- 3 「1 回押し」または「長押し」それぞれの「変更」にタッチします。



- 4 割り当てたい機能にタッチします。



設定値：ダブルゾーンコミュニケーション／VICS 割込み情報／ミュート／画面 OFF／サイドカメラ／コーナーカメラ／フロントカメラ／インターフェースボックス AUX IN／エネルギーモニター／TV をみる／自宅に帰る（地図画面のみ操作可能）／後席個別 ON/OFF／ダブルゾーンメニュー／ボイスタッチワード設定

- カメラダイレクトキー設定を「あり」に設定した場合は、フロントカメラ、サイドカメラ、コーナーカメラは選択リストに表示されません。

- フロントカメラ、サイドカメラ、コーナーカメラ、インターフェースボックス、エネルギーモニターの接続設定が「なし」に設定されているときは、選択リストに表示されません。

自転車位置を修正する

地図上の自転車マークの位置と向きが実際とは異なっている場合、手動で修正できます。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「[その他]」タブにタッチし、「自転車位置修正」にタッチします。
- 3 地図をスクロールして自転車位置を修正します。



- 4  または  にタッチして自転車マークの向きを修正し、「登録」にタッチします。

アドバイス

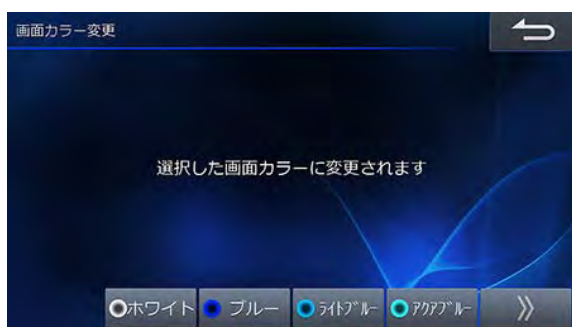
- 地図画面で自転車位置を修正することもできます。
⇒「自転車位置を修正して登録する」(72 ページ)

画面のカラーを変更する

本機画面のカラーを変更できます（初期設定値は「ホワイト」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「[その他]」タブにタッチし、「画面カラー変更」にタッチします。
- 3 お好みのカラーにタッチします。

設定値：ホワイト／ブルー／ライトブルー／アクアブルー／グリーン／レッド／アンバー／ゴールド

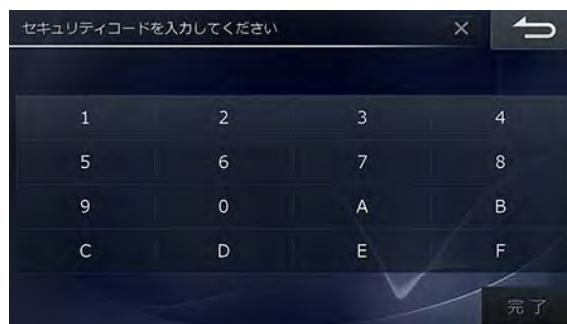


セキュリティ設定を行う

セキュリティコードを設定します。バッテリーを外して再度使用を開始したときやリセットスイッチを押したときに、設定したセキュリティコードを入力しないと本機を使用することができなくなります（初期設定値は「しない」）。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
 - 2 「その他」タブにタッチし、「セキュリティ設定」にタッチします。
 - 3 「する」にタッチします。
- 「しない」にタッチすると、セキュリティ機能は動作しません。また、セキュリティコードが設定済みの場合は消去されます。

- 4 表示された入力画面でセキュリティコードを設定、[完了] にタッチします。



- 設定可能なセキュリティコードの桁数は3～12桁です。

アドバイス

- セキュリティコードを忘れて本機を使用できなくなった場合は、お客様登録をしたうえで、アルパインインフォメーションセンターにご相談ください。

セキュリティインジケータの設定

車のエンジンを ACC OFF にした時にセキュリティインジケータ用の照光スイッチを点滅するかどうか設定できます（初期設定値は「しない」）。

- セキュリティ設定が「する」の場合のみ設定できます。
⇒「セキュリティ設定を行う」（183 ページ）
- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
 - 2 「その他」タブにタッチし、「セキュリティインジケータ設定」にタッチします。
 - 3 「する」または「しない」にタッチします。

クイックセットアップ状態を初期化する

本機で設定した設定値を保持した状態で、セットアップ状態を初期化できます。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「各種設定」にタッチします。
- 2 「その他」タブにタッチし、「クイックセットアップ状態初期化」にタッチします。
- 3 確認画面が表示されたら「はい」にタッチします。

- リセット後に再起動します。

全設定項目を初期化する

本機で設定したすべての項目の設定値を初期化します。ディスク・音楽用 SD カード・USB メモリーを取り出ししてから操作を行ってください。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定]
にタッチします。
 - 2 [その他] タブにタッチし、[全設定項目初期化] に
タッチします。
 - 3 確認画面が表示されたら [はい] にタッチし、再度
表示されたらもう一度 [はい] にタッチします。
- リセット後に再起動します。

全情報を初期化する

登録地点や設定項目の設定値などすべての情報を初期化し、工場出荷時の状態にします。ディスク・音楽用 SD カード・USB メモリーを取り出してから操作を行ってください。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定]
にタッチします。
 - 2 [その他] タブにタッチし、[全情報初期化] にタッ
チします。
 - 3 確認画面が表示されたら [はい] にタッチし、再度
表示されたらもう一度 [はい] にタッチします。
- リセット後に再起動します。

ログデータをアップロードする

Wi-Fi 接続時に、本機のログデータをアルパインサー
バーにアップロードします。アップロードされたデータ
は製品開発に利用するほか、製品に不具合が発生した時
にログデータの解析を行うことで早期解決を図ります。
詳しくはアルパインホームページを参照してください。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で [設定] にタッチしたあと [各種設定]
にタッチします。
- 2 [その他] タブにタッチし、[ログアップロード] に
タッチします。

- 3 確認画面が表示されたら内容を確認のうえ、[同意す
る] にタッチします。

- Wi-Fi 機器の設定がされていない場合は、[機器設定]
にタッチすると Wi-Fi 設定を行うことができます。
⇒「Wi-Fi 接続を設定する - 自動探索」(196 ページ)
⇒「Wi-Fi 接続を設定する - 機器名を入力して登録」
(197 ページ)
⇒「Wi-Fi 接続を設定する - WPS 登録」(198 ページ)

- 4 ログデータの準備が完了すると容量が表示されます。
容量を確認したら [はい] にタッチします。データ
のアップロードが開始されます。

- データアップロードを中止する場合は [中止] に
タッチします。
- データアップロードが休止した場合は [再開] に
タッチすると、アップロードが再開されます。

車種専用チューニングを行う

アルパインのホームページから車種データをダウンロー
ドして設定できます。

車種専用チューニングで登録される項目は、オープニン
グ画面／オープニングサウンド／車種専用サウンド（音
響空間の設定）・画面背景デザイン／車種イラスト／リア
カメラ接続／ガイド線／コーション位置設定／汎用カメ
ラ接続設定／サイドカメラガイド線設定／コーナーカメ
ラガイド線／ソナー連動設定／バックドアガイド線設定
／インターフェースボックス／サイドカメラ／コーナー
カメラ／案内図表示（交差点拡大図またはビッグアロー）
／自動距離補正值設定／車両情報（車種／サイズ）／ス
テアリングリモコン設定／アロマアイコンデザイン／エ
ンジンタイプ設定／燃費ルート探索パラメータ／メ
ニュー画面デザイン／ダブルゾーンサウンドコントロール
設定（前後席の推奨 Vol 値）です。

- 項目によっては一部車種のみ適用されます。

- 1 アルパインのホームページから車種データをダウン
ロードします。
- Wi-Fi 通信を利用してデータのダウンロードが可能です。
⇒「Wi-Fi 通信でデータ更新を行う」(208 ページ)
 - SD カードまたは USB メモリーを使用する場合は、
ZIP ファイルを解凍したデータを SD カードまたは
USB メモリーに保存し、本機にセットします。
 - データをインストールしてすぐに車種設定を行う場
合は、「車種専用チューニング」画面で [設定する]
にタッチし、手順 4 にお進みください。

2  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「車種専用チューニング」にタッチします。

3 「車種選択」にタッチし、「リストから選択」にタッチします。

4 メーカーを選んでタッチしたあと「決定」にタッチします。

5 車種を選んでタッチしたあと「決定」にタッチします。

6 車種グレードを選んでタッチしたあと「決定」にタッチします。

7 「リアカメラ接続」にタッチし、接続するカメラを選んでタッチしたあと「決定」にタッチします。



- カメラの製品名、または「カメラあり」「カメラなし」を選択してください。汎用カメラを接続する場合は「カメラあり」に設定してください。「カメラあり」を選択した場合は、手順 9 へ進みます。

8 「インターフェースボックス接続」にタッチし、インターフェースボックスの有無を選択し「決定」にタッチします。



- 「なし」を選択した場合は、サイドカメラまたはコーナーカメラのどちらか 1 台、「あり」を選択した場合は 2 台まで選択できます。

9 「サブウーファー」にタッチし、サブウーファーの有無を選んでタッチしたあと「決定」にタッチします。



10 「ステアリングリモコン」にタッチし、ステアリングリモコンの設定有無を選んでタッチしたあと「決定」にタッチします。



- 選択した車種にステアリングリモコン設定がない場合は、ステアリングリモコン設定画面は表示されません。

11 「リアビジョン」にタッチし、リアビジョンの有無を選んでタッチしたあと「決定」にタッチします。



- リアビジョン設定がある車種を選択し、リアビジョンを接続している場合のみリアビジョン選択画面が表示されます。

12 設定内容を確認し、[決定] にタッチします。



- 確認画面が表示されたら [はい] にタッチします。
- 本機情報をアップデートし、リセット後に再起動します。

アドバイス

- 車種データのダウンロードを行う前に、ホームページ上でお客様登録と本機の登録をしてください。

オープニング画像を変更する

車種を設定すると、車種データに含まれるオープニング画像を設定することができます。

⇒「車種専用チューニングを行う」(184 ページ)

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [車種専用チューニング] にタッチします。
 - 2 [オープニング画像] にタッチします。
 - 3 設定したいオープニング画像にタッチし、[完了] にタッチします。
 - 4 確認画面が表示されたら [はい] にタッチします。
- リセット後に再起動し、プログラムアップデートを行い、再度リセットと再起動を行います。

アドバイス

- オープニング画像に設定できるデータはアルパインが提供する画像データのみです。
- 一部車種のオープニング画像にはオープニングサウンドも設定されます。
- 追加可能なデータは 1 点です。すでにデータが読み込まれている場合は古いデータは削除されます。

メニューデザインを変更する

車種を設定すると、車種データに含まれるアイコンデザイン・背景色データを設定することができます。

⇒「車種専用チューニングを行う」(184 ページ)

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [車種専用チューニング] にタッチします。
- 2 [メニューデザイン] にタッチします。
- 3 設定したいメニューデザインにタッチし、[完了] にタッチします。

アドバイス

- 追加可能なデータは 1 点です。すでにデータが読み込まれている場合は古いデータは削除されます。
- メニューデザインを変更できない場合があります。

地点編集

地点編集は、地点登録時に表示される登録地点情報画面で行うことができます。地点編集機能については、それぞれ下記項目を参照してください。ここでは設定画面からの地点編集画面の表示方法を説明します。



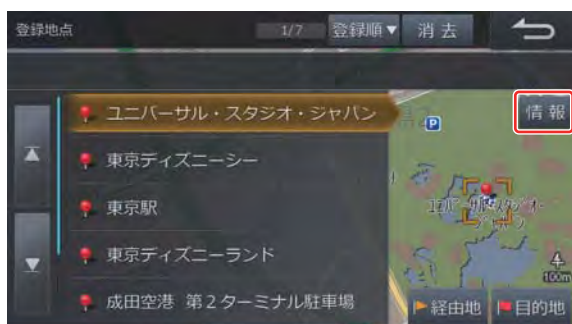
- ⇒「地点情報を変更する - 基本情報」(73 ページ)
- ⇒「地点情報を変更する - マーク情報」(73 ページ)
- ⇒「地点情報を変更する - 位置情報」(74 ページ)
- ⇒「地点情報を変更する - 詳細情報」(75 ページ)
- ⇒「登録地点に電話をかける」(75 ページ)

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [地点編集] にタッチします。

- 2 編集したい地点を「登録地点」「特別地点」「迂回地点」「カメラ表示地点」のいずれかにタッチして選びます。



- 3 地点を選び、「情報」にタッチします。登録地点情報画面が表示されます。



アドバイス

- 地点リスト画面を登録順、マーク順、または距離順に並べかえることができます。「登録順」「マーク順」「距離順」にタッチして切りかえます。
- 地点リスト画面で登録地点を消去できます。消したい地点を選んで「消去」にタッチします。すべての地点を消去するには「消去」にタッチし続けます。確認画面が表示されたら「はい」にタッチします。

登録地点をメディアに保存する

本機で設定した登録地点を、SD カードまたは USB メモリーにコピーして保存できます。

- 1 NAVI / 「MENU」スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「メディア編集」にタッチします。

- 2 「メディアへの地点保存」にタッチします。



- 3 「SD」または「USB」にタッチし、確認画面が表示されたら「はい」にタッチします。

アドバイス

- 登録地点保存用のフォルダーが SD カードや USB メモリー内に自動的に作成されます。
 - ・フォルダー名：NAVDATDR フォルダー - POIX フォルダー
 - ・地点ファイル拡張子：.poix
- 作成したファイルの削除とファイル名の変更はパソコンから行うことができます。ただし拡張子 .poix を変更するとファイルが認識されなくなりますので、拡張子の変更は行わないでください。なおファイル名に使用できる文字は半角英数字のみになります。
- 録音用 SD カードに地点を保存することはできません。
- 本機とメディアに同一地点のデータが存在した場合は、その地点のデータは上書き保存されます。
- 登録地点をメディアへコピーしている途中で他の画面に移動した場合、コピー処理はキャンセルされます。
- 本機で登録した登録地点はアルパインナビゲーション NVE-N555 シリーズや NVA-HD55 シリーズで使用することはできません。

登録地点をメディアからコピーする

SD カードまたは USB メモリーに保存した地点を本機にコピーできます。

- 1 NAVI / 「MENU」スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「メディア編集」にタッチします。

2 [メディアからの地点追加] にタッチします。



3 [SD] または [USB] にタッチし、確認画面が表示されたら [はい] にタッチします。

アドバイス

- 本機の登録地点の最大数（700 箇所）を超えた場合は、地点のコピーは行われません。
- 本機とメディアに同一地点のデータが存在した場合は、その地点のデータはコピーされません。

メディア情報を見る

SD カード・USB メモリーの残容量を確認できます。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [メディア編集] にタッチします。
- 2 [メディア情報] にタッチすると、各メディアの最大容量と空き容量が表示されます。

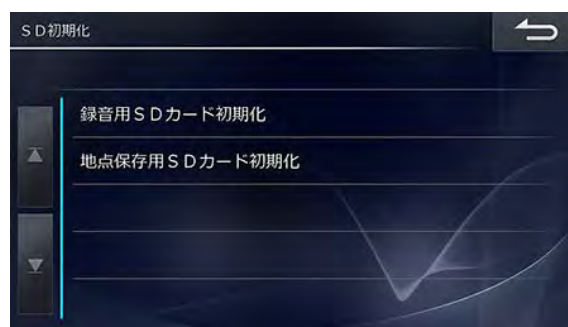


SD カードを初期化する

SD カード挿入口に挿入されている SD カードを初期化して、本機で使用できるようにします。

録音用 SD カードを作成する場合や、何らかの原因により SD カードが正常に動作しなくなった場合、または本機で SD カードを認識しない場合は、本機で SD カードの初期化を行ってください。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [メディア編集] にタッチします。
- 2 [SD 初期化] にタッチします。
- 3 目的に応じて [録音用 SD カード初期化] または [地点保存用 SD カード初期化] にタッチします。



- 4 確認画面が表示されたら [はい] にタッチし、再度表示されたらもう一度 [はい] にタッチします。

アドバイス

- 初期化中は、絶対にエンジンを切ったり SD カードを取り出したりしないでください。SD カードが破損する場合があります。
- クイックセットアップ（販売店設定）でお客様の車を設定するまでは、本機添付の SD カードは初期化しないでください（通常は販売店で設定済です）。

画面表示モードを切りかえる

映像ソースの画面表示モードを切りかえることができます。

- AV ソースが映像系のソースのときに設定することができます。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [画質調整] にタッチします。
- 映像ソース画面で [画面設定] にタッチしても画質調整操作を行うことができます。

- 2 [映像ソース] にタッチします。
- 3 [ワイド] [シネマ] [ノーマル] のいずれかにタッチします。



- ・ワイド：16：9の映像を見るときに選択します。
- ・シネマ：映像を上下方向に拡大して表示したいときに選択します。画面の上下が少しカットされます。
- ・ノーマル：4：3の映像を見るときに選択します。画面の左右が黒く表示されます。

画質を調整する

画面のコントラストや明るさなど、お好みに合わせて画質を調整できます。

モードによって設定できる項目は異なります。

- 全ての画面（地図画面、メニュー画面、オーディオ画面など）：

明るさ・コントラスト

- 映像ソース：

ライブコントラスト・VISUAL EQ・明るさ・色の濃さ・コントラスト・シャープネス

- カメラ／インターフェースボックス：

ライブコントラスト・明るさ・色の濃さ・コントラスト

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「画質調整」にタッチします。
- 映像ソース画面で「画面設定」にタッチしても画質調整操作を行うことができます。

- 2 [全ての画面] [映像ソース] [フロントカメラ] [リアカメラ] [ルームカメラ] [サイドカメラ] [インターフェースボックス] のいずれか設定したいモードにタッチします。



- 手順3～8の項目を必要に応じて設定してください。また、モードにより設定可能な項目は異なります。

- 3 映像の表示輝度を調整するには「ライブコントラスト」の「設定」にタッチします。設定画面の ◀ または ▶ にタッチして「OFF」「弱」「強」のいずれかを選び、↩ にタッチします。



- 画面の明るすぎる部分や暗すぎる部分の明るさを自動的に調整し、自然な明るさに補正します。

- 4 メーカー設定の映像モードを選択するには「VISUAL EQ」の「設定」にタッチします。設定画面の ◀ または ▶ にタッチして「フラット」「ナイトモード」「ソフト」「シャープネス」「ハイコントラスト」のいずれかを選び、↩ にタッチします。
 - ・フラット（OFF）：工場出荷時設定
 - ・ナイトモード：暗いシーンが中心の映画に最適
 - ・ソフト：CGやアニメーションの映画に最適
 - ・シャープネス：映像がくっきりしていない古い映画に最適
 - ・ハイコントラスト：最新の映画に最適

- お好みで映像の明るさや色の濃さを調整した場合は「カスタム」と表示されます。

- 5 映像の明るさを調整するには「明るさ」の「設定」にタッチします。設定画面の ◀ または ▶ にタッチして調整し、↩ にタッチします。

設定値：-15～0～15（初期設定値は0）

- 最大値（15）は「MAX」、最小値（-15）は「MIN」と表示されます。

6 映像の色の濃さを調整するには「色の濃さ」の「設定」にタッチします。設定画面の◀または▶にタッチして調整し、↔にタッチします。
設定値：-15～0～15（初期設定値は0）

- 最大値（15）は「MAX」、最小値（-15）は「MIN」と表示されます。

7 映像のコントラストを調整するには「コントラスト」の「設定」にタッチします。設定画面の◀または▶にタッチして調整し、↔にタッチします。
設定値：-15～0～15（初期設定値は0）

- 最大値（15）は「HIGH」、最小値（-15）は「LOW」と表示されます。

8 映像画質を調整するには「シャープネス」の「設定」にタッチします。設定画面の◀または▶にタッチして調整し、↔にタッチします。
設定値：-5～0～5（初期設定値は0）

- 最大値（5）は「HARD」、最小値（-5）は「SOFT」と表示されます。

アドバイス

- オプションキーに画質調整画面表示操作を割り当てることができます。
⇒「オプションキーに機能を登録する」（24ページ）

画質調整値の記憶と呼び出し

映像ソース調整時、お好みで調整した「明るさ・色の濃さ・コントラスト・シャープネス」をプリセットスイッチに記憶できます。また、記憶した調整値を呼び出します。

1 「明るさ・色の濃さ・コントラスト・シャープネス」を調整後、[プリセット1] または [プリセット2] にタッチし続けます。調整した設定値が記憶されます。

⇒「画質を調整する」（189ページ）



2 設定値を呼び出すには [プリセット1] または [プリセット2] にタッチします。

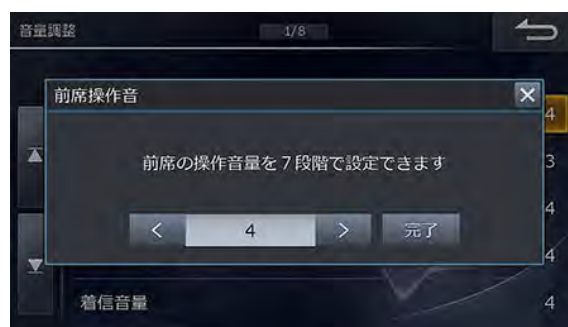
本機の操作音音量を調整する

フロントスピーカーから出力される、本機スイッチを押した時の操作音の音量を調整します。操作音を OFF にすることもできます（初期設定値は「4」）。

1 Ⓜ NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「音量調整」にタッチします。

2 「前席操作音」にタッチします。

3 ◀または▶にタッチして音量を調整し、[完了] にタッチします。
設定値：OFF、1～7



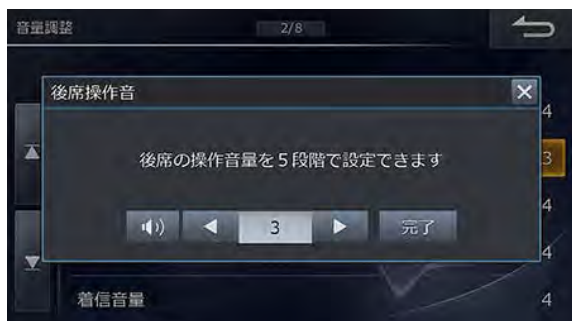
- ◀、▶にタッチすると、選択中の音量の操作音が出力されます。

リモコン操作音音量を調整する

リアスピーカーから出力される、リモコン操作する時の操作音音量を調整します。操作音を OFF にすることもできます（初期設定値は「3」）。

1 Ⓜ NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「音量調整」にタッチします。

- 2 [後席操作音] にタッチします。
- 3 ◀ または ▶ にタッチして音量を調整し、[完了] にタッチします。
設定値：OFF、1～5



- 音量調整アイコンにタッチすると、選択中の音量の操作音が出力されます。

アドバイス

- リアスピーカーからリモコン操作音が出力されるのは、リアビジョンの後席表示設定が「AV ソースのみ」または後席個別モード時です。

案内音量を調整する

ナビゲーション案内音声の音量を調整します。音声をOFF にすることもできます（初期設定値は「4」）。

- 1 ④ NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [音量調整] にタッチします。
- 2 [ガイド音声] にタッチします。
- 3 ◀ または ▶ にタッチして音量を調整し、[完了] にタッチします。
設定値：OFF、1～7

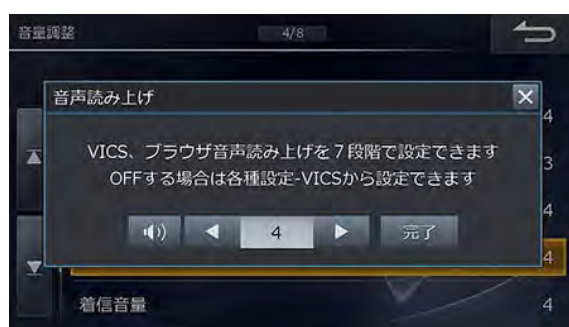


- 音量調整アイコンにタッチすると、選択中の音量の音声が出力されます。

音声読み上げ音量を調整する

VICS・ブラウザ音声読み上げの音量を調整します（初期設定値は「4」）。

- 1 ④ NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [音量調整] にタッチします。
- 2 [音声読み上げ] にタッチします。
- 3 ◀ または ▶ にタッチして音量を調整し、[完了] にタッチします。
設定値：1～7



- 音量調整アイコンにタッチすると、選択中の音量の音声出力されます。

電話着信音量を調整する

電話着信音の音量を調整します（初期設定値は「4」）。

- 1 ④ NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [音量調整] にタッチします。
- 2 [着信音量] にタッチします。
- 3 ◀ または ▶ にタッチして音量を調整し、[完了] にタッチします。
設定値：1～11



受話音量・送話音量を調整する

電話の受話音量・送話音量を調整します（初期設定値は受話音量が「4」、送話音量が「6」）。

- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「音量調整」にタッチします。
- 2 「受話音量」または「送話音量」にタッチします。
- 3 **<** または **>** にタッチして音量を調整し、「完了」にタッチします。
設定値：1～11



オープニングサウンド音量を調整する

オープニングサウンドの音量を調整します（初期設定値は「4」）。

- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「音量調整」にタッチします。
- 2 「オープニングサウンド音量」にタッチします。
- 3 **<** または **>** にタッチして音量を調整し、「完了」にタッチします。
設定値：OFF、1～7



- **<** または **>** にタッチすると、選択中の音量の操作音が出力されます。

アドバイス

- 車種専用チューニングで選択したオープニングサウンド適応車種のみ、音量設定をすることができます。

着信全画面割込み設定

電話がかかってきた時に、着信全画面を自動で表示するかどうか設定します（初期設定値は「する」）。

- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「電話設定」にタッチします。
- 2 「着信全画面割込み」にタッチし、「する」または「しない」にタッチします。
＜「する」設定時・着信全画面表示例＞



＜「しない」設定時・着信画面表示例＞



着信・通話画面に情報を表示する

「する」に設定すると、着信時または通話時に相手の電話番号や名前などを表示します。「しない」設定時は相手情報の表示は行いません（初期設定値は「する」）。

- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「電話設定」にタッチします。
- 2 「着信・通話画面情報表示」にタッチし、「する」または「しない」にタッチします。

自動着信を設定する

「する」に設定すると、電話がかかってきた時に自動で電話を受けます。「しない」設定時は手動で通話操作を行ってください（初期設定値は「しない」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「電話設定」にタッチします。
- 2 「自動着信」にタッチし、「する」または「しない」にタッチします。

自動着信までの時間を設定する

自動着信設定時、何秒経過したら電話を受けるのかを5秒刻みで設定できます（初期設定値は「10秒」）。

- 自動着信設定が「する」の場合のみ設定できます。
⇒「自動着信を設定する」（193 ページ）

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「電話設定」にタッチします。
- 2 「自動着信時間」にタッチします。
- 3  または  にタッチして時間を設定し、「完了」にタッチします。
設定値：5 秒～20 秒

外部ハンズフリーマイクを接続する

X9Z / 7WZ をお買上げのお客様で、外部ハンズフリーマイクが付属されている場合のみ外部ハンズフリーマイクを接続し、本設定を「あり」にしてください（初期設定値は「なし」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「電話設定」にタッチします。
- 2 「外部ハンズフリーマイク」にタッチし、「あり」または「なし」にタッチします。

アドバイス

- 外部ハンズフリーマイクを接続せずに、「あり」に設定すると、こちらの声が相手に聞こえなくなります。ご注意ください。

BLUETOOTH 機器を登録する (BLUETOOTH 機器から探索)

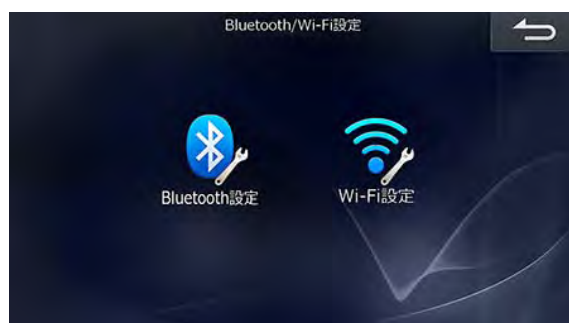
ハンズフリー電話または BLUETOOTH オーディオ機器として、携帯電話などの BLUETOOTH 機器を本機に登録します。登録した機器は BLUETOOTH 機能が ON になっていれば、エンジンを ACC または ON にするだけで本機と自動的に接続されます。

- 携帯電話などの機器の BLUETOOTH 機能を ON にしてください。



1. 接続した BLUETOOTH 機器名称

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面を表示し、「設定」にタッチします。
- 2 「Bluetooth/Wi-Fi 設定」にタッチし、「Bluetooth 設定」にタッチします。



- Bluetooth 機器設定画面で「登録 / 変更」にタッチします。



- BLUETOOTH 機器接続時は、「登録 / 変更」にタッチすると接続解除を確認するメッセージが表示されます。「はい」にタッチしてください。

- 「未登録」にタッチしたあと、「機器登録」にタッチします。



- 「ハンズフリー」「オーディオ」「ハンズフリー+オーディオ」のいずれかにタッチします。



- ハンズフリー電話としてお使いになる場合は「ハンズフリー」、オーディオ機器としてお使いになる場合は「オーディオ」にタッチしてください。どちらにもお使いになる場合は「ハンズフリー+オーディオ」にタッチします。

- 携帯電話などの BLUETOOTH 機器で本機を検索します。本機名称を選びます。

- 本機の名称の初期値は「ALPINE」です。

- 「MITM 設定」にタッチすると、MITM（中間者攻撃）Protection 設定を一時的に変更できます。「OFF」にすることで、機器設定ができない機器の登録が可能となる場合があります。

- BLUETOOTH 機器にパスキーの入力画面が表示されたら、本機のパスキーを入力します。

- BLUETOOTH 機器によってパスキーの入力が不要な機種もあります。
- パスキーの初期値は「1234」です。

- 接続が開始されると Bluetooth 機器設定画面に戻ります。

アドバイス

- 本機には BLUETOOTH 機器を 5 台まで登録できますが、ハンズフリー電話またはオーディオ機器として接続し、使用できるのはそれぞれ 1 台ずつです。複数台を登録したときは、利用する携帯電話を切りかえてお使いください。

⇒「接続する携帯電話を変更する」(88 ページ)

⇒「接続する BLUETOOTH AUDIO 機器を変更する」(144 ページ)

接続する BLUETOOTH 機器を変更する

接続する BLUETOOTH 機器を変更します。本機に登録済みの機器の中から選ぶことができます。

- ⓐ NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと「Bluetooth/Wi-Fi 設定」にタッチします。
- 「Bluetooth 設定」にタッチします。
- 「登録 / 変更」にタッチします。Bluetooth 機器接続時は確認画面が表示されます。「はい」にタッチします。
- リストから機器を選んでタッチし、「接続機器変更」にタッチします。



- ハンズフリー電話として使用可能な機器には、BLUETOOTH オーディオ機器として使用可能な機器にはが表示されます。

- 5 「ハンズフリー」「オーディオ」「ハンズフリー＋オーディオ」のいずれかを選んでタッチします。

BLUETOOTH 機器を接続解除／再接続する

接続しているハンズフリー電話または BLUETOOTH オーディオ機器の接続を解除します。また再接続することができます。

- BLUETOOTH オーディオ機器の接続解除／再接続は BT AUDIO ソース時に行ってください。
- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [Bluetooth/Wi-Fi 設定] にタッチします。
 - 2 [Bluetooth 設定] にタッチします。
 - 3 「ハンズフリー」または「オーディオ」の [接続解除] にタッチします。
- BLUETOOTH 機器の接続が解除され、[接続解除] が [再接続] に変わります。



- 4 再度接続するには [再接続] にタッチします。

BLUETOOTH オーディオ機器を自動接続する

「する」に設定すると、「BT AUDIO」を AV ソースに選択した時に自動的に BLUETOOTH オーディオ機器に接続します（初期設定値は「しない」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [Bluetooth/Wi-Fi 設定] にタッチします。
- 2 [Bluetooth 設定] にタッチします。

- 3 「オーディオ」-「自動接続」の [する] または [しない] にタッチします。



自機情報を編集する (BLUETOOTH)

自機名称とパスキーを変更できます（初期設定値は自機名称は「ALPINE」、パスキーは「1234」）。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [Bluetooth/Wi-Fi 設定] にタッチします。
- 2 [Bluetooth 設定] にタッチし、[自機情報編集] にタッチします。
- 3 [自機名称] にタッチし、入力画面で自機名称を入力し、[完了] にタッチします。



- 入力できる文字数は最大 32 文字です。
- 4 [パスキー] にタッチし、入力画面でパスキーを入力し、[完了] にタッチします。
- パスキーは 4 ～ 8 桁の範囲で入力できます。

BLUETOOTH 機器の詳細情報を見る

登録 BLUETOOTH 機器の詳細情報を表示します。情報を再取得することもできます。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [Bluetooth/Wi-Fi 設定] にタッチします。
- 2 [Bluetooth 設定] にタッチします。
- 3 [登録 / 変更] にタッチします。Bluetooth 機器接続時は確認画面が表示されます。[はい] にタッチします。
- 4 情報を見たい機器の にタッチします。



- 5 詳細情報画面が表示されます。[機器情報取得] にタッチすると、情報を再取得します。



BLUETOOTH 機器に暗証番号を設定する

登録 BLUETOOTH 機器に暗証番号を設定して、電話帳や発着信履歴にロックをかけることができます。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [Bluetooth/Wi-Fi 設定] にタッチします。
- 2 [Bluetooth 設定] にタッチします。
- 3 [登録 / 変更] にタッチします。Bluetooth 機器接続時は確認画面が表示されます。[はい] にタッチします。

- 4 暗証番号を設定したい機器の にタッチします。

- 5 詳細情報画面が表示されます。[暗証番号設定] にタッチし、確認画面が表示されたら [はい] にタッチします。



- 6 暗証番号入力画面で暗証番号を設定し、[完了] にタッチします。

- 暗証番号は 4 ～ 8 桁の範囲で設定できます。確認のために同じ番号を 2 回入力してください。

アドバイス

- 暗証番号を設定した機器は、Bluetooth 機器設定画面に が表示されます。
- 暗証番号を消去するには [暗証番号消去] にタッチします。設定した暗証番号を入力してください。
- 暗証番号を忘れた場合は登録した BLUETOOTH 機器を消去して再度登録してください。

Wi-Fi 接続を設定する - 自動探索

本機は Wi-Fi 接続をすることができます。接続するにはアクセスポイント (Wi-Fi 通信機器) を本機に登録する必要があります。

本機からアクセスポイントを探索しリスト表示します。リストから接続するアクセスポイントを選んで登録することができます。



1. 機器名称
2. 接続周波数

3. セキュリティアイコン

: セキュリティ有り

: セキュリティ無し

4. 電界強度アイコン

1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと
[Bluetooth/Wi-Fi 設定] にタッチします。

2 [Wi-Fi 設定] にタッチし、[機器探索] にタッチし
ます。確認画面が表示されたら「確認」にタッチし
ます。



3 機器探索後、表示されたリストから、登録したい
Wi-Fi 通信機器を選んでタッチし、[機器登録] に
タッチします。



4 パスワード入力確認画面が表示されたら「確認」に
タッチし、入力画面で Wi-Fi 通信機器のパスワード
を入力し、[完了] にタッチします。

- 登録する機器によっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。手順5にお進みください。

5 接続が開始されると Wi-Fi 設定画面に戻ります。

アドバイス

- パスワードなどについては、登録する Wi-Fi 通信機器側の説明書を参照してください。
- 本機は Wi-Fi 通信機器を 10 台まで登録しておくことができます。10 台を超えると古い機器から削除されます。また、実際に接続できるのはその中の 1 台になり、2 台以上同時に接続することはできません。

- 同じ機器名 (SSID) がすでに登録されている場合は、別の機器名 (SSID) への変更をお勧めします。
- 登録した Wi-Fi 通信機器を消去できます。リスト画面で消したい機器を選んで「消去」にタッチします。確認画面が表示されたら「はい」にタッチします。

Wi-Fi 接続を設定する - 機器名を入力して登録

本機は Wi-Fi 接続をすることができます。接続するにはアクセスポイント (Wi-Fi 通信機器) を本機に登録する必要があります。

接続する機器が決まっていれば、本機に機器名 (SSID) を入力して登録することができます。



1. 機器名称
2. 接続周波数
3. セキュリティアイコン
: セキュリティ有り
: セキュリティ無し
4. 電界強度アイコン

1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメ
ニュー画面で「設定」にタッチしたあと
[Bluetooth/Wi-Fi 設定] にタッチします。

2 [Wi-Fi 設定] にタッチし、[機器探索] にタッチし
ます。確認画面が表示されたら「確認」にタッチし
ます。

3 [機器名 入力登録] にタッチします。



- 4 [機器名 (SSID)] にタッチし、入力画面で機器名称を入力し、[完了] にタッチします。



- 5 セキュリティの種類を [なし] [WEP] [WPA] [WPA2] のいずれかにタッチして選びます。
- 「なし」に設定した場合はパスワードの入力は行いません。手順7に進んでください。
- 6 [パスワード] にタッチし、入力画面で機器のパスワードを入力し、[完了] にタッチします。
- 手順5で「WEP」を選択した場合は「16進数 (HEX)」(0～9の数字とa～fの英字)、「WPA」または「WPA2」を選択した場合は、「ASCII」(半角英数字)でそれぞれ入力してください。
- 7 入力が済んだら [完了] にタッチします。
- 8 接続が開始されると Wi-Fi 設定画面に戻ります。

アドバイス

- 機器名やセキュリティ種類などについては、登録する機器側の説明書を参照してください。
- 同じ機器名 (SSID) がすでに登録されている場合は、別の機器名 (SSID) への変更をお勧めします。
- 本機は Wi-Fi 通信機器を 10 台まで登録しておくことができます。10 台を超えると古い機器から削除されます。また、実際に接続できるのはその中の 1 台になり、2 台以上同時に接続することはできません。
- 登録した Wi-Fi 通信機器を消去できます。リスト画面で消したい機器を選んで [消去] にタッチします。確認画面が表示されたら [はい] にタッチします。

Wi-Fi 接続を設定する -WPS 登録

本機は Wi-Fi 接続をすることができます。接続するにはアクセスポイント (Wi-Fi 通信機器) を本機に登録する必要があります。

接続する機器に WPS 機能があれば、WPS 機能を使用して登録することができます。

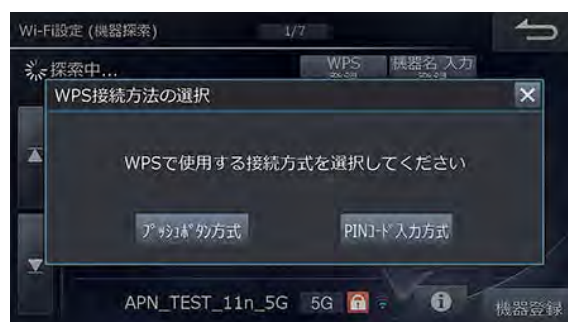


1. 機器名称
2. 接続周波数
3. セキュリティアイコン
 赤い鍵: セキュリティ有り
 青い鍵: セキュリティ無し
4. 電界強度アイコン

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [Bluetooth/Wi-Fi 設定] にタッチします。
- 2 [Wi-Fi 設定] にタッチし、[機器探索] にタッチします。確認画面が表示されたら [確認] にタッチします。
- 3 [WPS 登録] にタッチします。



- 4 [プッシュボタン方式] または [PIN コード入力方式] にタッチします。



- 5 プッシュボタン方式を選択した場合、2分以内に Wi-Fi 通信機器側でボタンを押して登録操作を行ってください。PIN コード入力方式を選択した場合、2分以内に本機画面に表示された PIN コードを Wi-Fi 通信機器に入力してください。

- 6 接続が開始されると Wi-Fi 設定画面に戻ります。

アドバイス

- 登録する機器側の説明書も参照して操作してください。
- 本機は Wi-Fi 通信機器を 10 台まで登録しておくことができます。10 台を超えると古い機器から削除されます。また、実際に接続できるのはその中の 1 台になり、2 台以上同時に接続することはできません。
- 同じ機器名 (SSID) がすでに登録されている場合は、別の機器名 (SSID) への変更をお勧めします。
- WPS 使用時のセキュリティは、WPA または WPA2 を選択してください。TKIP / WEP は OFF に設定します。
- 登録した Wi-Fi 通信機器を消去できます。リスト画面で消したい機器を選んで「消去」にタッチします。確認画面が表示されたら「はい」にタッチします。

Wi-Fi 接続を切断／接続する

接続している Wi-Fi ネットワークを切断できます。また、Wi-Fi ネットワークを選んで接続できます。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと [Bluetooth/Wi-Fi 設定] にタッチします。
- 2 [Wi-Fi 設定] にタッチし、「切断」にタッチします。



- 「切断」が「接続」に変わります。
- 3 Wi-Fi に接続する場合には、リストから Wi-Fi 通信機器を選んでタッチし、「接続」にタッチします。

Wi-Fi 接続優先順位を変更する

自動で接続する Wi-Fi 通信機器の優先順位を設定できます。1 番から順に優先順位が高くなります。

- Wi-Fi 接続を自動で行うかどうか設定できます。初期設定値は「する」です。
⇒「Wi-Fi 自動接続設定」(199 ページ)

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと [Bluetooth/Wi-Fi 設定] にタッチします。
- 2 [Wi-Fi 設定] にタッチし、「優先順位変更」にタッチします。



- 3 リストの変更したい機器にタッチし、「▲上へ」または「▼下へ」にタッチします。タッチするたびにリストの上または下へ移動します。
- 4 順位変更が完了したら「完了」にタッチします。

Wi-Fi 自動接続設定

Wi-Fi 接続を自動で行うかどうか設定できます (初期設定値は「する」)。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「設定」にタッチしたあと [Bluetooth/Wi-Fi 設定] にタッチします。
- 2 [Wi-Fi 設定] にタッチし、「詳細設定」にタッチします。



- 3 [自動接続] にタッチし、[する] または [しない] にタッチします。

アドバイス

- 優先して接続するアクセスポイントを設定できます。
⇒「Wi-Fi 接続優先順位を変更する」(199 ページ)

更新可能なデータを自動で確認する

本機の電源を入れた時に自動でサーバーへ接続し、更新可能なコンテンツの有無を確認することができます(初期設定値は「する」)。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [Bluetooth/Wi-Fi 設定] にタッチします。
- 2 [Wi-Fi 設定] にタッチし、[詳細設定] にタッチします。



- 3 [自動更新情報確認] にタッチし、[する] または [しない] にタッチします。

アドバイス

- 「する」に設定した場合、本機起動時にサーバーとのデータ通信が発生します。
 - ・更新可能なコンテンツがある場合、ダウンロード可能リストを表示するかメッセージが表示されます。「はい」にタッチするとダウンロード可能リスト画面が表示されます。
- ⇒「Wi-Fi 通信でデータ更新を行う」(208 ページ)

利用周波数帯域を設定する

機器検索・自動接続の際に、表示・接続する周波数帯域を指定できます(初期設定値は「自動」)。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [Bluetooth/Wi-Fi 設定] にタッチします。

- 2 [Wi-Fi 設定] にタッチし、[詳細設定] にタッチします。



- 3 [利用周波数帯域] にタッチし、[自動] [2.4G] [5G] のいずれかにタッチします。

ダウンロードを自動で再開する

ダウンロード途中の更新データがある場合、Wi-Fi 接続した時に自動的にダウンロードを再開するかどうか設定できます(初期設定値は「する」)。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [Bluetooth/Wi-Fi 設定] にタッチします。
- 2 [Wi-Fi 設定] にタッチし、[詳細設定] にタッチします。



- 3 [ダウンロード自動再開] にタッチし、[する] または [しない] にタッチします。

Wi-Fi 機器の詳細情報を見る

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [Bluetooth/Wi-Fi 設定] にタッチします。
- 2 [Wi-Fi 設定] にタッチします。

- 3 Wi-Fi 通信機器を選んで  にタッチします。選んだ機器の詳細情報画面が表示されます。



自機情報を表示する (Wi-Fi)

本機の MAC アドレス、IP アドレスを表示します。

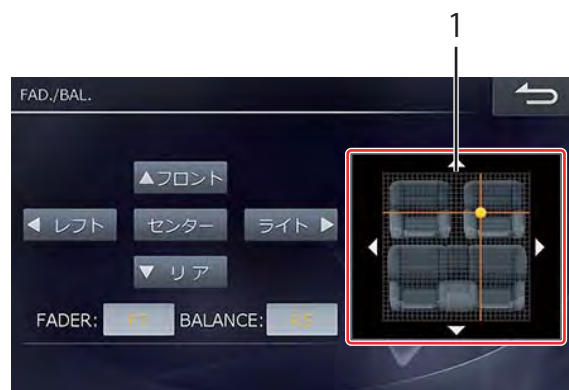
- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [設定] にタッチしたあと [Bluetooth/Wi-Fi 設定] にタッチします。
- 2 [Wi-Fi 設定] にタッチします。
- 3 [自機情報] にタッチします。本機の情報画面が表示されます。



フェダー／バランスの設定

前後・左右のスピーカーの音量バランスを別々に調整することにより、届きにくいスピーカーからの音を強調できます（初期設定値は、FADER：0、BALANCE：0）。

- 1  AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [音質調整] にタッチします。
- 2 [FAD./BAL.] にタッチします。
- 3 バランスポイントエリア内のお好みのポイントにタッチします。



1. バランスポイントエリア

FADER：F15 ～ R15

BALANCE：L15 ～ R15

- 微調整するときは、[フロント] [リア] [LEFT] [RIGHT] にタッチしてください。
- 初期設定値「FADER 0、BALANCE 0」に戻すには、[センター] にタッチします。

アドバイス

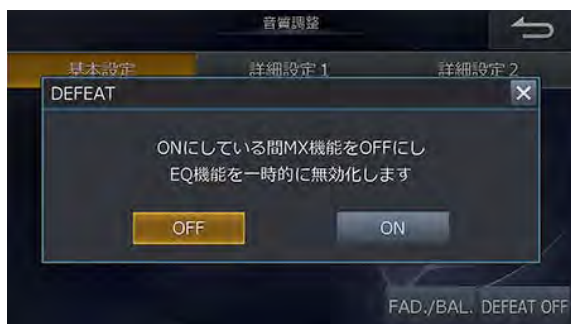
- リアビジョンのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別 TV・DVD・HDMI モード時は操作できません。

DEFEAT (ディフィート) の ON / OFF

「ON」に設定すると、MX を OFF、EQ を初期設定状態に戻します。「OFF」にすると、設定した値に戻ります（初期設定値は「OFF」）。

- 1  AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [音質調整] にタッチします。

- 2 ディフェイトを ON にするには、[DEFEAT OFF] にタッチし、[ON] にタッチします。



- 3 ディフェイト機能を解除するには、[DEFEAT ON] にタッチし、[OFF] にタッチします。

アドバイス

- タッチスイッチは OFF 設定時は [DEFEAT OFF]、ON 設定時は [DEFEAT ON] に変わります。

車種専用サウンドを設定する

車種専用チューニングで設定した後に、使用する条件によって車室内の音響を変更することができます。

- 1 AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [音質調整] にタッチします。
- 2 [基本設定] タブにタッチし、[車種専用サウンド] にタッチします。
- 3 [その他車種] にタッチします。
 - メーカーと車種を選択して設定する場合は、車種専用チューニング操作の手順 4 以降を参照してください。
⇒「車種専用チューニングを行う」(184 ページ)
- 4 一覧からお客様の車種にタッチします。



- 5 ドライバーズシートの位置を [左ハンドル] または [右ハンドル] にタッチして選びます。



- 6 フロントスピーカーを選んでタッチします。



- 7 ツィーターの有無を選んでタッチします。



- 8 リアスピーカーの設置位置を選んでタッチします。



9 サブウーファーの有無を選んでタッチします。



10 シートの材質を選んでタッチします。



- 車のシートに皮製の生地が使われている場合は「レザー」、クロス地の場合は「モケット」、皮とクロスの両方を使用している場合は「ハーフレザー」を選択してください。

11 選択内容が表示されます。内容を確認し、[完了]にタッチします。



アドバイス

- 車種専用サウンドの設定は Media Xpander ・ ParametricEQ ・ T.CORR ・ X-OVER ・ サブウーファー 設定の項目に反映され、BASS MAX EQ の設定が解除されます。
- リアビジョンのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別 TV ・ DVD ・ HDMI モード時は操作できません。
- スピーカーのサイズとシートタイプは必ず選択してください。

- フロントスピーカーのサイズ・ツイーターの有無・シートタイプについてご不明な点はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ディフューザーが ON のときは操作できません。
- 走行中は安全のため、操作を行うことはできません。

MX モードの設定

MX (Media Xpander) は、FM や CD などメディアごとにボーカルや各楽器の音を際立たせ、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます (初期設定値は「OFF」)。

現在再生しているソース (メディア) のレベルを設定します。設定できるレベルはメディアにより異なります。ここでは CD の設定画面を例にして説明します。

< MX レベル表示 >

	レベル 1	レベル 2	レベル 3
FM			
CD			
COMPRESS MEDIA / HDMI / TV / BT AUDIO			
DVD	MOVIE	MOVIE	DVD MUSIC
外部入力 / ゲーム / ドライブレコーダー / ウォークマン (R)	圧縮オーディオ	MUSIC	MOVIE

- FM：こもりがちな中高域の音をよりクリアにし、全帯域にバランスのとれた音を再生します。
- CD：豊富な情報量を活かしたメリハリのある音を再生します。
- COMPRESS MEDIA / 外部入力：圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生します。
- DVD：
 - MOVIE：映画ディスクのセリフ部分をより鮮明に再生します。
 - DVD MUSIC：ミュージッククリップなどのディスクに対し、メリハリのある音を再生します。
- MP3 ・ WMA ・ AAC ・ SD AUDIO ・ iPod ・ USB AUDIO は「COMPRESS MEDIA」に割り当てられます。
- DVD-V と DVD-VR は「DVD」に割り当てられます。

- 1  AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [音質調整] にタッチします。
- 2 [基本設定] タブにタッチし、[Media Xpander] にタッチします。
- 3 「ALL MX OFF/ON」の [ON] にタッチします。



- MX 機能を使用しない場合は「OFF」に設定して、操作を終了します。
- 4   (レベル 1)  (レベル 2)  (レベル 3) のいずれかにタッチして、MX レベルを設定します。

アドバイス

- 手順 3 の操作で [OFF] にタッチすると、すべてのソースで OFF となります。
- 手順 4 の操作で [OFF] にタッチすると、再生しているソースのみ OFF になります。
- MX レベルは 1 → 2 → 3 の順で効果が大きくなります。
- AM ラジオは、MX を設定できません。
- ディフューザーが ON のときは操作できません。
- CD 録音中に視聴している音は SD カードに録音した AAC であるため、COMPRESS MEDIA に割り当てられます。
- COMPRESS MEDIA ・ HDMI ・ TV ・ BT AUDIO は、いずれかの設定を変えると同一 MX レベルに設定変更されます。

メーカー設定のイコライザー特性を選ぶ (Bass Max EQ)

あらかじめ設定されているイコライザー特性を選択し、好みの音質に設定できます (初期設定値は「FLAT」)。

- 1  AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [音質調整] にタッチします。

- 2 [基本設定] タブにタッチし、[Bass Max EQ] にタッチします。
- 3 設定したいジャンルにタッチします。



設定値：FLAT、POPS、ROCK、NEWS、JAZZ、ELECTRICAL DANCE、HIP HOP、EASY LISTENING、COUNTRY、CLASSICAL

アドバイス

- ディフューザーが ON のときは操作できません。
- Bass Max EQ で各音響特性を選択すると選択した EQ カーブが ParametricEQ へ反映されます。
⇒「イコライザーカーブの設定 (ParametricEQ)」(204 ページ)
- 画面右側に表示されている EQ カーブはイメージです。

イコライザーカーブの設定 (ParametricEQ)

ParametricEQ (パラメトリック EQ) は、中心周波数・Q (帯域幅)・レベルをそれぞれ調整できるので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正や音創りを行うことができます。

- 1  AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [音質調整] にタッチします。
- 2 [詳細設定 1] タブにタッチし、[ParametricEQ] にタッチします。

- 3 「チャンネル」にタッチし、調整するチャンネルを選びます。または設定したいチャンネルのエリアにタッチします。



- 「チャンネル」にタッチするたびにチャンネルが切りかわります（チャンネル1～チャンネル9）。

- 4 「周波数」の◀または▶にタッチして周波数を調整します。

設定値：

チャンネル1：20Hz～100Hz
 チャンネル2：63Hz～315Hz
 チャンネル3：125Hz～500Hz
 チャンネル4：250Hz～1kHz
 チャンネル5：500Hz～2kHz
 チャンネル6：1kHz～4kHz
 チャンネル7：2kHz～7.2kHz
 チャンネル8：5.8kHz～12kHz
 チャンネル9：9kHz～20kHz

- 5 「Q調整」の◀または▶にタッチしてバンド幅を調整します。

設定値：1／2／3

- 6 「レベル」の▲または▼にタッチしてレベルを調整します。

設定値：-7～7

- 7 さらに別のチャンネルを設定するには、手順3～6を繰り返し、すべてのチャンネルを設定します。

- 8 調整した設定値を記憶するには、[プリセット1] [プリセット2] [プリセット3] のいずれかにタッチし続けます。

- [プリセット1] [プリセット2] [プリセット3] にタッチすると、記憶した設定値を呼び出すことができます。

アドバイス

- [フラット] にタッチすると、設定した内容をフラットの状態にできます。

- ディフィートがONのときは操作できません。
- 隣り合うチャンネルの周波数を超えて設定することはできません。
- ParametricEQ設定時は、BASS MAX EQの設定は解除されます。
- 走行中は安全のため、操作を行うことはできません。

タイムコレクションの設定(T.CORR)

音が各スピーカーから耳に届くまでの時間を補正し、距離の違いによって生じる到達時間差を調整することができます。

- 1 AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [音質調整] にタッチします。
- 2 [詳細設定1] タブにタッチし、[T.CORR] にタッチします。
- 3 [補正時間] または [補正距離] にタッチして、補正する時のモードを選びます。



補正時間：時間補正值で調整します。単位はms。

スイッチには [補正距離] と表示されます。

補正距離：リスニングポジションと各スピーカーまでの距離で調整します。単位はcm。スイッチには [補正時間] と表示されます。

- タッチするたびにタッチスイッチ表示と補正モードが切りかわります。
- 4 フロント／リアスピーカーの◀または▶にタッチして、時間補正值または距離を調整します
 - 5 サブウーファースの▲または▼にタッチして、時間補正值または距離を調整します。
 - 6 調整した設定値を記憶するには、[プリセット1] [プリセット2] [プリセット3] のいずれかにタッチし続けます。
- [プリセット1] [プリセット2] [プリセット3] にタッチすると、記憶した設定値を呼び出すことができます。

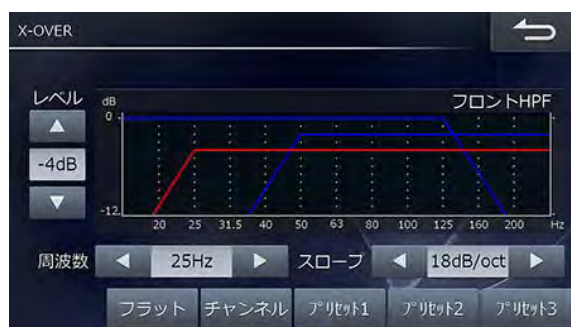
アドバイス

- [フラット] にタッチすると、設定した内容をフラットの状態にできます。
- 1ch・9.9ms まで、5ch 合計 20ms まで調整できます。
- サブウーファーを「OFF」に設定している場合は、タイムコレクションの設定画面に表示されません。
- リアビジョンのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別 TV・DVD・HDMI モード時は操作できません。
- 走行中は安全のため、操作を行うことはできません。

X-OVER の設定

HPF（ハイパスフィルター）／LPF（ローパスフィルター）を設定することで好みの音響空間を再現することができます。

- 1  AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [音質調整] にタッチします。
- 2 [詳細設定 1] タブにタッチし、[X-OVER] にタッチします。
- 3 [チャンネル] にタッチし、調整するチャンネルを選びます。



フロント HPF → リア HPF → サブウーファー LPF → フロント HPF

HPF：設定した周波数より上の周波数帯域を出力します。

LPF：設定した周波数より下の周波数帯域を出力します。

- [チャンネル] にタッチするたびにチャンネルが切りかわり、選択したチャンネルが赤色で表示されます。
- 4 「周波数」の  または  にタッチして、カットオフ周波数（クロスオーバーポイント）を選びます。
設定値：20Hz ～ 200Hz

- 5 「スロープ」の  または  にタッチして、HPF または LPF のスロープを調整します。
設定値：0 / 6 / 12 / 18 / 24dB/oct
 - 6 「レベル」の  または  にタッチして、出力レベルを調整します。
設定値：-12 ～ 0dB
 - 7 さらに別のチャンネルを設定するには、手順 3 ～ 6 を繰り返し、すべてのチャンネルを設定します。
 - 8 調整した設定値を記憶するには、[プリセット 1] [プリセット 2] [プリセット 3] のいずれかにタッチし続けます。
- [プリセット 1] [プリセット 2] [プリセット 3] にタッチすると、記憶した設定値を呼び出すことができます。

アドバイス

- [フラット] にタッチすると、設定した内容をフラットの状態にできます。
- サブウーファーが OFF モードのときは、サブウーファーの X-OVER は設定できません。
- 接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。
- リアビジョンのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別 TV・DVD・HDMI モード時は操作できません。
- HPF（ハイパスフィルター）はある周波数より下の音域（低域）をカットして、高域の成分を通すフィルターです。
- LPF（ローパスフィルター）はある周波数より上の音域（高域）をカットして、低域の成分を通すフィルターです。
- スロープとは周波数が 1 オクターブ高くまたは低くなったとき、信号が何 dB 減衰するかを表す値です。
- スロープの数値が大きいほど傾きは急になります。
- スロープを 0（OFF）にすると、信号がフィルターを通過しないため効果はなくなります。
- 走行中は安全のため、操作を行うことはできません。
- 【ご注意】接続しているスピーカーの推奨クロスオーバー周波数にあわせて調整してください。スピーカーの推奨クロスオーバーを必ず確認してください。推奨クロスオーバー範囲外の調整は、スピーカー破損の原因となります。クロスオーバー推奨値以外のご使用により製品の破損、故障等が生じても、責任は負いかねますのでご注意ください。

サブウーファーを設定する

サブウーファーを接続する場合は ON に設定してください（初期設定値はサブウーファー「OFF」、PHASE「0°」）。

- 1 **🔊** AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [音質調整] にタッチします。
- 2 [詳細設定 2] タブにタッチし、[サブウーファー設定] にタッチします。
- 3 「サブウーファー」の **◀** または **▶** にタッチして、「ON」または「OFF」に設定します。



- 4 サブウーファーを「ON」に設定した場合は、「PHASE」の **◀** または **▶** にタッチして位相を切りかえます。好みの音を得られる方を選んでください。

アドバイス

- リアビジョンのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別 TV・DVD・HDMI モード時は操作できません。
- 走行中は安全のため、操作を行うことはできません。

サブウーファー出力レベルの調整

サブウーファー ON に設定した場合のみ、出力レベルの調整が表示され、設定できます（初期設定値は「0」）。

- 1 **🔊** AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [音質調整] にタッチします。

- 2 [サブウーファーレベル] の **◀** または **▶** にタッチして出力レベルを調整します。



設定値：0 ～ 15

ソース間の音量レベルを調整する

ソースごとに基準となる音量レベルを調整します（初期設定値はいずれも「0 ステップ」）。

- 1 **🔊** AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [音質調整] にタッチします。
- 2 [詳細設定 2] タブにタッチし、[ソース別音量調整] にタッチします。
- 3 音量レベルを調整したいソースにタッチします。
- 4 **◀** または **▶** にタッチして音量レベルを調整し、[完了] にタッチします。



設定値：-14 ～ 14 ステップ

アドバイス

- CD 録音中に視聴している音は「圧縮 AUDIO」で調整します。
- ウォークマン (R) は 14 ステップに設定してください。
- 走行中は安全のため、操作を行うことはできません。

データ更新について

本機データの更新を、Wi-Fi 通信、またはパソコンにダウンロードしたデータを書き込んだメディア（CD / DVD ディスク、SD カード、USB メモリー）を挿入・接続することで行うことができます。

下記データを一括、または個別に更新可能です。

- ・地図データ更新
- ・高速道配信データ更新
- ・本機プログラム更新
- ・車種専用チューニングデータ更新
- ・Gracenote データベース更新
- 更新するデータの容量によっては、一括で更新できない場合があります。
- Wi-Fi 更新については、下記項目を参照してください。
⇒「Wi-Fi 通信でデータ更新を行う」（208 ページ）
- メディア更新については、下記項目を参照してください。
⇒「メディアデータ更新を行う」（211 ページ）
- 地図データ更新については、下記項目を参照してください。
⇒「地図データ更新について」（208 ページ）

アドバイス

- 車種専用チューニングデータを更新すると、本機で設定した調整値などが書きかえられますのでご注意ください。車種専用チューニングの内容については下記項目を参照してください。
⇒「車種専用チューニングを行う」（184 ページ）

地図データ更新について

地図更新には、全国地図データ年度更新と、最新の高速道データだけを更新する高速道配信があります。年度更新と年度更新の間の期間中は、複数回の高速道配信が行われます。

- ◆ 全国の地図データ年度更新サービスは、2018 年度版 / 2019 年度版 / 2020 年度の 3 回の更新を無償で行うことができます。2021 年度以降の地図データ更新は有償の「地図更新データ」が必要になります。
 - ・無料更新にはお客様登録が必要です。
- ◆ 地図データは下記の方法で更新します。
 - Wi-Fi 通信による更新：
1 年分のデータを更新する年度更新と、高速道配信データによる更新を行うことができます。

- 地図更新用データディスク（DVD-ROM）による更新：

Wi-Fi 通信環境が使用できないお客様や一度に 2 年以上以上まとめてデータ更新をする場合など、お客様に地図更新用データディスク（DVD-ROM）を送付し年度更新を行う方法です。

- SD カード、USB メモリーによる更新：
高速道配信データによる更新を行うことができます。

アドバイス

- Wi-Fi による更新時、全国地図年度更新データと高速道配信データがある場合は、高速道配信データは年度更新終了後にダウンロード可能になります。
- 地図更新用データディスク（DVD-ROM）を使用した更新方法については、地図更新ディスクに添付されている取扱説明書を参照してください。

Wi-Fi 通信でデータ更新を行う

Wi-Fi 通信を利用して本機のデータを更新します。

- Wi-Fi 通信は下記のいずれかの方法で設定してください。
⇒「Wi-Fi 接続を設定する - 自動探索」（196 ページ）
⇒「Wi-Fi 接続を設定する - 機器名を入力して登録」（197 ページ）
⇒「Wi-Fi 接続を設定する - WPS 登録」（198 ページ）
- 更新データをダウンロードするために、本機の認証を行ってください。
⇒「認証情報を設定する」（210 ページ）
- 更新されるデータの種類については下記項目を参照してください。
⇒「データ更新について」（208 ページ）

- 1 本機認証を行っていない場合は、認証情報を設定します。
⇒「認証情報を設定する」（210 ページ）

- 2  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「情報 / 更新」にタッチします。

- 3 [Wi-Fi 更新] タブにタッチし、[データ更新] にタッチします。



- 4 [リスト更新] にタッチします。通信後、ダウンロード可能なデータがあればリスト表示されます。



- リスト画面に「地図更新（全国地図年度更新データ）」と「高速道配信」の両方表示されている場合、表示されている「高速道配信」データは年度更新前の地図に対する配信データで、最新データではありません。年度更新後の最新高速道配信データがある場合、「地図更新（全国地図年度更新データ）」をインストールした後に[リスト更新]にタッチするとリスト表示されます。

- 5 データをタッチして選び、[ダウンロード] にタッチします。すべてのデータをダウンロードする場合は[一括ダウンロード] にタッチします。

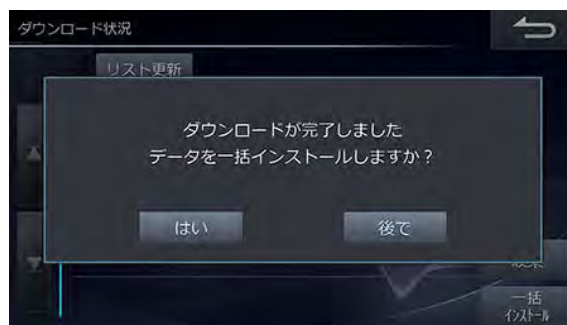
- [一括ダウンロード] にタッチして複数データをダウンロードする場合は確認画面が表示されます。[確認] にタッチします。

- ダウンロードしたデータは、個別にインストールすることはできません。一括インストールのみになるため、インストールを希望しないデータがある場合は、個別にダウンロードしてください。

- ⓘ にタッチすると、データの情報を見ることができます。高速道配信データの場合、さらに詳細な情報を見るには、情報画面で[詳細情報]にタッチします。

- 6 表示された利用規約を読み、承諾する場合は[承諾する] にタッチします。データのダウンロードが開始されます。

- 7 ダウンロードが完了すると確認画面が表示されます。ダウンロードしたデータを一括インストールする場合は[はい] にタッチします。インストールが開始されます。



- データ更新中は、メディアのイジェクトや取り外し、電源 OFF をしないでください。
- [後で] にタッチするとダウンロード状況画面に[一括インストール]が表示されます。タッチするとインストールを開始できます。[破棄] にタッチすると、ダウンロードしたデータを破棄します。

- 8 データ更新後、自動的に本機がリセットされて再起動します。

- プログラム更新、地図更新の場合は続けて本機のアップデートを行います。メディアのイジェクトや取り外し、電源 OFF をしないでください。リセット後再起動して、元の画面に戻ります。
- 地図更新の場合、インストール終了後、バックグラウンドで更新が行われます。更新中は「インストール中」インジケータが表示されます。

アドバイス

- 電源 OFF などダウンロードが中断した場合、Wi-Fi 接続したときにダウンロードを自動で再開するように設定できます。
⇒「ダウンロードを自動で再開する」(200 ページ)

- バックグラウンド更新中は、Wi-Fi 接続および他の更新はできない場合があります。
- Wi-Fi と BLUETOOTH 機能を同時に使用すると、音切れしたり、Wi-Fi 通信が切れる場合があります。その場合は BLUETOOTH 機能を OFF にしてから、Wi-Fi 通信を行ってください。

Wi-Fi 通信のデータ更新履歴を見る

Wi-Fi 通信を利用したデータ更新の履歴が表示されます。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [情報 / 更新] にタッチします。
- 2 [Wi-Fi 更新] タブにタッチし、[更新履歴] にタッチします。更新したデータがリスト表示されます。



-  にタッチすると、データの情報を見ることができます。

アドバイス

- 更新履歴は最大 10 件記憶されています。10 件を超えると古い履歴から削除されます。

認証情報を設定する

Wi-Fi 通信でデータ更新を行うために、認証情報を設定します。認証情報を設定するにはアルパインホームページでのお客様登録、およびユーザーズルームで本機の登録を行い、E-Mail とパスワードを登録する必要があります。必ず登録を行ってください。

<http://www.alpine.co.jp>

<http://www.alpine.co.jp/mobile>

手順 3 の画面に表示されるモデル名とシリアル No. を入力して登録を行います。



- まず本機を Wi-Fi 接続します。下記のいずれかの方法で設定してください。
⇒ 「Wi-Fi 接続を設定する - 自動探索」 (196 ページ)
⇒ 「Wi-Fi 接続を設定する - 機器名を入力して登録」 (197 ページ)
⇒ 「Wi-Fi 接続を設定する - WPS 登録」 (198 ページ)

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [情報 / 更新] にタッチします。
- 2 [Wi-Fi 更新] タブにタッチし、[認証情報設定] にタッチします。



- 3 [E-Mail] にタッチし、入力画面でお客様の E-Mail を入力して [完了] にタッチします。



- 4 [パスワード] にタッチし、入力画面でパスワードを入力して [完了] にタッチします。
- 5 [完了] にタッチします。

アドバイス

- GPS 時刻情報が必要なため、GPS を受信していない場合は本設定を行うことはできません。

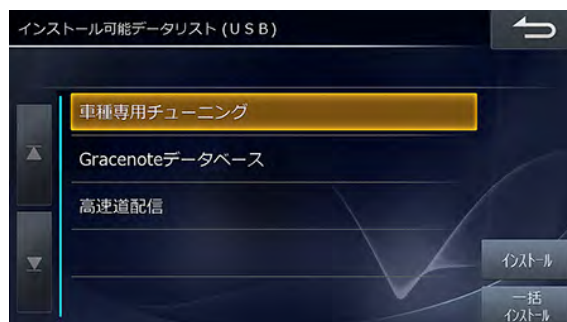
メディアデータ更新を行う

パソコンを利用して更新データをダウンロードし、CD / DVD ディスク、SD カード、USB メモリーに保存して本機に接続するとデータを更新できます。

- お客様登録が必要です。
<http://www.alpine.co.jp>
<http://www.alpine.co.jp/mobile>
- 1 パソコンでアルパインホームページのユーザーズルームにログインし、お使いの機器の「製品サービス」を選びます。
 - 2 取得したいデータを選択してダウンロードし、いずれかのメディアに保存します。
 - SD カードはお客様ご自身で用意したものをご使用ください。本機に添付されている SD カードはデータ更新に使用しないでください。
 - 3 メディアを本機に挿入または接続します。確認画面が表示されたら [はい] にタッチします。インストール可能なデータをリスト表示します。
 - データが自動的に表示されない場合は、 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [情報 / 更新] にタッチします。[メディア更新] タブにタッチし、[Disc で更新] [SD で更新] [USB で更新] のいずれかにタッチします。



- 4 データをタッチして選び、[インストール] にタッチします。すべてのデータをインストールする場合は [一括インストール] にタッチします。



- 5 確認画面が表示されたら [はい] にタッチします。インストールが開始されます。
 - データ更新中は、メディアのイジェクトや取り外し、電源 OFF をしないでください。
- 6 データ更新後、自動的に本機がリセットされて再起動します。
 - プログラム更新、地図更新の場合は続けて本機のアップデートを行います。メディアのイジェクトや取り外し、電源 OFF をしないでください。リセット後、再起動して、元の画面に戻ります。
 - 再起動後、メッセージが表示されたら [確認] にタッチしてメディアを取り外してください。
 - 地図更新の場合、インストール終了後、バックグラウンドで更新が行われます。更新中は「インストール中」インジケーターが表示されます。

アドバイス

- Wi-Fi 通信でダウンロードしたデータがインストールされずにある場合、メディアを使用したデータ更新を行うことはできません。ダウンロードしたデータを破棄してから、操作を行ってください。
⇒「Wi-Fi 通信でデータ更新を行う」(208 ページ)
- メディアに 300 以上ファイルが格納されていると、更新できない場合があります。また、以前の高速度配信データがメディアにあると高速道データ更新ができない場合があります。そのため、メディア内のデータを全削除してから更新データを保存することをお勧めします。
- 複数のメディアに更新データが格納されている場合、1 つのメディアのデータのみ更新を行うことができます。ディスク、SD カード、USB メモリーの順に優先度が高くなります。

- パソコンでデータをダウンロードする際に、個別にダウンロードすると上書きされるデータがあります。必要なデータはまとめてダウンロードしてください。

GPS 情報を表示する

衛星情報画面を表示します。

- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [情報 / 更新] にタッチします。
- 2 [車両情報] タブにタッチし、[GPS 情報] にタッチします。GPS 情報画面が表示され、衛星（GPS・みちびきなど）の受信情報を表示します。



車両情報を表示する

GPS アンテナや周辺機器の接続状況、車速パルスなどの信号の ON / OFF、距離補正学習やヨーレート学習の学習結果を表示できます。

- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [情報 / 更新] にタッチします。
- 2 [車両情報] タブにタッチし、[車両情報] にタッチします。車両情報を表示します。



アドバイス

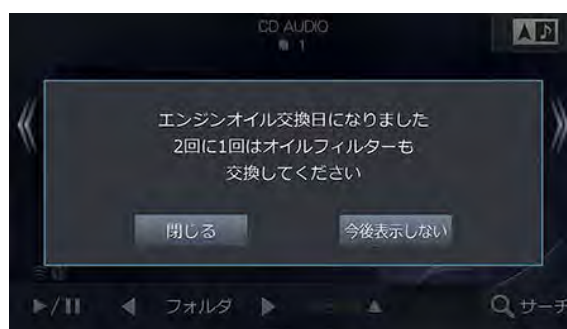
- カメラは、カメラダイレクト接続端子に接続した場合のみ「接続」と表示されます。

- [システム保存] にタッチするとシステム設定を保存します。電源 OFF 時に保存される情報ですので、通常はこの機能を使用する必要はありません。[はい] にタッチすると再起動します。

メンテナンス機能について

メンテナンス機能は、ナビゲーションの GPS カレンダー機能と車速信号を使用して、車のオイルや消耗部品の交換、各種点検などの時期がきたことをお知らせします。

- 1 設定をした日が過ぎる、または設定をした距離を走行すると、ナビゲーションが起動したときに案内が表示されます。表示を消すには [閉じる] にタッチします。[今後表示しない] にタッチすると、次回起動時から案内されません。



アドバイス

- メンテナンス内容および時期の設定はお買い上げいただきました販売店へご相談ください。
- お知らせするメンテナンス時期は、事前に走行距離や年月日をもとに設定した項目をお知らせするものです。お車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。
- メンテナンス機能で計測される走行距離と実際の走行距離で誤差が生じる場合があります。

メンテナンス項目を設定する

お車のメンテナンス案内をする項目と時期を設定できます（初期設定値はすべて「しない」）。

- 日付と距離のどちらか、または日付と距離の両方を設定できます。

- 1 **NAVI** / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [情報 / 更新] にタッチします。

- 2 「車両情報」タブにタッチし、「メンテナンス」にタッチします。



- 3 設定したい項目にタッチします。



- 「その他」項目は、「名称入力」にタッチして名称を設定できます。

- 4 「お知らせ設定」にタッチし、「する」にタッチします。



- 5 「お知らせ日」または「お知らせ開始距離」にタッチし、設定画面で日付または距離を入力します。



- 「お知らせ日」は各種交換・点検日をお知らせする日付を設定します。数字にタッチして日付を入力し、「完了」にタッチします。
- 「お知らせ開始距離」は何キロ走行するとお知らせするかを設定します。[+] または [-] にタッチし、「完了」にタッチします。距離は 500km ずつ増減します。

- 6 「お知らせ日」を設定した場合は「お知らせ開始日」にタッチし、「当日」[3 日前] [7 日前] のいずれかにタッチします。



- 「お知らせ日」で設定した日付の何日前からお知らせメッセージを表示するのかが設定します。

- 7 「完了」にタッチします。

お知らせ日／走行距離をリセットする

入力したお知らせ日、走行した距離（お知らせまでの残距離）をリセットします。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「情報 / 更新」にタッチします。
- 2 「車両情報」タブにタッチし、「メンテナンス」にタッチします。
- 3 リセットしたい項目にタッチします。

- 4 [日付リセット] または [走行距離リセット] にタッチし、確認画面が表示されたら [はい] にタッチします。



- 2 [その他] タブにタッチし、[録音用 SD 情報] にタッチします。録音用 SD カード情報が表示されます。



本機バージョン情報を表示する

使用中のプログラムのバージョンやデータベースの情報を確認することができます。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [情報 / 更新] にタッチします。
- 2 [その他] タブにタッチし、[バージョン情報] にタッチします。バージョン情報が表示されます。



地図更新状況を表示する

地図データ更新履歴が表示されます。データ更新中は、更新状況を確認できます。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [情報 / 更新] にタッチします。
 - 2 [その他] タブにタッチし、[地図更新状況] にタッチします。地図更新状況が表示されます。
- 最終更新が高速道配信データによる更新だった場合、[高速道更新情報] にタッチすると更新した区間がリスト表示されます。[情報] にタッチすると、それぞれの区間の情報を見ることができます。

アドバイス

- 年度更新を行うと、高速道更新情報は消去されます。

録音用 SD カード情報を表示する

録音用 SD カードの総曲数と空き容量およびタイトルデータ (Gracenote データベース情報) を確認できます。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [情報 / 更新] にタッチします。

お問い合わせ先を表示する

本機のお問い合わせ先を表示できます。携帯電話を接続してある場合は、お問い合わせ先に電話をかけることができます。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [情報 / 更新] にタッチします。
- 2 [その他] タブにタッチし、[お問い合わせ] にタッチします。

- 3 お問い合わせ先に電話をかける場合は「発信」にタッチします。



アドバイス

- QRコードを読み取ると、本説明書を表示します。
- 電話番号、電話受付時間などは変更になる場合があります。

オプション機器

ETC について

ETC（Electronic Toll Collection System：有料道路自動料金収受システム）とは、自動車に装備した車載器と料金所に設置したアンテナとの間で無線通信により料金支払いに必要な情報がやりとりされ、ノンストップで自動的に通行料金をお支払いいただけるシステムです。本機では別売の ETC 車載器または ETC2.0 車載器を接続して ETC カードを挿入することにより、料金所の手前で ETC 専用レーンの案内を表示するなど、ナビゲーション機能に連動して ETC 情報を提供します。

- ETC 機能は別売の ETC 車載器（HCE-B053）または ETC2.0 車載器（HCE-B110V / HCE-B110）の接続が必要です。
- ETC 車載器と ETC2.0 車載器は同時に接続することはできません。
- ETC 車載器または ETC2.0 車載器の取扱説明書も参照してください。

ETC 案内を行う

ETC 車載器または ETC2.0 車載器に ETC カードを挿入している場合は、ルート走行中、料金所に近づくとき ETC レーン案内を行います。ETC アンテナから情報を受信すると、利用料金を表示します。

◆ ETC レーン案内



- ETC 案内を行うには、料金所ゲート案内を「する」に設定してください。
⇒「料金所ゲート案内を設定する」（158 ページ）
- 料金所のレーン情報がない場合は、案内は行われません。

ETC 料金履歴を見る

ETC を利用した日時や料金をリスト表示したり、利用したインターチェンジ（IC）名などの詳細情報を確認できます。

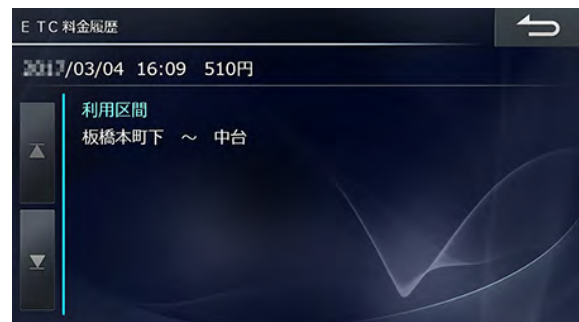
- ETC カードを挿入していないときは利用できません。

- ETC カードより取得できる料金履歴は、最大で 100 件です。それを超えると古い順に消去されます。

- 1 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [情報 / 更新] にタッチします。
- 2 [ETC] タブにタッチし、[料金履歴] にタッチします。



- 3 履歴リストの にタッチすると、乗り降りインターチェンジが表示されます。



アドバイス

- ETC 車載器 / ETC2.0 車載器が接続されていない場合、ETC タブは表示されず、操作を行うことはできません。
- 走行中は安全のため操作できません。

ETC ユーザー情報を見る

ETC 車載器に登録されているユーザー情報を確認します。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で「情報 / 更新」にタッチします。
- 2 [ETC] タブにタッチし、[ユーザー情報] にタッチします。車載器管理番号などのユーザー情報が表示されます。



アドバイス

- ETC 車載器 / ETC2.0 車載器が接続されていない場合、ETC タブは表示されず、操作を行うことはできません。
- 走行中は安全のため操作できません。

ETC2.0 について

ETC2.0 とは、高度道路交通システム (ITS) で採用されている双方向無線通信技術のひとつ DSRC (Dedicated Short Range Communication) を使用したシステムです。5.8GHz 帯を使用し、数十 m での狭い範囲で双方向通信を行い、通信範囲内では最大 4Mbps の通信が可能となっています。すでに ETC でも利用されており、さまざまな ETC2.0 サービス (旧 ITS スポットサービス) を提供することができます。

本機では別売の ETC2.0 車載器 (HCE-B110V / HCE-B110) を接続することにより、道路交通情報や安全運転支援情報を音声や画像で案内したり、渋滞・規制情報を考慮したルート探索ができます。

⇒「VICS について」(76 ページ)

- ◆ 安全運転支援
走行ルート上に渋滞や落下物などがある場合、簡易図形と音声で注意喚起を行います。



- ◆ 道路交通情報提供
広範囲の道路の渋滞情報や、簡易図形と音声での道路交通状況の提供を行います。



- ◆ その他の情報提供
ITS スポット (ETC2.0 の路側アンテナ) で、道の駅・有料道路のサービスエリア・パーキングエリアなどのホームページを表示して地域観光情報や施設情報にアクセスすることができます。
⇒「ETC2.0 のブラウザ機能を使う」(218 ページ)

- 別売の ETC2.0 車載器の接続が必要です。
- ETC については下記項目を参照してください。
⇒「ETC について」(216 ページ)
- ETC2.0 車載器接続時には、ETC 車載器は接続できません。
- ETC2.0 車載器の取扱説明書も参照してください。

アドバイス

- ETC2.0 サービスで提供される情報によっては対応できない場合があります。
- ETC2.0 サービスについては、国土交通省のホームページを参照してください。

<http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/etc2/index.html>

ETC 料金履歴を見る (ETC2.0)

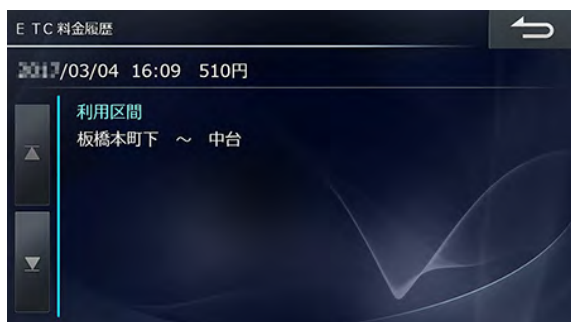
ETC を利用した日時や料金をリスト表示したり、利用したインターチェンジ (IC) 名などの詳細情報を確認できます。

- ETC カードを挿入していないときは利用できません。
- ETC カードより取得できる料金履歴は、最大で 100 件です。それを超えると古い順に消去されます。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [情報 / 更新] にタッチします。
- 2 [ETC2.0] タブにタッチし、[料金履歴] にタッチします。



- 3 履歴リストの  にタッチすると、乗り降りインターチェンジが表示されます。



アドバイス

- ETC2.0 車載器が接続されていない場合、ETC2.0 タブは表示されず、操作を行うことはできません。

- 走行中は安全のため操作できません。

ETC2.0 ユーザー情報を見る

ETC2.0 車載器に登録されているユーザー情報を確認します。

- 1  NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [情報 / 更新] にタッチします。
- 2 [ETC2.0] タブにタッチし、[ユーザー情報] にタッチします。車載器管理番号などのユーザー情報が表示されます。



アドバイス

- ETC2.0 車載器が接続されていない場合、ETC2.0 タブは表示されず、操作を行うことはできません。
- 走行中は安全のため操作できません。

ETC2.0 のブラウザ機能を使う

道の駅や有料道路のサービスエリア・パーキングエリアなどに設置されている ITS スポットで周辺地域の観光情報や施設情報を閲覧することができます。ETC2.0 のブラウザ機能が利用できる ITS スポットでは、エリア内に入ると案内メッセージが表示されます。メッセージが表示されたら [はい] にタッチします。

- 1 ブラウザ画面をメニューから表示するには、 NAVI / [MENU] スイッチを押し、ナビメニュー画面で [情報 / 更新] にタッチします。

- 2 [ETC2.0] タブにタッチし、[ブラウザ] にタッチします。



[前へ]：前のページに戻ります。

[次へ]：次のページに進みます。

[中止]：通信・画像の表示を中止します。ブラウザでの音声読み上げ中にタッチすると音声読み上げを停止します。

[再表示]：現在開いているページを再表示します。

[Home]：Home 画面に戻ります。

[タイトル表示]：ページタイトルを表示します。

[全画面]：全画面表示します。

- ITS スポットから離れると、接続は自動的に切断されます。

アドバイス

- 走行中は安全のためブラウザ操作できません。ITS スポットに完全に停車してから操作してください。
- カーナビゲーション以外の機器による閲覧を前提としたページは正しく表示できない場合があります。
- 電波状況によっては、ITS スポットからの電波を受信できない場合や情報が正しく表示されない場合があります。また、ブラウザ機能（インターネット接続）の通信速度が低下する場合があります。
- Wi-Fi 接続中は ITS スポットで接続することはできません。
- ETC2.0 車載器が接続されていない場合、ETC2.0 タブは表示されず、操作を行うことはできません。

カメラについて

本機は別売のフロントカメラ、リアカメラ、サイドカメラ、コーナーカメラまたはルームカメラを接続できます。別売のインターフェースボックス（IFB-N100）を接続した場合は、サイドカメラ、コーナーカメラ、ルームカメラを最大3台接続することができます。フロントカメラ、サイドカメラを装着した場合、本機のオプションキー、別売のカメラダイレクトキー（HCE-CS100G）またはボイスタッチで簡単にカメラ映像に切りかえられます。

- ◆ リアカメラ
バックギアにシフトすると、本機の画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド（車両の車幅や距離感覚を補う補助マーク）を映すことができます。
 - ◆ フロントカメラ
見通しの悪い道路などで車両前方の状況を確認できます。
 - ◆ サイドカメラ
車のミラーなどに装着したサイドカメラの映像を、本機に表示できます。
 - ◆ コーナーカメラ
右ハンドル車の場合は車両の左前方に装着し、特に狭い道路で、右左折時に死角となる車両前方の状況を確認することができます。
 - ◆ ルームカメラ
ダブルゾーンコミュニケーションで使用します。ルームカメラを装着すると、後部座席の映像を見ながら会話できます。
⇒「ダブルゾーンコミュニケーション」（27 ページ）
- カメラ接続時の注意
- 【警告】
- ・運転者は走行中に本機のカメラ映像を注視しないでください。運転者が走行中、画面を注視することは法律で禁止されています。
 - ・リアカメラ・フロントカメラ・サイドカメラ・コーナーカメラをご使用の際は、事故防止のため、カメラ画像だけでなく、必ず目視やルームミラー/ドアミラーにより、周囲の安全を直接確認をしながら運転してください。

・リアカメラ・フロントカメラ・サイドカメラ・コーナーカメラはドライバーの視界を補助するためのものであり、全ての危険および障害物をカメラで映し出せるものではありません。

【注意】

- ・カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なるため、注意が必要です。
- ・乗車人数や積載量により車両が傾き、画面のリアカメラガイドの示す位置と実際の路面上の距離や障害物との距離が変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

アドバイス

- 接続しているカメラ側の取扱説明書も参照してください。
- カメラダイレクトキーを接続する場合の操作については、カメラダイレクトキー側の取扱説明書も参照してください。
- タイヤおよびサスペンションを交換すると、画面に表示される距離目安マークやガイドの示す位置に誤差が生じることがあります。
- 本機起動直後は下記の表示・操作を行うことができません。
 - ・シフトレバーをバックギア（R）に入れたときのリアカメラガイド表示
 - ・シフトレバーをバックギア（R）に入れたときのリアカメラ映像パターン切りかえ
 - ・フロントカメラの速度連動表示
 - ・フロントカメラ／サイドカメラの地点連動表示
 - ・コーナーカメラのクリアランスソナー連動表示
- 以下のような状況では使用しないでください。
 - ・凍結したりすべりやすい路面または雪道
 - ・ドアが完全に閉まっていないとき
 - ・タイヤチェーンや応急タイヤを使用しているとき
 - ・坂道など平坦でない道

リアカメラの映像を表示する

シフトレバーをバックギア（R）に入れることで、自動的にリアカメラ映像を表示できます。

- ◆ 本機にリアカメラを接続した場合はリアカメラ接続設定を「あり」に設定してください。また、RCAケーブルで接続を行う場合は汎用カメラ接続を「リアカメラ」に設定してください。
 - ⇒「リアカメラを接続する」（169 ページ）
 - ⇒「汎用カメラを接続する」（172 ページ）
- 接続するカメラによっては、自動的にリアカメラ接続が「あり」に設定されます。

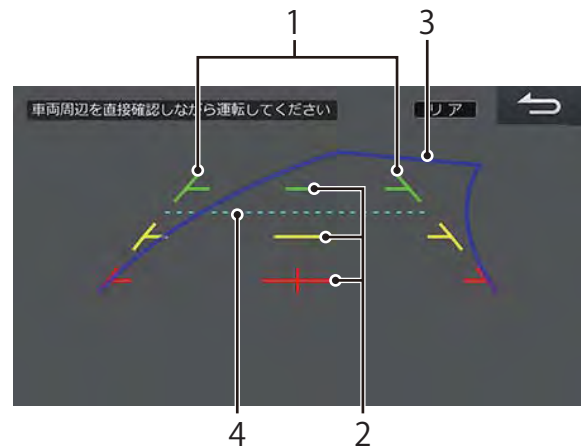
- 1 シフトレバーをバックギア（R）に入れると、後方の映像が画面に映し出されます。
- 2 元の画面に戻るには、シフトレバーをバックギア（R）以外に入れます。
 - リアカメラ映像表示中、 にタッチするか、[AV]、 AUDIO、[MODE]、 NAVI、[MENU]、[現在地]、[*]（オプションキー）スイッチを押すと、スイッチに応じた画面が表示されます。

アドバイス

- シフトレバーをバックギア（R）に入れたまま現在地画面やメニュー画面を表示した場合、画面に表示される「リアカメラ」にタッチすると、リアカメラ画面が表示されます。

リアカメラガイド線の見かた

◆ ガイド線の見かた



■ 固定ガイド線

1. 車幅延長マーク（手前より 赤色、黄色、緑色のライン）
車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたいときの進路の目安を示します。

2. 距離目安マーク

- クルマの後方（バンパー後端から）の距離を示します。
- ・それぞれの中心位置で、約 0.5m 先（赤色）、約 1m 先（黄色）、約 2m 先（緑色）を示します。

■ ステアリング連動ガイド線

3. 予測進路ガイド線（青色のライン）
車両のステアリング操作に連動し、車両の予想進路を表示します。

・ステアリング連動ガイドはステアリング連動対応車種とのCAN接続が必要です。また車種専用チューニングで対象車種および対象リアカメラを選択した場合のみ表示されます。

⇒「販売店設定をする」(10 ページ)

⇒「車種専用チューニングを行う」(184 ページ)

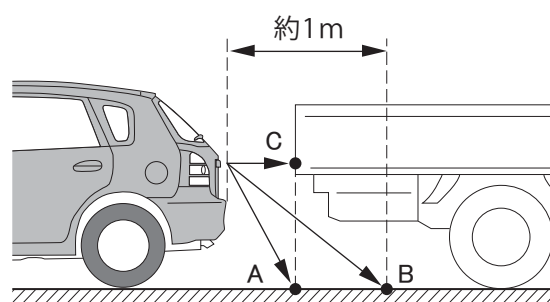
■バックドア開閉ガイド線

4. バックドアガイド線 (水色のライン)

バックドア (トランク) の開け閉めスペースを考慮したガイド線を表示します。

- ・車種専用チューニングで対象車種を選択した場合のみ表示されます。
- ・車や路面の状況により映る範囲は異なることがあります。
- ・カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- ・映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- ・車両によりガイドが左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。
- ・車幅延長マークは路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映しだされた場合は実際の距離感とは異なります。

＜A、B、C の位置＞



画面では距離目安マークにより約 1m 先 (B の位置) にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には A の位置まで後退するとぶつかります。画面では A、B、C の順に近く見えますが実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A や C より遠い距離にあります。

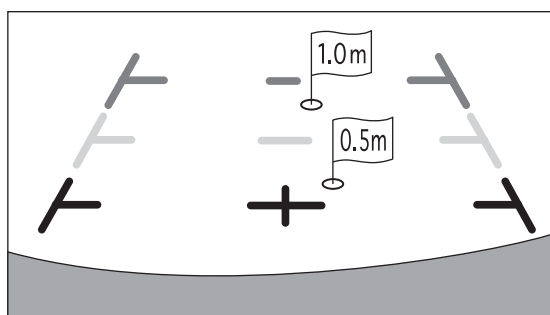
アドバイス

- ガイド線の調整方法は下記項目を参照してください。
⇒「リアカメラのガイドを調整する」(172 ページ)
- 車種専用チューニングを設定した後はリアカメラガイド調整は行わないでください。お車の状態によりガイド線の微調整が必要な場合は調整を行ってください。
- ナビゲーション起動時は、ガイド線が表示されるまでに時間がかかります。

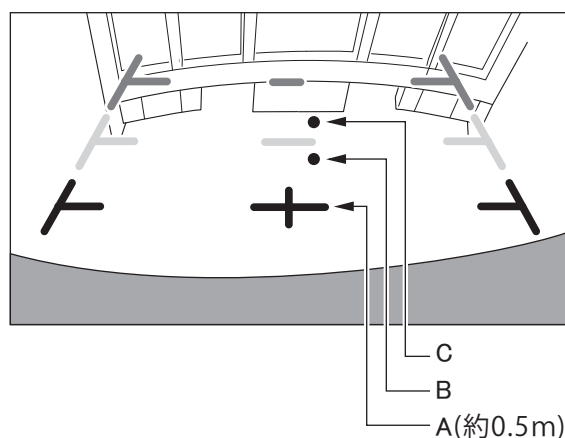
リアカメラガイド線と実際の路面の誤差について

以下の状態のときは画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます (イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します)。

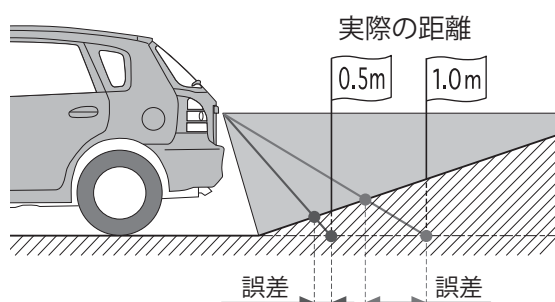
■急な上り坂が後方にあるとき



- ◆ 距離目安マーク
距離目安マークは路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

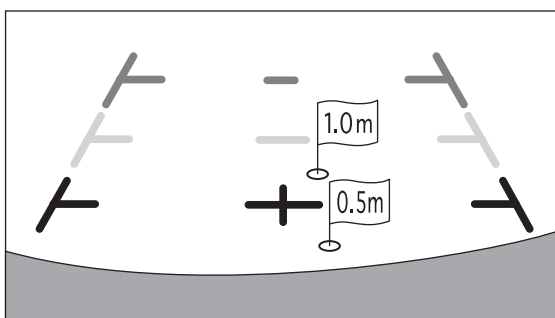


<車の状況>

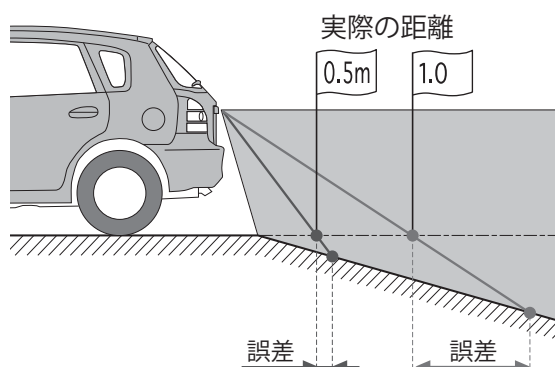


距離目安マークは平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安マークが表示されます。例えば上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くに見えるようになります。同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■急な下り坂が後方にあるとき



<車の状況>



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安マークが表示されます。そのため下り坂に障害物があった場合には、実際より近くに見えるようになります。同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

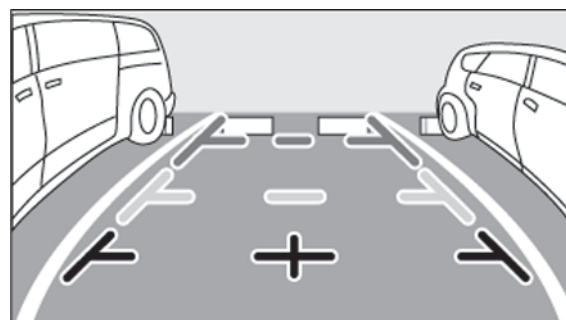
リアカメラ映像パターンを切りかえる

ビュー切り換え機能のあるカメラ接続時は本機から映像パターンの切り換え操作を行うことができます。

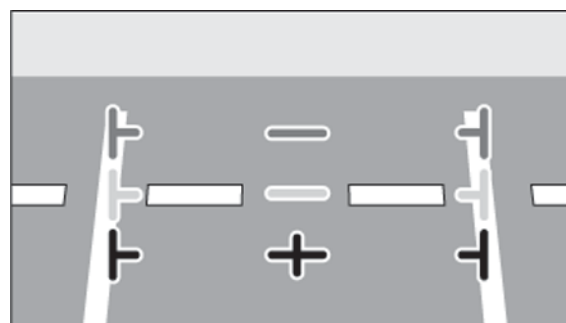
- 1 カメラ映像表示中に画面にタッチし、[パノラマ] [コーナー] [トップ] [バック] のいずれかにタッチします。



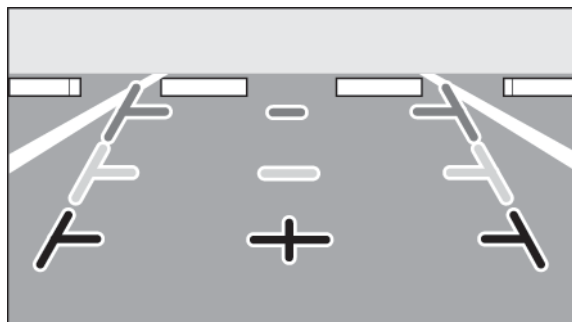
- ◆ 映像パターンによってガイド線の表示のしかたが異なります。
<パノラマビュー表示例>



<トップビュー表示例>



＜バックビュー表示例＞



・映像パターンが「コーナー」に設定されている場合は、ガイド線は表示されません。

- 映像パターンについて詳しくはカメラの取扱説明書を参照してください。

アドバイス

- ステアリング連動ガイド線はバックビューのみ表示されます。

フロントカメラの映像を表示する

フロントカメラ映像は、本機のオプションキー、別売のカメラダイレクトキー（HCE-CS100G）またはボイスタッチ操作して表示します。また、速度や指定した地点に連動して、自動的に表示することもできます。

- ◆ 本機にフロントカメラを接続した場合はフロントカメラ接続設定を「あり」に設定してください。
⇒「フロントカメラを接続する」（168 ページ）
・接続するカメラによっては、自動的にフロントカメラ接続が「あり」に設定されます。
- ◆ フロントカメラ接続を設定すると、オプションキーの長押しに「フロントカメラ」が自動的に割り当てられます。ここでは自動的に長押しに割り当てられた状態での操作を説明します。1 回押しに割り当てることもできます。
⇒「オプションキーに機能を登録する」（24 ページ）
・カメラダイレクトキー設定が「あり」の場合は、オプションキー操作でフロントカメラ映像を表示することはできません。
- ◆ 別売のカメラダイレクトキー（HCE-CS100G）を接続した場合は、カメラダイレクトキーを操作してフロントカメラ映像を表示します。ダイレクトキー接続設定を「あり」に設定してください。
⇒「カメラダイレクトキーを接続する」（167 ページ）

◆ 速度連動表示／地点連動表示

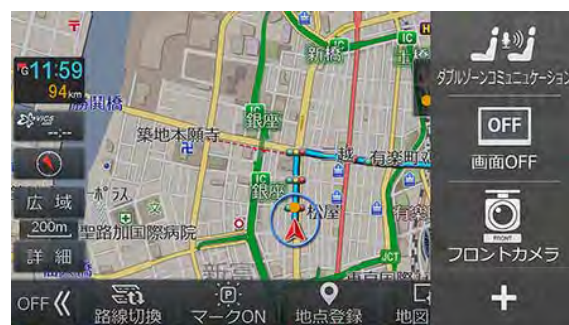
・車が減速し停止前（8km/h くらい）になった時に、自動的にフロントカメラの映像を本機に表示させることができます。

⇒「フロントカメラ映像を自動的に表示する（速度連動）」（169 ページ）

・あらかじめフロントカメラの映像を表示したい地点を登録しておく、その地点で自動的にフロントカメラの映像を本機に表示させることができます。

⇒「フロントカメラ映像を自動的に表示する（地点連動）」（169 ページ）

- 1 [*]（オプションキー）を 1 秒以上押し、[フロントカメラ] にタッチします。フロントカメラ映像が表示されます。



- 2  にタッチすると、元の画面に戻ります。

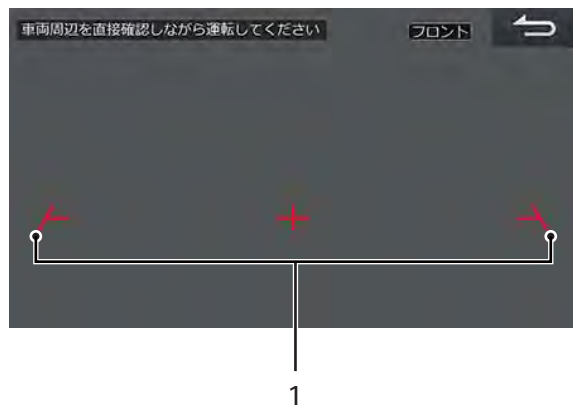
- フロントカメラ映像表示中に [AV]、 AUDIO、[MODE]、 NAVI、[MENU]、[現在地]、[*]（オプションキー）スイッチを押すと、スイッチに応じた画面が表示されます。

アドバイス

- フロントカメラ・カメラダイレクトキーの取扱説明書も参照してください。
- リアカメラ表示時は、フロントカメラ映像を表示することはできません。

フロントカメラガイド線の見かた

◆ ガイド線の見かた



1. 車幅マーク

車幅の目安を示します。

- ・車や路面の状況により映る範囲は異なることがあります。
- ・カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- ・映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- ・車両によりガイドが左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

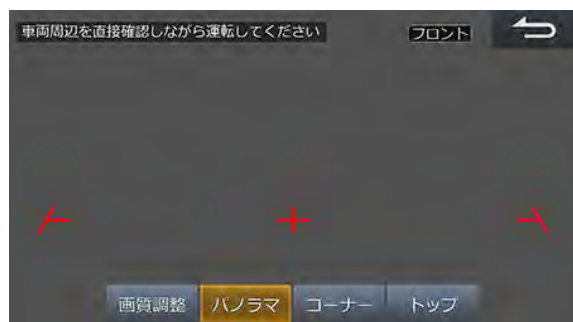
アドバイス

- フロントカメラのガイド線の初期設定は OFF に設定されています。
⇒「ガイド表示を ON / OFF する」(227 ページ)
- ガイド線の調整方法は下記項目を参照してください。
⇒「フロントカメラのガイドを調整する」(168 ページ)

フロントカメラ映像パターンを切りかえる

ビュー切り換え機能のあるカメラ接続時は本機から映像パターンの切り換え操作を行うことができます。

- 1 カメラ映像表示中に画面にタッチし、[パノラマ] [コーナー] [トップ] のいずれかにタッチします。

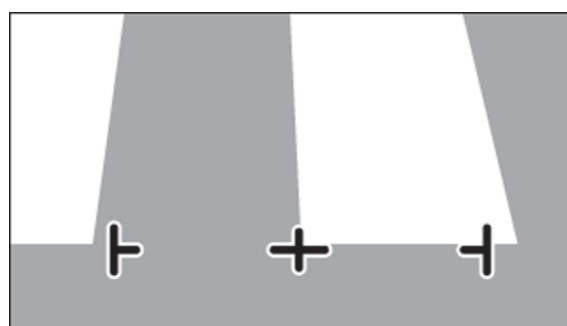


映像パターンによってガイド線の表示のしかたが異なります。

＜パノラマビュー表示例＞



＜トップビュー表示例＞



- ・映像パターンが「コーナー」に設定されている場合は、ガイド線は表示されません。

- 映像パターンについて詳しくはカメラの取扱説明書を参照してください。

サイドカメラの映像を表示する

サイドカメラ映像は、本機のオプションキー、別売のカメラダイレクトキー (HCE-CS100G) またはボイスタッチ操作して表示します。また、指定した地点に連動して、自動的に表示することもできます。

- ◆ 汎用カメラ接続設定を「サイドカメラ」に設定してください。また、本機に接続したインターフェースボックスにサイドカメラを接続することができます。サイドカメラ接続設定を「あり」に設定してください。
⇒「汎用カメラを接続する」(172 ページ)
⇒「インターフェースボックスにサイドカメラを接続する」(169 ページ)
- ◆ サイドカメラ接続を設定すると、オプションキーの長押しに「サイドカメラ」が自動的に割り当てられます。ここでは自動的に長押しに割り当てられた状

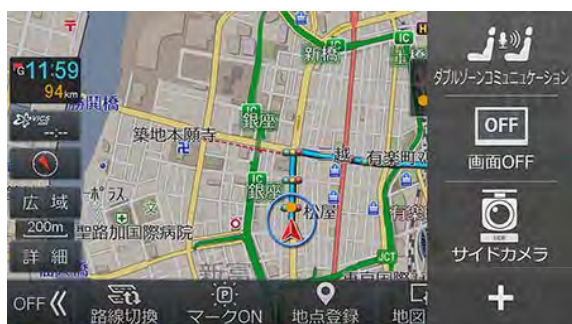
態での操作を説明します。1 回押しに割り当てるともできます。

⇒「オプションキーに機能を登録する」(24 ページ)
・カメラダイレクトキー設定が「あり」の場合は、オプションキー操作でサイドカメラ映像を表示させることはできません。

- ◆ 別売のカメラダイレクトキー (HCE-CS100G) を接続した場合は、ダイレクトキーを操作してサイドカメラ映像を表示します。ダイレクトキー接続設定を「あり」に設定してください。
⇒「カメラダイレクトキーを接続する」(167 ページ)
・カメラダイレクトキー設定が「あり」の場合は、オプションキー操作でサイドカメラ映像を表示させることはできません。

- ◆ 地点連動表示
あらかじめサイドカメラの映像を表示したい地点を登録しておく、その地点で自動的にサイドカメラの映像を本機に表示させることができます。
⇒「サイドカメラ映像を自動的に表示する (地点連動・インターフェースボックス接続)」(170 ページ)
⇒「サイドカメラ映像を自動的に表示する (地点連動・汎用カメラ)」(175 ページ)

- 1 [*] (オプションキー) を 1 秒以上押し、[サイドカメラ] にタッチします。サイドカメラ映像が表示されます。



- 2  にタッチすると、元の画面に戻ります。

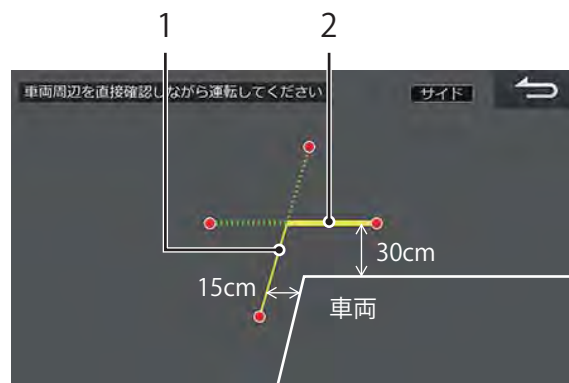
- サイドカメラ映像表示中に [AV]、 AUDIO、[MODE]、 NAVI、[MENU]、[現在地]、[*] (オプションキー) スイッチを押すと、スイッチに応じた画面が表示されます。

アドバイス

- サイドカメラ・カメラダイレクトキーの取扱説明書も参照してください。

サイドカメラガイド線の見かた

- ◆ ガイド線の見かた



1. 車両側方から約 15cm の距離を示すガイド線
 2. 車両前方から約 30cm の距離を示すガイド線
- ・車や路面の状況により映る範囲は異なることがあります。
 - ・映像は実際の色合いと異なる場合があります。

アドバイス

- ガイド線の調整方法は下記項目を参照してください。
⇒「サイドカメラのガイドを調整する (インターフェースボックス接続)」(170 ページ)
⇒「サイドカメラのガイドを調整する (汎用カメラ)」(174 ページ)

コーナーカメラの映像を表示する

コーナーカメラ映像は、本機機のオプションキー、別売のカメラダイレクトキー (HCE-CS100G) またはボイスタッチ操作して表示します。また、指定した地点に連動して、自動的に表示したり、一部の車種ではクリアランスソナーの警告に連動して表示することもできます。

- ◆ 汎用カメラ接続設定を「コーナーカメラ」に設定してください。また、本機に接続したインターフェースボックスにコーナーカメラを接続することができます。コーナーカメラ接続設定を「あり」に設定してください。
⇒「汎用カメラを接続する」(172 ページ)
⇒「インターフェースボックスにコーナーカメラを接続する」(171 ページ)

- ◆ コーナーカメラ接続を設定すると、オプションキーの長押しに「コーナーカメラ」が自動的に割り当てられます。ここでは自動的に長押しに割り当てられ

た状態での操作を説明します。1 回押しに割り当て
ることもできます。

⇒「オプションキーに機能を登録する」(24 ページ)
・カメラダイレクトキー設定が「あり」の場合は、
オプションキー操作でコーナーカメラ映像を表示さ
せることはできません。

- ◆ 別売のカメラダイレクトキー (HCE-CS100G) を接
続した場合は、ダイレクトキーを操作してコーナー
カメラ映像を表示します。ダイレクトキー接続設定
を「あり」に設定してください。
⇒「カメラダイレクトキーを接続する」(167 ペー
ジ)
・カメラダイレクトキー設定が「あり」の場合は、
オプションキー操作でコーナーカメラ映像を表示さ
せることはできません。

- ◆ クリアランスソナー連動表示
コーナーカメラソナー連動対応車種で車種専用
チューニングを行うとクリアランスソナーの警告に
連動してコーナーカメラ映像を表示させることがで
きます。
⇒「コーナーカメラ映像を自動的に表示する (ク
リアランスソナー連動・インターフェースボックス接
続)」(172 ページ)
⇒「コーナーカメラ映像を自動的に表示する (ク
リアランスソナー連動・汎用カメラ)」(175 ページ)

- 1 [*] (オプションキー) を 1 秒以上押し、[コーナー
カメラ] にタッチします。コーナーカメラ映像が表
示されます。



- 2  にタッチすると、元の画面に戻ります。

- サイドカメラ映像表示中に [AV]、 AUDIO、
[MODE]、 NAVI、[MENU]、[現在地]、[*] (オプ
ションキー) スイッチを押すと、スイッチに応じた
画面が表示されます。

アドバイス

- コーナーカメラ・カメラダイレクトキーの取扱説明
書も参照してください。

コーナーカメラガイド線の見かた

- ◆ ガイド線の見かた



- ・車両とガイド線の距離はコーナーカメラの取扱説
明書を参照してください。
- ・車や路面の状況により映る範囲は異なることがあ
ります。
- ・映像は実際の色合いと異なる場合があります。

アドバイス

- ガイド線の調整方法は下記項目を参照してください。
⇒「サイドカメラのガイドを調整する (インター
フェースボックス接続)」(171 ページ)
⇒「コーナーカメラのガイドを調整する (汎用カメ
ラ)」(175 ページ)

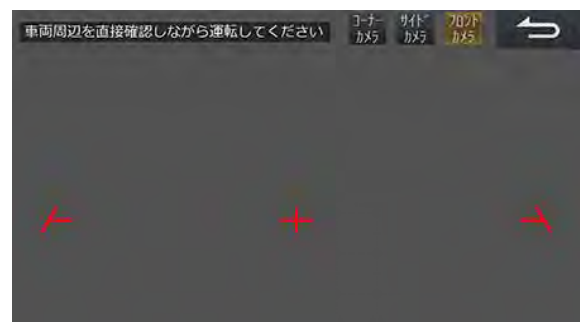
カメラの映像を切りかえる

リアカメラ／フロントカメラ／サイドカメラ／コーナ
ーカメラのいずれかのカメラを複数接続している場合、カ
メラ映像を切りかえることができます。

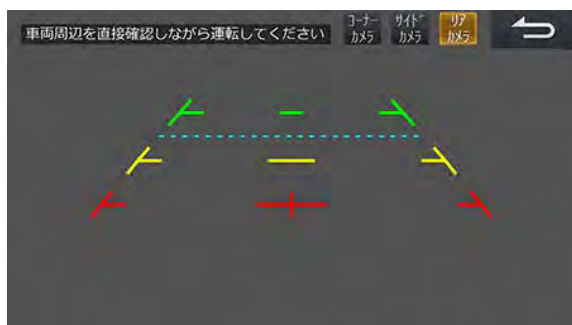
カメラ映像表示中にカメラスイッチにタッチするとカメ
ラ映像が切りかわります。

- ・オレンジ色のタッチスイッチが現在表示しているカメ
ラ映像です。

- ◆ フロントカメラ映像表示例



◆ リアカメラ映像表示例



カメラ画質を調整する

カメラ画面の画質調整を行います。

- 1 カメラ画面にタッチし、[画質調整] にタッチします。



- 画質調整操作については下記項目を参照してください。
⇒「画質を調整する」(189 ページ)

アドバイス

- ルームカメラの画質は設定画面から調整してください。
⇒「画質を調整する」(189 ページ)
- インターフェイスボックスの画質調整は「インターフェイス」として行うため、接続しているカメラの画質調整を別に行うことはできません。

ガイド表示を ON / OFF する

リアカメラ、フロントカメラ、サイドカメラ、コーナーカメラのガイド表示を ON / OFF できます。リアカメラガイド線は、固定ガイド線、ステアリング連動ガイド線それぞれを ON / OFF できます。

- 1 カメラ画面にタッチし、[画質調整] にタッチします。



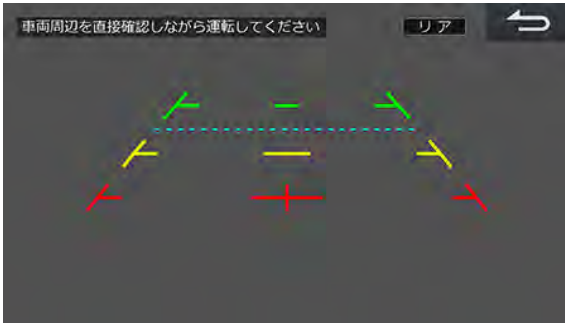
- インターフェイスボックスに接続したサイドカメラ、コーナーカメラは [画質調整] は表示されません。手順 2 へ進んでください。
- 2 [固定ガイド OFF] または [固定ガイド ON] にタッチし、ガイド表示を ON/OFF してください。リアカメラは、ステアリング連動ガイド線が表示されている場合は [ステアリングガイド OFF] または [ステアリングガイド ON] にタッチしてください。



コーション表示位置を変更する

画面に表示される注意文の位置を、画面上か下に移動できます。

- 1 カメラ画面にタッチし、[画質調整] にタッチします。



- インターフェースボックスに接続したサイドカメラ、コーナーカメラは [画質調整] は表示されません。手順 2 へ進んでください。

- 2 [コーション↓] または [コーション↑] にタッチします。



リアビジョンについて

本機にリアビジョンを接続すると、車室内の前席（運転席、助手席）と後部座席で、同じ AV ソースを楽しむことはもちろん、それぞれ独立した空間をつくり出すこともできます。例えば、前席でラジオを聴きながら、後部座席では DVD を楽しむことができます（後席個別モード）。

- ◆ 別売リモコン（RUE-RST01）を使用すると、運転中に後部座席から目的地設定などの操作を行うことができます。
- ◆ ハンズフリー用のマイクを使用し、後部座席では聞きにくい運転手の声をリアスピーカーから出力して、会話を容易にすることができます（ダブルゾーンコミュニケーション）。別売のルームカメラを接続すると、後席の映像を本機に映し出し、別売のドライブレコーダーを接続すると前席の映像をリアビジョンに映し出すことができます。
- ◆ 本機からリアビジョンの操作を一部行うことができます。
 - ・プラズマクラスター設定
 - ・イルミネーション色設定

- ◆ リアビジョン接続時のサウンド設定ができます。
 - ・出力するスピーカーの設定
 - ・リスニングポジションの設定

アドバイス

- 接続しているリアビジョンの取扱説明書も参照してください。
- 著作権保護（コピーガード）のための信号が記録されている映像を再生した場合、後席（リアビジョン）には映像が出力されないため、リアビジョンは黒画面表示になります。
- カメラ、インターフェースボックスに接続した外部機器の映像はリアビジョンに表示できません。
- AUX 接続（コンポジット接続）したリアビジョンに地図を表示すると地図が見えづらい場合があります。

プラズマクラスター設定を切りかえる

リアビジョンのプラズマクラスター機能进行操作します。

- リアビジョン・プラズマクラスター設定を「あり」に設定してください。
⇒「本機でリアビジョンのプラズマクラスター設定を行う」（165 ページ）

- 1 **AUDIO** / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [リアビジョン/アロマ] にタッチします。
- 2 「プラズマクラスター」の [切] [弱] [強] [ターボ] にタッチします。タッチするたびにタッチスイッチ表示が設定した風量に切りかわります。



- 「ターボ」は対応リアビジョンのみ設定できます。

アドバイス

- プラズマクラスター機能付きリアビジョンを接続していない場合は、操作することはできません。
- 設定した風量は画面下部のインジケータに表示されます。
⇒「インジケータ表示について」（26 ページ）

イルミネーション色を切りかえる

リアビジョンのイルミネーション色を切りかえることができます。

- リアビジョン・イルミネーション設定を「あり」に設定してください。
⇒「本機でリアビジョンのイルミネーション設定を行う」(166 ページ)

1  AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [リアビジョン / アロマ] にタッチします。

2 「イルミネーション」の ◀ または ▶ にタッチして色を切りかえます。
設定値：OFF / ホワイト / ブルー / グリーン / アンバー / レッド / パープル / スカイブルー



アドバイス

- イルミネーション切りかえ機能付きリアビジョンを接続していない場合は、操作することはできません。
- 設定画面からも設定することができます。
⇒「リアビジョンのイルミネーション色を設定する」(166 ページ)

スピーカー出力を設定する

前部座席のスピーカーのみ、または後部座席のスピーカーのみから音声出力するように設定できます（初期設定値は「前後座席」）。

1  AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [リアビジョン / アロマ] にタッチします。

2 [前席のみ] [前後座席] [後席のみ] のいずれかにタッチします。



前席のみ：フロントスピーカーのみ音声を出力します。後席で子どもが寝ているときなどに使用してください。

前後座席：すべてのスピーカーから音声を出力します。

後席のみ：リアスピーカー・サブウーファーのみ音声を出力します。後席のリアビジョンで視聴中のソースを前席では聞かないときに使用してください。

アドバイス

- 「前席のみ」または「後席のみ」を選択中は下記の音質調整操作を行うことはできません。
車種専用サウンド、T.CORR、X-OVER、サブウーファー設定、FAD./BAL.
- Media Xpander、Bass Max EQ、ParametricEQ の設定はフロントスピーカーから出力される音声にのみ適用されます。
- 「後席のみ」に設定した場合でもナビ音声案内、操作音、ハンズフリー電話音声はフロントスピーカーから出力されます。

リスニングポジションを設定する

タイムコレクションの状態を表し、車種専用チューニングを設定すると表示されます。通常は運転席を中心とした「前席優先」に設定されています。リスニングポジションを後部優先にするときは「後席優先」に設定します。

- 車種専用チューニングで設定した車種に前席優先・後席優先データがない場合、本設定を行うことはできません。

1  AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [リアビジョン / アロマ] にタッチします。

2 「前席優先」または「後席優先」にタッチします。



アドバイス

- 「スピーカー設定」を「前後座席」に設定している場合のみ、本設定を行うことができます。
⇒「スピーカー出力を設定する」(229 ページ)
- 「前席優先」は、運転席に最適な設定値になっています。

- AV ソース画面は、リアビジョン専用の簡略化した画面が表示されます。



アドバイス

- 「前と同じ表示」に設定しても、カメラ、インターフェイスボックスに接続した外部機器の映像はリアビジョンに表示されません。
- リアビジョン専用の簡略化した画面では、表示しきれない文字のスクロール表示は行いません。

リアビジョンの AV ソースを前席と同じソースに設定する(後席表示設定)

後部座席(リアビジョン)と前席(本機)を同じソースにする場合に、メニューなどを含め、本機と同じ画面を表示するかどうかを設定します。

- 1 **AUDIO** / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [ダブルゾーン] にタッチします。
- 2 「後席表示設定」の [前と同じ表示] または [AV ソースのみ] にタッチします。



前と同じ表示：本機に表示されている映像がリアビジョンにも表示されます。

AV ソースのみ：リアビジョンには本機と同じ AV ソースの画面のみ表示されます。

リアビジョンのソースのみ TV / DVD / HDMI にする(後席個別)

前席(本機)の AV ソースに関わらず、後席(リアビジョン)の AV ソースを TV、DVD (ディスク)、HDMI 機器にする後席個別モードに設定します。例えば前席ではラジオを聴き、後席では TV、DVD、HDMI を楽しむことができます。

- 1 **AUDIO** / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [ダブルゾーン] にタッチします。
- 2 「後席個別」の [TV] [DVD] [HDMI] のいずれかにタッチします。



TV：本機のソースに関わらず、リアビジョンのソースが TV になります。

DVD：本機のソースに関わらず、リアビジョンのソースが DVD になります。

HDMI：本機のソースに関わらず、リアビジョンのソースが HDMI になります。

- リアビジョン専用の簡略化した画面が表示されます。

アドバイス

- 後席個別モード時はサブウーファーから音が出ません。
- 「後席スピーカー音量」で、前席とは別に後席で TV・DVD・HDMI の音量調整を行うことができます。
⇒「後席スピーカー音量を調整する」(231 ページ)
- 後席個別の TV・DVD・HDMI 設定時は、リアスピーカーから出力される音声への音質調整は無効になります。フロントスピーカーの音声出力には、Media Xpander、Bass Max EQ、ParametricEQ の設定のみ適用されます。
- ACC ON したときなど瞬間的に後席に過大な音量が出力されることを防ぐために、「後席スピーカー音量」が 21 以上に設定されている場合、自動的に 20 に変更されます。
- オプションキーに後席個別モード ON / OFF 操作を割り当てることができます。
⇒「オプションキーに機能を登録する」(24 ページ)
- リアビジョン専用の簡略化した画面では、表示しきれない文字のスクロール表示は行いません。

後席スピーカー音量を調整する

後席個別モードに設定したときの、後席スピーカーの音量レベルを調整できます（初期設定値は「10」）。

- 1  AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [ダブルゾーン] にタッチします。
- 2 「後席スピーカー音量」の  または  にタッチして音量を調整します。



設定値：0～35

リアビジョンに行程情報を表示する

ルート案内時、リアビジョン画面に行程情報を簡易表示します。



1. 到着予想時刻
2. 現在地名称

- 1  AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [ダブルゾーン] にタッチします。
- 2 「行程情報表示」の [する] または [しない] にタッチします。



アドバイス

- 後席表示設定を「前と同じ表示」に設定してある場合は、「する」に設定しても行程情報は表示されません。
⇒「リアビジョンの AV ソースを前席と同じソースに設定する（後席表示設定）」(230 ページ)

ダブルゾーンサウンドコントロール

前席（本機）または後席（リアビジョン）の視聴の妨げとならない音量の目安を表示します。それぞれの音量が最適値を超えているときはボリューム表示が赤色になります。



- 本機能は、車種専用チューニングで前後席の推奨ボリューム値が設定されていることが必要です。また、ダブルゾーンサウンドコントロールが「ON」に設定されていて、前席と後席で別の AV ソースのときに有効になります。
⇒「ダブルゾーンサウンドコントロールを設定する」（166 ページ）

リモコン (RUE-RST01) の操作 (本機と同じ表示時)

リアビジョンを接続し、後席表示設定を「前と同じ表示」に設定すると、リアビジョンに本機画面が映し出されます。別売リモコン RUE-RST01 で、リアビジョン側から本機を操作することができます。
⇒「リアビジョンの AV ソースを前席と同じソースに設定する（後席表示設定）」（230 ページ）

- ◆ ナビゲーション操作は下記項目を参照してください。
⇒「リモコン（RUE-RST01）のナビゲーション操作（本機と同じ表示時）」（234 ページ）



■スライドスイッチ

NAVI	ダブルゾーンメニュー / 地図操作などを行う時に切りかえます。
DVD	DVD ソース再生中、DVD 操作を行う時に切りかえます。
MONITOR	リアビジョンのモニター設定を行う時に切りかえます。

AV	AV ソース画面を表示します。長押しすると AV ソースを OFF にします。 AV ソース OFF の状態で長押しすると、AV ソースが ON に戻ります。
現在地	現在地画面を表示します。 現在地画面で短く押すと音声案内を出力し(ルート案内中のみ)、路線名/現在地名の表示を一時的に切りかえます。 長押しすると路線名/現在地名表示切りかえを行います。
	AV ソースメニュー画面を表示します。
戻る	一つ前の画面に戻ります。 地図画面表示時：長押しすると自宅地点を表示します。
	ナビメニュー画面を表示します。
ジョイスティック 	画面に表示される項目を選びます。 地図画面表示時：地図の移動を行います。 押し続けると高速でスクロールします。
決定	選択した項目、地点を決定します。
トップメニュー	DVD 再生時：DVD トップメニュー画面を表示します。
メニュー	DVD 再生時：DVD メニュー画面を表示します。
テレビ	ソースをテレビに切りかえます。
DVD	ソースを DVD/CD に切りかえます。
HDMI	ソースを HDMI に切りかえます。
リア専用メニュー	ダブルゾーンメニュー画面を表示します。
	ダブルゾーンコミュニケーションモードに切りかわります。
消音	音量をミュートします。再度押すと元の音量に戻ります。
音量入	音量が大きくなります。押し続けると連続して変化します。
音量下	音量が小さくなります。押し続けると連続して変化します。

チャンネルトラック入 	テレビ：プリセットが1つずつアップします。押し続けると連続して変化します。 ラジオ：プリセットが1つずつアップします。DX SEEK、SEEK モード時に押し続けると自動選局を行います。 DVD：映像の頭出しをします。押し続けると早送りをします。 テレビ・ラジオ以外のオーディオ：曲の頭出しをします。押し続けると早送りをします。
チャンネルトラック下 	テレビ：プリセットが1つずつダウンします。押し続けると連続して変化します。 ラジオ：プリセットが1つずつダウンします。DX SEEK、SEEK モード時に押し続けると自動選局を行います。 DVD：映像の頭出しをします。押し続けると早戻しをします。 テレビ・ラジオ以外のオーディオ：曲の頭出しをします。押し続けると早戻しをします。
	テレビ：ホームモード/お出かけモードを切りかえます。押し続けるとお出かけスキャンを実行します。 ラジオ：バンドを切りかえます。押し続けるとオートメモリーを行います。 テレビ・ラジオ以外：一時停止/再生を行います。
ミュート	瞬時に音量が下がります。再度押すと元の音量に戻ります。

1～9	数字の1～9を入力します。 テレビ：プリセット1～9の放送局を受信します。現在受信している放送局の場合は、ワンセグ/地上デジタル放送を切りかえます。 ラジオ：プリセット1～9の放送局を受信します。長押しするとプリセットスイッチに放送局を記憶します。
0	数字の0を入力します。 テレビ：プリセット11の放送局を受信します。現在受信している放送局の場合は、ワンセグ/地上デジタル放送を切りかえます。
削除	入力した文字を1つ削除します。 テレビ：プリセット10の放送局を受信します。現在受信している放送局の場合は、ワンセグ/地上デジタル放送を切りかえます。
完了	数字入力を完了します。 テレビ：プリセット12の放送局を受信します。現在受信している放送局の場合は、ワンセグ/地上デジタル放送を切りかえます。
設定	スライドスイッチ【NAVI】：本機の設定画面を表示します。

アドバイス

- 本機を直接リモコン操作することはできません。
- 後席表示設定を「AV ソースのみ」に設定してある場合や、後席個別モード時は、ダブルゾーン専用メニューからリモコン操作を行います。
⇒「リモコン（RUE-RST01）の共通操作（リア用ダブルゾーンメニューを使う）」（236 ページ）

リモコン(RUE-RST01)のナビゲーション操作(本機と同じ表示時)

- 別売のアルパイン製リモコン RUE-RST01 の共通操作については、下記項目を参照してください。
- ⇒「リモコン（RUE-RST01）の操作（本機と同じ表示時）」（232 ページ）
- 別売のアルパイン製リアビジョンを接続していない場合は、操作することはできません。

- 接続しているリアビジョンによっては操作できないスイッチがあります。



1	地図の方位（ノースアップ/ヘディングアップ/3Dマップ）を切りかえます。
2	現在地画面の、ナビ操作/AVソース操作スイッチの表示を切りかえます。 ( →  →  →)
3	ナビ操作スイッチの「自宅」または「路線切換」、AVソース操作スイッチのミュートスイッチと同じ操作です。 それぞれ自宅誘導、ルート案内中の一般道/高速道切りかえ、ミュート ON/OFF を行います。
4	現在地画面のナビ操作スイッチ/AVソース操作スイッチの切りかえ、または地図画面のランドマーク表示/非表示を切りかえます。
5	ナビ操作スイッチの「お気に入り」または「地点登録」、AVソース操作スイッチの  と同じ操作です。 それぞれお気に入り周辺検索画面表示、地点登録画面表示、曲/映像/放送局等の頭出し・長押しで早戻しを行います。
6	ナビ操作スイッチの「ルート」または「地図設定」、AVソース操作スイッチの  と同じ操作です。 それぞれルート画面表示、地図設定画面表示、曲/映像/放送局等の頭出し・長押しで早送りを行います。
7	ナビ操作スイッチの「地図切換」と同じ操作です。地図切換画面を表示します。
0（電話番号）	現在地画面で押すと電話番号検索画面を表示します。
削除（周辺）	ナビ操作スイッチ「お気に入り」と同じ操作です。周辺検索画面を表示します。
完了（名称）	現在地画面で押すと名称検索画面を表示します。

- 現在地画面に表示されているナビ操作スイッチ/AVソース操作スイッチの左から順に、リモコンの2・3・4・5・6・7が割り当てられています。
⇒「操作スイッチのモードを切りかえる」(31ページ)

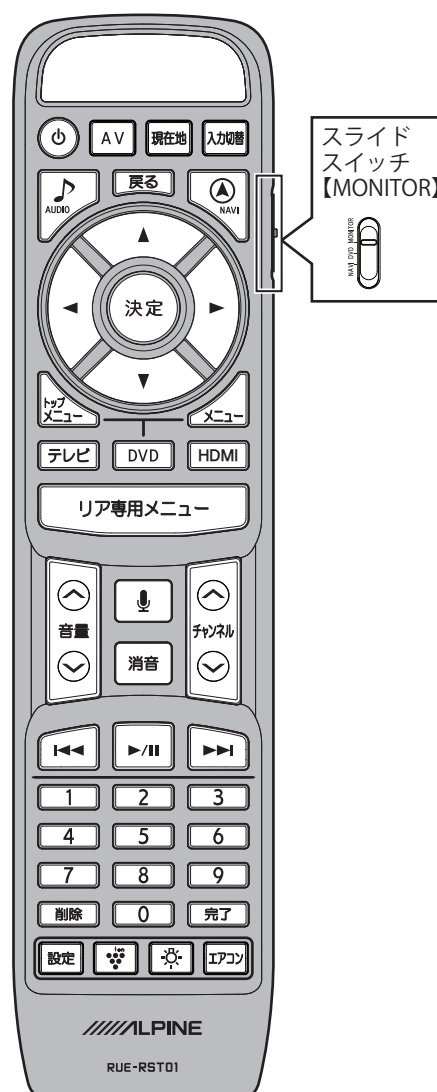
・現在地画面表示中に「0（電話番号）」、「削除（周辺）」（お気に入り）、「完了（名称）」を押すと、走行中でも操作できる後席操作モード切りかえの確認画面が表示されます。[はい] にタッチするとそれぞれの検索画面が表示されます。

アドバイス

- 本機を直接リモコン操作することはできません。
- リモコンでの目的地検索中に本機画面のスイッチにタッチすると、後席操作モードが解除され、走行中は操作できなくなります。

リモコン(RUE-RST01)のリアビジョン操作

リアビジョンの一部機能を操作することができます。



⏻ (電源)	リアビジョン電源 ON/OFF を切りかえます。
🍇 on	プラズマクラスターのモードを切りかえます。(プラズマクラスター付リアビジョンのみ)
☀️	リアビジョンのルームランプを一定時間点灯させます。(ルームランプ付リアビジョンのみ)
エアコン	リアエアコン操作画面を表示します。 (対象のリアビジョンとエアコン・コントロールユニットを取り付けた場合のみ)
入力切替	リアビジョンの入力を切りかえます。
設定	スライドスイッチ【MONITOR】/【DVD】：リアビジョンの設定画面を表示します。

リモコン(RUE-RST01)の操作(リア専用メニューを使う)

別売リモコン（RUE-RST01）を使用して、リアビジョン側から本機を操作することができます。後席表示設定を「AV ソースのみ」に設定してある場合や、後席個別モード時には、下記操作を行うことができます。一部操作はリアビジョン用ダブルゾーンメニューから操作を行います。



リア専用メニュー	「ダブルゾーンメニュー」画面を表示します。
戻る	ダブルゾーンメニュー / AV ソースメニューを解除します。
	「AV ソースを選ぶ」画面を表示します。
現在地	行程情報表示 ON/OFF を切りかえます。
AV	「ダブルゾーンメニュー」画面 / 「AV ソースを選ぶ」画面を解除します。 長押しすると、AV ソースを OFF にします。AV ソース OFF の状態で長押しすると、AV ソースが ON に戻ります。
音量ハ	音量が大きくなります。 後席個別モード時は後席スピーカーの音量が大きくなります。
音量V	音量が小さくなります。 後席個別モード時は後席スピーカーの音量が小さくなります。

- ◆ AV ソースを選ぶ操作は、下記項目を参照してください。

⇒「リモコン (RUE-RST01) 操作 (リア専用メニューを使う) -AV ソースを選ぶ」(237 ページ)

- 上記の表以外のスイッチ操作は下記項目を参照してください。

⇒「リモコン (RUE-RST01) の操作 (本機と同じ表示時)」(232 ページ)

- 1 リモコンの「リア専用メニュー」スイッチを押してリアビジョン用ダブルゾーンメニューを表示します。ジョイスティックを上下に押して項目を選択し、[決定] スwitchを押します。



- ◆ TV を見る：前席 (本機) の AV ソースに関わらず、後席 (リアビジョン) の AV ソースを TV にする後席個別 TV モードに設定します。
- ◆ DVD を見る：前席 (本機) の AV ソースに関わらず、後席 (リアビジョン) の AV ソースを DVD にする後席個別 DVD モードに設定します。
- ◆ HDMI を見る：前席 (本機) の AV ソースに関わらず、後席 (リアビジョン) の AV ソースを HDMI にする後席個別 HDMI モードに設定します。
- ◆ 前の席と同じオーディオ：後席表示設定を「AV ソースのみ」に設定し、リアビジョンには本機と同じ AV ソースの画面のみ表示されます。
- ◆ 到着予想時間表示：ジョイスティックを左右に動かして「する」または「しない」を選んで押します。
⇒「リアビジョンに到着予想時間を表示する」(231 ページ)
- ◆ 目的地を探す：ナビメニュー画面を表示します。本機と同じ表示を行う表示設定に切りかわり、本機にもナビメニュー画面が表示されます。

- 2 ダブルゾーンメニューモードを解除するには、再度「リア専用メニュー」スイッチを押します。

アドバイス

- 本機を直接リモコン操作することはできません。
- 後席表示設定を「前と同じ表示」にしてリアビジョンにナビと同じ画面を表示している場合、また本操作で「目的地を探す」を選択した場合の操作は下記項目を参照してください。
⇒「リモコン (RUE-RST01) の操作 (本機と同じ表示時)」(232 ページ)
⇒「リモコン (RUE-RST01) のナビゲーション操作 (本機と同じ表示時)」(234 ページ)
- リモコン操作時、操作音はリアスピーカーから出力されます。操作音音量を調整することができます。
⇒「リモコン操作音音量を調整する」(190 ページ)

リモコン (RUE-RST01) 操作 (リア専用メニューを使う) -AV ソースを選ぶ

別売リモコン (RUE-RST01) を使用して、リアビジョン側から走行中でも本機を操作することができます。後席表示設定を「AV ソースのみ」に設定してある場合や、後席個別モード時には、リアビジョン用 AV ソースメニューから AV ソース選択操作を行います。

- リモコン操作については下記項目も参照してください。
⇒「リモコン（RUE-RST01）の操作（リア専用メニューを使う）」（236 ページ）

- 1 リモコンの [ AUDIO] スイッチを押してリアビジョン用「AV ソースを選ぶ」画面を表示します。



- 2 ジョイスティックを上下に押してソースを選択し、[決定] を押します。

アドバイス

- 後席個別モード時に本操作を行うと、後席個別モードは解除されます。
- 本機を直接リモコン操作することはできません。
- 後席表示設定を「前と同じ表示」にしてリアビジョンにナビと同じ画面を表示している場合、下記項目を参照してください。
⇒「リモコン（RUE-RST01）の操作（本機と同じ表示時）」（232 ページ）

エネルギーモニターについて

別売のエネルギーモニター BOX（EDP-Z50）を本機に接続すると、ハイブリッドシステムのエネルギー動作状況、車両の駆動状況などを確認することができます。詳しくはエネルギーモニター BOX の取扱説明書を参照してください。

- ◆ エネルギーモニター画面はオプションキーを操作して表示します。エネルギーモニター接続を設定すると、オプションキーの長押しに「エネルギーモニター」が自動的に割り当てられます。ここでは自動的に長押しに割り当てられた状態での操作を説明します。1 回押しに割り当てすることもできます。
⇒「オプションキーに機能を登録する」（24 ページ）
- エネルギーモニター接続を「あり」に設定してください。
⇒「エネルギーモニターを接続する」（168 ページ）

- 1 [*]（オプションキー）を 1 秒以上押し、[エネルギーモニター] にタッチすると、エネルギーモニター画面が表示されます。



アドバイス

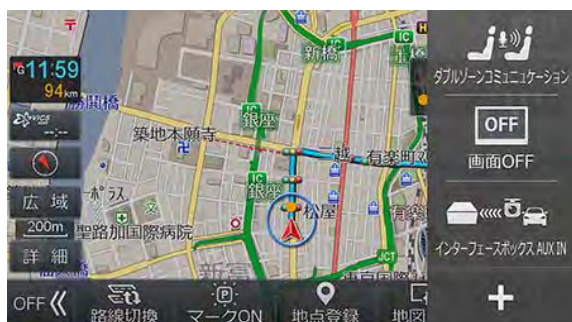
- 対応車種についてはエネルギーモニター BOX の取扱説明書を参照してください。
- エネルギーモニターをインターフェースボックスに接続する場合は、エネルギーモニター接続設定を「なし」に設定してください。

インターフェースボックスについて

別売のインターフェースボックス（IFB-N100）を本機に接続すると、サイドカメラ・コーナーカメラ・ルームカメラ・外部機器を最大 3 台同時に接続することができます。詳しくはインターフェースボックスの取扱説明書をご覧ください。

- ◆ インターフェースボックスに接続した外部機器映像はオプションキーを操作して表示します。インターフェースボックス接続を設定すると、オプションキーの長押しに「インターフェースボックス AUX IN」が自動的に割り当てられます。ここでは自動的に長押しに割り当てられた状態での操作を説明します。1 回押しに割り当てすることもできます。
⇒「オプションキーに機能を登録する」（24 ページ）
- インターフェースボックス接続を「あり」に設定してください。
⇒「インターフェースボックスを接続する」（169 ページ）

- 1 [*]（オプションキー）を1秒以上押し、[インターフェイスボックス AUX IN] にタッチすると、インターフェイスボックス画面が表示されます。



アドバイス

- 対応車種および本機への取り付けについてはインターフェイスボックスの説明書を参照してください。

カーアロマを操作する

カーアロマの噴出量設定を選ぶことができます。

- 1  AUDIO / [MODE] スイッチを押し、AV ソースメニュー画面で [リアビジョン / アロマ] にタッチします。
- 2 「アロマ」の [強] [中] [弱] [OFF] のいずれかにタッチします。



アドバイス

- カーアロマ接続時のみ操作することができます。
- カーアロマとリアビジョンを接続する場合は、カーアロマに対応したリアビジョンが必要です。
- 開閉カバー付きカーアロマを接続している場合、カバーが閉じていると操作できません。

索引

あ

アートワーク	176
アートワークアニメーション	178
明るさ	189
空き道表示	150
アクティブルートサーチ	68,160
アクティブルートサーチ案内音声割込み	161
頭出しをする	125,130,138,142,145
アングル	118
暗証番号	120,196
案内開始	30
案内画面	29
案内図表示	157
案内地周辺	44
行き先	32,53
一時停止	114,126,130,139,142,145
位置情報	74
一般	53,66,159
一般 / 臨時	84
一般駐車場	84
一般道路	66,74
緯度経度	46
イルミネーション色	166,229
イルミネーション設定	166
イルミネーション連動設定	180
色の濃さ	189
インジケーター	26
インターフェースボックス	169,171,172,238
ウォークマン (R)	136
迂回	67
迂回エリア考慮	161
迂回距離	162
迂回する地点	72
裏番組情報取得設定	106
営業時間考慮	48
英語	178
エネルギーモニター	168,238
エリア	112
エリア選択	81
演奏順 DN	132,135
演奏順 UP	132,135
応答保留	89
オーディオモード画面への割込み	164
オート	112
オートメモリー	111
オープニング画像	186
オープニングサウンド音量	192
オールシャッフル	139
お気に入り	51,52
お出かけスキャン	102,107
お出かけモード	102
お問い合わせ	214
オプションキー	23,24,181
音声	117
音声 / 字幕	117
音声案内	61
音声案内設定	156
音声言語	119

音声認識	24
音声読み上げ	191
音量	98
音量調整	190,191,192

か

カーアロマ	239
ガイド OFF	227
ガイド ON	227
ガイド音声	191
外部機器	147
外部接続機器選択	165
外部ハンズフリーマイク	193
学習結果	179
角度調整	20
画質調整	188,189,190,227
カスタマイズ	33,45,52
カメラ映像切りかえ	226
カメラダイレクトキー	167
カメラ表示地点	70,71
画面 OFF	27
画面カラー変更	182
画面切換	20
画面設定	105,116,136,137,147,188
幹線	53,66,159
カントリーコード	120
キーワード	42
機器情報取得	196
機器探索	196,197,198
機器登録	193
機器変更	88,144
機器名 (SSID)	197
気象警報	81
気象警報・災害エリア表示	151
規制エリア	82
規制エリア表示	151
規制考慮	55
規制マーク	76
規制マーク表示	152
基本情報	73
行政界色分け	153
距離補正	179,180
緊急警報放送	108
クイックセットアップ	8,183
クリアランスソナー連動	172,175
グループを選ぶ	144
経由地	55
経由地スキップ	67
経由地編集	64,65
系列局サーチ	107
県域設定	108
県境案内	156
言語コード	122
現在地	69,72,182
現在地画面	29
現在地周辺	43
検索	32
検索履歴	22
広域	34
交差点拡大図	56,58

更新履歴	210
後席個別	230
後席個別 TV・DVD・HDMI	165,230
後席スピーカー音量	231
後席操作音	190
後席のみ	229
後席表示設定	230
後席優先	229
高速・有料モード地図	155
高速渋滞	60
高速道配信	208
高速分岐案内	56
交通情報	84,112
行程ガイド	36,37,60
行程情報表示	231
合流案内	156
コーション	227
コーナー	222,224
コーナーカメラ	171,172,219,225
コーナーカメラガイド線	226
コーナーカメラガイド調整	171,175
コーナーカメラ接続	171
コーナーカメラソナー連動設定	172,175
コマ送り再生	115
コントラスト	189

さ

サーチ	118,131,140,144
サービスリスト	103
災害エリア	81
細街路オートスケール	154
再取得	134
再生中止	115
再生停止	115
再生リストサーチ	127,131,140,143,146
再接続	88,144,195
再探索	67
サイドカメラ	169,172,219,224
サイドカメラガイド線	225
サイドカメラガイド調整	170,174
サイドカメラ接続	169
サイドカメラ地点連動表示	170,175
サブウーファー	207
サブウーファーレベル	207
残距離案内	58
残距離音声案内	157
シークモード	111
市街地図	35
時間曜日規制考慮	161
自機情報	201
自機情報編集	195
自機名称	195
事故多発警告案内	157
自転車位置	69,72,182
自転車位置画面	29
自転車位置修正	182
自転車マーク	156
自宅	40
自宅登録	30
視聴制限	114,120

自動距離補正	179
自動更新情報確認	200
自動サーチ	106,107
自動接続	195
自動選択	81
自動着信	193
自動ハイウェイモード	155
シネマ	188
字幕	117
字幕言語	119
シャープネス	189
車種選択	184
車種専用サウンド	202
車種専用チューニング	184
車種タイプ選択	181
車線ガイド	59,158
シャッフル	139
車両情報	159,212
車両情報考慮	49
ジャンル	42,47
住所	40
住所名称	47
渋滞・混雑表示	149
渋滞回避優先	160
渋滞学習	163
渋滞推測(空き道)表示	150
渋滞推測(渋滞・混雑)表示	150
渋滞線明滅表示	152
充電施設	85
周波数選択	81
周辺	43,44,45,51
周辺迂回	67
周遊	65
縮尺	34
手動距離補正	179
受話音量	93,192
条件変更	66
詳細	34
詳細案内図	56
詳細案内図表示	158
詳細情報	75
乗車人数選択	181
情報(施設情報)	49
情報更新	102
情報保持時間	163
情報割込み	163
初期化	183,184
初期設定	99
信号・交差点案内	58
推奨	53,66,159
推奨(有料優先)	53
数字入力	22
スキャン	102
スクリーン設定	121
スクロール方面表示	155
図形情報	84
スケール	34
ステアリングリモコン	26,166,167
ステアリングリモコン キー割り当て	167
スマート IC 利用	161
スマートフォンナビ連携	96

スロー再生	115
セキュリティインジケータ	183
セキュリティ設定	183
接近方向設定	71
接続解除	88,144,195
接続機器変更	194
全国地図データ年度更新	208
前後座席	229
前席操作音	190
前席のみ	229
前席優先	229
全ルート	62
走行軌跡	149
走行連動地図切替	154
操作スイッチ	31
送話音量	93,192
ソース別音量調整	207
その他(地点)	50

た

タイトル番号から探す	118
タイムコレクション	205
ダイレクトアップ/ダウン	132,141
ダイレクトサーチ	132
ダウンミックス	121
ダウンロード自動再開	200
タッチスイッチ	17
建物情報	39
ダブルゾーンコミュニケーション	27
ダブルゾーンサウンドコントロール	166,232
ダブルゾーンメニュー	236
短縮時間	160
短縮ダイヤル	92
短縮登録	95
地域	42
地域設定	108
地上 D	104
地上 D ⇄ ワンセグ自動切替	106
地上デジタル放送	101
地図切替	36
地図更新状況	214
地図色切替	153
地図色昼/夜切替	153
地図スクロール	34
地図設定	148
地図データ更新	208
地図の向き	35
地図の文字サイズ変更	155
地点属性	74
地点登録	69,70
地点編集	186
着信・通話画面情報表示	192
着信音量	191
着信全画面割込み	192
着信履歴	90
チャプターの頭出し	114
チャプター番号から探す	118
チャンネル	101
駐車場条件	159

駐車場情報	76,84
チューニング	53,66,159
提携駐車場	49
ディスク挿入口	17,18
ディスプレイ角度	20
ディスプレイ誤操作防止	176
ディフーフト	201
データ更新	87,208
データ放送	102
デモ走行	64
テレビ	99,100,101
電源の ON/OFF	19
電話帳	91,94,95
電話帳読み込み	94
電話番号	40
冬期規制アイコン表示	154
冬期閉鎖区間考慮	55,162
到着情報	59
到着予想時刻音声案内	157
到着予想時刻速度設定	157
道路強調(昼)	153
道路強調(夜)	153
登録地点	32,50
トーン	94
特別警報	81
特別警報アイコン表示	164
特別地点	50,70
時計表示	23,176,177
トップ	222,224
トップメニュー	116
ドラッグ	34

な

ナビ/携帯	93
ナビ案内画面割込み	158
ナビ音声案内時の AV 音量ミュート	158
ナビ操作モード	31
ナビメニュー	32,33
認証情報設定	210
年度更新	208
燃費	53,66,159
燃費優先ルート	181
ノースアップ	35
ノーマル	188

は

バージョン情報	214
ハイウェイモード	155
配置変更	33,45,52
パスキー	195
バック	222
バックグラウンドサーチ設定	106
バックドア開閉ガイド線	220
発信履歴	90
パノラマ	222,224
パノラミックビュー設定	174
早送り・早戻し	114,125,130,138,142,145
バランス	201
パレンタル	114,120

索引

番組表	103,104,105
番号入力	91
ハンズフリー電話	88
バンド	110
販売店設定	10
汎用カメラ接続	172
ビッグアロー	56,58,157
標準(昼)	153
標準(夜)	153
昼画面	153
ビル立体表示	153
広い道路優先	160
ピンチアウト	35
ピンチイン	35
ファイルサーチ	127,146
フェダー	201
フェリー航路案内	56
フェリー使用	161
フォルダーを選ぶ	127,146
踏み切り案内	156
ブラウザ	218
ブラウザでの音声読み上げ	165
ブラズマクラスター設定	165,228
プリセット	101,111,112,190
フリック	34
プレイリストサーチ	118
プレイリスト編集	135
プレイリストを選ぶ	119
プローブ	164
プログラムサーチ	118
プログラム番号から探す	118
プログラムを選ぶ	119
フロントカメラ	168,169,219,223
フロントカメラ映像パターン	224
フロントカメラガイド線	224
フロントカメラガイド調整	168
フロントカメラ接続	168
フロントカメラ速度連動表示	169
フロントカメラ地点連動表示	169
別ルート	53,66,159
ヘディングアップ	35
ボイスタッチ	24,177
ボイスタッチワード	24,177
ボイスタッチワードチューニング	177
方位	35
放送局自動選局	107
放送局選択	81
方面看板表示	158
ホームスキャン	99,109
ホームモード	102
他の電話帳	92
本体スイッチ	14,16,17

ま

マーク情報	73
前と同じ表示	230
マップコード	46
マニュアル	112
右画面	148
ミックス	126,130,143,145

ミュート	98,158
名称	41,42
名称変更	133,134,135
メディアからの地点追加	187
メディア更新	211
メディア情報	188
メディアへの地点保存	187
メディア編集	187,188
メニュー	32,116
メニューアニメーション	178
メニュー言語	119
メニューデザイン	186
メニューの文字サイズ変更	178
メニュー番号から探す	118
メンテナンス	212,213
モード切換	105,117,118
目的地	32,53
文字情報	84
文字スーパ	107
文字入力	21
モニター自動 CLOSE	180

や

優先順位変更	199
優先探索ルート	159
誘導線	153
誘導方向表示	153
郵便番号	46
郵便番号設定	108
有料道路	66,74
有料道路優先	159
有料道路優先(近距離)	160
有料道路優先(全般)	160
予告配信	86
予告配信表示	151
読み上げ	83
夜画面	153
夜用明るさ調整	180
夜用照光明るさ調整	181

ら

ライブコントラスト	189
ラジオ	110
ランドマーク	39
ランドマーク表示	148
ランドマーク表示サイズ変更	149
リアカメラ	169,172,219,220
リアカメラ映像パターン	222
リアカメラガイド線	220,221
リアカメラガイド調整	172
リアカメラ接続	169
リアビジョン	228
リアビジョン連動設定	165
リスト画面	21
リセット	20
リダイヤル	92
リピート	116,126,130,139,142,145
リモコン	232
料金所ゲート案内	158

利用周波数帯域	200
リルート	66
履歴	32,49
臨時駐車場	84
ルート案内画面	29
ルート学習	162,163
ルート再探索	67
ルート周辺	43
ルート消去	68
ルート情報	62
ルートチューニング	160
ルートブラウザ	62
ルートを引く	30
ルームカメラ	172,219
ルームカメラ接続	172
レーンガイド	59
レーンガイド表示	158
ログアップロード	184
録音曲編集	132,133,134
録音する	127,128
録音ビットレート	176
録音用 SD 情報	214
路上駐車場マーク表示	152

わ

ワイド	188
割込み時間	160,163
割込み情報	83
ワンセグ	101,104

英

AV	98
AV OFF	98
AV 操作モード	31
AV ソースのみ	230
AV ソースメニュー	98
BALANCE	201
Bass Max EQ	204
B-CAS カード	99,109
BLUETOOTH	87,88,96
BLUETOOTH AUDIO	141
Bluetooth 設定	193,194,195,196
CD	124
DEFEAT	201
Disc で更新	211
DVD	113
DVD-VR	113
DVD ビデオ	113
DX SEEK	110
ETC	216
ETC2.0	217
ETC ユーザー情報	216,218
ETC 料金履歴	216,218
ETC レーン	158
EWS	108
FADER	201
FM 多重情報	76
GPS 情報	212
HDMI	136

IC 変更	54
iPod / iPhone	137
iPod 自動ソース切換	176
MANUAL	110
Media Xpander	203
MP3 / WMA / AAC	124,144
MX	203
NaviCon	96,97
ParametericEQ	204
PHASE	207
PRE STOP	115
RUE-RST01	232
SA・PA	84
SCAN	127,131,143,146
SD AUDIO	129
SD カード	128
SD カード挿入口	17,18,19
SD 初期化	188
SD で更新	211
SEEK	110
STOP	115
T.CORR	205
USB で更新	211
USB メモリー	144
VICS	76
VICS タイムスタンプ	60
VICS 駐車場・充電施設表示	151
VICS 駐車場情報	76,84
VICS 提供道路	152
VICS での音声読み上げ	164
VICS WIDE	76
VICS 割り込み情報	83
VICS 情報	76
VISUAL EQ	189
Wi-Fi	87
Wi-Fi 更新	208,210
Wi-Fi 設定	196,197,198,199,200
WPS 登録	198
X-OVER	206

数

10 キー	118
12H	177
1 画面	36
1 画面 / 左画面	148
2.4G	200
24H	177
2 画面	36
2 画面(ナビ + オーディオ)	20
3D マップ	35,36
3D ランドマーク表示	154
5G	200
6 ルート	53

